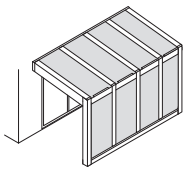
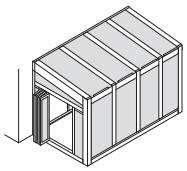
LIXIL ココマⅡ 基本タイプ ガーデンルーム・サイドスルー 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※タイプによって参照する取付説明書が異なります。下記を参照した後に施工を行なってください。

タイプ	略図	参照取付説明書
サイドスルータイプ		ココマⅡ 基本タイプ ガーデンルーム サイドスルー 取付説明書（E412） ⇨ 【施工終了】
ガーデンルームタイプ		ココマⅡ 基本タイプ ガーデンルーム サイドスルー 取付説明書（E412） ⇨ ココマⅡ 側面 開口部 取付説明書（E418） ⇨ 【施工終了】

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜電気配線工事について＞

⚠警 告

●接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
●垂木LED照明には、専用のACアダプターまたはトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。
垂木LED照明は、AC100Vと直接接続しないでください。
●電線の接続は有資格者が行なってください。

＜施工の前に＞

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

●本製品は、地上階設置用です。2階以上には設置しないでください。

●屋根材へ接触する部品へシリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
ダウ・東レ株式会社	SE960

●母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。

●屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。

●寒冷地では凍結破損を防ぐため、竪樋に排水路ヒーター等を取付けるか、排水位置を高い位置に変更してください。

●入隅の場合は、「φ4.5×63丸木ネジ」を現場で手配してください。

●本製品は躯体に設置してください。ただし躯体に設置せず独立して設置する場合は「施工補助部材」を使用してください。

ポイント

●スプレー式シリコーン系潤滑剤は部品箱に同梱のもの、または現場手配してください。またアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。

●必要に応じて、「柱固定用カイモノ」は現場で手配してください。

●垂木LED照明を取付ける場合は、必要に応じて、「防水コンセント」、「連結コネクタ」、「PF管」を現場で手配してください。

●垂木LEDを取付ける際に電源スイッチが必要な場合は現場で手配してください。

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

●ココマⅡはタイプ（仕様）によって専用の手順が存在します。
本書では、タイプ（仕様）専用の手順を下記の記号で記載していますので施工を行なう前に必ず確認してください。

《記号の意味》

タイプ
- GR：ガーデンルームタイプ
- ST：サイドスルータイプ

柱固定
- 固定：柱固定ベース仕様
- 埋込：柱埋め込み仕様

床
- デッキ：デッキ仕様
- 土間：土間仕様

地域
- 一般地域：一般地域仕様
- 積雪地域：積雪地域仕様

土間
- 基本：床既設置仕様
- ベース：ベース材仕様（後土間仕上げ）

《手順内記載例》

例１：

タイプ	床	土間	柱固定	地域
GR	デッキ			

※上記は、『ガーデンルームタイプでデッキ仕様』専用の施工手順を示しています。

例２：

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

※上記は、全タイプで施工が必要な場合に記載しています。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
・φ4ネジ：2.5N·m±0.5N·m（25±5kgf·cm）
・φ5ネジ：3.0N·m±0.5N·m（30±5kgf·cm）

ポイント

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
●施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

＜基礎工事についてのご注意＞

⚠ 注 意

●基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
●養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

ポイント

●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

INDEX

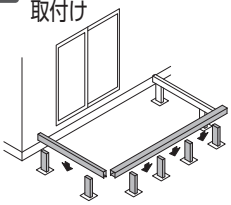
1　施工工程一覧…… 5
2　各部の名称…… 6
3　施工前の重要確認事項…… 7
　1．フレーム部の施工について…… 7
　2．開口部の施工について…… 15
4　梱包明細表…… 17
5　基本寸法…… 30
　1．ガーデンルームタイプ…… 30
　2．サイドスルータイプ…… 32
6　断面納まり図…… 34
　1．ガーデンルームタイプ…… 34
　2．サイドスルータイプ…… 38
7　開口部 納まり図…… 42
　1．前面FIXパネル…… 42
　2．上げ下げ窓…… 43
　3．可動ルーバー…… 44
8　柱の位置出し…… 45
　1．単体仕様…… 45
　2．連棟仕様…… 45
9　施工前の準備…… 46
　1．水盛遣方・水糸張り…… 46
　2．配線工事 オプション …… 47
10　位置決め施工…… 49
　1．ベース材とベース材束柱の取付け…… 49
　2．躯体方立の取付け…… 50
　3．土間見切り材の取付け…… 52
11　部材の組立て…… 53
　1．垂木掛けの組立て…… 53
　2．桁の組立て…… 55
12　柱の建込み…… 57
　1．事前確認事項…… 57
　2．柱の加工…… 58
　3．柱スリーブの取付け…… 61
　4．端部柱端部カバーの取付け…… 61
　5．雨樋の取付け…… 62
　6．柱取付金具の取付け…… 63
　7．柱の建込み…… 64
　8．入隅の場合…… 66
13　フレーム施工…… 67
　1．前面ベース受けの取付け…… 67
　2．前面ベースの取付け…… 68
　3．スリーブの取付け…… 69
　4．中間柱の建込み…… 70
　5．中桟の取付け…… 71
　6．垂木掛けの取付け…… 72
　7．桁の取付け…… 75
　8．妻垂木・垂木の取付け…… 76
　9．中骨の取付け…… 77
　10．屋根材の取付け…… 78
　11．垂木カバーの取付け…… 79
　12．垂木化粧材の取付け…… 84
　13．垂木フタの取付け…… 89
　14．垂木掛けカバーの取付け…… 90
　15．垂木掛けキャップの取付け…… 91
　16．妻梁上部FIXの取付け…… 92
　17．雪下ろし指示シールの貼付け…… 96
　18．テラス用上枠、柱カバーの取付け…… 97
　19．コンクリートの流し込み…… 98
　20．雨樋の取付け…… 99
14　前面開口組合せ一覧…… 100
15　前面開口の施工…… 101
　1．前面FIXパネルの取付け…… 101
　2．上下FIXパネルの取付け…… 105
　3．上げ下げ窓の取付け…… 110
　4．可動ルーバーの取付け…… 114
　5．施工が完了したら…… 120

1 施工工程一覧

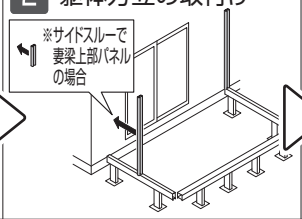
ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ

GR ST

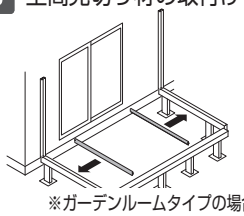
1 ベース材とベース材束柱の取付け



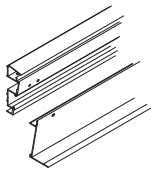
2 躯体方立の取付け



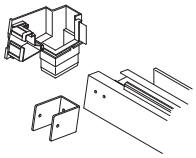
3 土間見切り材の取付け



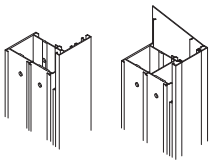
4 垂木掛けの組立て



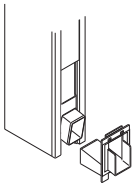
5 桁の組立て



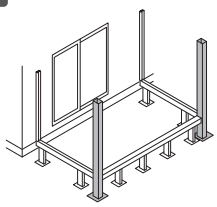
6 柱の加工



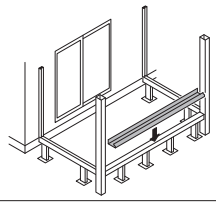
7 雨樋の取付け



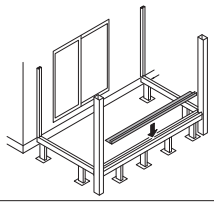
8 柱の建込み



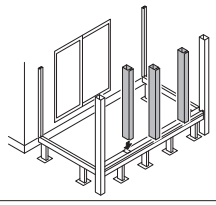
9 前面ベース受けの取付け



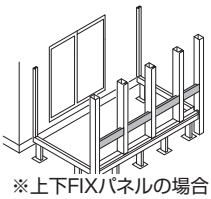
10 前面ベースの取付け



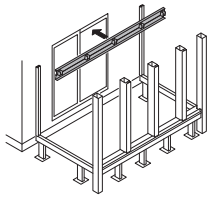
11 スリーブと中間柱の取付け



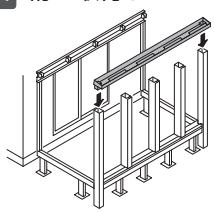
12 中桟の取付け



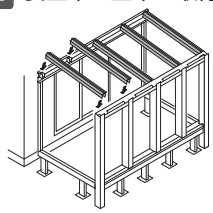
13 垂木掛けの取付け



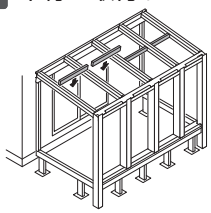
14 桁の取付け



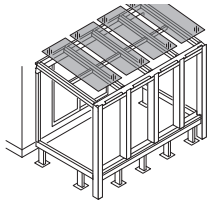
15 妻垂木・垂木の取付け



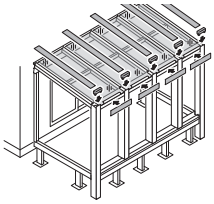
16 中骨の取付け



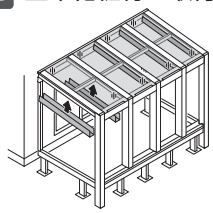
17 屋根材の取付け



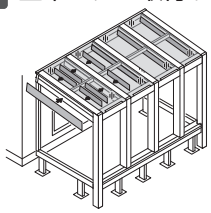
18 垂木カバーの取付け



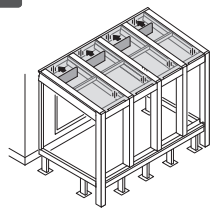
19 垂木化粧材の取付け



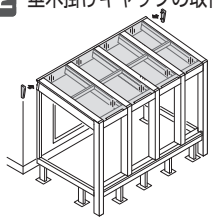
20 垂木フタの取付け



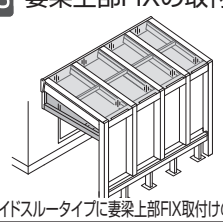
21 垂木掛けカバーの取付け



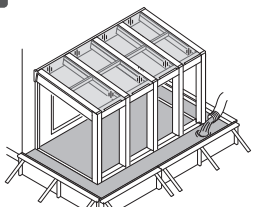
22 垂木掛けキャップの取付け



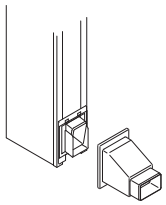
23 妻梁上部FIXの取付け



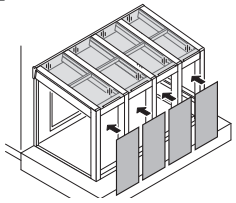
24 コンクリートの流しこみ



25 雨樋の取付け

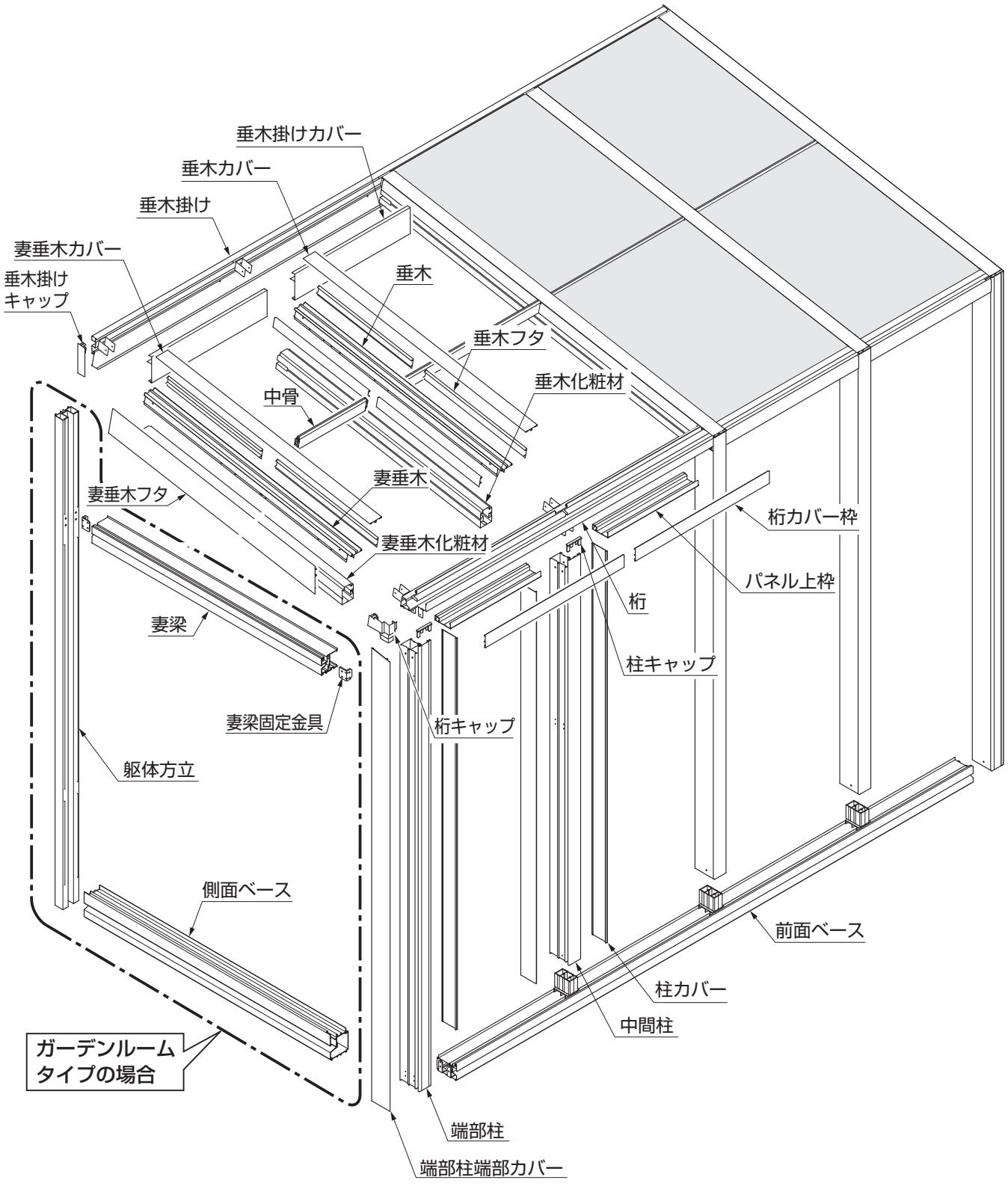


26 前面開口部の施工



E412_201602B

2 各部の名称

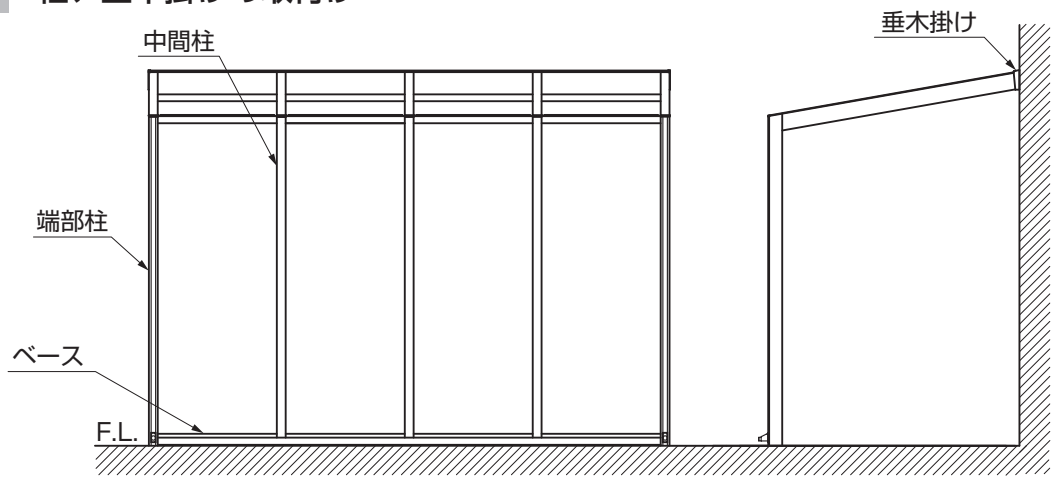


E412_201602B

3 施工前の重要確認事項

1. フレーム部の施工について ※施工時には下記の事項を厳守してください。

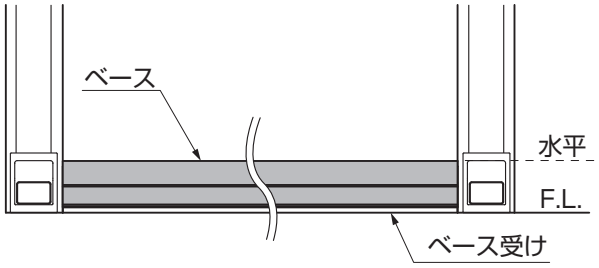
1-1 柱、垂木掛けの取付け



ポイント

●「5　基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。

1-2 ベースの取付け

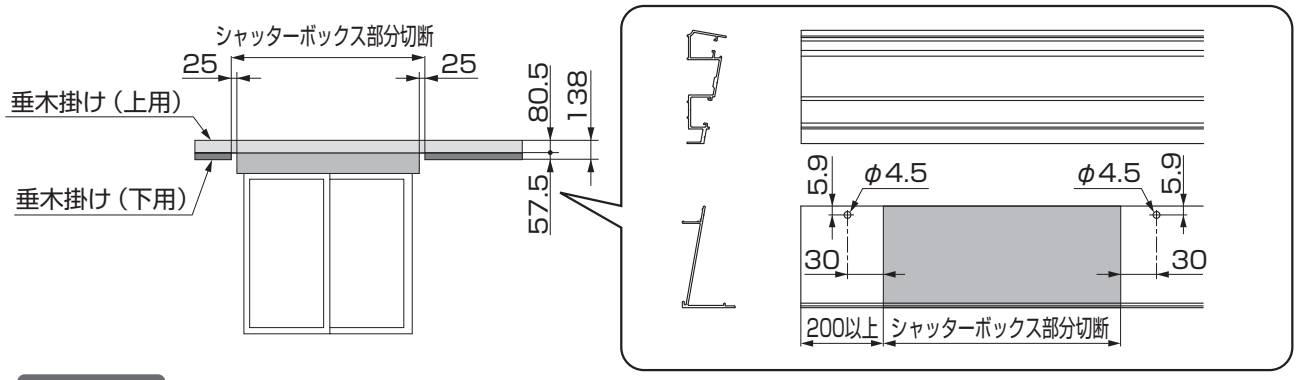


ポイント

●ベースは水平になるように取付けてください。

1-3 垂木掛けの分割利用について

※垂木掛け打付け面の障害物（シャッターボックスなど）を避けて設置する方法です。

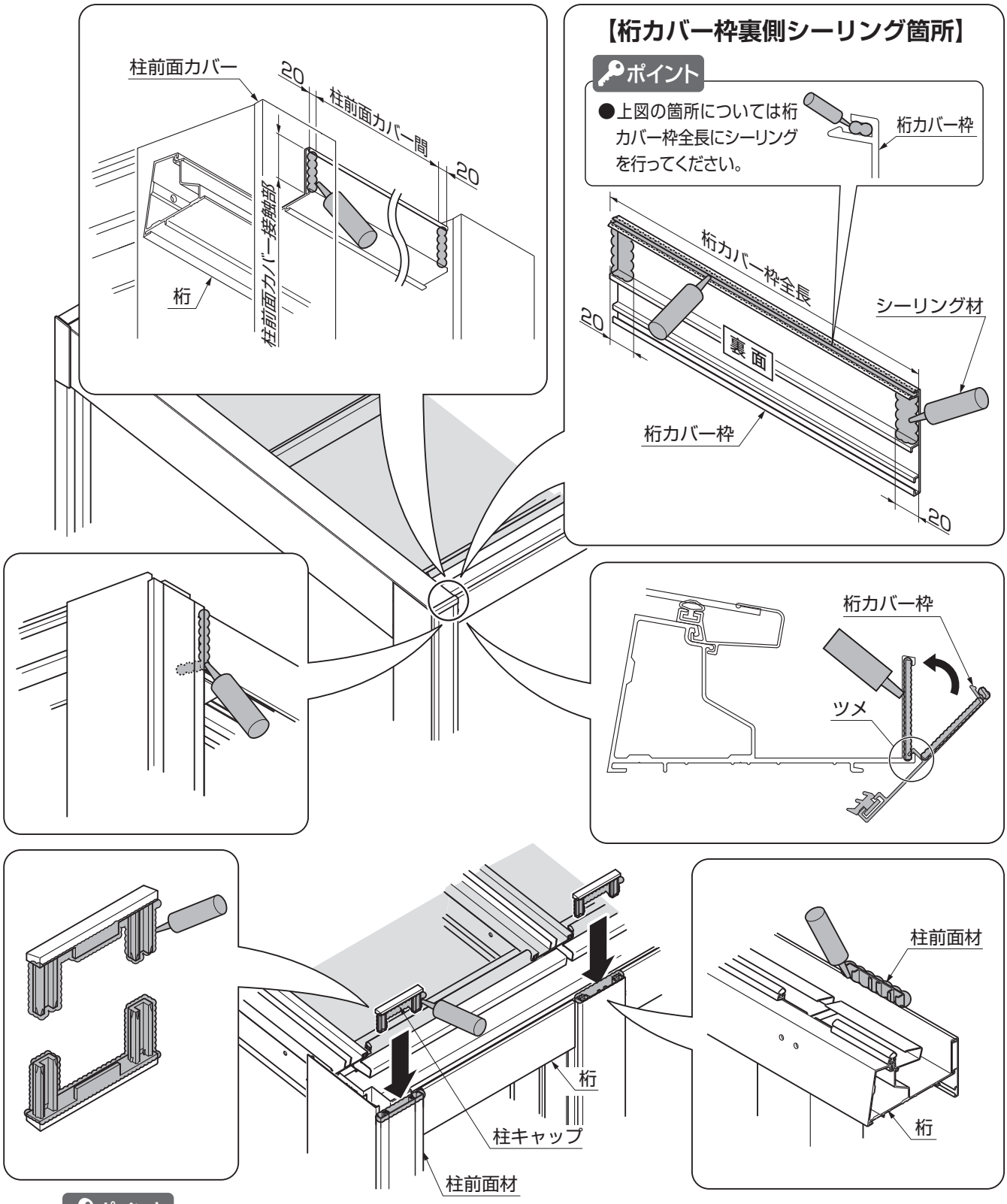


ポイント

●垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け（下用）は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け（下用）が必要です。

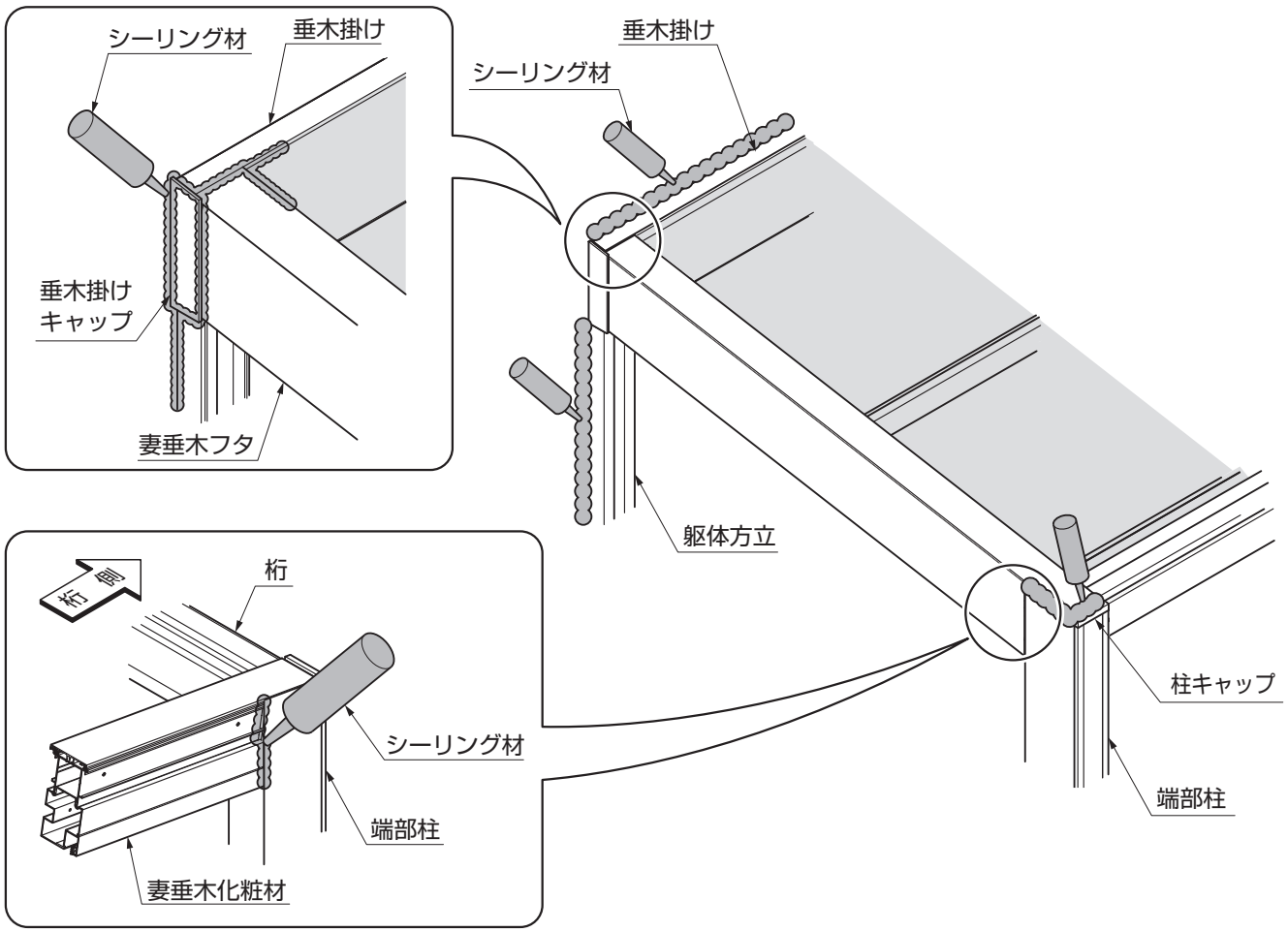
1.（つづき）

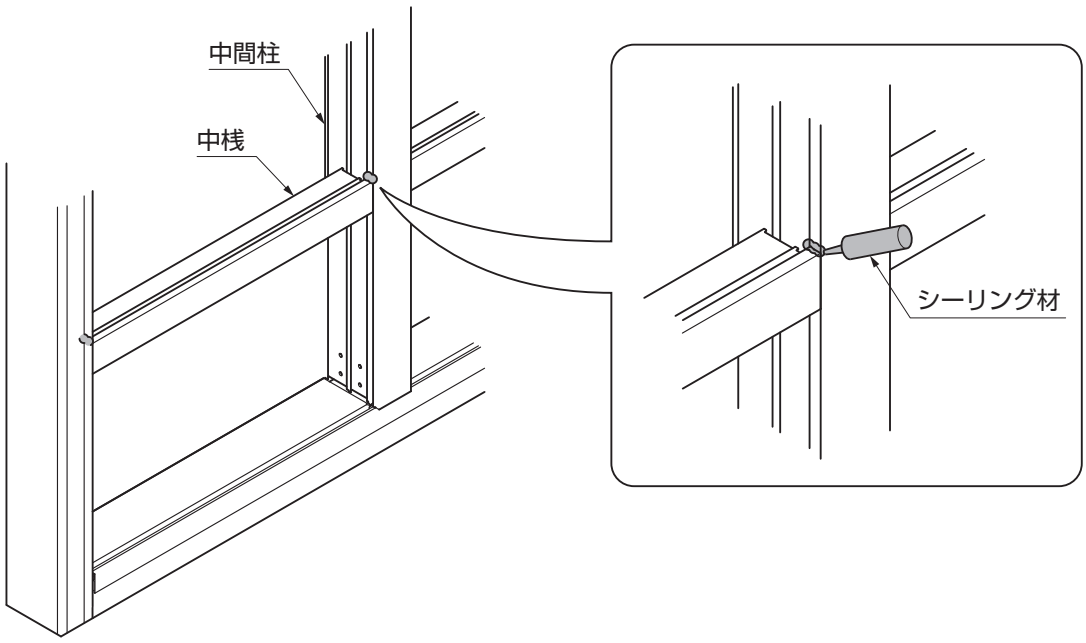
1-4 シーリング処理



ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。





ポイント

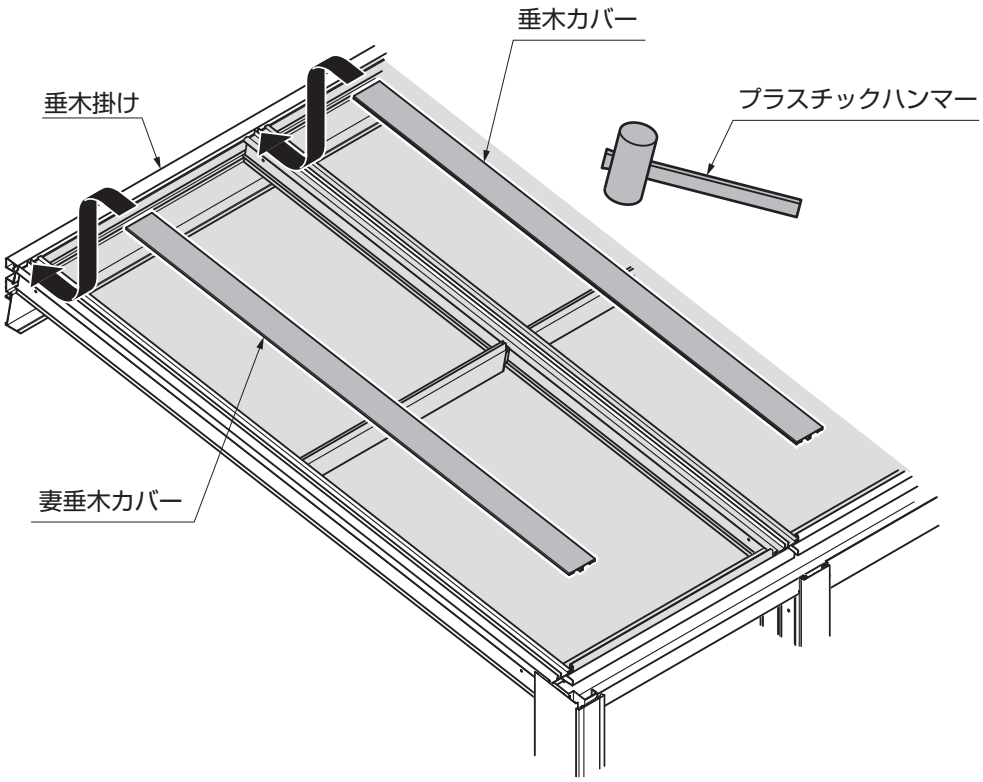
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1.（つづき）

1-5 その他のシーリング箇所

ページ	タイトル	シーリング箇所
P.50・51	2.躯体方立の取付け	φ5躯体穴、外壁と躯体方立
P.55	2.桁の組立て	桁キャップ端部
P.56	2-2 連棟の場合（2）桁の連結	連結用桁キャップ
P.66	8.入隅の場合	外壁と端部柱
P.67	1-2 前面ベース受けの取付け	前面ベース受け端部
P.71	5-1 中桟の組立て	中桟端部部品
P.72	6-1 垂木掛けの取付け	φ5躯体穴、垂木掛け・躯体接触部、パネル飲込み部
P.74	6-2 連棟、垂木LED照明、入隅の場合 （1）連棟の場合	垂木掛け連結部
P.75	7.桁の取付け	桁キャップの縁
P.83	（3）垂木カバーのシーリング	垂木カバーと垂木掛け、躯体の接触部
P.96	16-4 シーリング処理	妻梁上部FIX部

1-6 垂木カバーの取付け



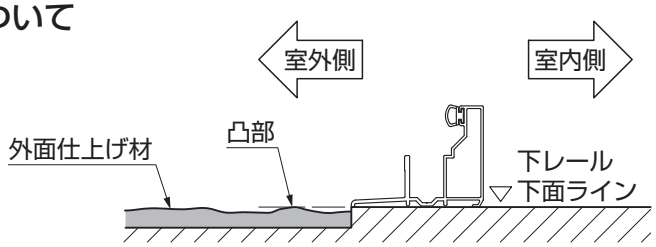
ポイント

●垂木カバー、妻垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。
●垂木カバー、妻垂木カバーは垂木掛けに突当てて取付けてください。

1-7　下レールの取付け

※図は折戸用です。引戸、クリアウォール、カスタムウォールの場合も同様です。
※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

（1）外面仕上げについて



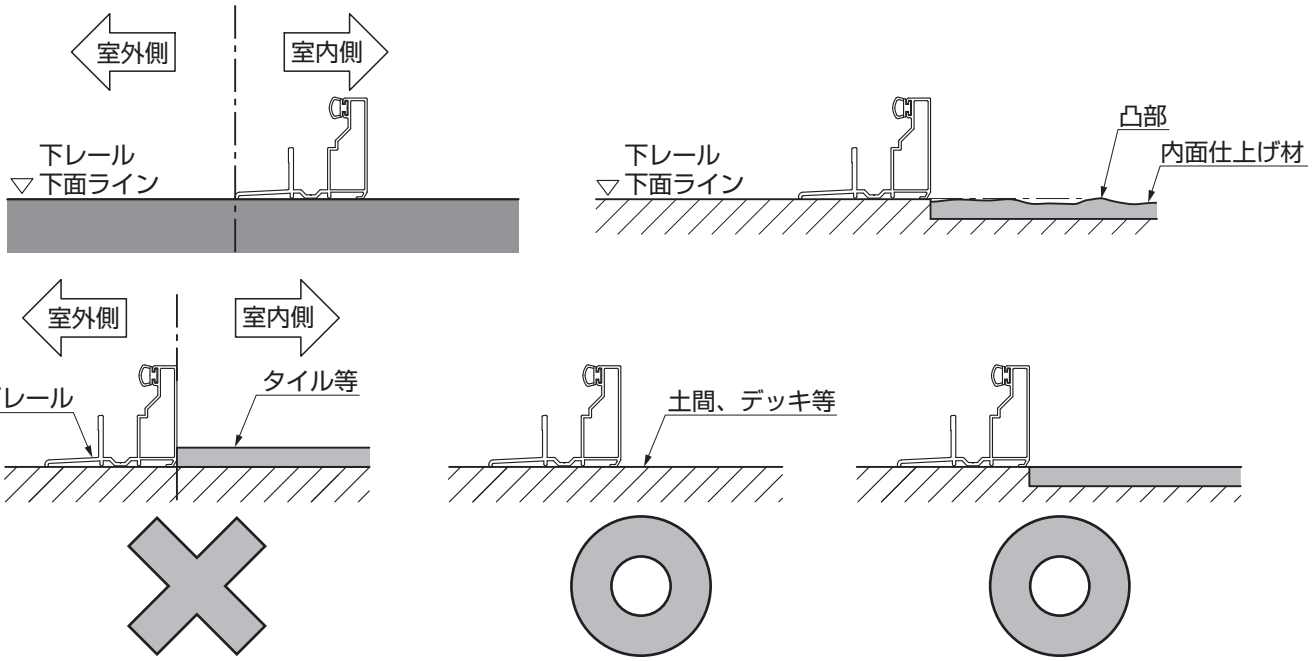
①室外側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- ●タイル等は　　の範囲に必ず納めてください。
- ●室外側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、下レールにたまった水やゴミをコーナー部から掃き出せなく場合があります。
- ●凸凹の大きなタイルなどで室外側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くならないように仕上げてください。

（2）フラット施工の内面仕上げについて

：土間（タイル等含む）
デッキの仕上げ範囲



①室内側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

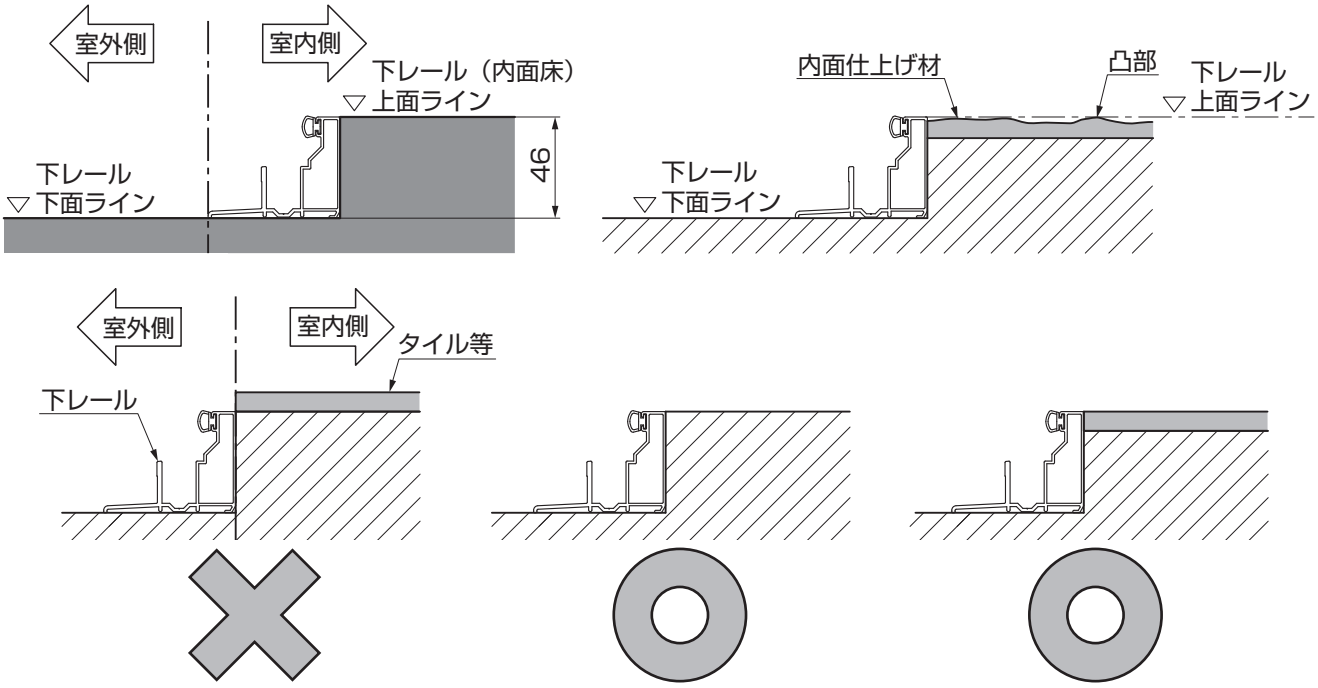
- ●タイル等は　　の範囲に必ず納めてください。
- ●室内側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、オプションの網戸を取付けた場合、網戸が作動しにくくなったり、破損するおそれがあります。
- ●凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くならないように仕上げてください。

1.（つづき）

1-7 つづき

（3）内面立上げ施工の内面仕上げについて

：土間（タイル等含む）デッキの仕上げ範囲



①室内側を下レール上面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- ●タイル等は の範囲に必ず納めてください。
- ●室内側の仕上げを下レール上面（内面外高さ）より高くしてしまうと、オプションの網戸を取付けた場合、網戸が作動しにくくなったり、破損するおそれがあります。
- ●凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール上面より高くならないように仕上げてください。

メモ

1-8 土間仕上り寸法 ※ガーデンルームタイプの場合の作業です

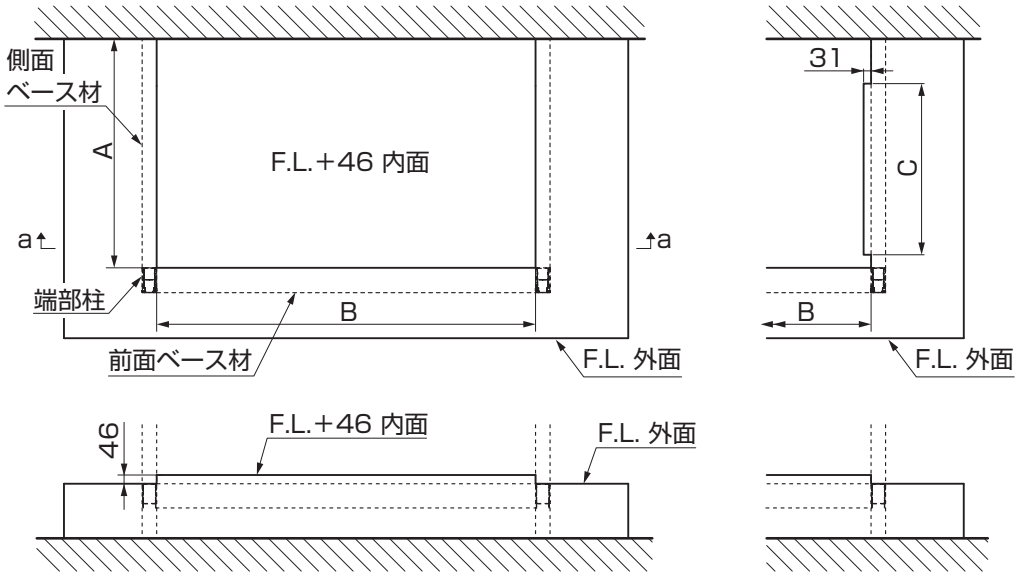


図1-1
引戸の場合

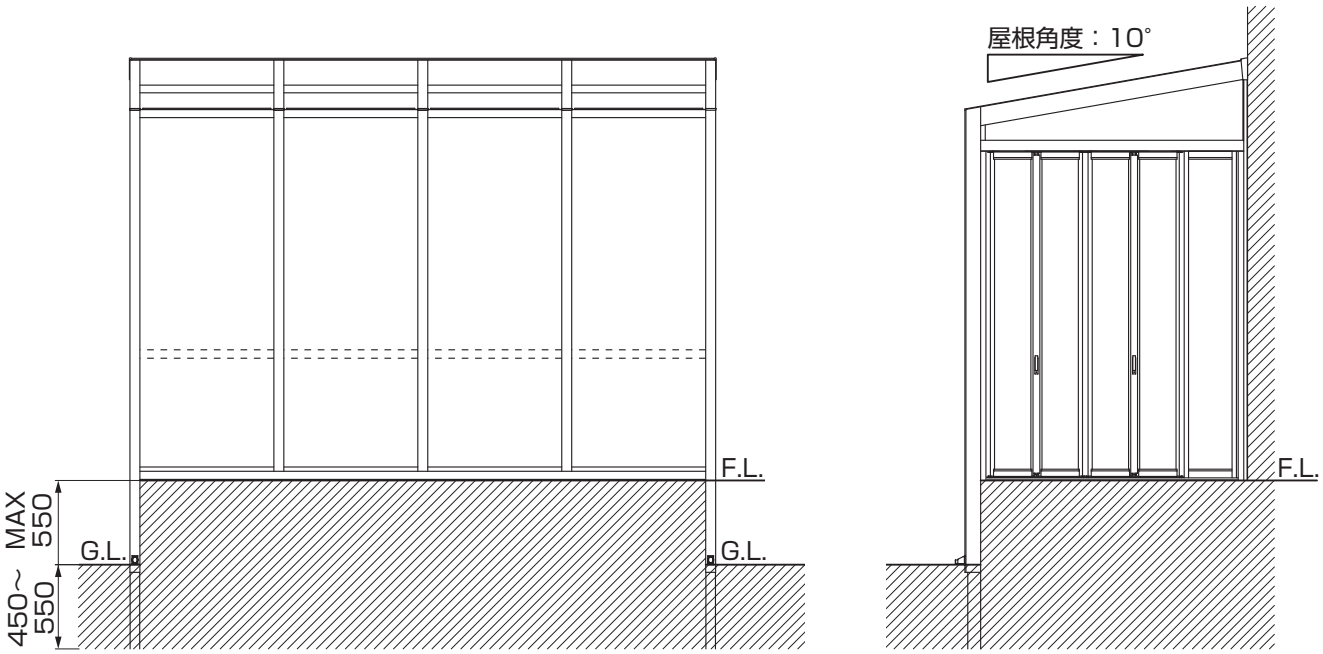
	A
4尺	1205
6尺	1805
8尺	2405
10尺	3005

	B		B		B		B
1.0間	1760	2.5間	4490	4.0間	7220	5.5間	9950
1.5間	2670	3.0間	5400	4.5間	8130	6.0間	10860
2.0間	3580	3.5間	6310	5.0間	9040		

	C
4尺	–
6尺	1427
8尺	1777
10尺	1777

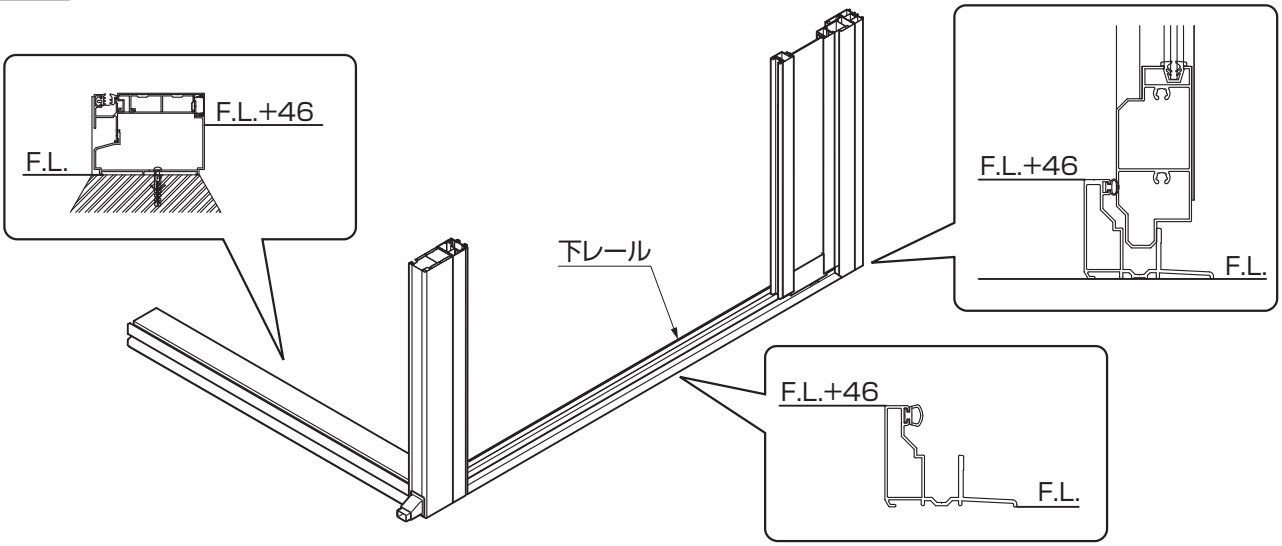
※表のB寸法は折戸の場合（土間見切り材：片側12mmを含む）です。
引戸の場合は片側面あたり31mmを上記B寸法より引いてください。

1-9 代表的な施工例について　デッキ施工・土間施工　外面床なし仕様（インナーデッキ仕様など）

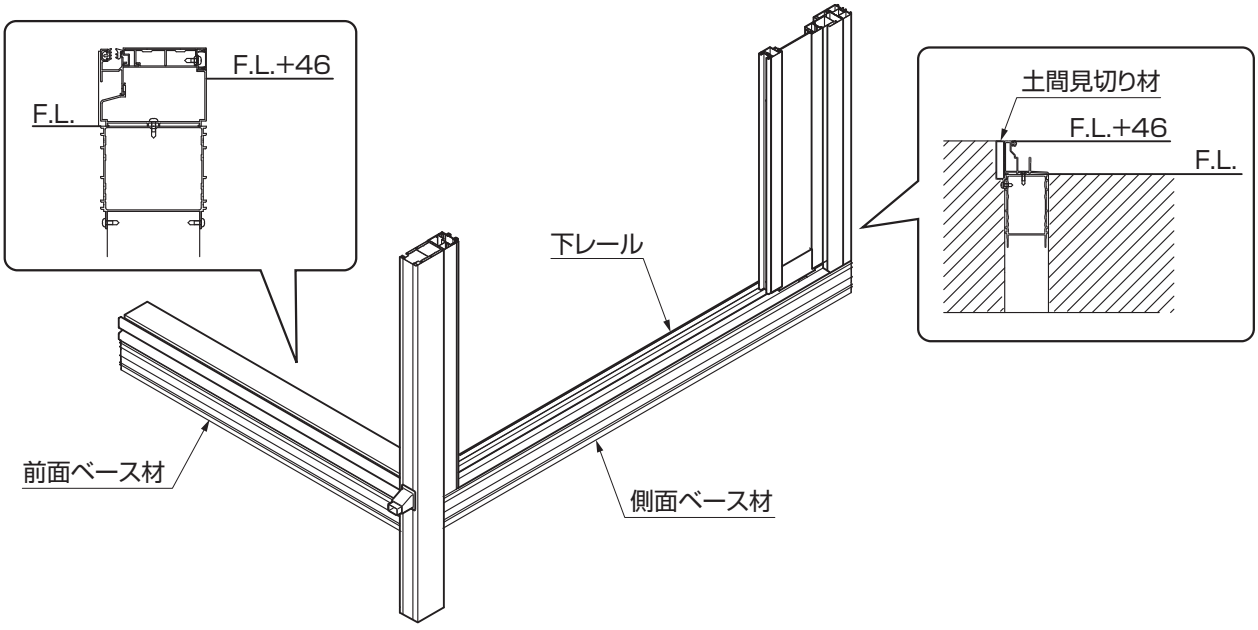


1.（つづき）

1-10 基本納まりの場合 ※ベース材を使用しない場合



1-11 ベース仕様の場合 ※ベース材を使用する場合



1-12 オプションを取付ける場合

ポイント

●ココマⅡ本体と合わせてオプション品を取付ける場合、本体のカバー材などを取付ける前にオプション品を取付けた方が良い場合があります。
本取付説明書において、オプション品取付けに影響するページを右表に挙げていますので、該当するオプションの取付説明書も併せて確認し、取付けてください。

対象オプション	本取付説明書内に影響する手順	
	ページ	手 順
E377　ロールスクリーン	P.89	13. 垂木フタの取付け
E376　ローマンシェード	P.89	13. 垂木フタの取付け
E269　内部日除け	P.90	14. 垂木掛けカバーの取付け

2. 開口部の施工について

2-1 開口部の調整

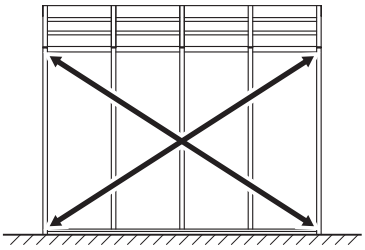


図2-1　対角の調整

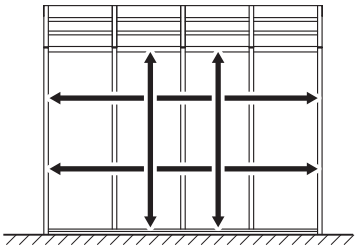


図2-2　W・H寸法の調整

ポイント

●開口部の対角およびW・H寸法がでていないと開口部材が取付けられなくなるおそれがありますので、調整してください。

2-2 シーリング処理

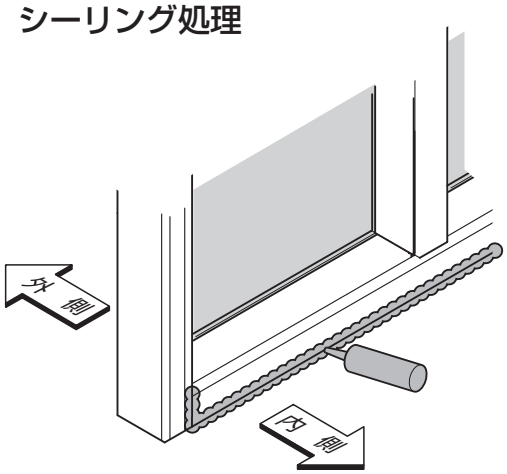


表2-1　シーリング箇所

ページ	タイトル
P.96	妻梁上部FIXの取付け
P.104	前面FIXパネルの取付け
P.109	上下FIXパネルの取付け
P.113	上げ下げ窓の取付け
P.119	可動ルーバーの取付け

ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。

2-3 FIXパネルの取付け

ポリカパネル種類		耐候面	取付け向きの指定
前面FIXパネル	クリア	両面耐候	−
	クールマット	両面耐候	マット面を内側
妻梁上部FIXパネル	クリア	片面耐候	ラベル面を外側
	クリアマット	片面耐候	マット面を内側
	熱線吸収	片面耐候	ラベル面を外側
	熱線吸収アクア	片面耐候	ラベル面を外側

ポイント

●一部FIXパネルには耐候面（裏表）があります。パネル表側のラベルを確認の上、取付け間違いのないように注意してください。

●マット調のパネルはマット面（ザラザラした面）が室内側になるように取付けてください。

2.（つづき）

2-4 ガラスパネルの取扱い

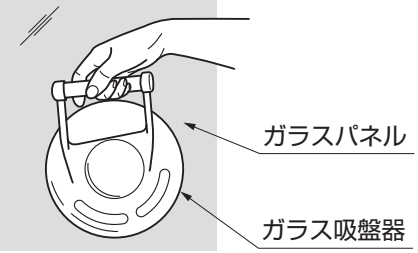


図2-3

ポイント

- ●強化ガラス、現場入れガラスを取付けるときには、市販のガラス吸盤器を使用してください。また、ポリカーボネートの前面FIXパネル、前面FIXパネル上段についても養生シートは、はがさずにガラス吸盤器を使用すると取付けが容易になります。
- ●強化ガラス、現場入れガラス取付けの際にガラスの端部とアルミ形材がこすれたり、引っ掛けたりしないように、養生テープでアルミ形材を保護してください。
- ●ガラスとアルミが直接触れないように、本説明書の指示の通り、同梱のセッティングブロック、セッティング シートは、必ず使用してください。
- ●強化ガラス、現場入れガラス等、大判のガラス取付け作業の際は、二人作業を推奨します。
- ●強化ガラス、現場入れガラス等は、入れ込み箇所のすぐそばで作業の直前に開梱してください。
- ●ガラスの角をぶつけると、割れ等の破損のおそれがありますので特に注意してください。

2-5 後付けビード材の取付け

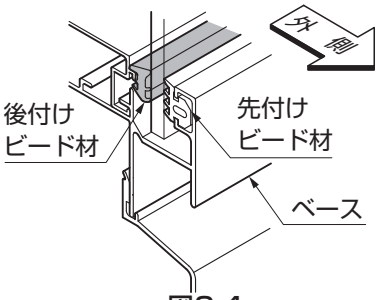


図2-4

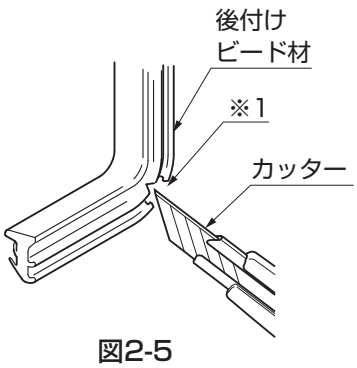


図2-5

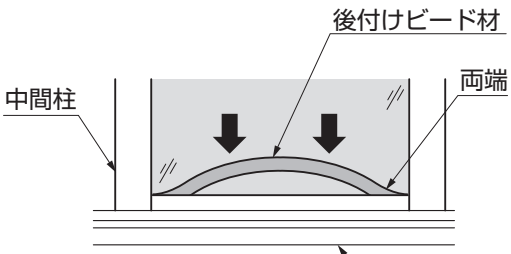


図2-6

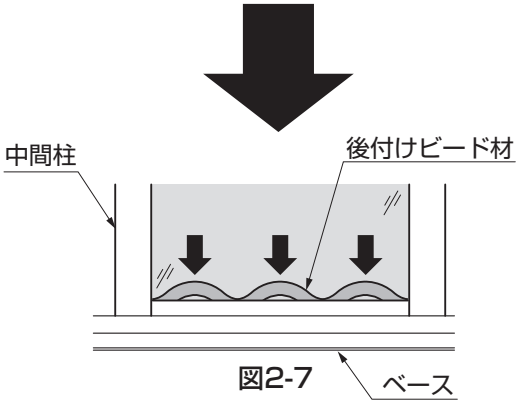


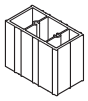
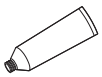
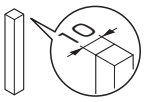
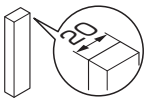
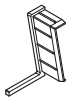
図2-7

ポイント

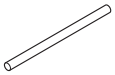
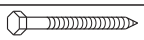
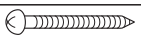
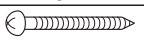
- ●後付けビード材には取付ける向きがあります。（図2-4参照）
- ●後付けビード材を折曲げる箇所（※1）にカッター等で切欠きを入れてください。（図2-5参照）
- ●後付けビード材を取付ける際は、図2-6のように取付ける面の中心部分をたるませた状態で、両端部分および中間の1～2箇所を先に押込み、図2-7のようにたるみ部分の中心から広げるように押込んでいきます。
- ●後付けビード材は、薄めた中性洗剤で濡らすとはめ込みやすくなります。

4 梱包明細表

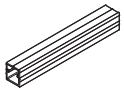
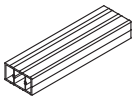
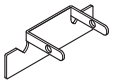
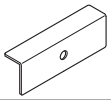
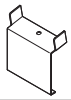
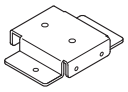
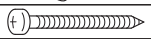
【1】部品箱セット（基本-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）

名　　称	略　図	員　数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
柱スリーブ台座		1	2	3	4	5
シリコンスプレー		1	1	1	1	1
接着剤		1	1	1	1	1
セッティングブロック（H10）		10	15	20	25	30
セッティングブロック（H20）		–	3	6	9	12
セッティングブロック（H2）		6	6	6	6	6
ベース受け取付金具		4	4	4	4	4
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップL		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップR		1	1	1	1	1

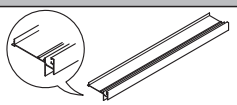
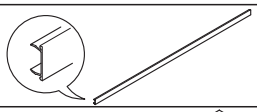
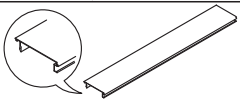
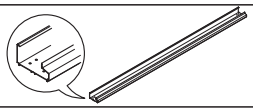
【1】部品箱セット（基本-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）つづき

名　　称	略　図	員　数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
垂木取付金具		6	8	10	12	14
柱キャップ		3	4	5	6	7
柱取付金具		4	6	8	10	12
アンカー棒		2	2	2	2	2
MDペンダントライト電気工事説明書<R011>	―	1	1	1	1	1
ココマⅡ取扱説明書<UE091>	―	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧 ココマⅡ 基本タイプ編<E390>	―	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧 ココマⅡ 開口編<E393>	―	1	1	1	1	1
ココマⅡ デッキ編（樹ら楽ステージ） 取付説明書<E373>	―	1	1	1	1	1
ココマⅡ 基本タイプ ガーデンルーム・サイドスルー 取付説明書<E412>	―	1	1	1	1	1
ココマⅡ 側面 開口部 取付説明書<E418>	―	1	1	1	1	1
【1-1】M6平座金		20	23	25	27	29
【1-2】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		80	115	152	189	224
【1-3】30 フィッシャープラグ S6		5	7	9	11	13
【1-4】φ6×70六角コーチスクリュー		19	21	23	25	27
【1-5】φ4.1×63丸木ネジ		5	7	9	11	13
【1-6】φ4×19ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9	11	13
【1-7】φ4×30ナベタッピンネジ1種		5	7	9	11	13
【1-8】φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 （PW+ゴムパッキン付き）		59	79	99	118	138
【1-9】φ4×12トラスタッピンネジ1種 D=8		2	2	2	2	2
【1-10】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		30	34	39	43	47
【1-11】φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		28	41	55	67	80
【1-12】φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		2	4	6	8	10
【1-13】φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2

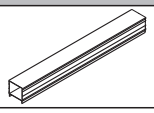
【2】部品箱セット（積雪タイプ3000-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）

名　　称	略　図	員　数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
サブ垂木化粧材端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木カバー端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木取付金具		4	6	8	10	12
垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）		2	3	4	5	6
柱スリーブベース金具		3	4	5	6	7
【2-1】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		52	78	104	132	158
【2-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		20	30	40	50	60
【2-3】φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 (PW+ゴムパッキン付き)		33	49	66	82	99
【2-4】φ4×8トラスタッピンネジ3種		2	3	4	5	6
【2-5】φ5×75ナベタッピンネジ1種		5	7	9	11	13
【2-6】φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		8	13	17	22	26
【2-7】φ5×50ナベタッピンネジ1種		6	8	10	12	14

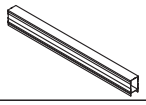
【3】前面ベース材セット（基本-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）

名　　称	略　図	員　数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
前面ベース		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		1	1	1	1	1
ベース材カバー		2	3	4	5	6
前面ベース受け		1	1	1	1	1

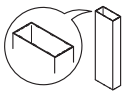
【4】前面デッキベース材セット

名　　称	略　図	員　数
前面ベース材		1
ベース材固定金具		2
【4-1】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		4

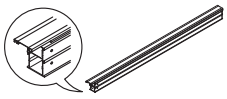
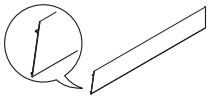
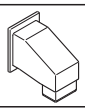
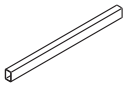
【5】側面デッキベース材セット（基本タイプ用）

名　　称	略　図	員　数
側面ベース材		1

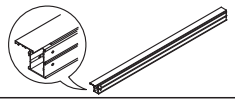
【6】ベース材束柱セット

名　　称	略　図	員　数	
		1本入	3本入
ベース材束柱		1	3
束柱固定金具		2	6
【6-1】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		6	18
【6-2】φ5×35セルフタップアンカー		3	8

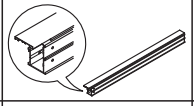
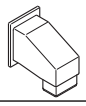
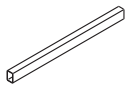
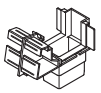
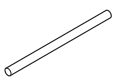
【7】端部柱セット（オープンテラスタイプ 標準・ロング 基本（H20・22・24）タイプ用）

名　　称	略　図	員　数
端部柱		左右各1
端部柱端部カバー		左右各1
雨樋受け取付部品		2
雨樋受け部品（下排水用）		2
雨樋受け部品（前排水用）		2
角横エルボ		2
角樋		2

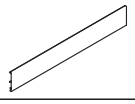
【8】中間柱セット（オープンテラスタイプ 標準・ロング 基本（H20・22・24）タイプ用）

名　　称	略　図	員　数	
		1本入	3本入
中間柱		1	3

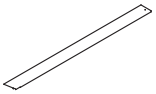
【9】連棟柱セット（オープンテラスタイプ 標準・ロング 基本（H20・22・24）タイプ用）

名　　称	略　図	員　数
連棟柱		1
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品（下排水用）		1
雨樋受け部品（前排水用）		1
角横エルボ		1
角樋		1
柱キャップ		1
柱取付金具		2
連結用桁キャップ		1
アンカー棒		1
【9-1】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2
【9-2】φ5×12トラスタッピンネジ3種		6
【9-3】φ5×8トラスタッピンネジ3種		2

【10】桁カバー枠セット

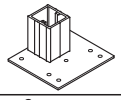
名　　称	略　図	員　数
桁カバー枠		1

【11】前面テラス縦枠セット（基本タイプ用）

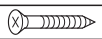
名　　称	略　図	員　数
柱カバー		左右各1

E412_201602B

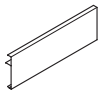
【12】端部柱外固定ベースセット

名　　称	略　図	員 数
端部柱外固定ベース		1
【12-1】φ5×35セルフタップアンカー		6
【12-2】φ4.5×63丸木ネジ		6
【12-3】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2

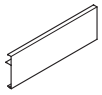
【13】端部柱内固定ベースセット

名　　称	略　図	員 数
端部柱内固定ベース		1
【13-1】φ5×35セルフタップアンカー		6
【13-2】φ4.5×63丸木ネジ		6
【13-3】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2

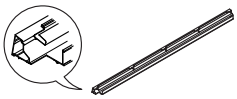
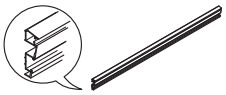
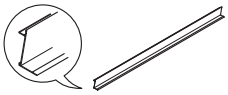
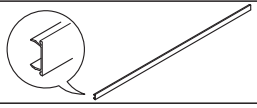
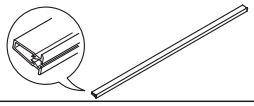
【14】垂木掛けカバーセット

名　　称	略　図	員　数	
		2本入	3本入
垂木掛けカバー		2	3

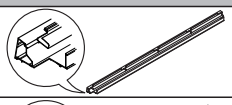
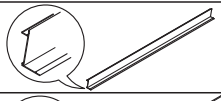
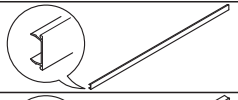
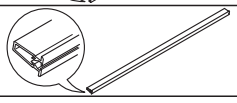
【15】垂木掛けカバーセット（3000タイプ）

名　　称	略　図	員　数	
		4本入	6本入
垂木掛けカバー		4	6

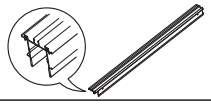
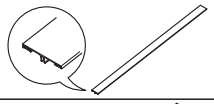
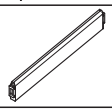
【16】桁垂木掛けセット

名　　称	略　図	員　数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け（上用）		1	1	1	1	1
垂木掛け（下用）		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		2	3	4	5	6

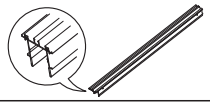
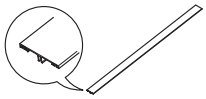
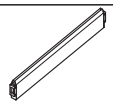
【17】桁垂木掛けセット（3000タイプ）

名　　称	略　図	員　数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け（上用）		1	1	1	1	1
垂木掛け（下用）		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		4	6	8	10	12

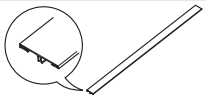
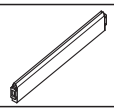
【18】妻垂木セット

名　　称	略　図	員　数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
中骨		ー	1	1	2
雪下ろし指示シール		1	1	1	1

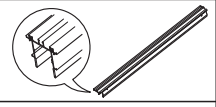
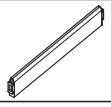
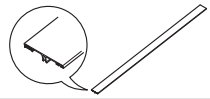
【19】垂木セット

名　　称	略　図	員　数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	1	3	3	3	3
中骨		ー	1	1	2	ー	3	3	6

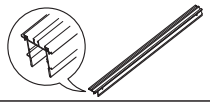
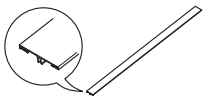
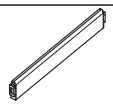
【20】サブ垂木セット

名　　称	略　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1
サブ垂木化粧材		1	1	1
中骨		1	2	3
垂木フタ		4	6	8

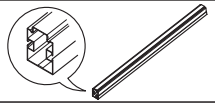
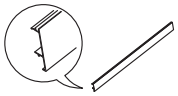
【21】積雪用妻垂木セット（1500タイプ・3000タイプ）

名　　称	略　図	員　数			名　　称	略　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺			4尺	6尺	8尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1	中骨		1	2	3
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1	雪下ろし指示シール		1	1	1

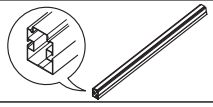
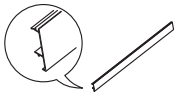
【22】積雪用垂木セット（1500タイプ・3000タイプ）

名　　称	略　図	員　数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	3	3	3
中骨		1	2	3	3	6	9

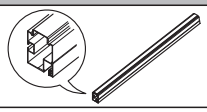
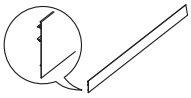
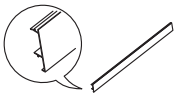
【23】垂木化粧材セット（600タイプ）

名　　称	略　図	員　数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木化粧材		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木フタ		2	4	4	6	6	12	12	18
垂木化粧材キャップ		1	1	1	1	3	3	3	3

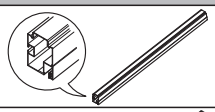
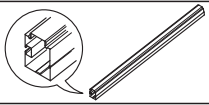
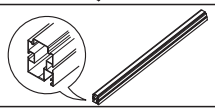
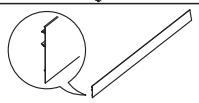
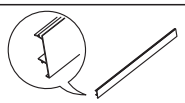
【24】垂木化粧材セット（1500タイプ・3000タイプ）

名　　称	略　図	員　数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木化粧材		1	1	1	3	3	3
垂木フタ		4	6	8	12	18	24
垂木化粧材キャップ		1	1	1	3	3	3

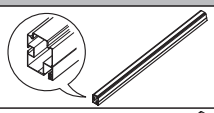
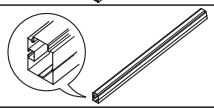
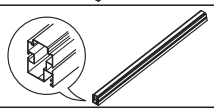
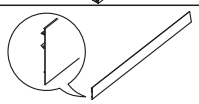
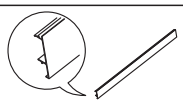
【25】妻垂木化粧材セット

名　　称	略　図	員　数						
		600タイプ				1500・3000タイプ		
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		2	4	4	6	4	6	8

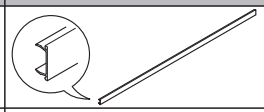
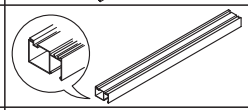
【26】妻垂木化粧材セット（600プラスタイプ用）（右入または左入）

名　　称	略　図	員　数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木化粧材		1 右または左	1 右または左	1 右または左	1 右または左
妻垂木化粧材（テラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木化粧材（プラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		4	8	8	12

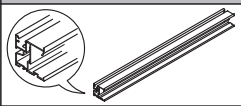
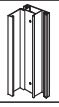
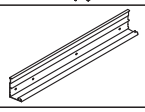
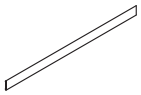
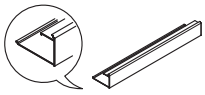
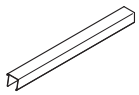
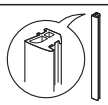
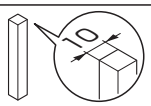
【27】妻垂木化粧材セット（1500・3000-プラスタイプ用）（右入または左入）

名　　称	略　図	員　数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		1 右または左	1 右または左	1 右または左
妻垂木化粧材（テラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木化粧材（プラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		8	12	16

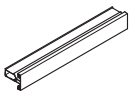
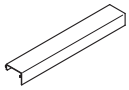
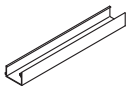
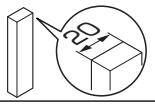
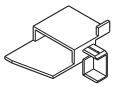
【28】妻梁フタセット

名　　称	略　図	員　数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
ネジ隠しフタ		1	1	1	1
妻梁下フタ		1	1	1	1
【28-1】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		5	6	7	8

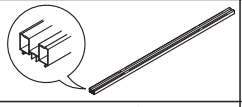
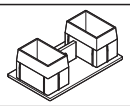
【29】妻梁セット（右用または左用）

名　　称	略　図	員　数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻梁		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立		−	−	−	1
妻梁上部FIX枠（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠（桁側）		1	1	1	1
妻梁カバー		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立カバー		−	−	−	1
妻梁上部FIX枠押縁（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠押縁（桁側）		1	1	1	1
後付けビード材		1	1	1	2
妻梁取付金具		2	2	2	2
妻梁上部FIX取付金具		−	−	−	2
セッティングブロック（H10）		4	4	4	4
【29-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8
【29-2】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		5	6	7	17

【30】前面FIXパネル中桟セット

名　　称	略　図	員　数
中桟		1
中桟カバー上		1
中桟カバー下		1
セッティングブロック（H10）		2
セッティングブロック（H20）		2
中桟取付金具		2
セッティングブロック（H2）		1
中桟端部部品		左右各1
中桟コーキングシーラー		左右各1
【30-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		8

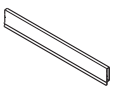
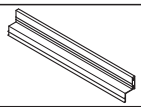
【31】躯体方立セット

名　　称	略　図	員　数
躯体方立		1
躯体方立キャップ		1
【31-1】φ4×12トラス タッピンネジ3種　D=8		1

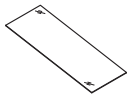
【32】土間見切り材セット

名　称	略　図	員　数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
土間見切り材		1	1	1	1
【32-1】φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9	12

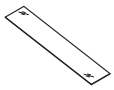
【33】引戸用土間見切り材セット

名　　称	略　図	員　数		
		6尺	8尺	10尺
土間見切り材　躯体側		1	1	1
土間見切り材　柱側		1	1	1
土間見切り材（引戸用）		1	1	1
土間見切り材小口キャップ（引戸用）		2	2	2
【33-1】φ4×25ナベ タッピンネジ2種　D=7		5	5	5
【33-2】φ4×16 ナベドリルネジ　D=8.2		11	14	16

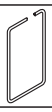
【34】屋根材セット

名　　称	略　図	員　数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

【35】屋根材セット（3000）

名　　称	略　図	員　数	
		4枚入	6枚入
屋根材積雪用		4	6

【36】前面FIXパネル縦枠セット（基本用）

名　　称	略　図	員 数
柱カバー		2
後付けビード材		1

【37】前面FIXパネルセット

名　　称	略　図	員　数
前面FIXパネル		1

【38】前面FIXパネル上段セット（ポリカーボネート板）

名　　称	略　図	員　数
前面FIXパネル　上段		1

【39】前面FIXパネル上段セット（ガラス板）

名　　称	略　図	員　数
前面FIXパネル　上段		1

【40】前面FIXパネル下段セット（ガラス板）

名　　称	略　図	員 数
前面FIXガラス　下段		1

【41】前面FIXパネル下段セット（ポリカーボネート板）

名　　称	略　図	員 数
前面FIXパネル　下段		1

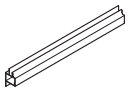
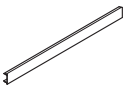
【42】妻梁上部FIXパネル（右用または左用）

名　　称	略　図	員　数
妻梁上部FIXパネル		1

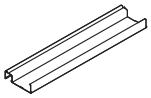
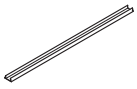
【43】前面FIXパネル縦枠セット（中桟用）

名　　称	略　図	員 数
柱カバー（分割・外側用）下段		2
柱カバー（分割・外側用）上段		2
柱カバー（分割・内側用）		2
後付けビード材（下段用）		1
後付けビード材（上段用）		1

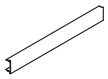
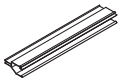
【44】前面パネル可動ルーバー下段セット

名　　称	略　図	員 数
可動ルーバー		1
可動ルーバー網戸		1
受け材（左右用）		2
受け材（上用）		1
ネジ隠しフタ		1
【44-1】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		9
【44-2】φ3×6 バインドタッピンネジ		2

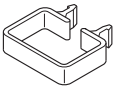
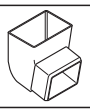
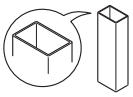
【45】前面横枠セット（サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）

名　　称	略　図	員 数
パネル上枠		1
ネジ隠しフタ		1

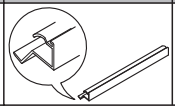
【46】前面上げ下げ窓セット

名　　称	略　図	員数
上げ下げ窓		1
ネジ隠しフタ		1
上げ下げ窓上枠カバー		1
正面開口受け縦枠		2
【46-1】φ4×40サラドリルネジ D=8		8
【46-2】φ4×35ナベドリルネジ		3

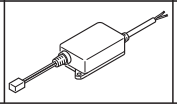
【47】角樋セット

名　　称	略　図	員　数
サドル		2
サドル受け		2
角エルボ		1
角樋		1

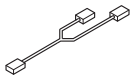
【48】妻垂木化粧材溝カバーセット　オプション

名　　称	略　図	員　数
妻垂木化粧材溝カバー		1

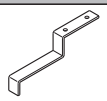
【49】ACアダプターセット　オプション

名　　称	略　図	員　数
ACアダプター		1

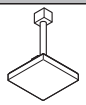
【50】渡り配線セット　オプション

名　　称	略　図	員　数
渡り配線ケーブル		1

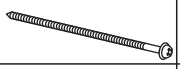
【51】ACアダプター固定部品セット　オプション

名　　称	略　図	員　数
ACアダプター固定部品		1
【51-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		2

【52】LEDスクエアライトセット　オプション

名　　称	略　図	員　数
LED照明		1

【53】トランス電源ユニット35W 屋外用　オプション

名　　称	略　図	員数
トランス電源ユニット35W（屋外用）本体		1
【53-1】φ4×50十字穴付 フランジ付タッピンネジ		2（※）
【53-2】フィッシャープラグ 呼び径30		2（※）
【53-3】スペーサー		1（※）
【53-4】結束バンド		2（※）
取付説明書<Z546>	―	1
取扱説明書<UZ278>	―	1

※トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

メモページ

5 基本寸法

1. ガーデンルームタイプ GR

1-1 単体仕様

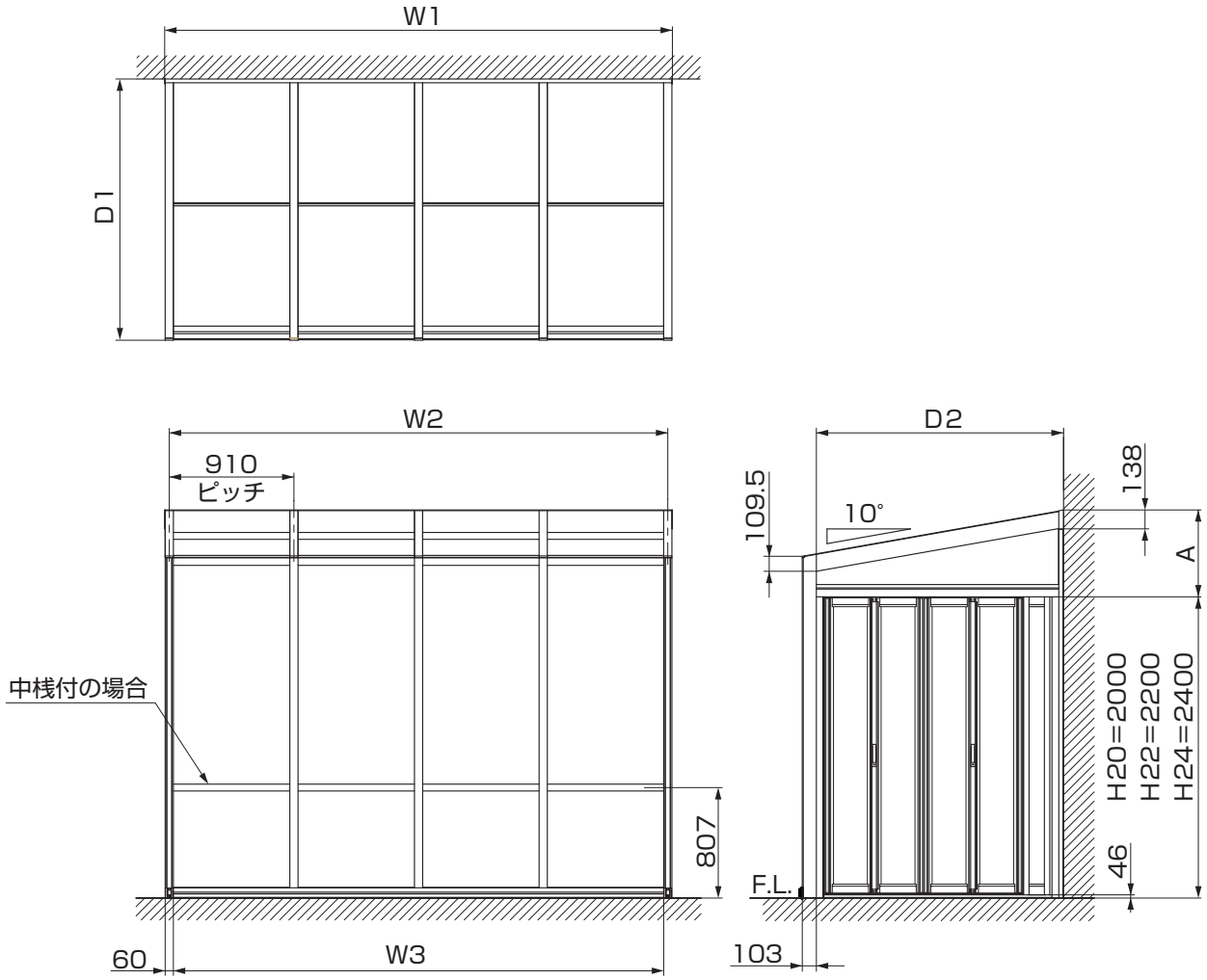


表1-1　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2	
1.5間	2797	2730	2670	3	
2.0間	3707	3640	3580	4	
2.5間	4617	4550	4490	5	
3.0間	5527	5460	5400	6	

表1-2　出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	A
4尺	1308	1205	529
6尺	1908	1805	635
8尺	2508	2405	741
10尺	3108	3005	846

1-2 連棟仕様

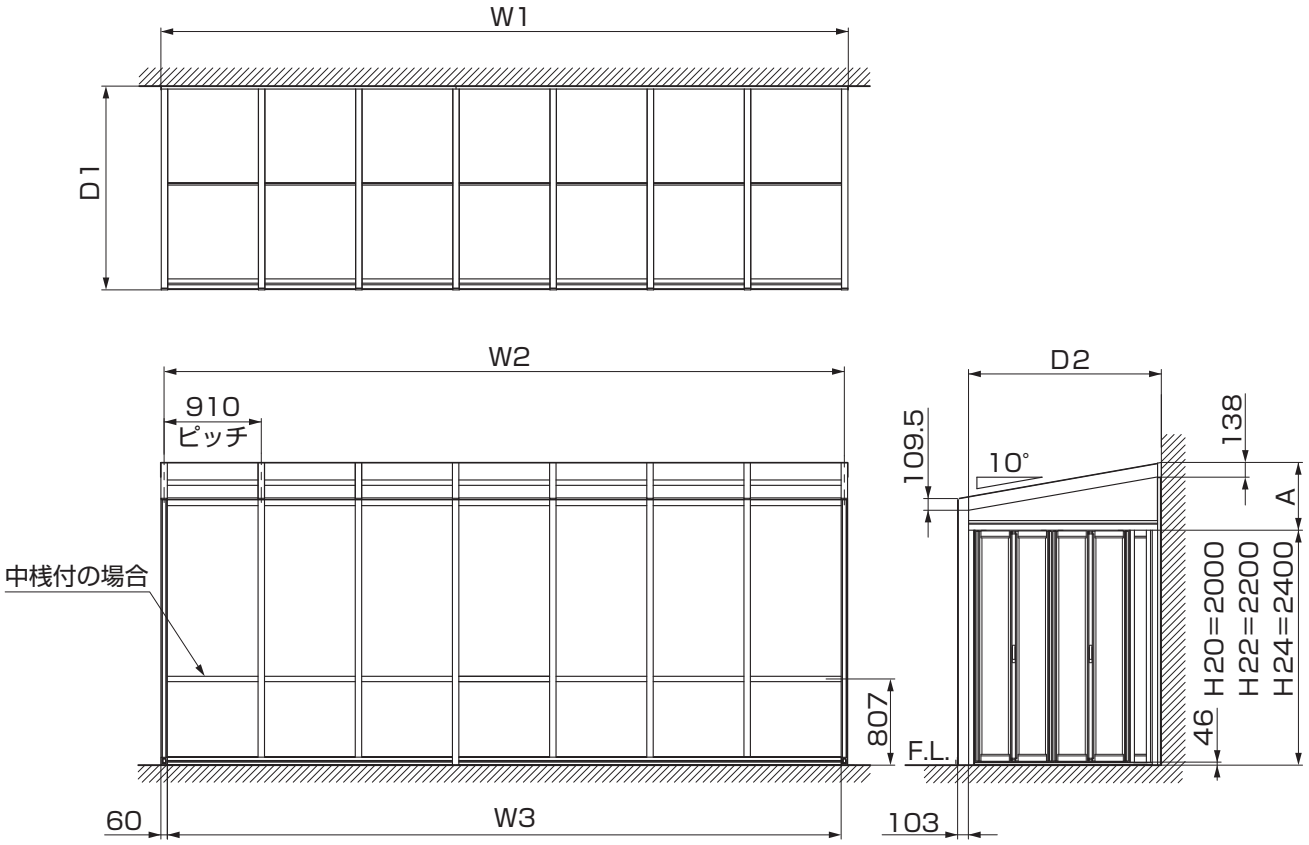


表1-3　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	7	
4.0間	7347	7280	7220	8	
4.5間	8257	8190	8130	9	
5.0間	9167	9100	9040	10	
5.5間	10077	10010	9950	11	
6.0間	10987	10920	10860	12	

表1-4　出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	A
4尺	1308	1205	529
6尺	1908	1805	635
8尺	2508	2405	741
10尺	3108	3005	846

2. サイドスルータイプ ST

2-1 単体仕様

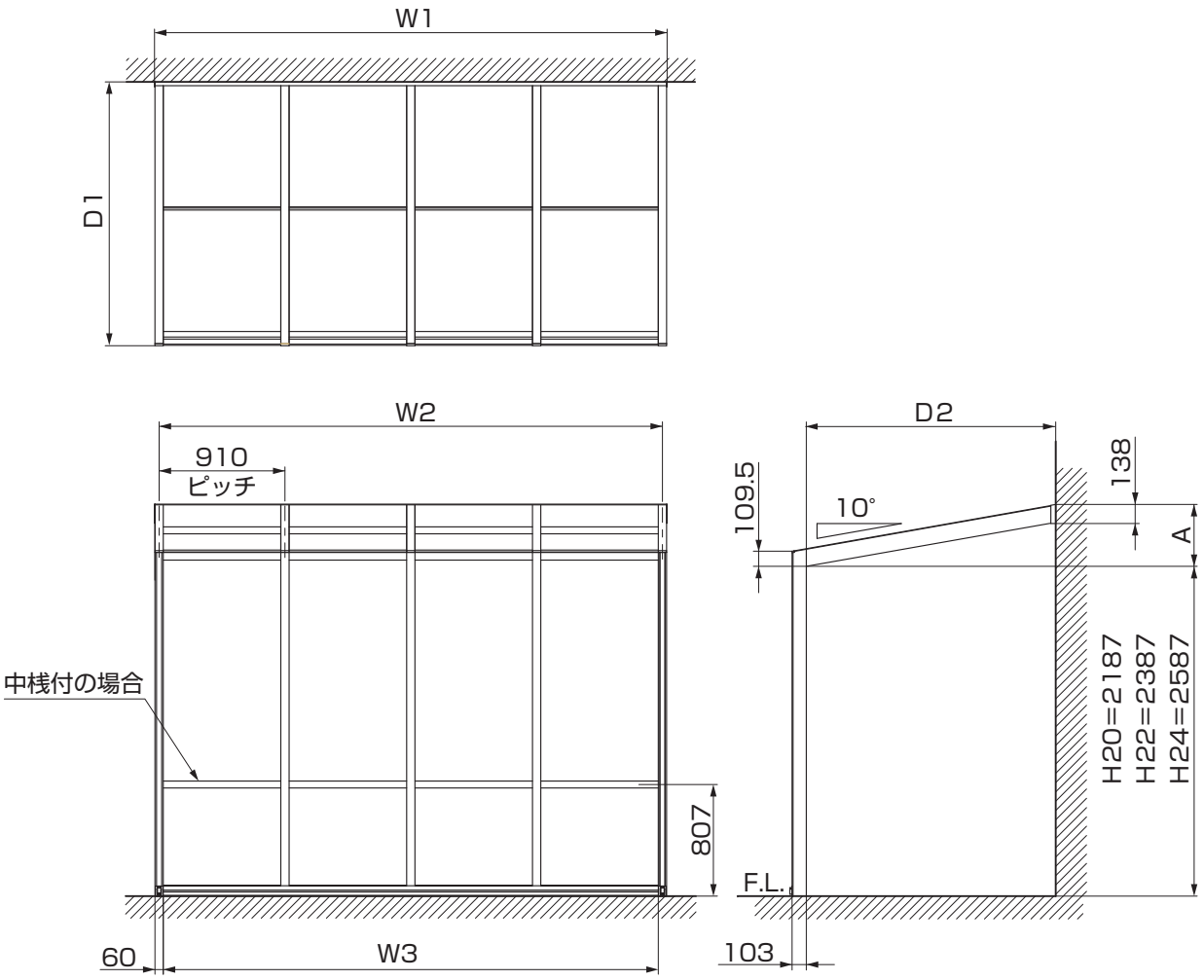


表2-1　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2	
1.5間	2797	2730	2670	3	
2.0間	3707	3640	3580	4	
2.5間	4617	4550	4490	5	
3.0間	5527	5460	5400	6	

表2-2　出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	A
4尺	1308	1205	342
6尺	1908	1805	448
8尺	2508	2405	554
10尺	3108	3005	659

2-2 連棟仕様

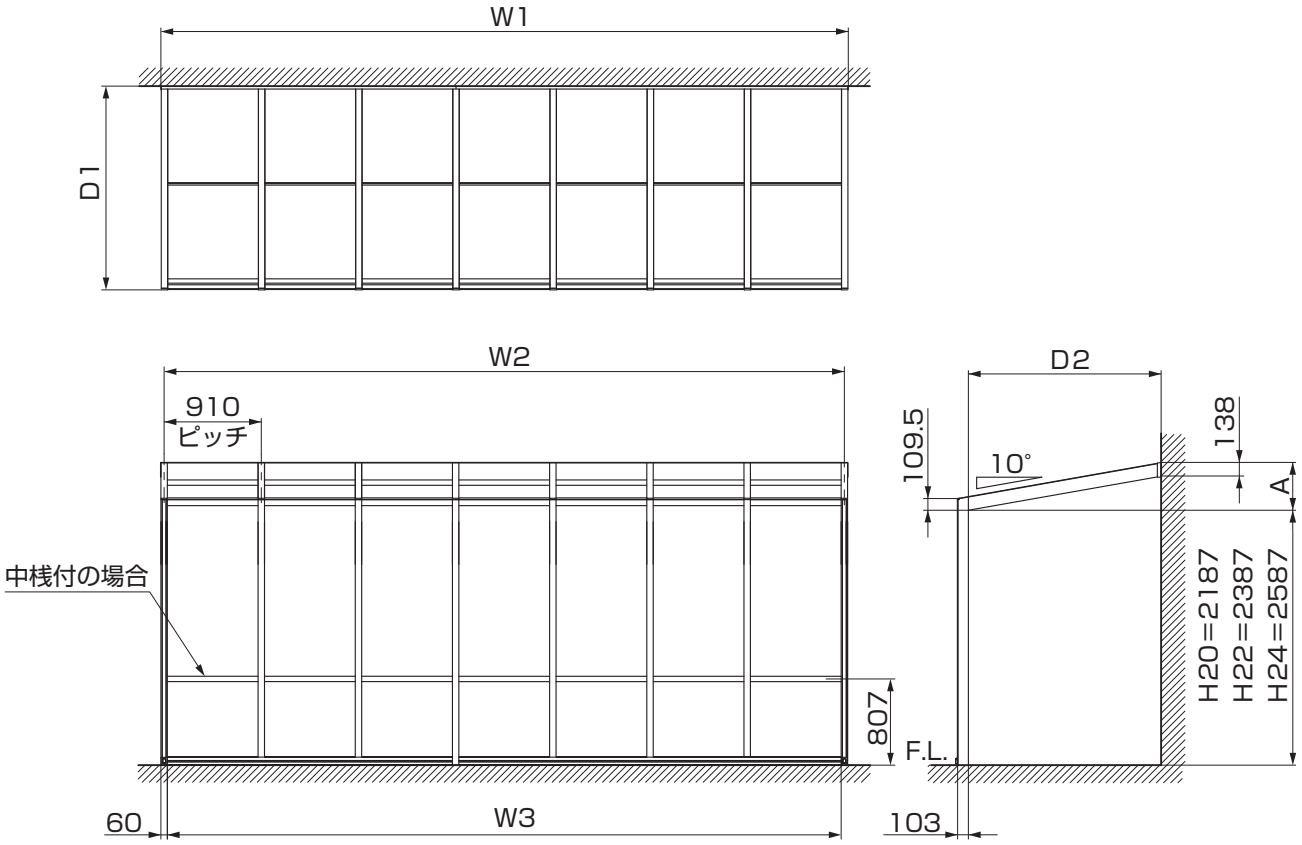


表2-3　間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	7	
4.0間	7347	7280	7220	8	
4.5間	8257	8190	8130	9	
5.0間	9167	9100	9040	10	
5.5間	10077	10010	9950	11	
6.0間	10987	10920	10860	12	

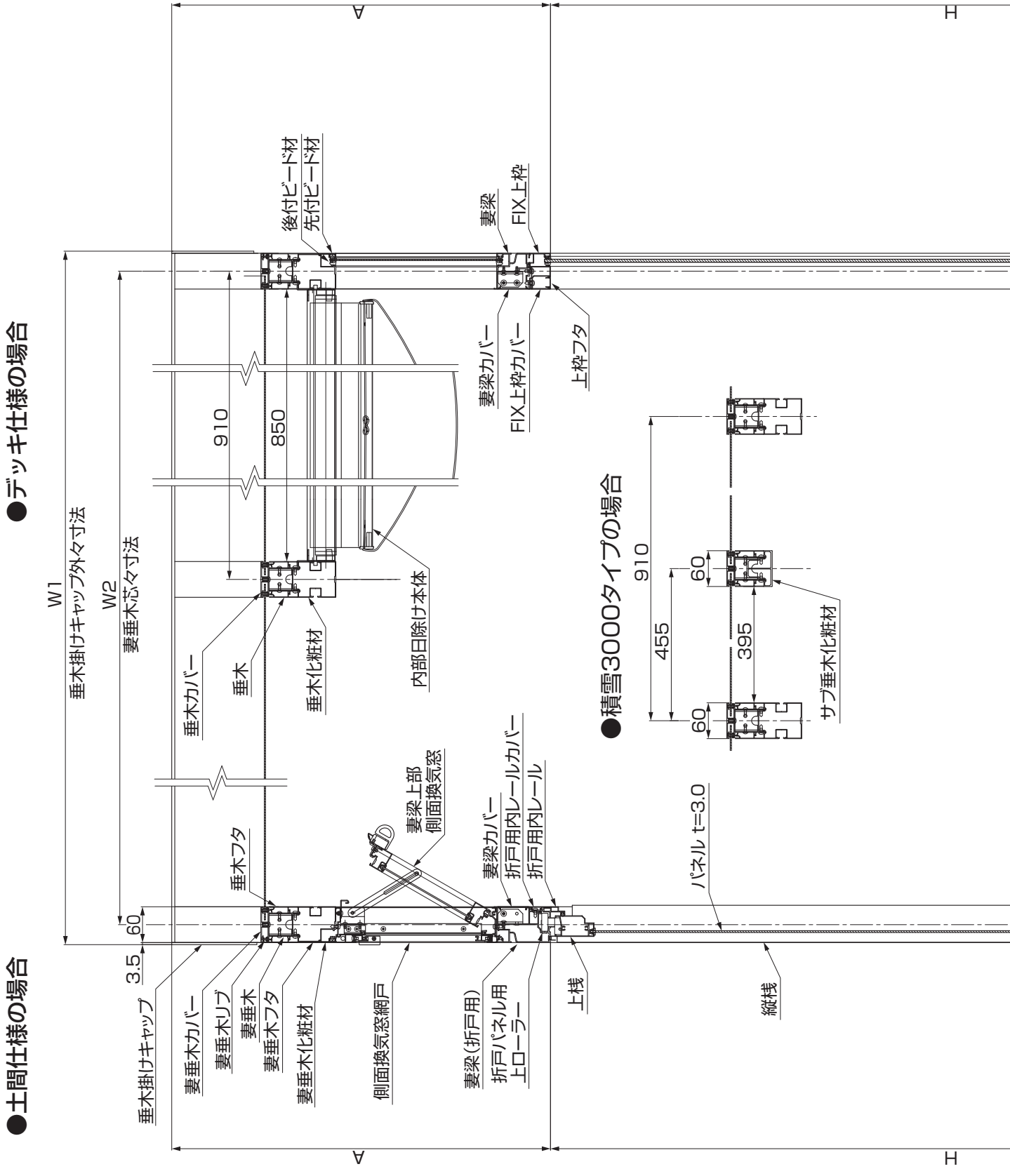
表2-4　出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	A
4尺	1308	1205	342
6尺	1908	1805	448
8尺	2508	2405	554
10尺	3108	3005	659

6 断面納まり図

1. ガーデンルームタイプ

1-1 間口断面納まり図



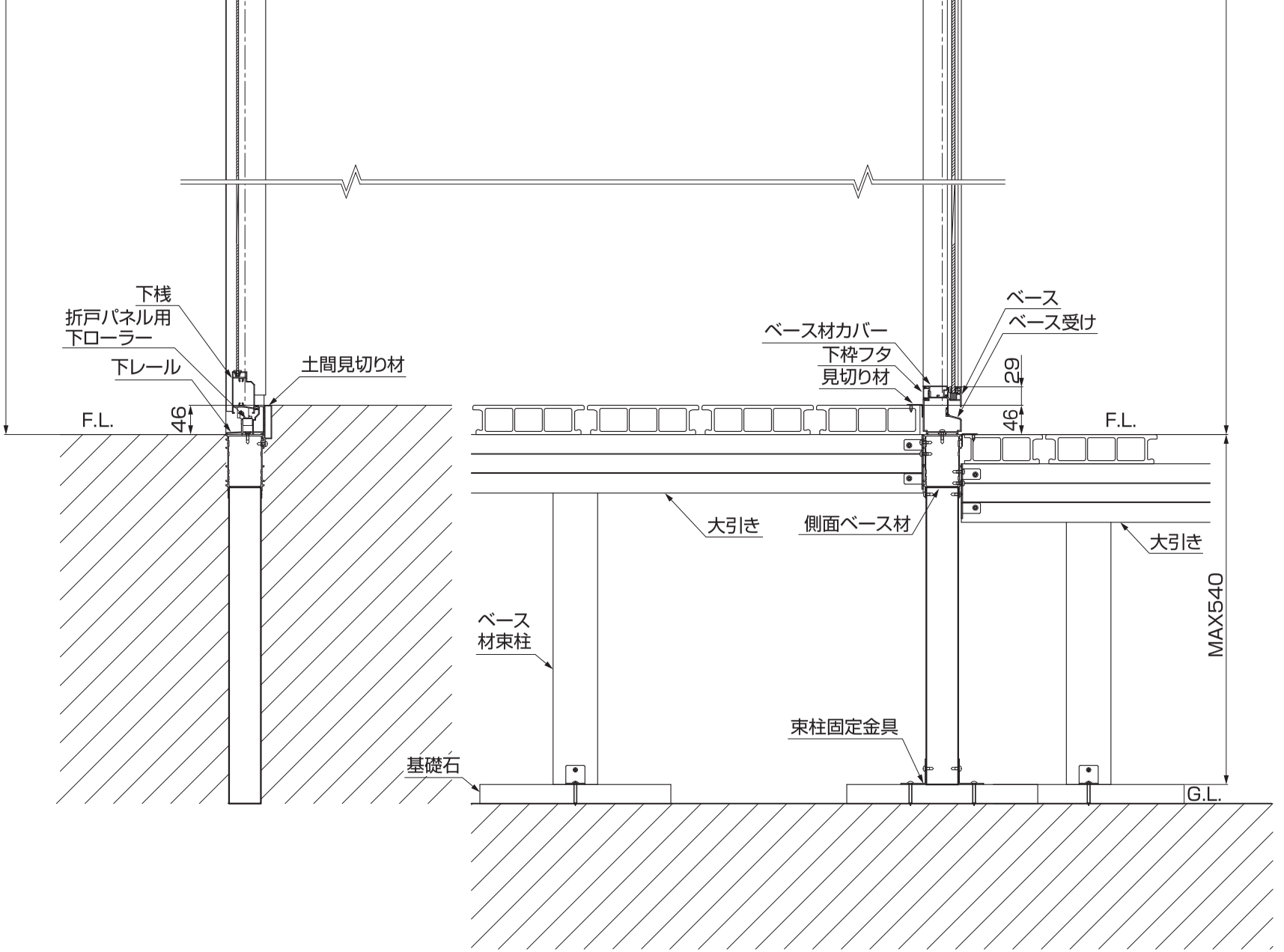


表1-1

高さ呼称	H
H20	2000
H22	2200
H24	2400

表1-2

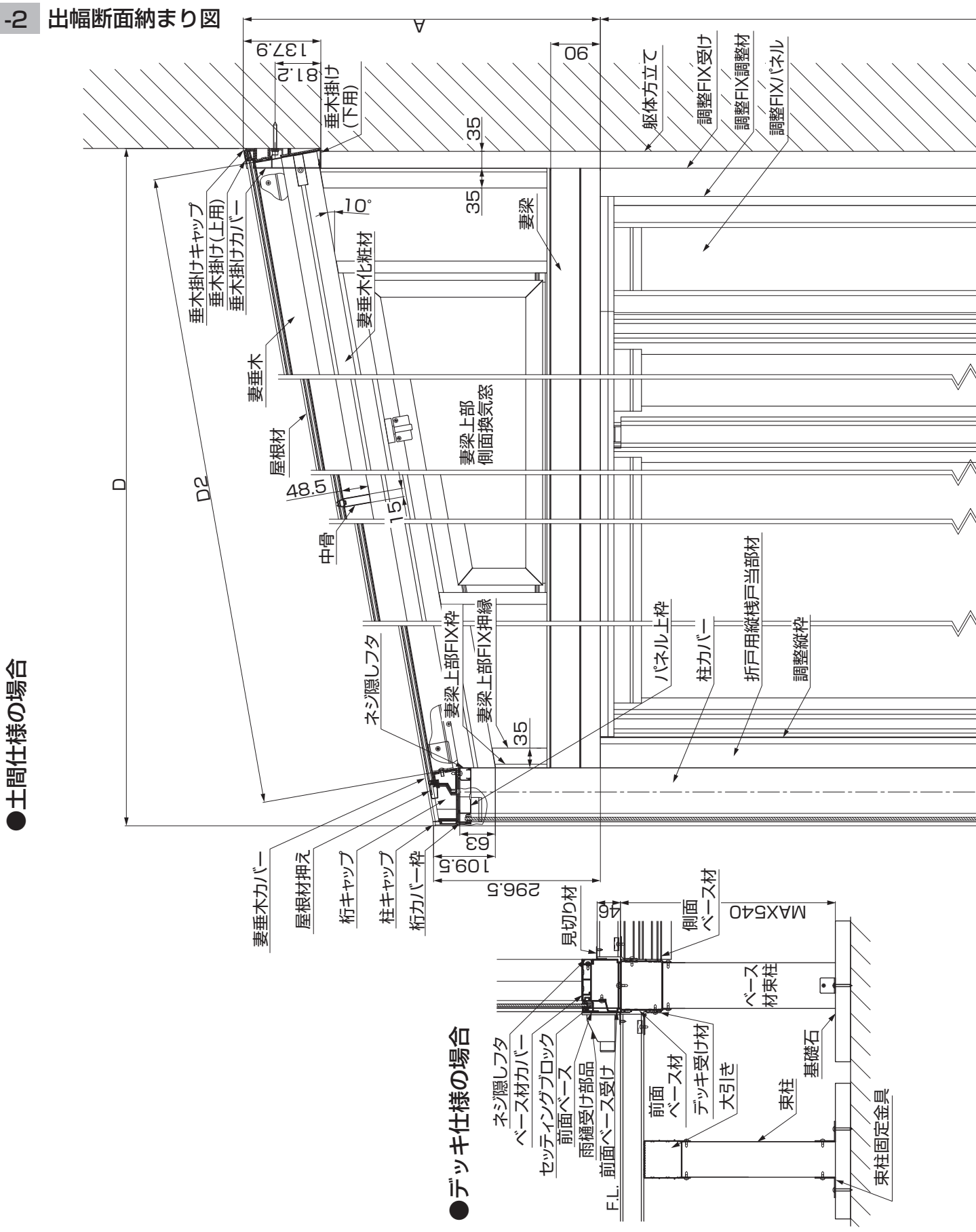
間口 / 間口寸法	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1887	2797	3707	4617	5527
W2	1820	2730	3640	4550	5460

表1-3

出幅 / 高さ寸法	4尺	6尺	8尺	10尺
A	529	635	741	846

1.（つづき）

1-2 出幅断面納まり図



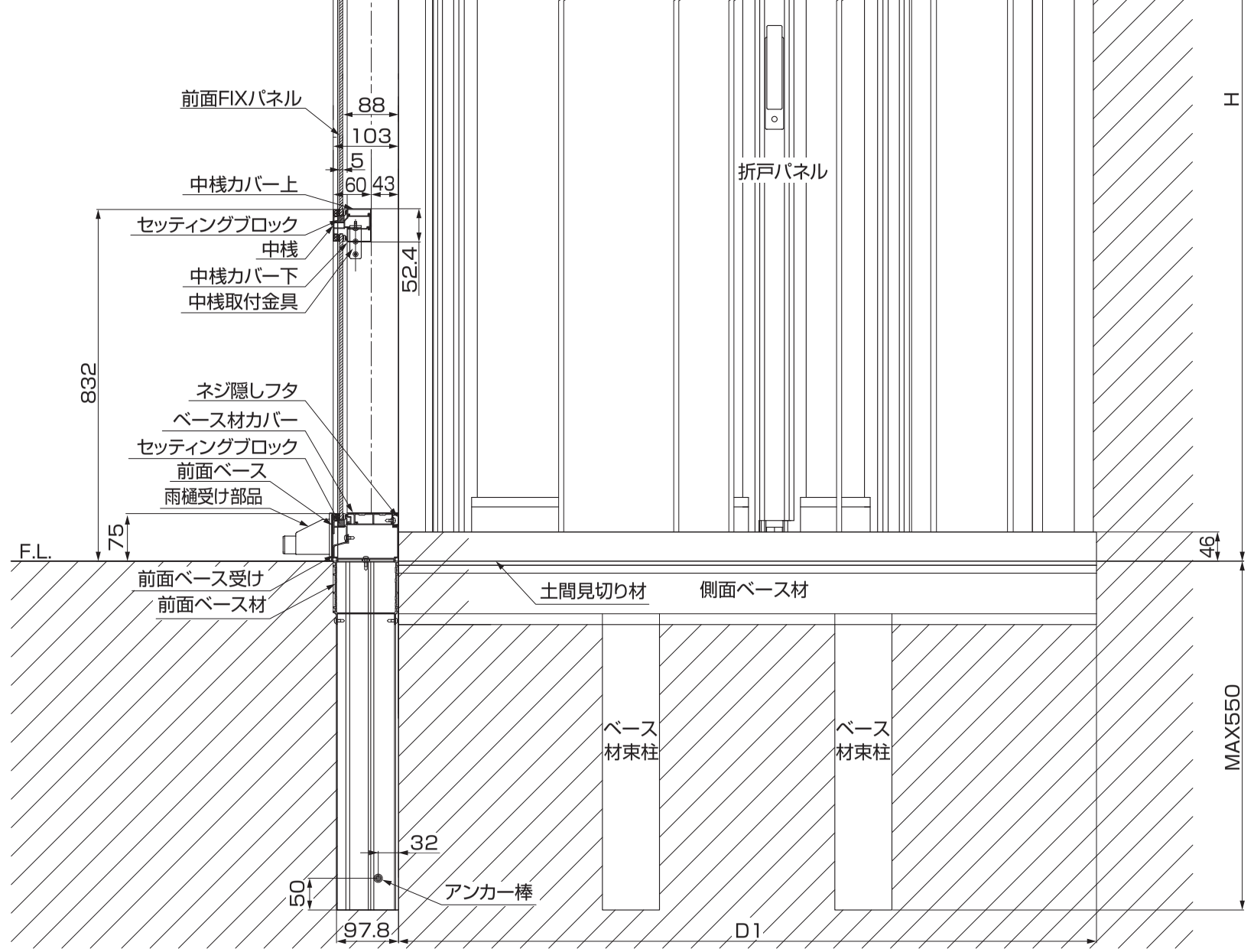


表1-4

高さ呼称	H
H20	2000
H22	2200
H24	2400

表1-5

出幅寸法＼間口	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108
D1	1205	1805	2405	3005
D2	1207.5	1816.5	2426	3035

表1-6

高さ寸法＼出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
A	529	635	741	846

E412_202306F

2. サイドスルータイプ

2-1 間口断面納まり図

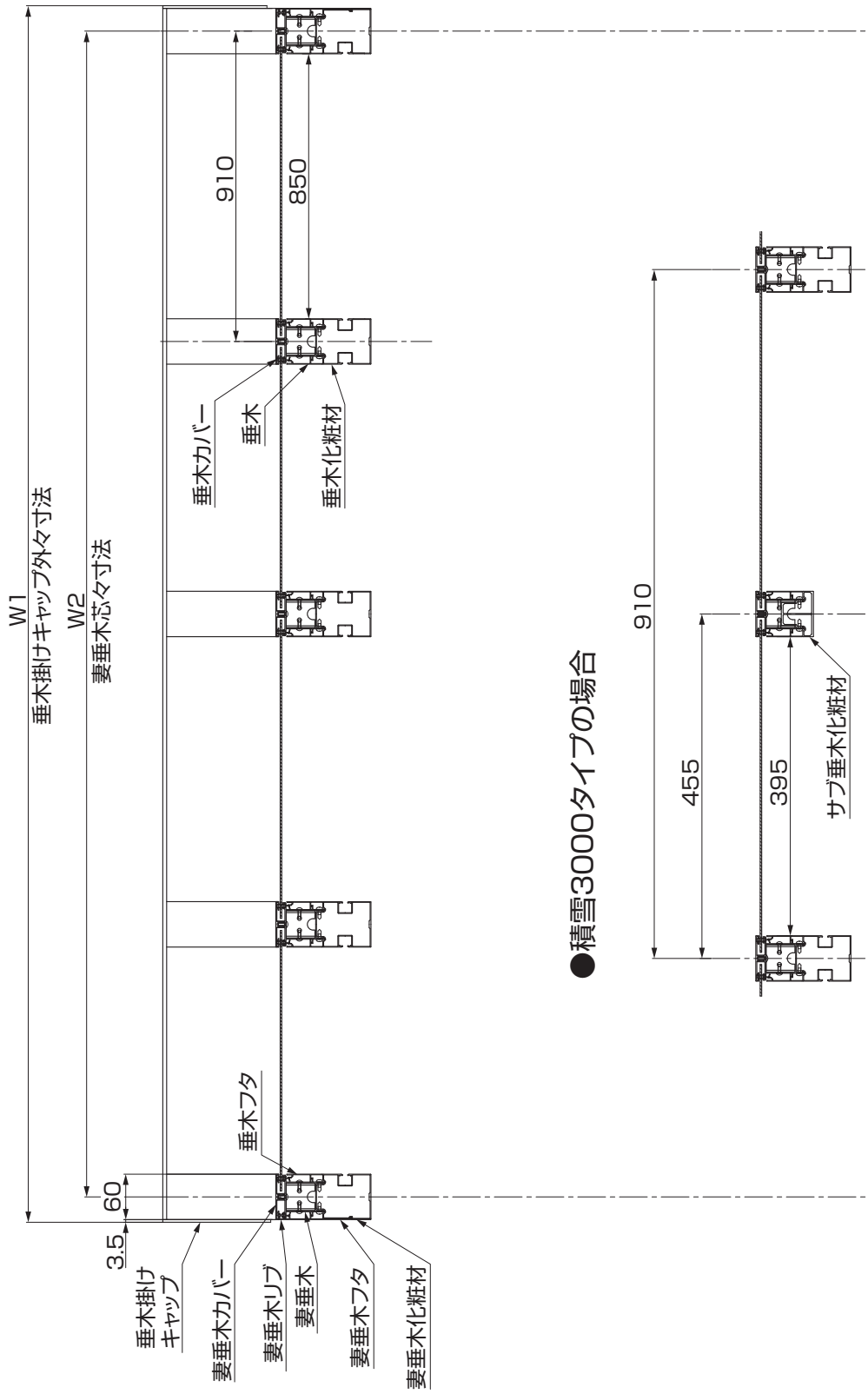
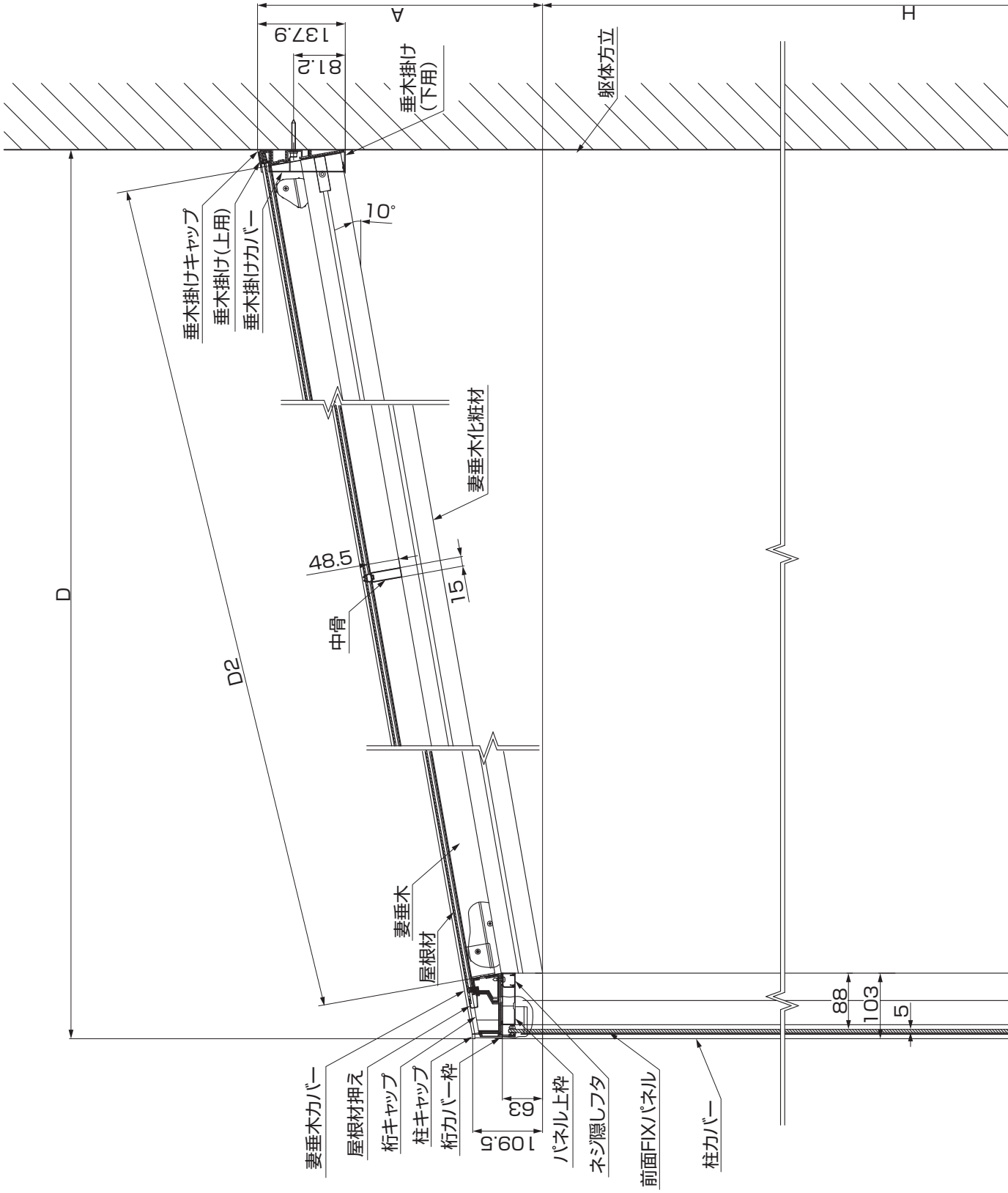


表2-1

間口 / 間口寸法	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1887	2797	3707	4617	5527
W2	1820	2730	3640	4550	5460

2.（つづき）

2-2 出幅断面納まり図



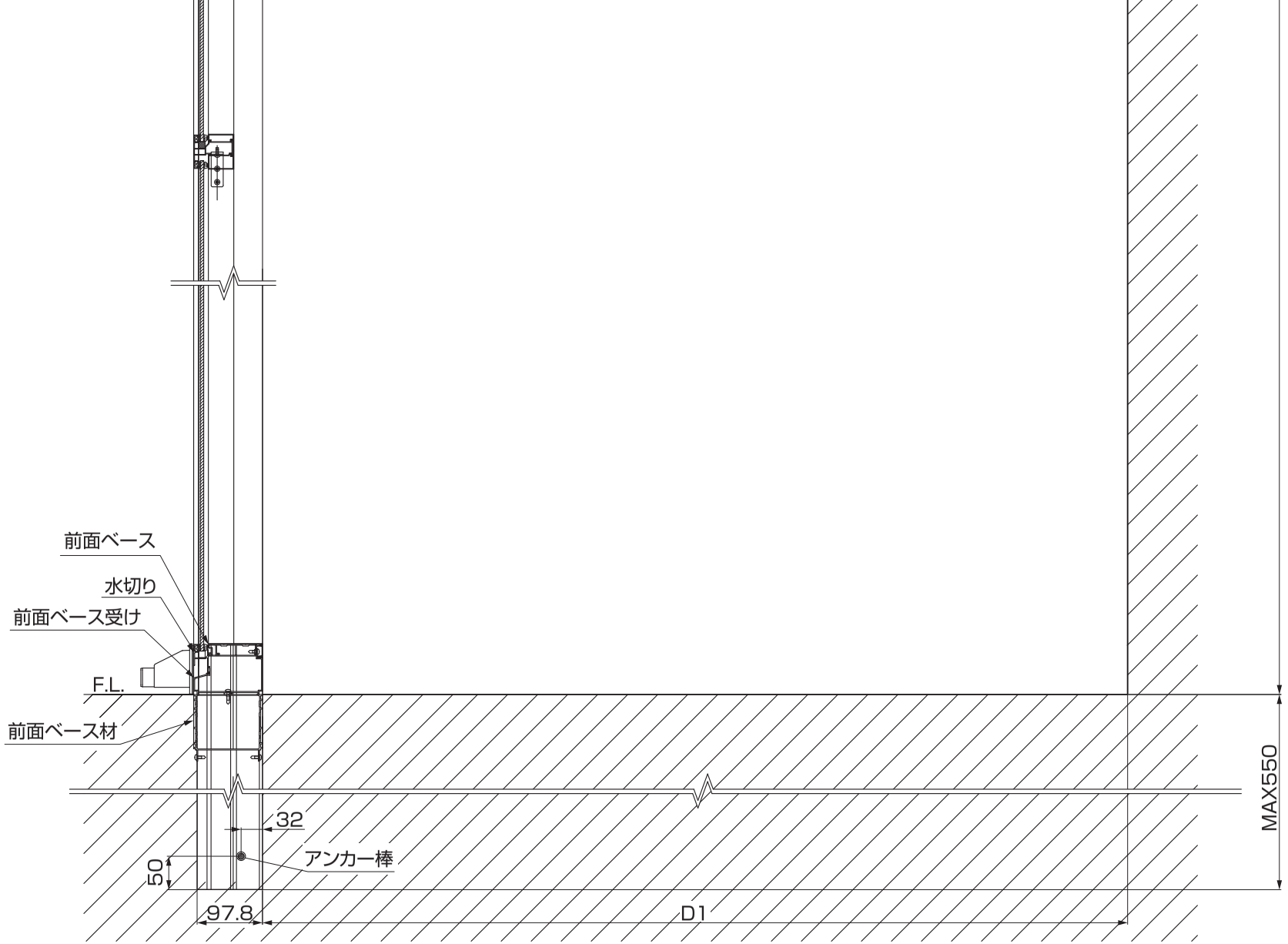


表2-2

高さ呼称	H
H20	2187
H22	2387
H24	2587

表2-3

出幅 / 高さ寸法	4尺	6尺	8尺	10尺
A	342	448	554	659

表2-4

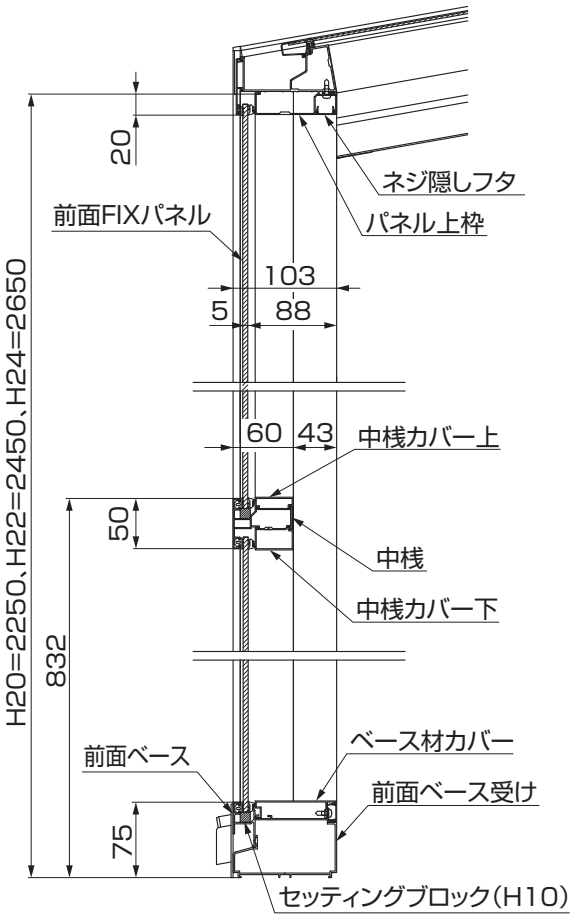
間口 / 出幅寸法	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108
D1	1205	1805	2405	3005
D2	1207.5	1816.5	2426	3035

E412_201602B

7 開口部 納まり図

1. 前面FIXパネル

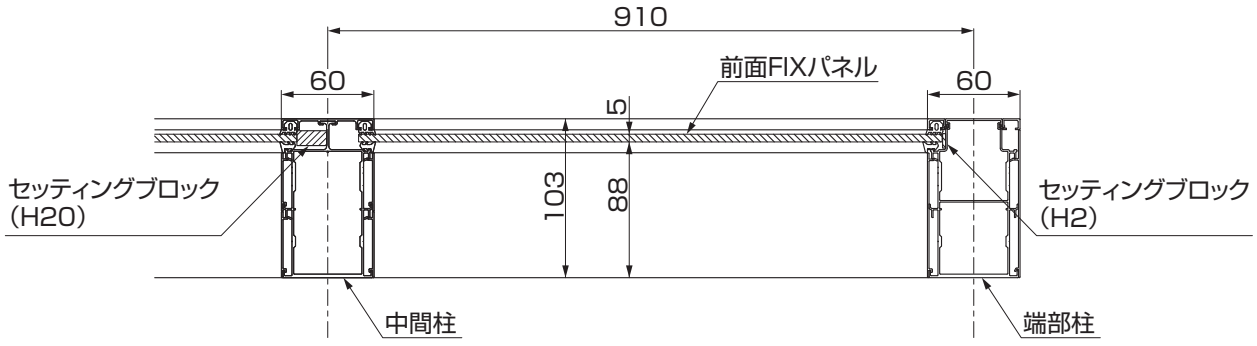
1-1 縦断面図



ポイント

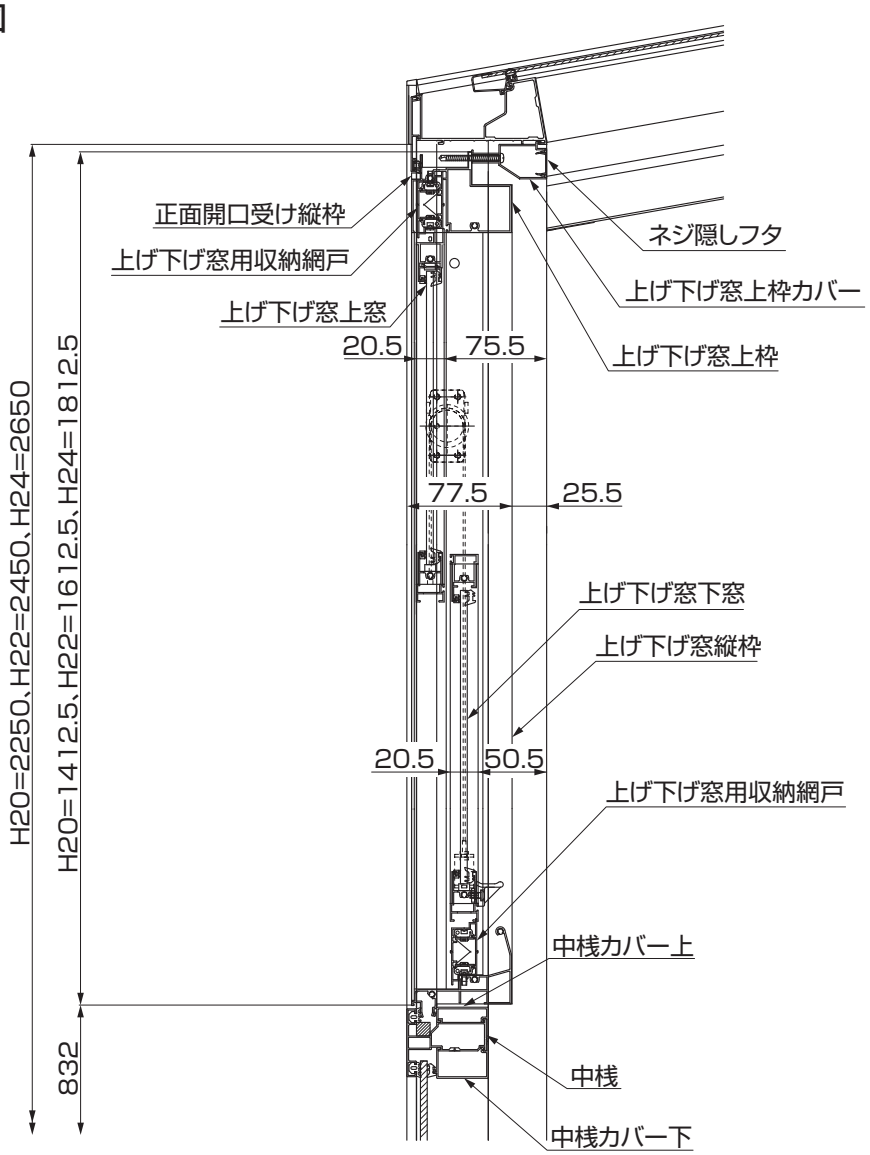
●図は中桟仕様の場合を示します。

1-2 横断面図

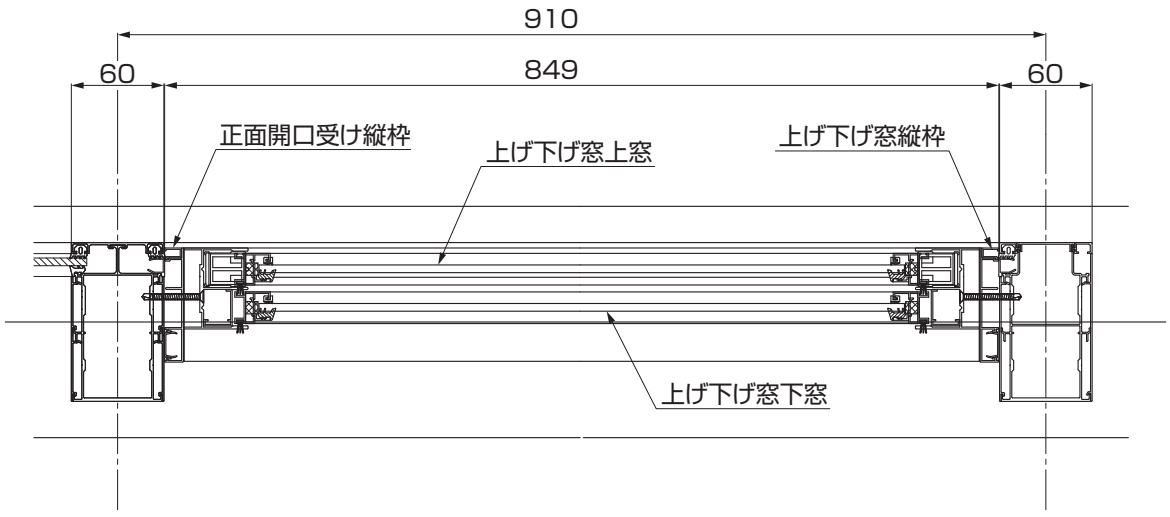


2. 上げ下げ窓

2-1 縦断面図



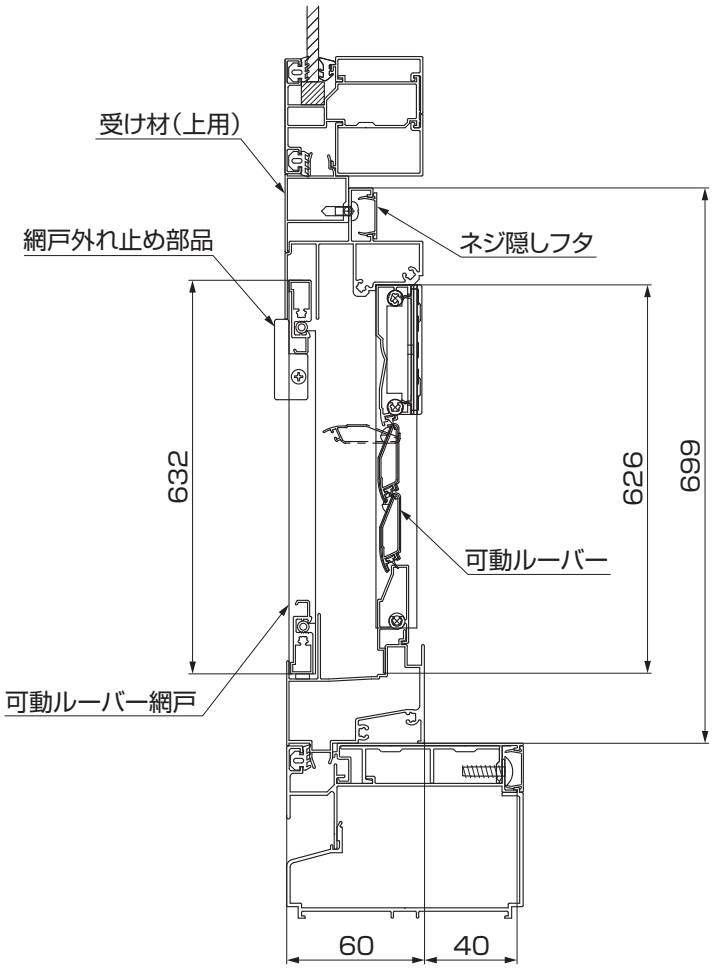
2-2 横断面図



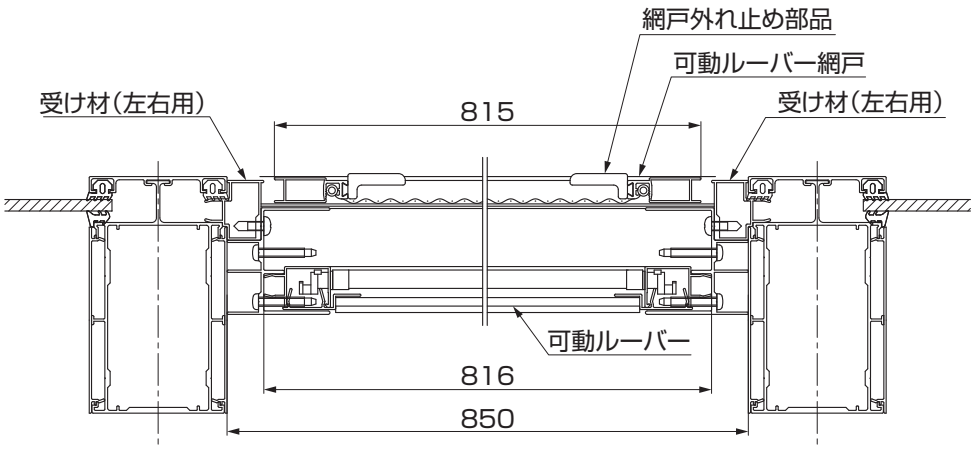
E412_201602B

3. 可動ルーバー

3-1 縦断面図



3-2 横断面図



8 柱の位置出し

1. 単体仕様

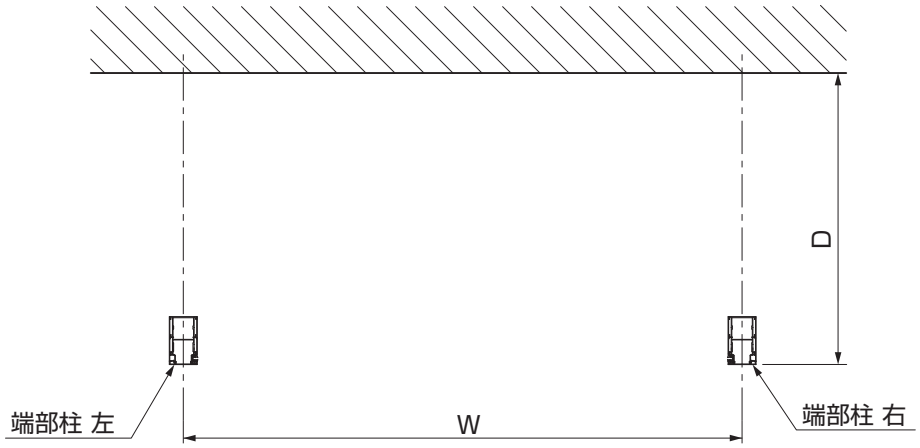


表1-1　出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表1-2　間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	1820	2730	3640	4550	5460

2. 連棟仕様

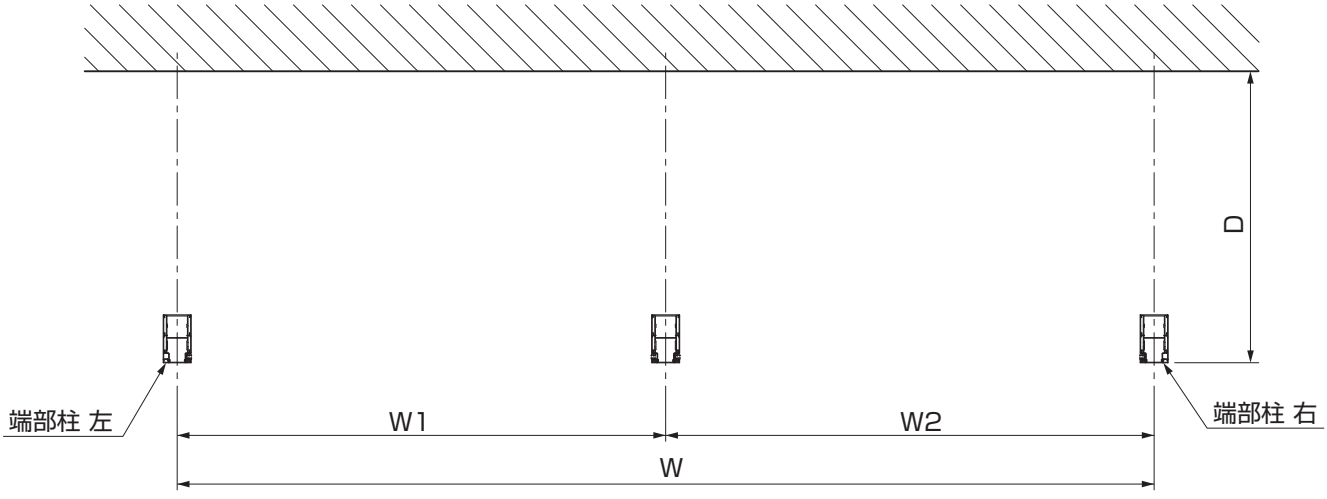


表2-1　出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表2-2　間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	
W1、W2	1820	2730	3640	4550	5460	
間口	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間
W	6370	7280	8190	9100	10010	10920

9 施工前の準備

1. 水盛遣方・水糸張り

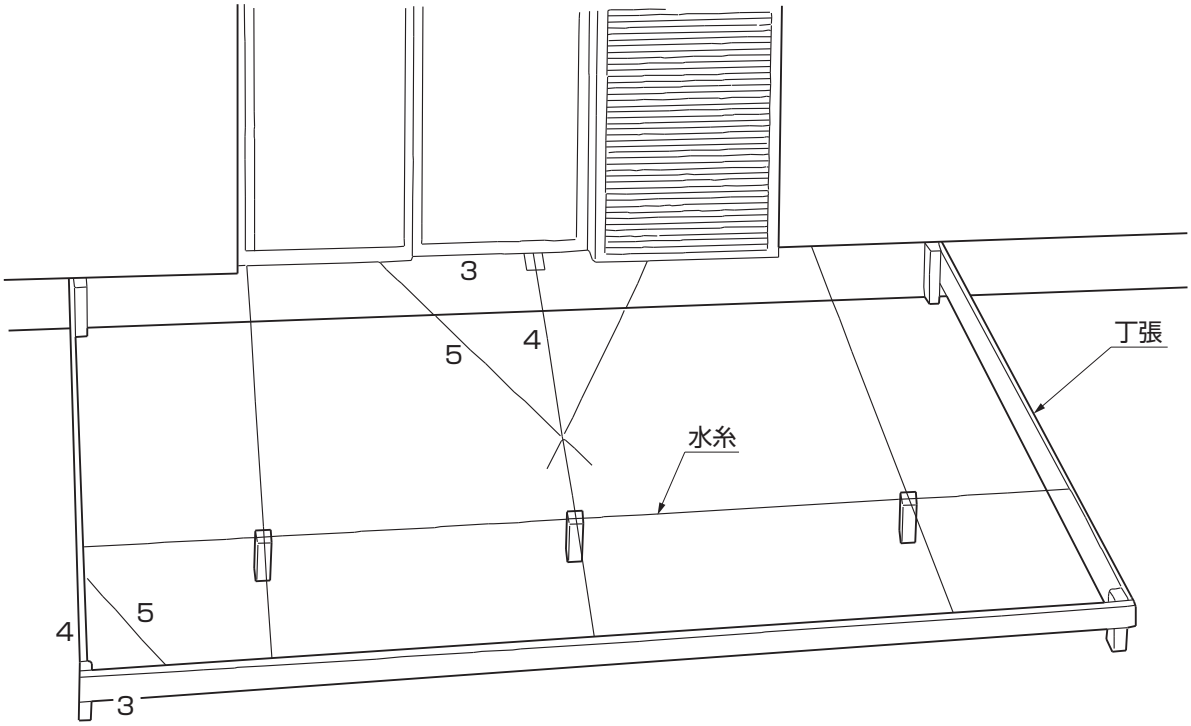


図1-1

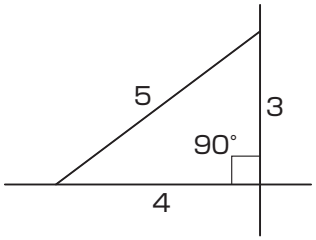


図1-2　直角出し寸法

①「5 基本寸法」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
②前面･両側面に丁張を組んでください。
③躯体に柱寸法の印をつけ、図1-2の方法で直角をだし、束柱の位置を出してください。
④束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。

補 足

●束柱の位置については「ココマⅡ デッキ編 取付説明書（E373)」の基礎伏図を参照ください。

ポイント

●ガーデンルームタイプの場合は、下レール取付けレベルの高さを正確に位置出しし、水平に土間を仕上げてください。下レール取付けレベルの高さが正確でないとパネルの開閉に支障が出る場合があります。
●丁張の位置は本体外寸より前面･両側面ともにやや大きめに決めてください。
●丁張は水準器等で水平を取ってください。
●各コーナーの直角を定規、図1-2の方法等で割り出してください。

2. 配線工事 オプション ※垂木LED照明を取付ける場合の作業です。

2-1 LED照明配線のとりまわし

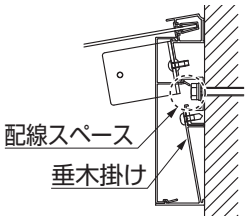
注 意

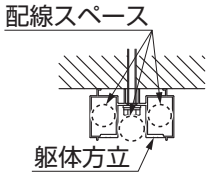
●AC100Vの電線の接続には電気工事士の資格が必要です。（コネクタ配線を除く）

ポイント

【垂木掛けや躯体方立の溝を配線に利用する場合】

●部材・部品にあけた穴は、止水のためシーリングを塗布してください。
●外側にあけた穴は、配線保護のためグロメットなどで小口の保護をしてください。





（1）ACアダプターを使用する場合

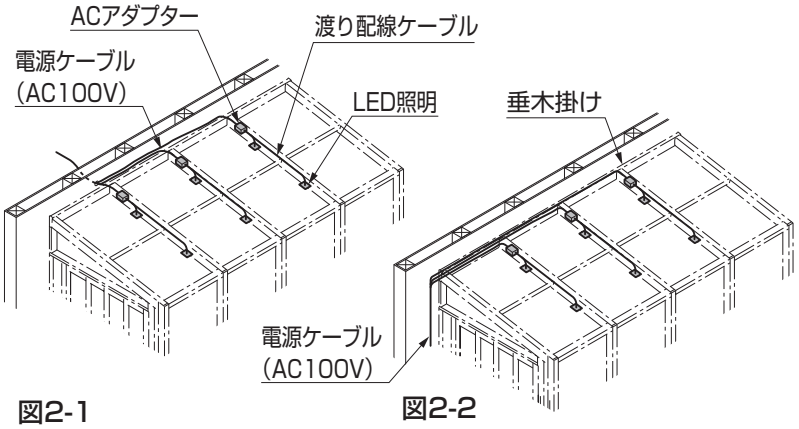


図2-1
躯体に穴をあけて配線する場合

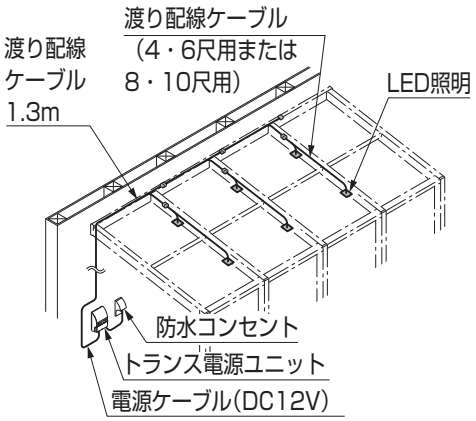
図2-2
垂木掛けの溝を利用して配線する場合

①LED照明の配線をとりまわしてください。

ポイント

●LED照明は、渡り配線ケーブルを介して2セットまで連続接続が可能です。

（2）トランス電源ユニット 35Wを使用する場合

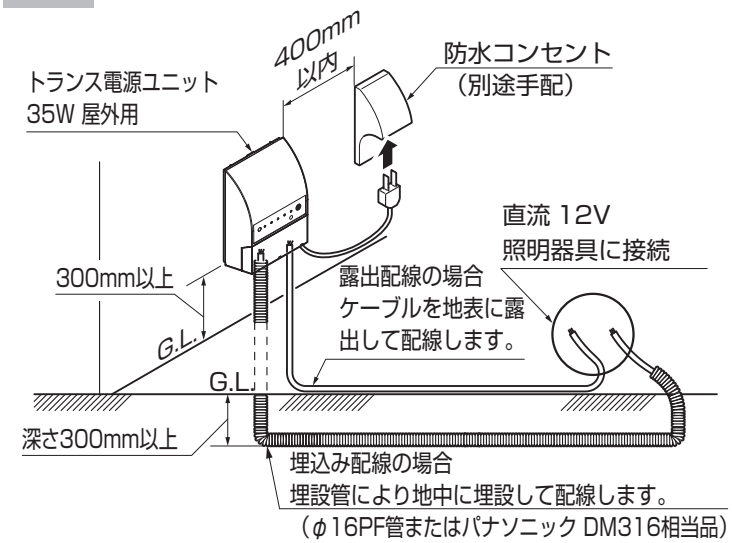


①LED照明の配線をとりまわしてください。

ポイント

●LED照明は、渡り配線ケーブルを介して10セットまで連続接続が可能です。

2-2 配線工事



補 足

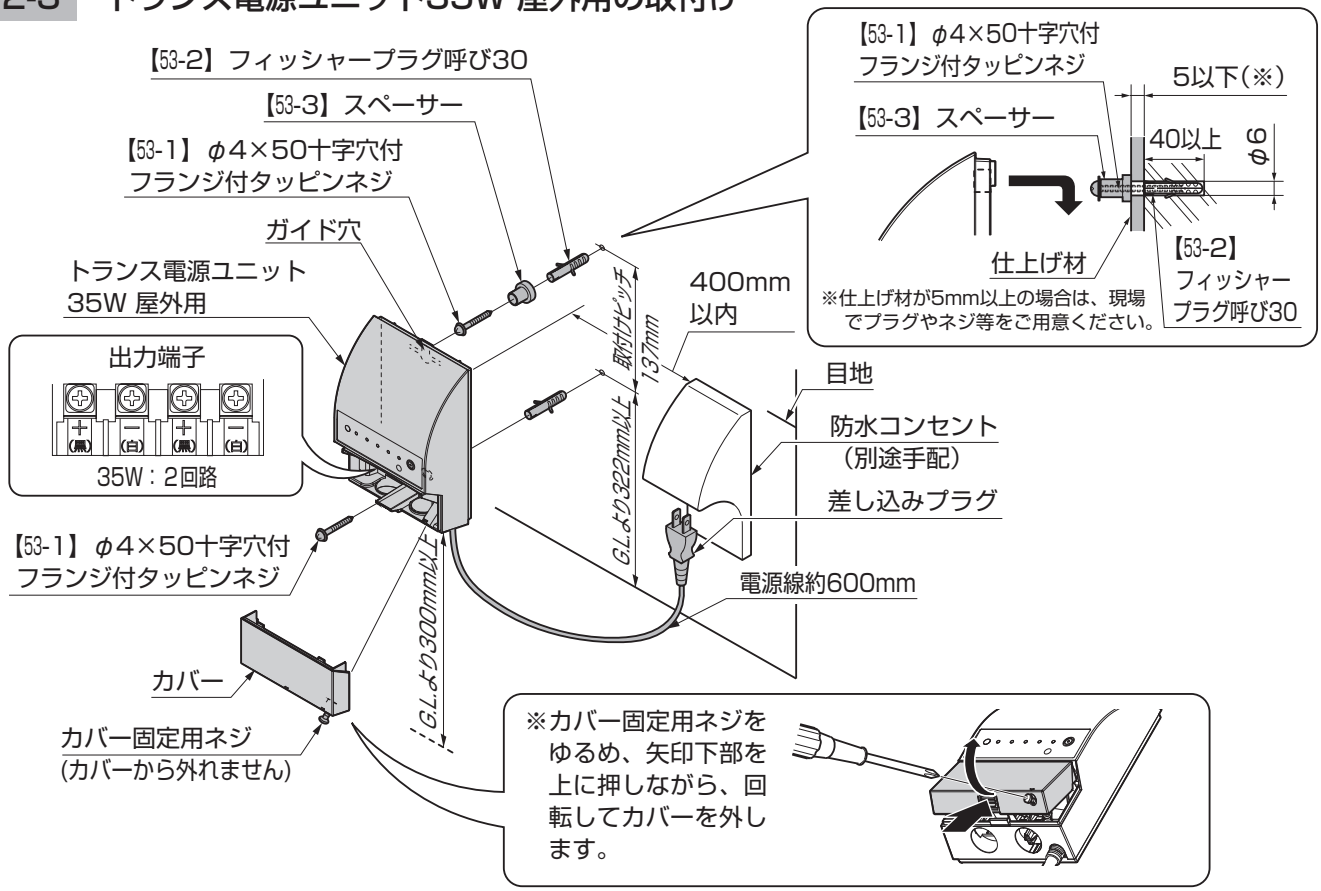
●埋込み配線の場合で車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
●トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。

ポイント

●トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット35W/60W 屋外用 取付説明書（Z546）」を併せて参照してください。
●防水コンセントは別途手配してください。
●躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
●地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
●電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切詰めてください。

2.（つづき）

2-3 トランス電源ユニット35W 屋外用の取付け



⚠ 警 告

- ●トランス電源ユニット35W 屋外用は壁面取付専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面、傾斜面、湿気の多い場所には設置しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- ●トランス電源ユニット35W 屋外用は地面より300mm以上離した位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

⚠ 注 意

- ●取付けは、安全のため差し込みプラグを抜いた状態で行ってください。通電状態で行なうと感電の原因になります。
- ●ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

- ●ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。
- ●壁に有効深さ40mmの下穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが5mm以下（※）の場合としてください。5mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。
- ●トランス電源ユニット35W 屋外用と防水コンセントの間は400mm以内にしてください。
- ●切り粉は必ず除去してください。

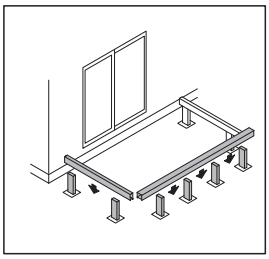
①カバー固定用ネジをゆるめ、カバー下部を上に押しながらカバーを外してください。
②トランス電源ユニット35W 屋外用を取付ける位置に合わせて取付け穴をけがき、けがいた位置に穴径φ6、有効深さ40mm以上の下穴をあけてください。
③【53-2】を下穴に埋め込んでください。
④【53-1】で【53-3】を壁に固定してください。
⑤トランス電源ユニット 35W 裏面上部のガイド穴に【53-3】をはめ込み、【53-1】で壁に固定してください。

10 位置決め施工

タイプ	床	土間	柱固定	地域
		ベース		

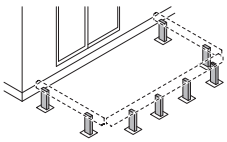
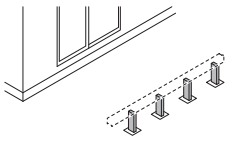
1. ベース材とベース材束柱の取付け

※ベース材仕様の場合の作業です。



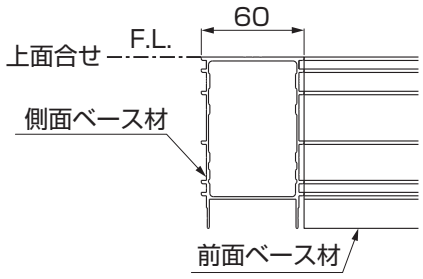
ポイント

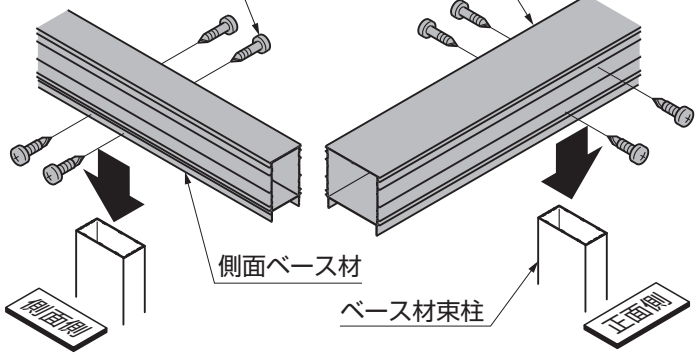
●ベース材とベース材束柱は施工するタイプにより設置箇所が異なります。

ガーデンルームタイプ GR	サイドスルータイプ ST
	

ポイント

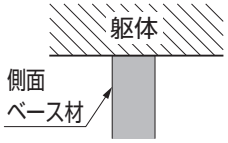
●側面ベース材と前面ベース材は上面をF.L.面に合わせて取付けてください。

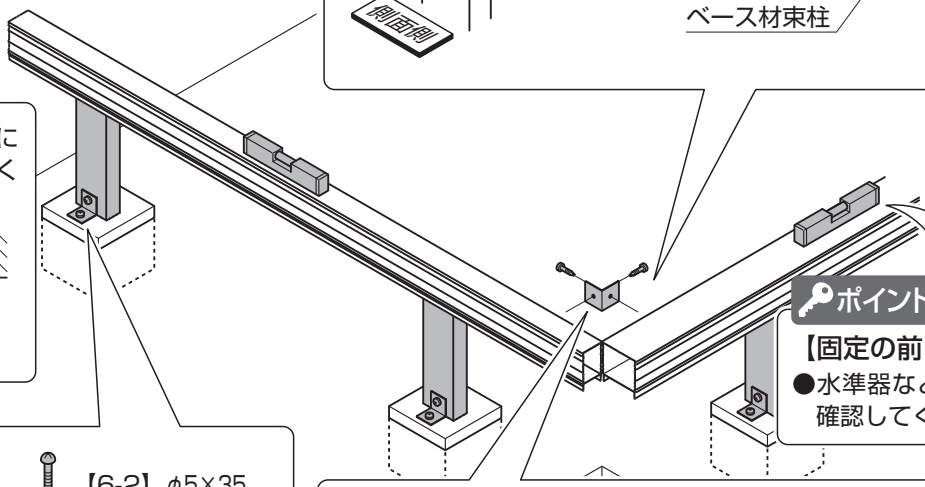




ポイント

●ベース材は躯体に接して取付けてください。

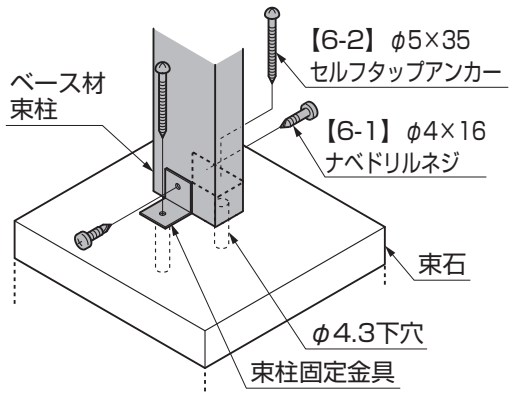


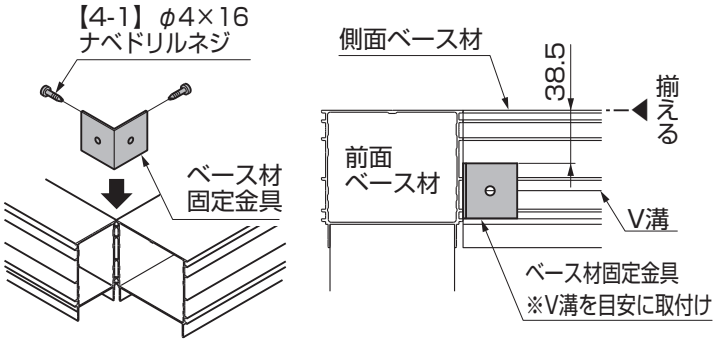


ポイント

【固定の前に】

●水準器などで水平を確認してください。



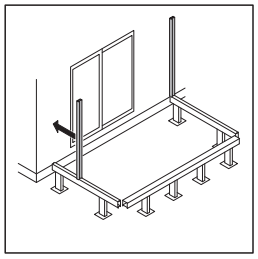


①前面ベース材、側面ベース材をベース材束柱に【6-1】で取付けてください。
②束柱固定金具を取付ける箇所にφ4.3の下穴をあけてください。
③ベース材束柱を土間もしくは束石の上に束柱固定金具と【6-1】、【6-2】で取付けてください。
④前面ベース材と側面ベース材の上面が揃うようベース材固定金具を【4-1】で取付けてください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

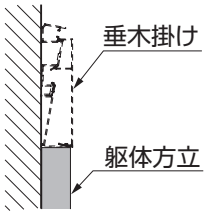
2. 躯体方立の取付け

2-1 ガーデンルームタイプの場合 GR



ポイント

●垂木掛けの位置に影響しますので、躯体方立が垂直になるようにしてください。



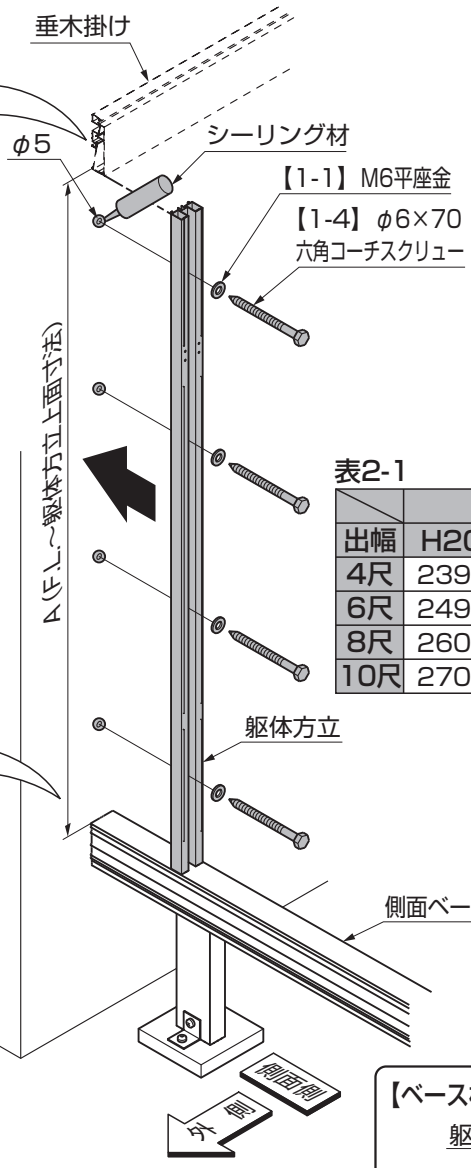
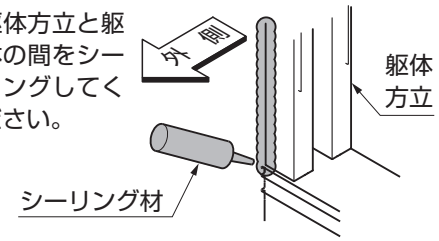


表2-1

	A		
出幅	H20	H22	H24
4尺	2391	2591	2791
6尺	2497	2697	2897
8尺	2603	2803	3003
10尺	2708	2908	3108

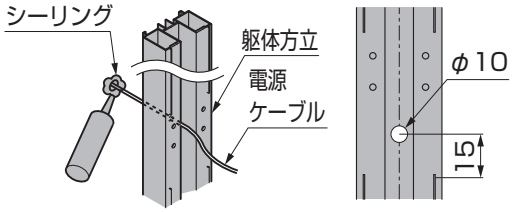
ポイント

●躯体方立と躯体の間をシーリングしてください。



【プラズマクラスター オプション を取付ける場合】

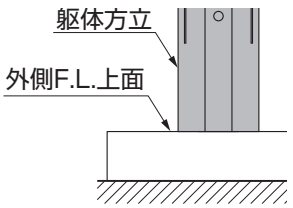
※図は躯体に穴をあけて配線する場合を示します。



ポイント

●躯体にあけた穴はシーリングなどで必ず防水処理を行なってください。

【ベース材を使用しない場合】



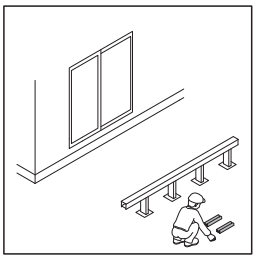
ポイント

●入隅側には不要です。
●躯体方立は必ず躯体構造材に取付けてください。
●躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

①躯体に躯体方立取付け用の穴をけがいて、φ5の穴をあけてください。
②躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。
③躯体方立を躯体に【1-1】、【1-4】で取付けてください。

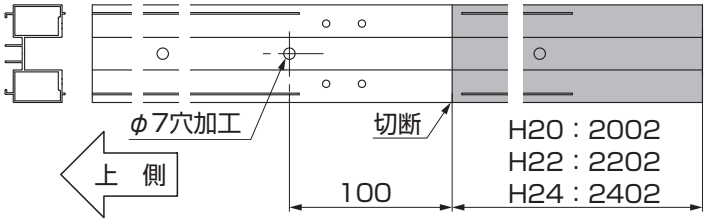
2-2 サイドスルータイプの場合 ST ※妻梁上部FIXを取付ける場合の作業です。

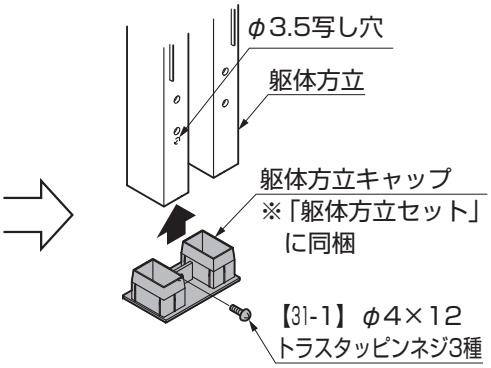
（1）躯体方立の加工



補 足

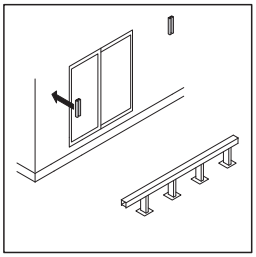
●加工する前の躯体方立で垂木掛けの位置出しをすることができます。





①躯体方立を下側から切断してください。
②切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
③躯体方立の下側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
④躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【31-1】で取付けてください。

（2）躯体方立の取付け



ポイント

●垂木掛けの位置に影響しますので、躯体方立が垂直になるようにしてください。

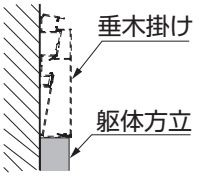
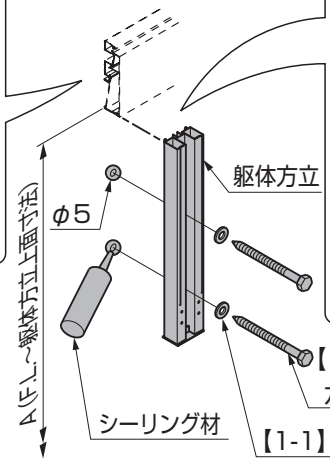


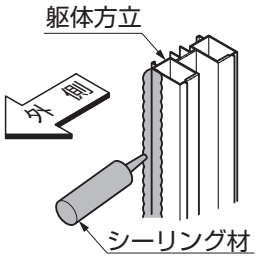
表2-2

	A		
出幅	H20	H22	H24
4尺	2391	2591	2791
6尺	2497	2697	2897
8尺	2603	2803	3003
10尺	2708	2908	3108



ポイント

●躯体方立と躯体の間をシーリングしてください。



ポイント

●入隅側には不要です。
●躯体方立は必ず躯体構造材に取付けてください。
●躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

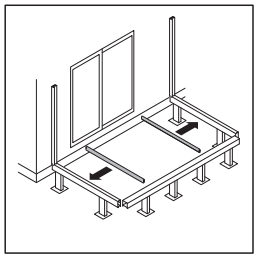
①躯体に躯体方立取付け用の穴をけがいて、φ5の穴をあけてください。
②躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。
③躯体方立を躯体に【1-1】、【1-4】で取付けてください。

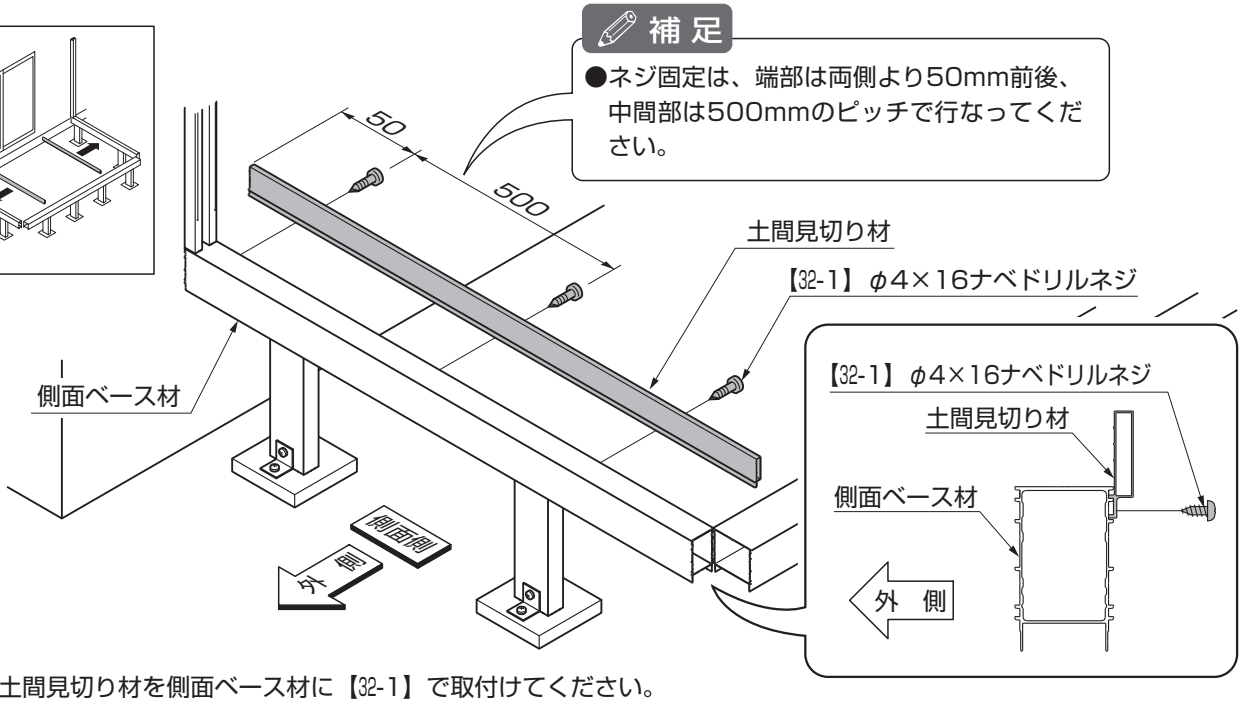
3. 土間見切り材の取付け

※ガーデンルームタイプ 土間仕様でベース材仕様の場合の作業です。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
GR	土間	ベース		

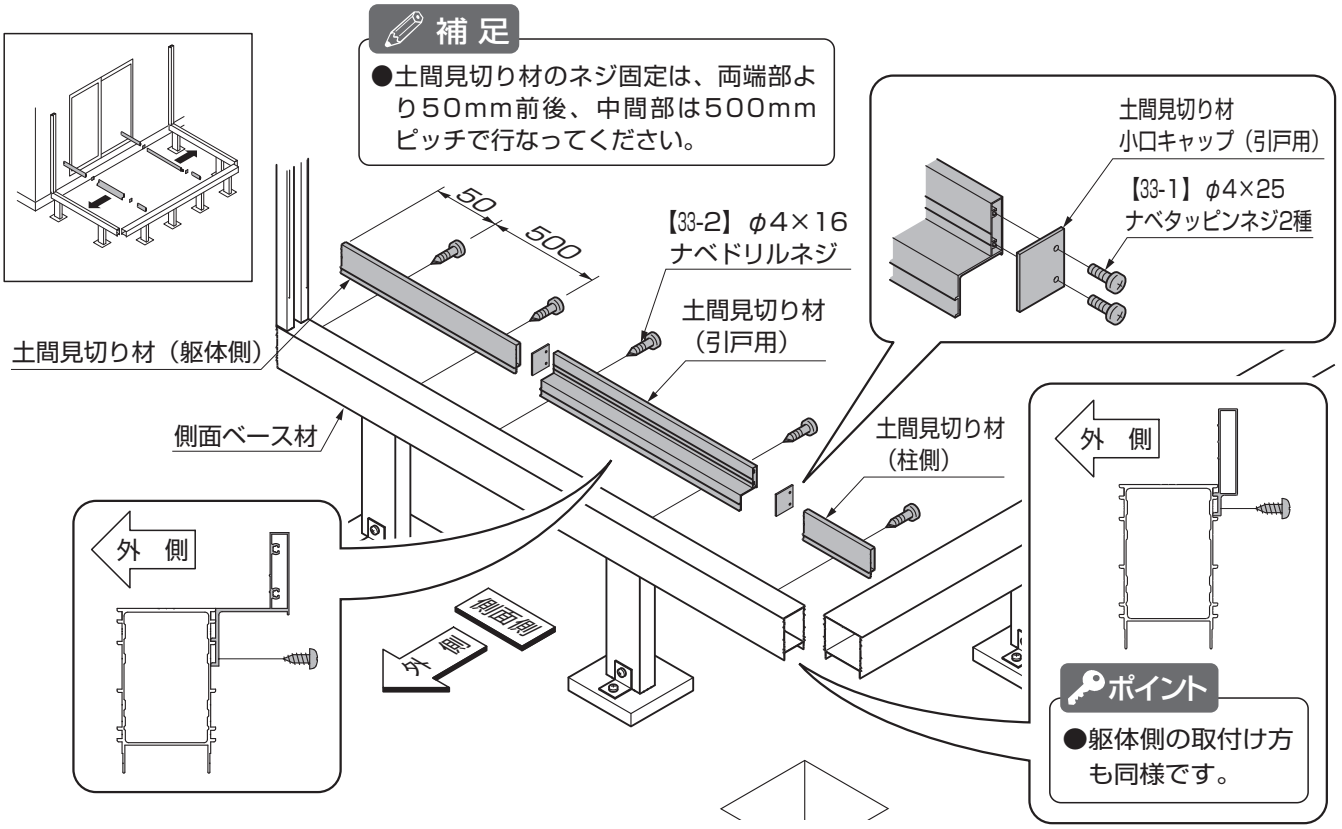
3-1 「折戸」「FIX」「カスタムウォール」の土間見切り材の取付け





①土間見切り材を側面ベース材に【32-1】で取付けてください。

3-2 「引戸」の土間見切り材の取付け



①土間見切り材小口キャップ（引戸用）を土間見切り材（引戸用）の両端に【33-1】で取付けてください。
②土間見切り材（柱側、躯体側）を側面ベース材に【33-2】で取付けてください。

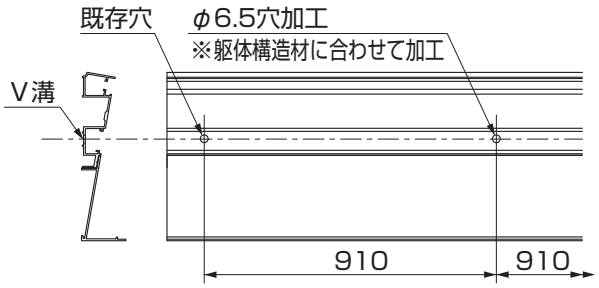
11 部材の組立て

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

1. 垂木掛けの組立て

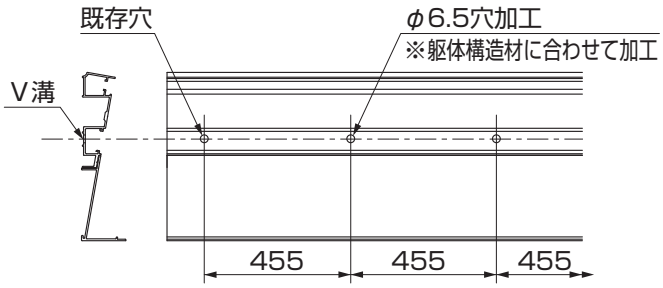
1-1 垂木掛けの加工

（1）一般地域の場合



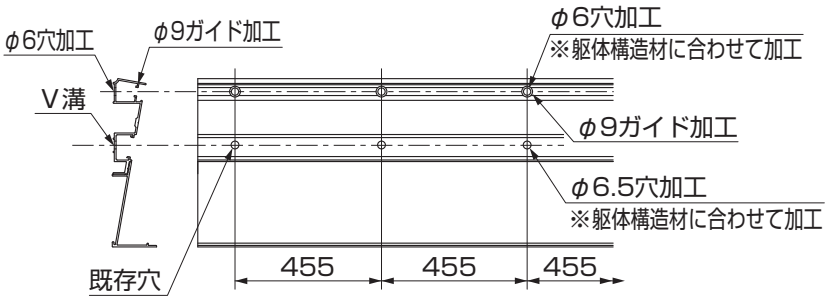
①垂木掛けに穴加工をしてください。

（2）積雪地域（積雪地域1500N（50cm相当）の場合）



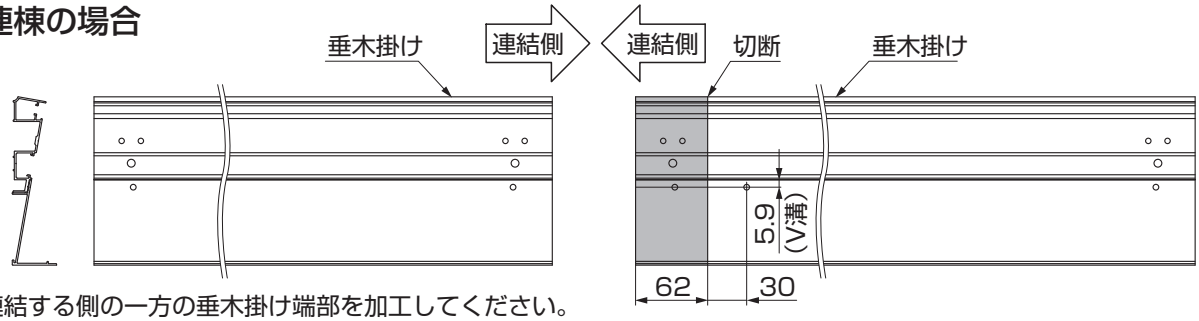
①垂木掛けに穴加工をしてください。

（3）積雪地域（積雪地域3000N（100cm相当）の場合）



①垂木掛けに穴加工をしてください。

（4）連棟の場合

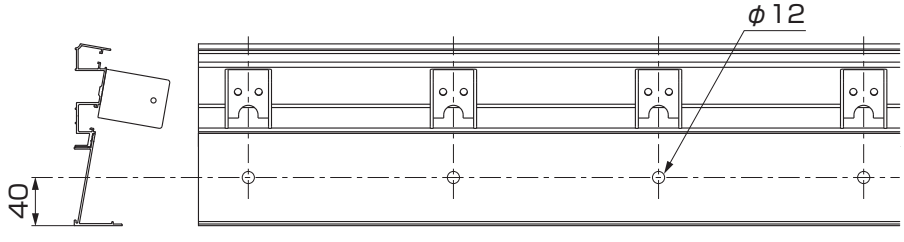


①連結する側の一方の垂木掛け端部を加工してください。

ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

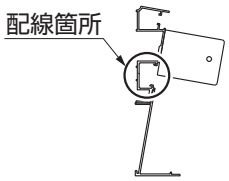
（5）垂木LED照明 オプション を取付ける場合　※配線の都合により垂木掛けに穴をあける作業です。



①垂木掛けに穴加工をしてください。

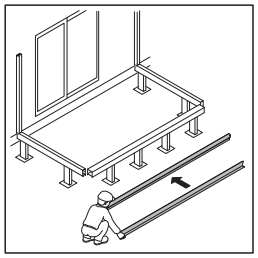
補足

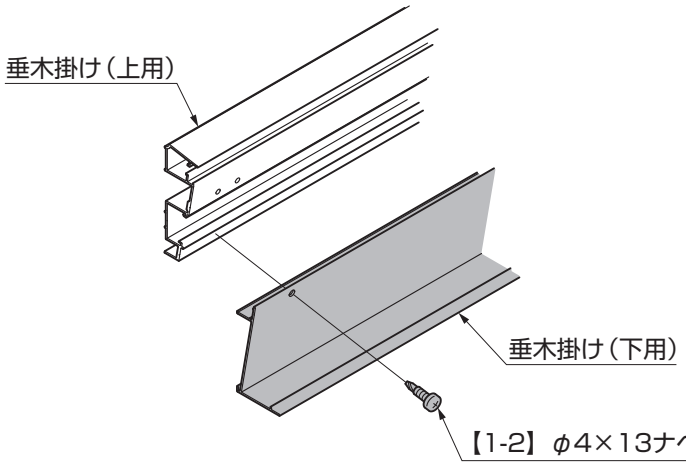
●配線は垂木掛けの溝を使うこともできます。



1.（つづき）

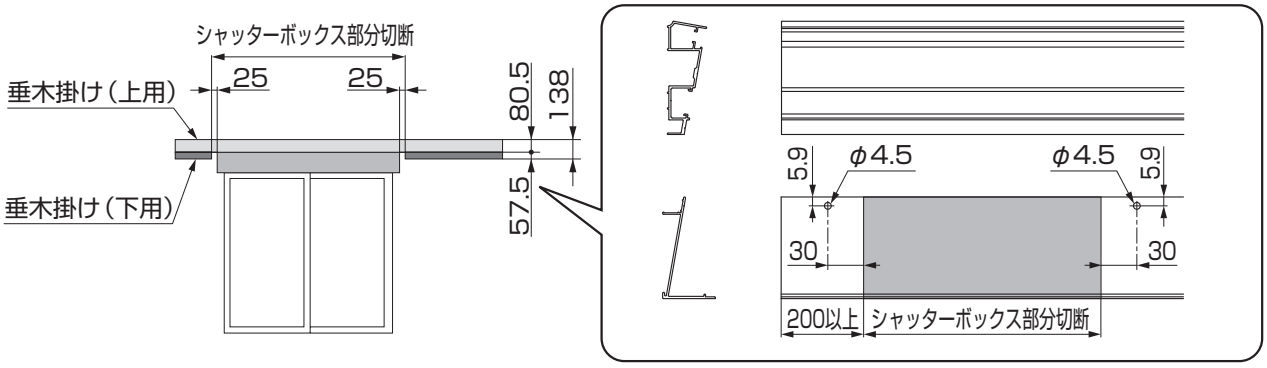
1-2 垂木掛けの組立て





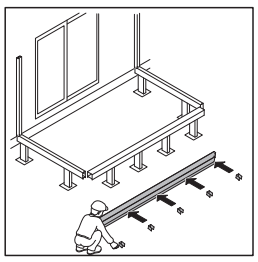
ポイント

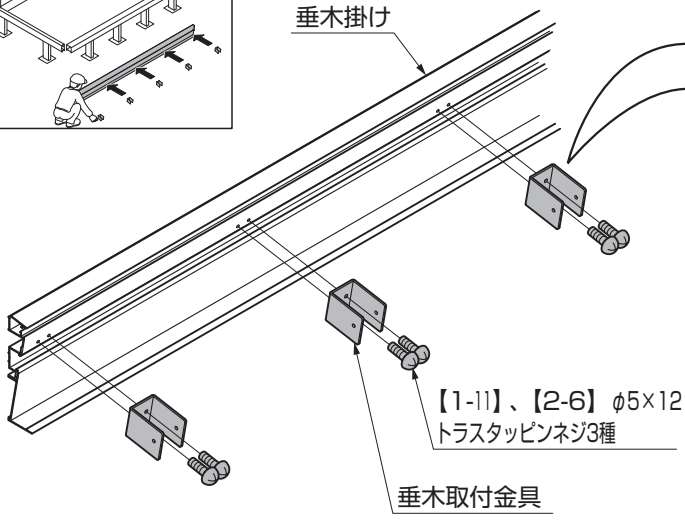
●垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け（下用）は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け（下用）が必要です。



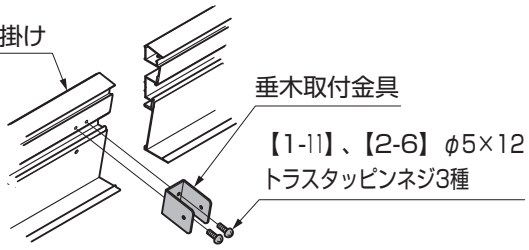
①垂木掛け（下用）を垂木掛け（上用）に【1-2】で取付けてください。

1-3 垂木取付金具の取付け





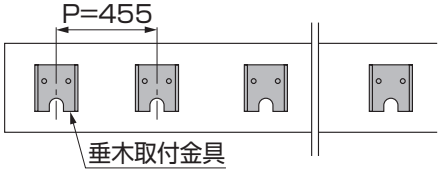
【連棟の場合】



ポイント

【積雪地域】 積雪地域 （積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合）

●垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。

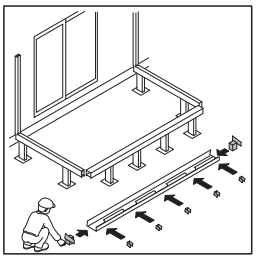


①垂木取付金具を垂木掛けに【1-11】、【2-6】で取付けてください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

2. 桁の組立て

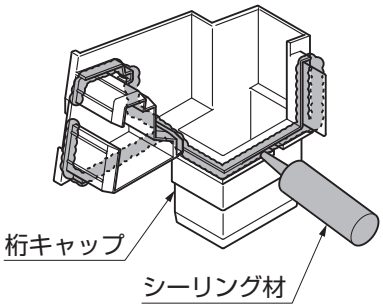
2-1 桁の組立て

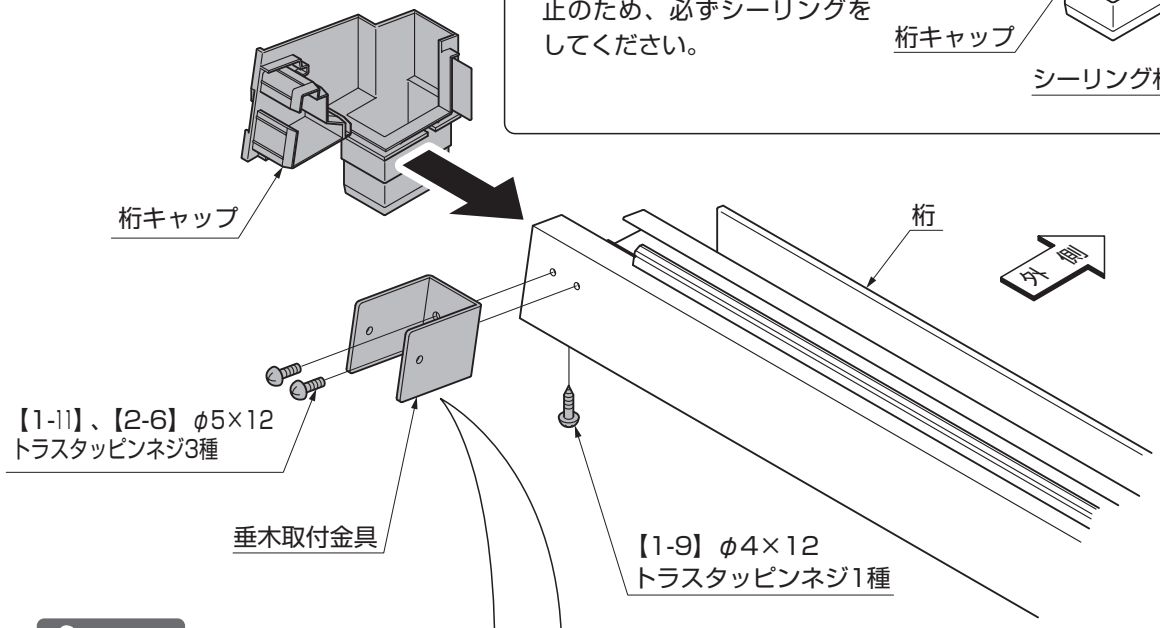


ポイント

●図は右側を示します。左側も同様に取付けてください。

●指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。

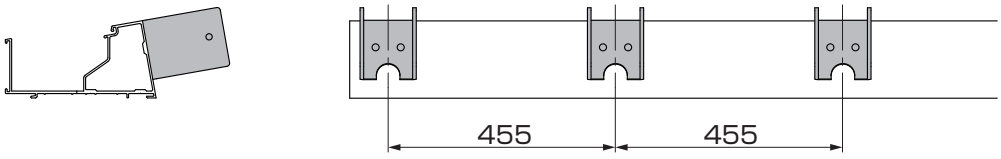




ポイント

【積雪地域】積雪地域（積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合）

●垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。



①垂木取付金具を桁に【1-11】、【2-6】で取付けてください。
②桁キャップをシーリングしてください。

ポイント

●桁キャップと桁を組付けた後にシーリングが桁と桁キャップの両方に十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど塗布が不十分な場合は追加してください。

③桁キャップを桁に【1-9】で取付けてください。

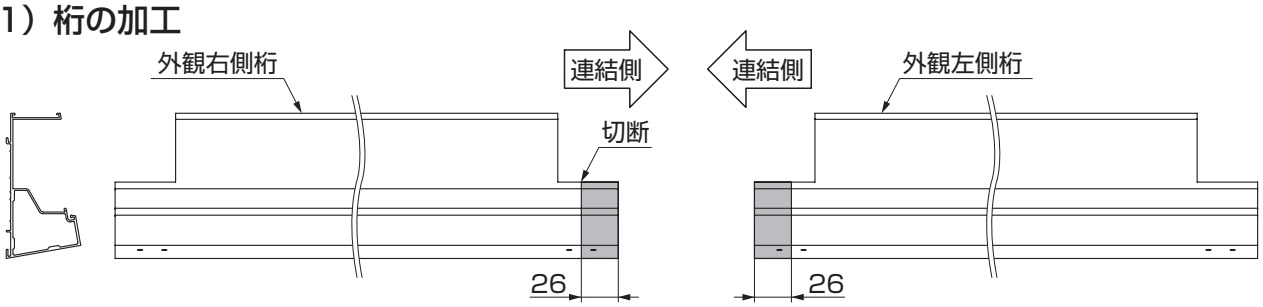
ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

2.（つづき）

2-2 連棟の場合

（1）桁の加工



①左右の桁を均等に切断してください。

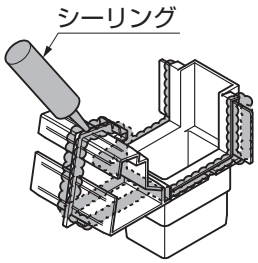
ポイント

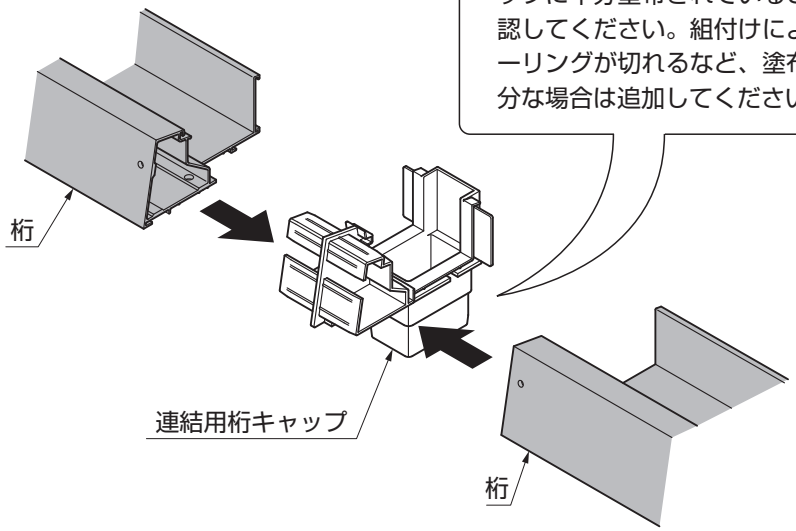
●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

（2）桁の連結

ポイント

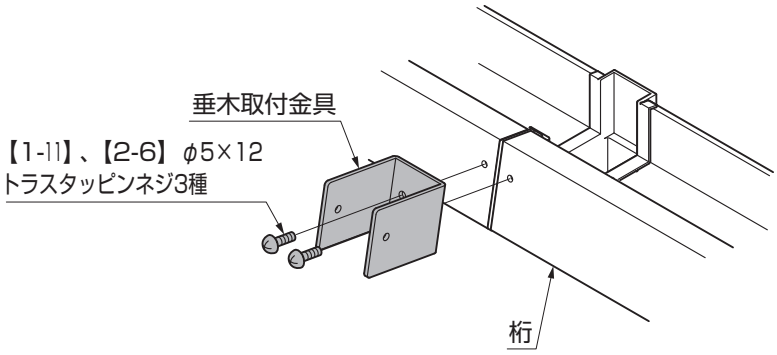
●指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
●指定以外の箇所にはシーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。
●組付け後はシーリングが桁と桁キャップに十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど、塗布が不十分な場合は追加してください。





①連結用桁キャップにシーリングしてください。

②左右の桁を連結用桁キャップにはめ込んでください。



③垂木組付金具を、連結した桁に【1-11】、【2-6】で取付けてください。

12 柱の建込み

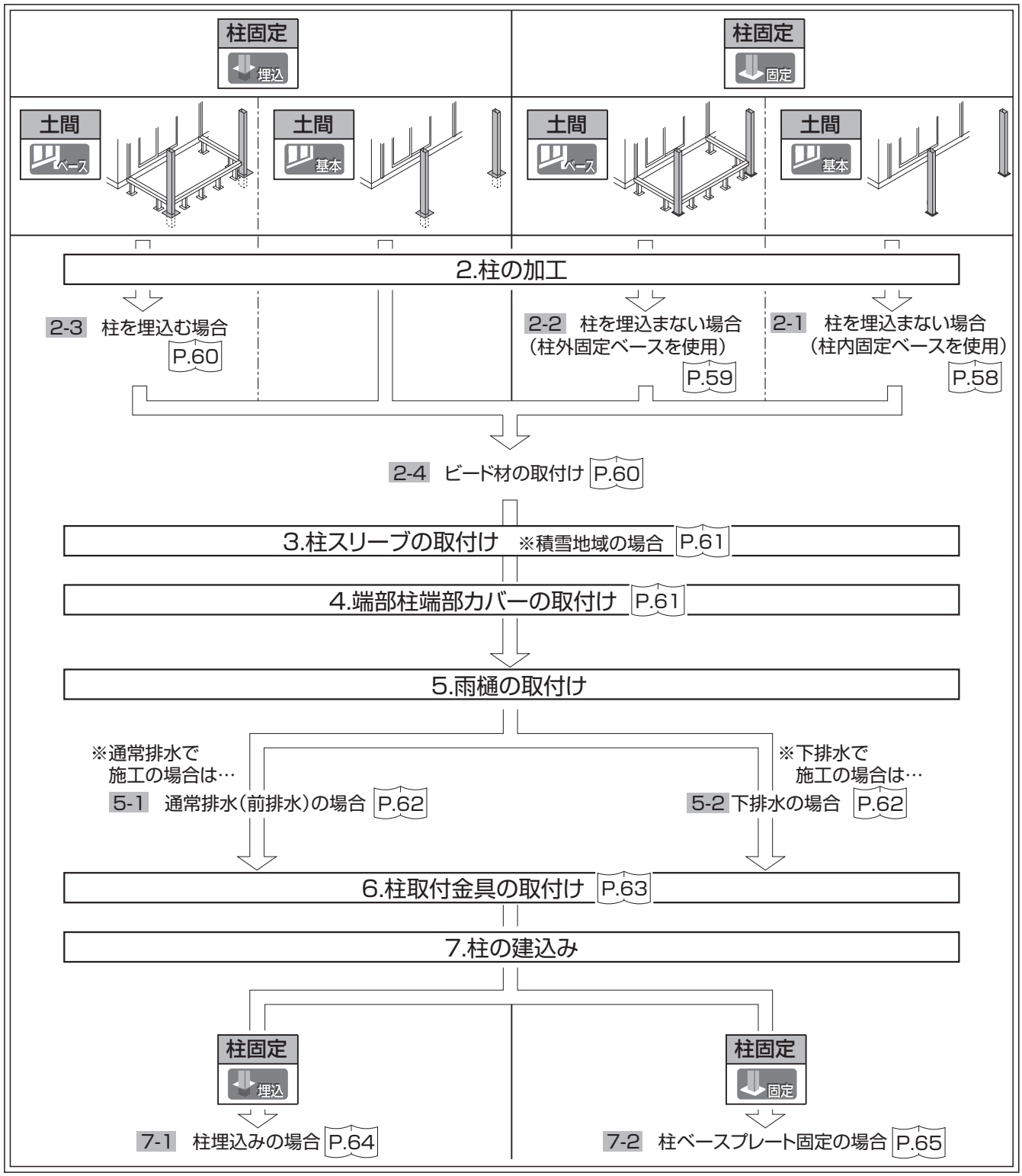
1. 事前確認事項

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

1-1 施工手順の確認

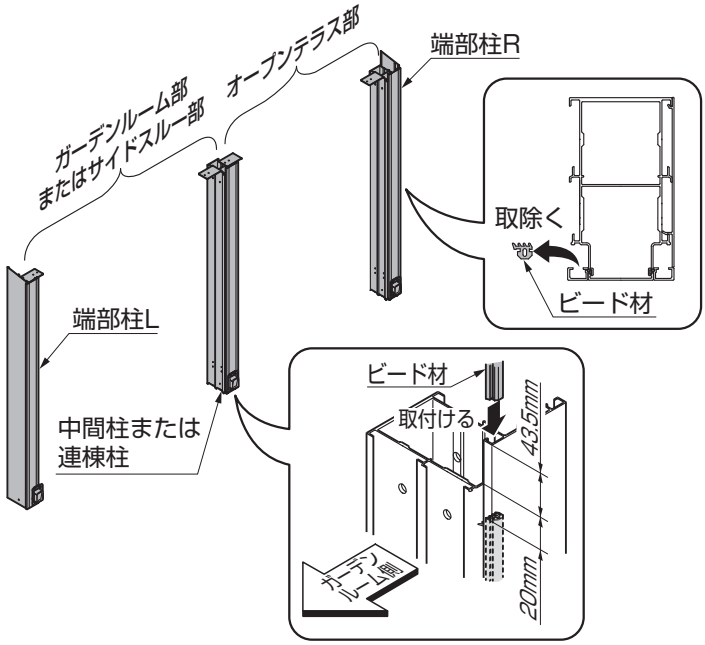
ポイント

●柱の建込み方法は下記の方法があります。必ず施工方法を確認の上、説明ページを参照してください。



1.（つづき）

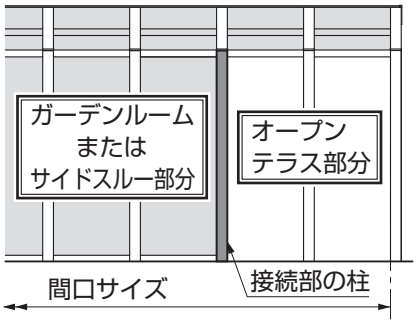
1-2 ガーデンルームプラスタイプでオープンテラスを接続する場合の柱について



①ガーデンルームとオープンテラスの接続部に建込む、柱の種類を確認してください。
②オープンテラス側の端部柱からビード材を取除いてください。
③中間柱または連棟柱のガーデンルーム側にビード材を取付けてください。

ポイント

●ガーデンルーム部分とオープンテラス部分の「接続部の柱」は間口サイズにより対応する柱の種類が異なります。



間口サイズ	接続部の柱
3.0間以下	中間柱
3.5間以上	連棟柱

●「接続部の柱」は現場のガーデンルームの高さ呼称に関わらず、H24サイズからの加工となります。

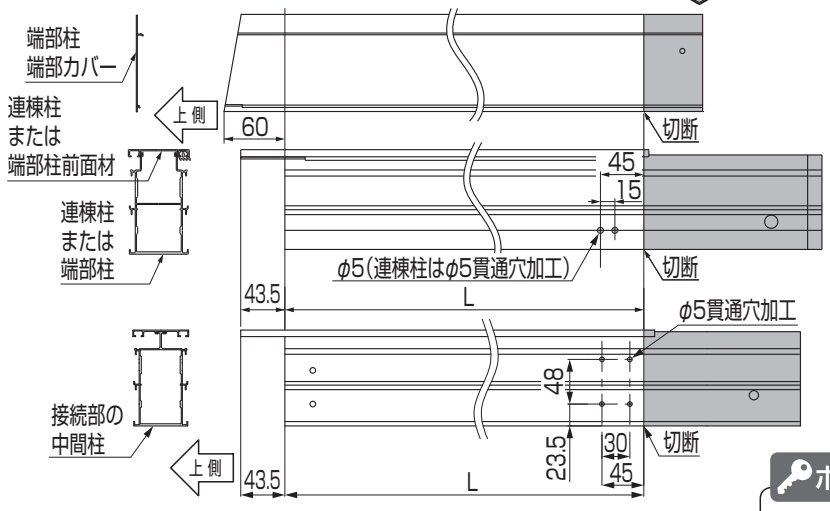
2. 柱の加工

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

ポイント

●柱前面の部材はスライドします。切断の際は位置を合わせ、テープ等で仮固定した上で切断してください。
●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。
●角樋を端部柱から引き抜いて切断してください。

2-1 柱を埋込まない場合（柱内固定ベース： を使用）※柱をF.L.でベースプレート固定する場合



①角樋を端部柱から引き抜いてください。
②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
③角樋を端部柱に差し込んでください。

表2-1

サイズ	L
H20	2247
H22	2447
H24	2647

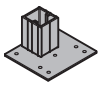
（参考）F.L.～上部分柱寸法H

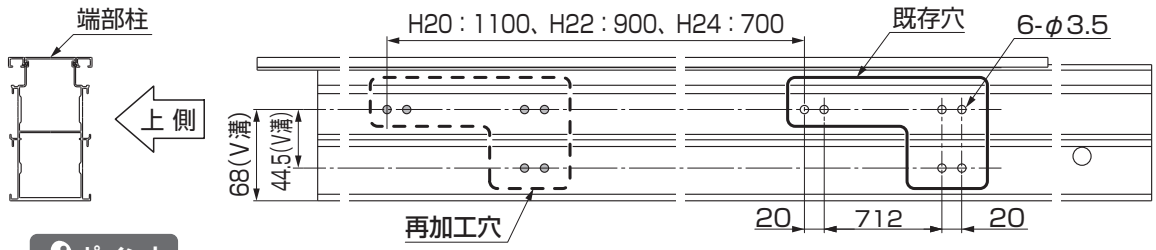
サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

※柱前面材～柱上部43.5mmは除く
※ベースプレートの厚みを含む

ポイント

●ガーデンルームプラスタイプの「接続部の柱」が連棟柱の場合、手順①、③は端部柱と同様です。

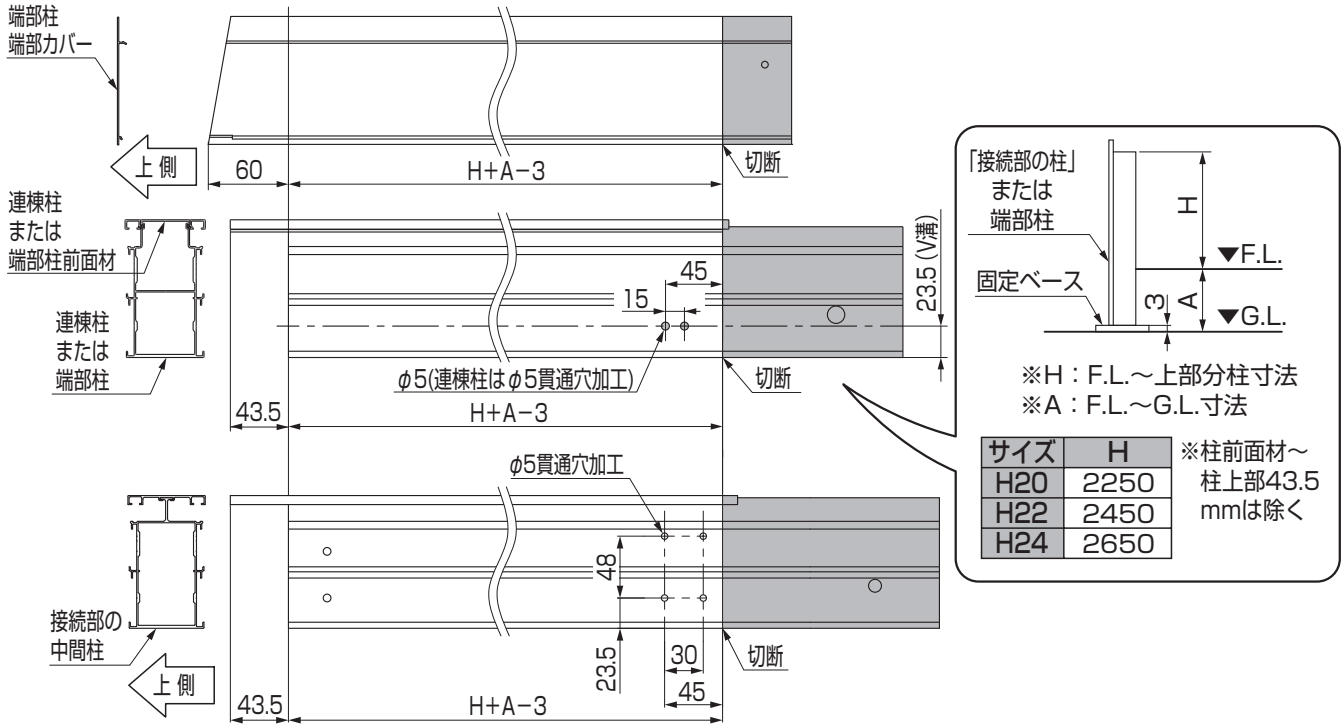
2-2 柱を埋込まない場合（柱外固定ベース：  を使用）※柱をG.L.でベースプレート固定する場合の作業です。



ポイント

●オープンテラス用ロング柱を使用する場合、初めに再加工を行いその後下図の加工を行なってください。

図2-1　オープンテラスロング柱の穴加工



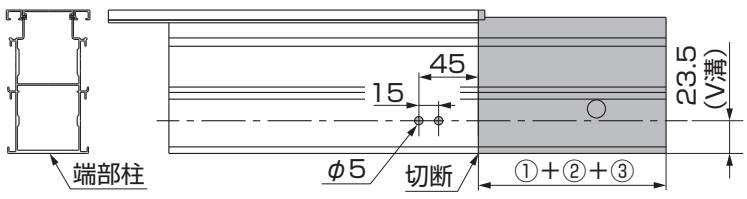
サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

※柱前面材～柱上部43.5mmは除く

図2-2　標準柱の加工

補 足

（参考）オープンテラス用ロング柱を使用する場合の切断寸法



	H20	H22	H24
①基本切断寸法	1100	900	700
②F.L.～G.L.切断寸法	550−A	550−A	550−A
③ベースプレート厚	3	3	3
切断寸法	①＋②＋③		

A：F.L.～G.L寸法

①角樋を端部柱から引き抜いてください。
②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
③角樋を端部柱に差し込んでください。

ポイント

●現場状況（施工状況）に合わせて切断寸法を計算してください。
●ガーデンルームプラスタイプの「接続部の柱」が連棟柱の場合、手順①、③は端部柱と同様です。

2.（つづき）

2-3 柱を埋込む場合 ※「接続部の柱」は中間柱、または連棟柱です。

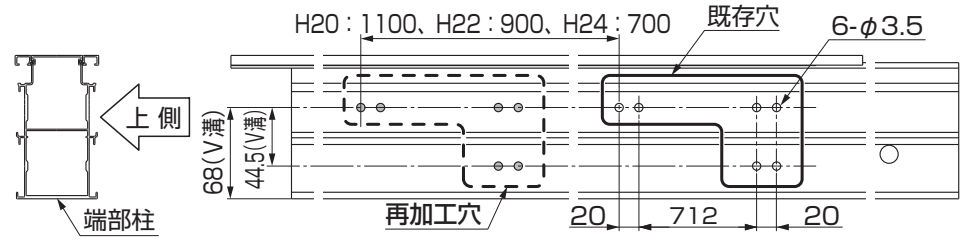
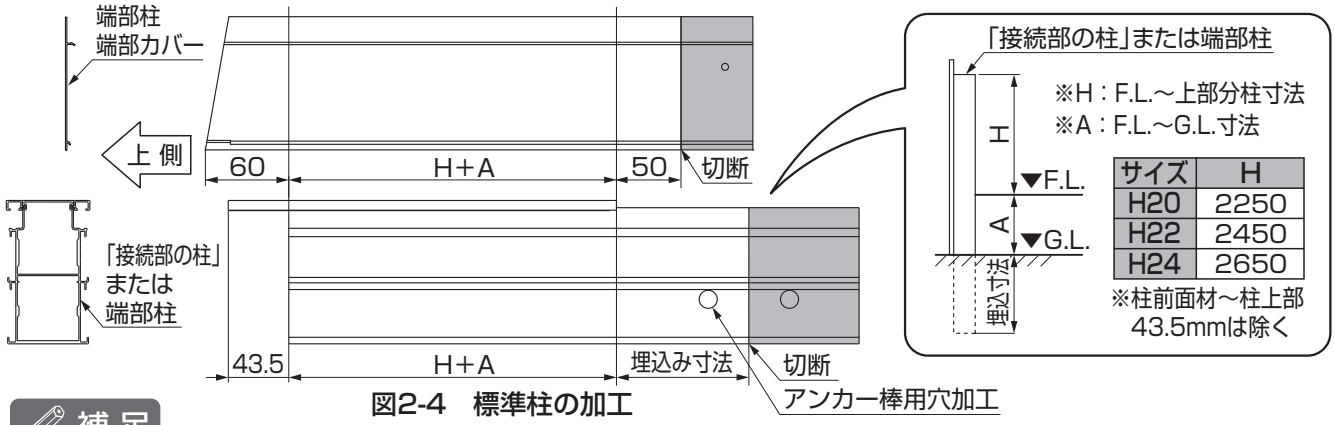


図2-3 オープンテラスロング柱の穴加工

ポイント

●オープンテラス用ロング柱を使用する場合、初めに再加工を行いその後下図の加工を行なってください。



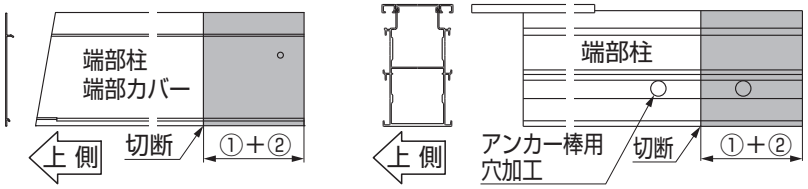
サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

※柱前面材～柱上部43.5mmは除く

図2-4 標準柱の加工

補 足

（参考）オープンテラス用ロング柱を使用する場合の切断寸法

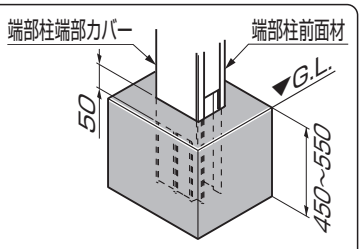


	H20	H22	H24
①基本切断寸法	550	350	150
②F.L.～G.L.切断寸法	550−A	550−A	550−A
切断寸法	①+②		

A：F.L.～G.L寸法

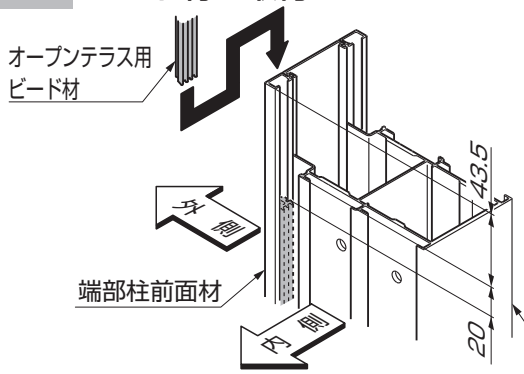
ポイント

●端部柱端部カバーは50mm埋込むため、埋込みラインより50mm下になるように切断してください。
●現場状況(施工状況)に合わせて切断寸法を計算してください。
●端部柱前面材はG.L.まで、柱端部端部カバーは50mm埋込みとなります。
●端部柱端部カバーはここでは取付けないでください。
●ガーデンルームプラスタイプの「接続部の柱」が連棟柱の場合、手順①、③は端部柱と同様です。



①角樋を端部柱から引抜いてください。
②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
③角樋を端部柱に差込んでください。

2-4 ビード材の取付け ※オープンテラス用柱をガーデンルーム用柱として使用する場合



オープンテラス用ビード材長さ寸法

	長さ寸法
H20	2155
H22	2355
H24	2555

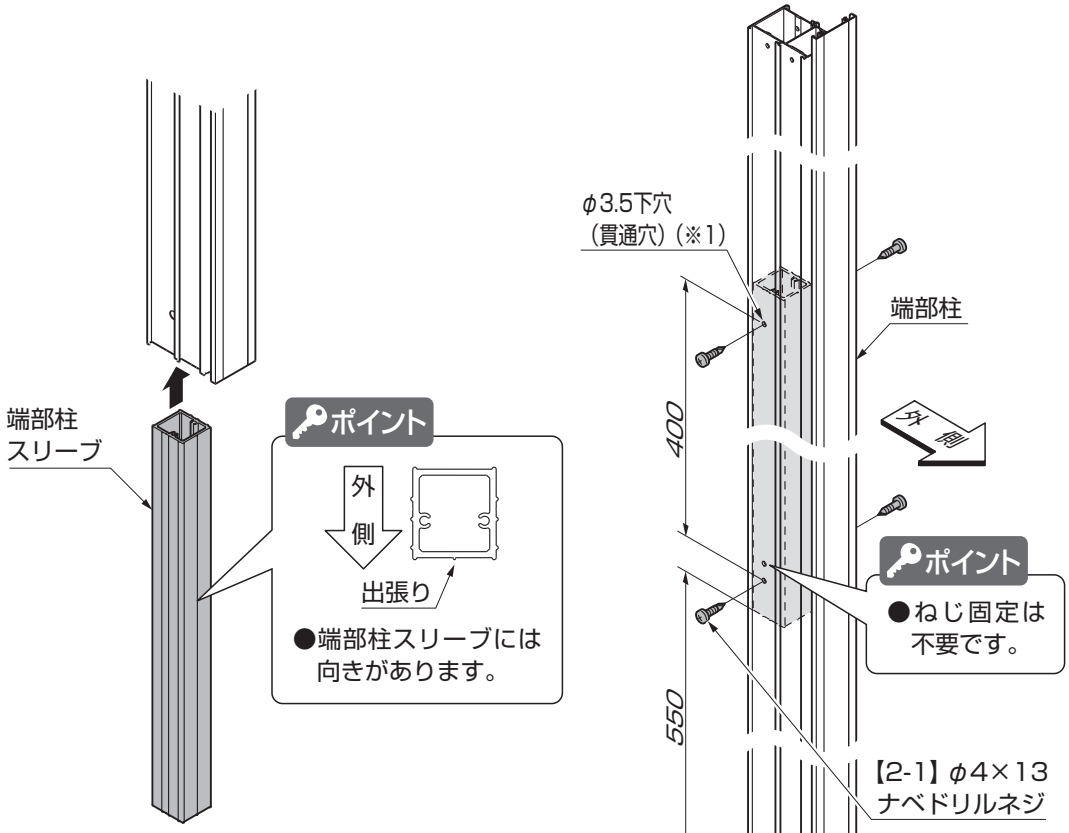
①オープンテラス用ビード材を切断してください。

②オープンテラス用ビード材上端部が端部柱上面から20mm下げた位置になるように、端部柱前面材に取付けてください。

③オープンテラス用ビード材上部を市販の瞬間接着剤で端部柱前面材に接着してください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
				積雪地域

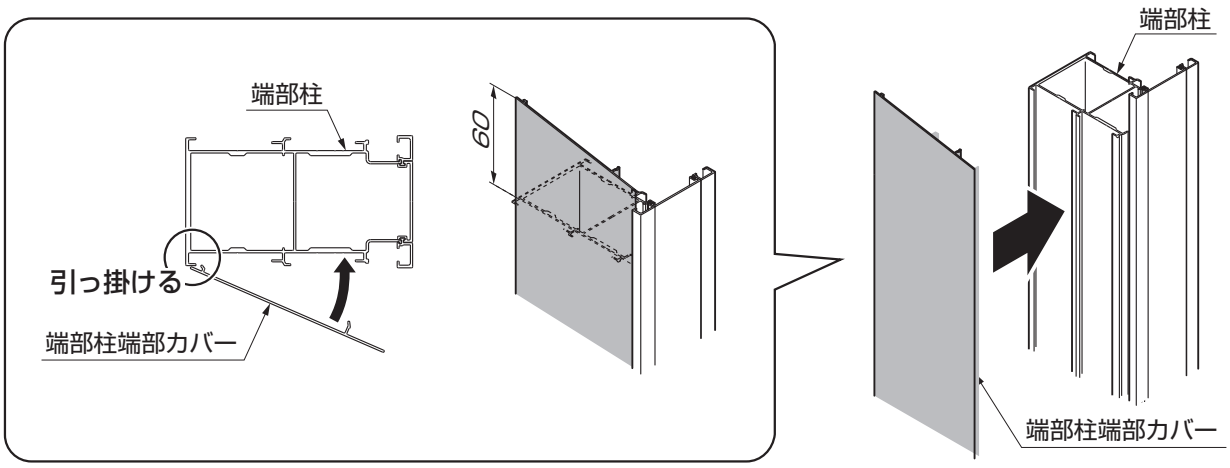
3. 柱スリーブの取付け　※積雪3000Nの場合です。



①端部柱、中間柱にφ3.5下穴（貫通穴）（※1）をあけてください。
②端部柱に端部柱スリーブを差込み、【2-1】で取付けてください。
③中間柱に中間柱スリーブを差込み、【2-1】で取付けてください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

4. 端部柱端部カバーの取付け

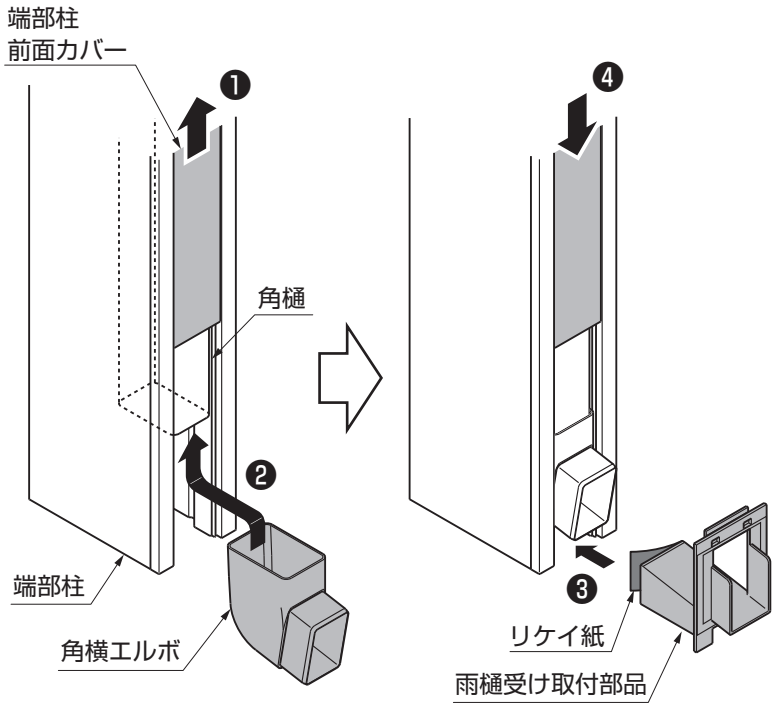


①端部柱端部カバーを端部柱に取付けてください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

5. 雨樋の取付け

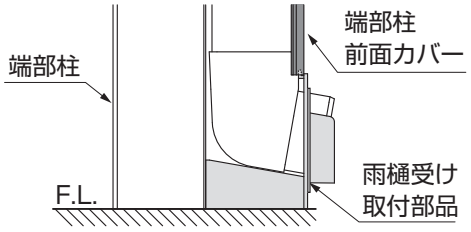
5-1 通常排水（前排水）の場合



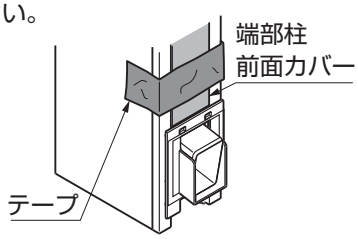
ポイント

●雨樋受け取付部品の上に前面カバーを乗せてください。

●雨樋受け取付部品下端がF.L.ラインにくるように取付けてください。



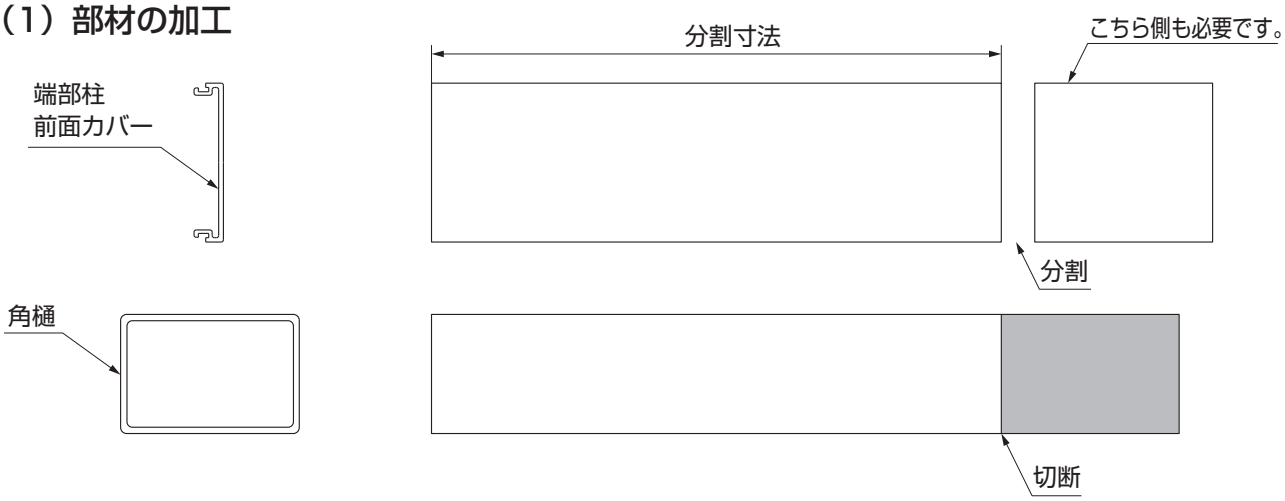
●建込みまでの間、端部柱前面カバーがズレないようにテープなどで仮固定してください。



①端部柱前面カバーを持ち上げ、角樋の下端に角横エルボを取付けてください。
②雨樋受け取付部品のリケイ紙をはがし、端部柱に取付けてください。
③端部柱前面カバーを下ろし、雨樋受け取付部品に乗せてください。

5-2 下排水の場合 ※積雪対応や障害物を避けるため排水位置を上方に変更する方法です。

（1）部材の加工

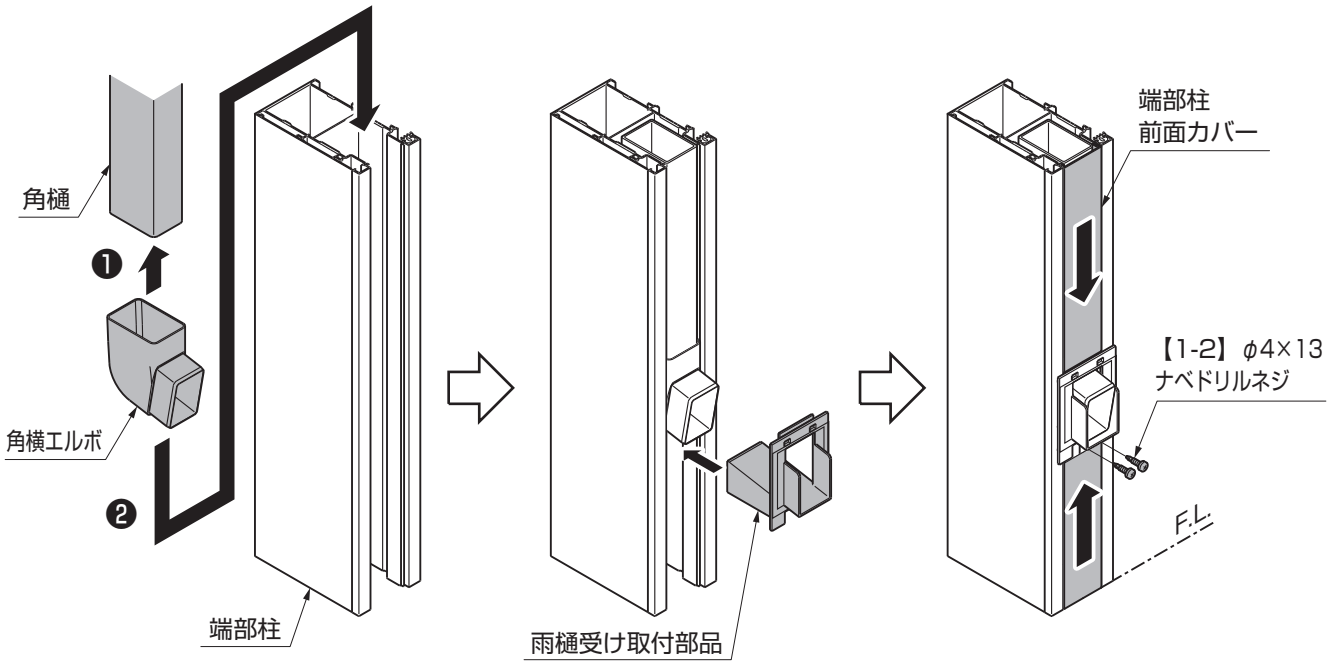


①端部柱から端部柱前面カバー、角樋を引抜き切断・分割してください。

ポイント

●排水位置の上限は雨樋受け部品上部の端部柱前面カバーが100mm未満にならない位置までです。
端部柱内角樋のL寸は、「（切断前の角樋長さ）－（端部柱前面カバー分割寸法）」より求められます。

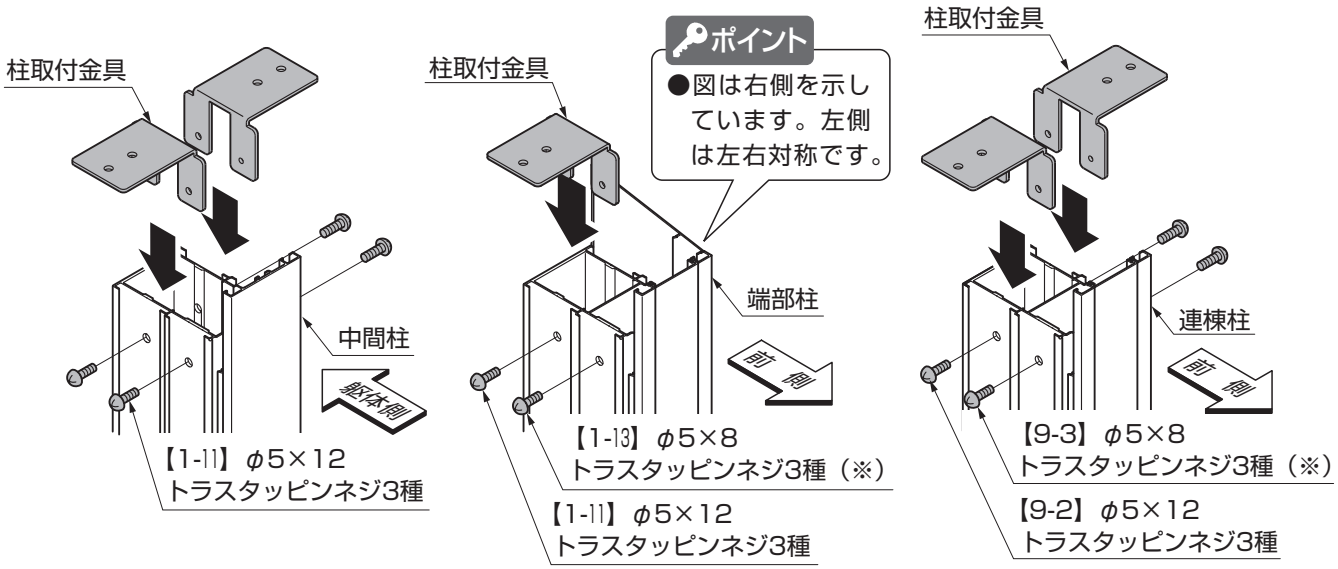
（2）排水口の高さ調整



①角横エルボを角樋に取付け、端部柱にセットしてください。
②雨樋受け取付部品を端部柱にセットしてください。（ネジ固定はしないでください。）
③上下の端部柱前面カバーで雨樋受け取付部品をはさみ、下側のカバー下端がF.L.ラインになるようにしてください。
④この位置で雨樋受け取付部品を端部柱に【1-2】で固定してください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

6. 柱取付金具の取付け



①柱取付金具を柱に、【1-11】、【1-13】、【9-2】、【9-3】で取付けてください。

ポイント

●端部柱と連棟柱の前側は、雨樋と干渉しないよう【1-13】、【9-3】を使用してください。（※）

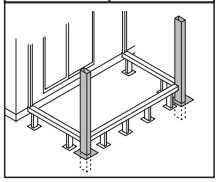
E412_201507A

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

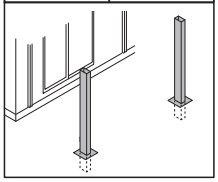
7. 柱の建込み

7-1 柱埋込みの場合

土間	柱固定
ベース	埋込

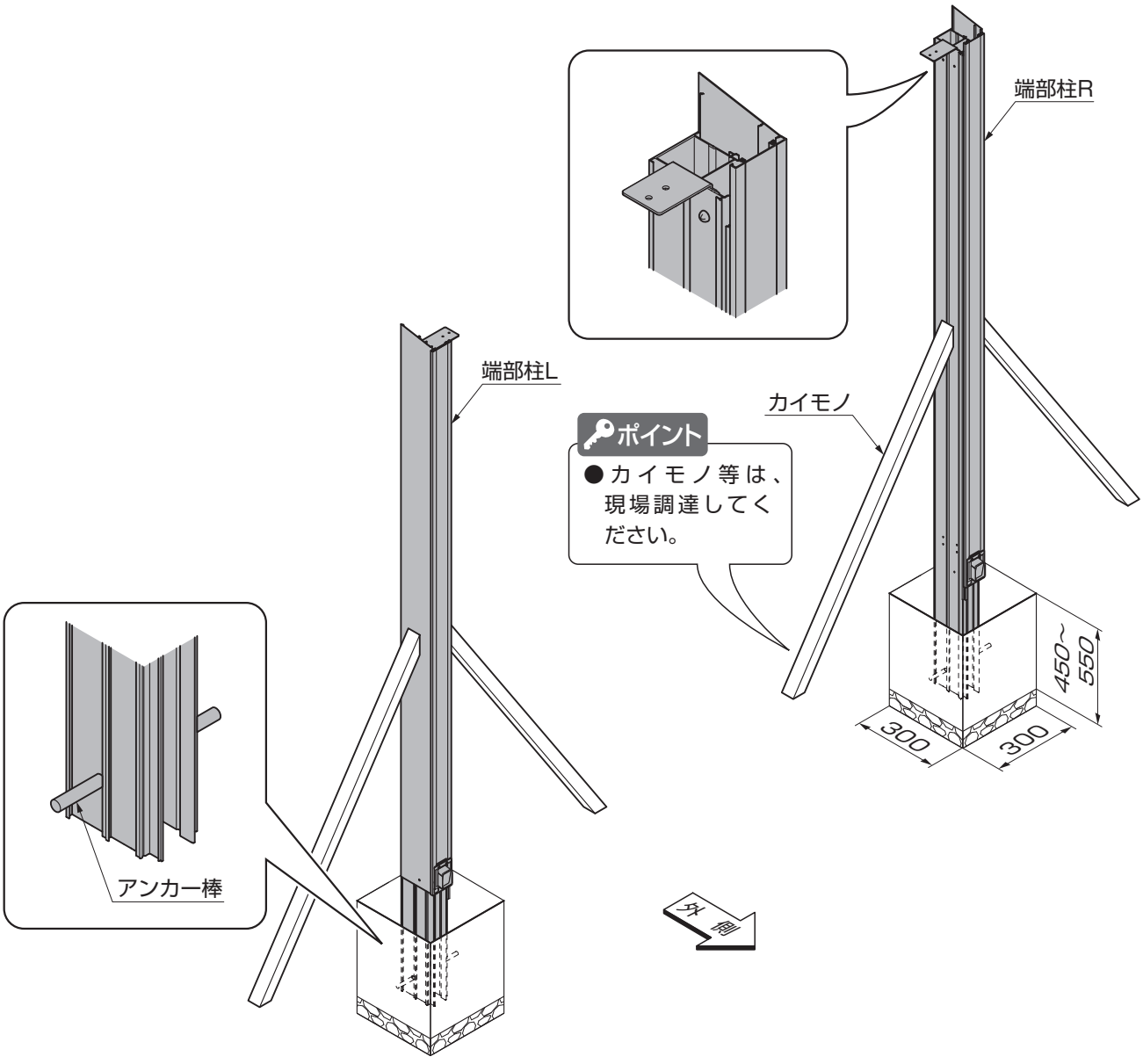


土間	柱固定
基本	埋込



ポイント

●柱の基本埋込み寸法は550mmです。それ以下の寸法で埋込む場合は、切断およびアンカー棒通し穴をあけ直してください。埋込み寸法は450mm以上にしてください。



①端部柱にアンカー棒を差込み、「8　柱の位置出し」を参照して建込んでください。
②端部柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

7-2 柱ベースプレート固定の場合

（1）柱固定ベースの取付け　※図は端部柱用を示します。中間柱用の手順も同様です。

ポイント

●取付けネジは、下表を参照ください。

	取付けネジ	φ4.3 穴加工
デッキ	【13-2】 φ4.5×63丸木ネジ	有
土間 or 束石	【13-1】 φ5×35セルフタップアンカー	無

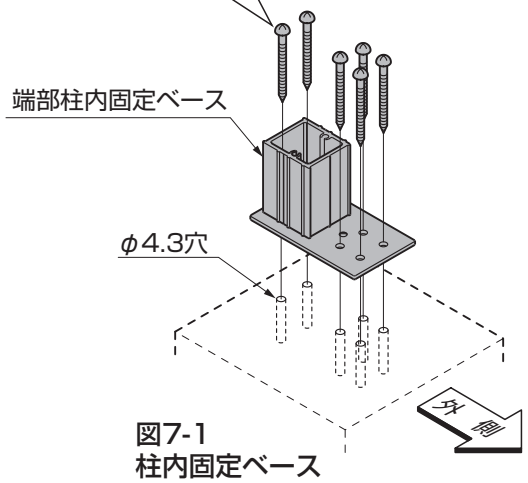


図7-1
柱内固定ベース

ポイント

●取付けネジは、下表を参照ください。

	取付けネジ	φ4.3 穴加工
デッキ	【12-2】 φ4.5×63丸木ネジ	有
土間 or 束石	【12-1】 φ5×35セルフタップアンカー	無

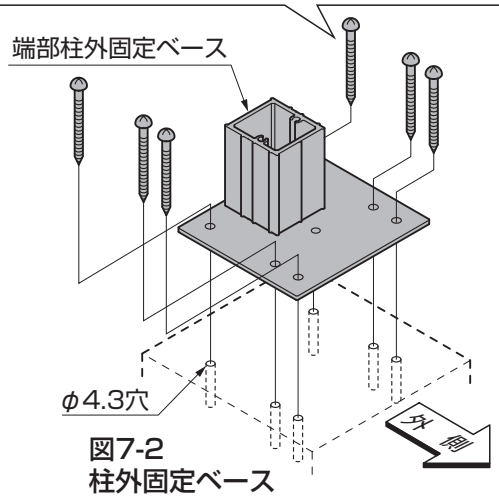
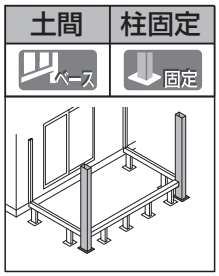
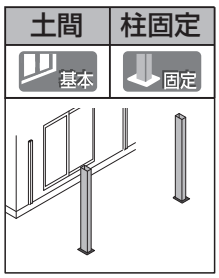


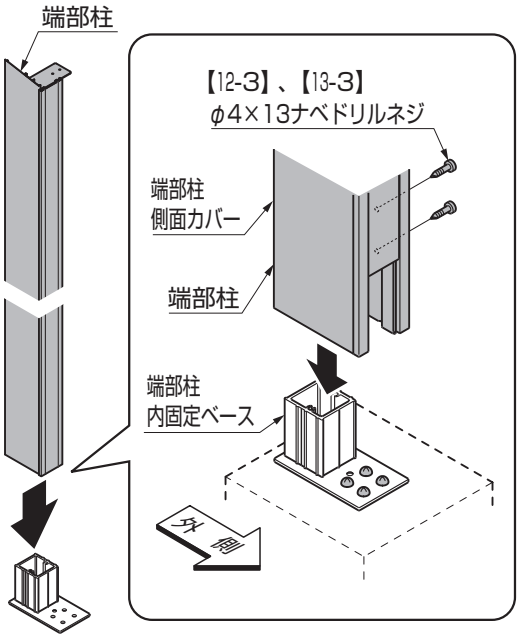
図7-2
柱外固定ベース

①柱固定ベースを取付ける箇所にφ4.3の穴をあけてください。
②柱固定ベースを取付けてください。

（2）柱の建込み　※柱固定ベース仕様の場合の作業です。



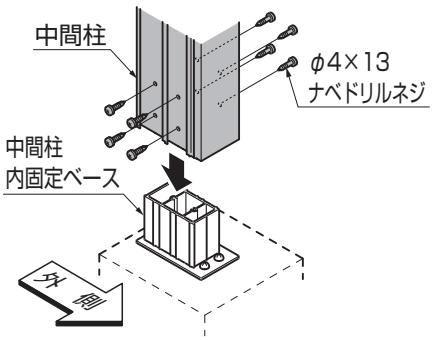




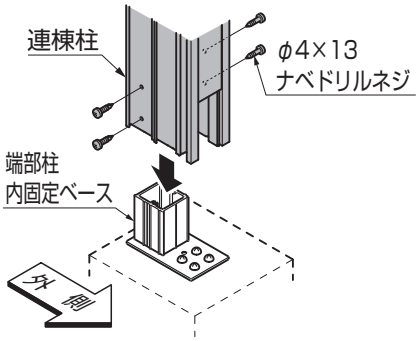
①端部柱を【12-3】、【13-3】で端部柱内固定ベースに取付けてください。

ポイント

【プラスタイプで中間柱を使用する場合】



【プラスタイプで連棟柱を使用する場合】



8. 入隅の場合　※図は右入隅の場合を示します。左入隅の場合は対称です。

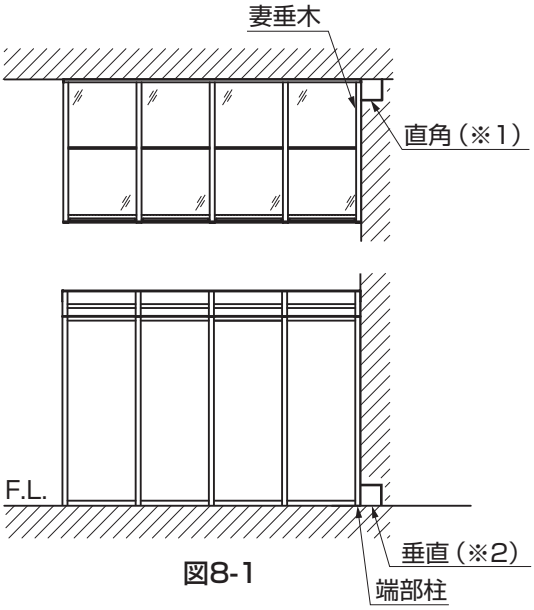


図8-1

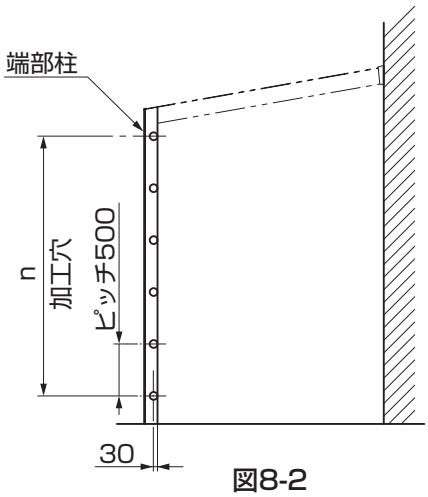


図8-2

表8-1

	加工穴n
H20	5
H22	5
H24	6

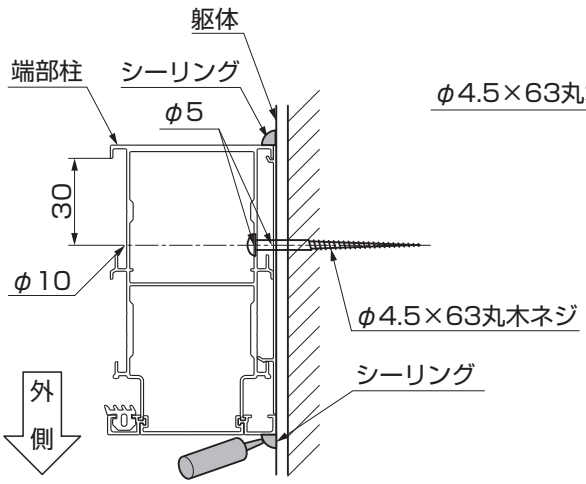


図8-3

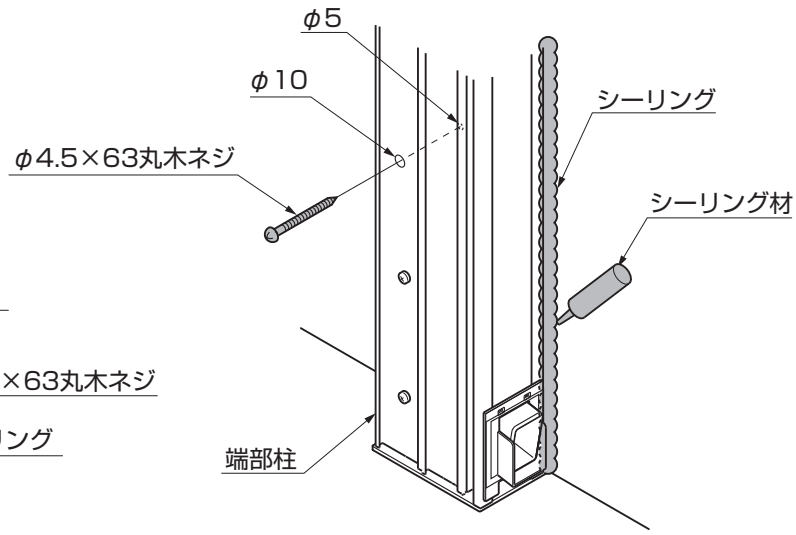


図8-4

ポイント

●躯体外壁の直角度（※1）、垂直度（※2）に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。（図8-1参照）

①入隅側の端部柱に、φ10、φ5の穴をあけてください。（図8-2、図8-3、表8-1参照）
②端部柱と躯体を、「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。（図8-3、図8-4参照）

ポイント

●「φ4.5×63丸木ネジ」は、現場で手配してください。

③端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。（図8-4参照）

ポイント

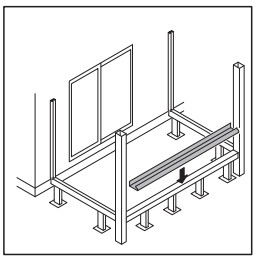
●指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
●躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。

13 フレーム施工

1. 前面ベース受けの取付け

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

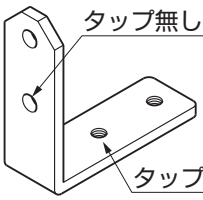
1-1 ベース受け取付金具の取付け

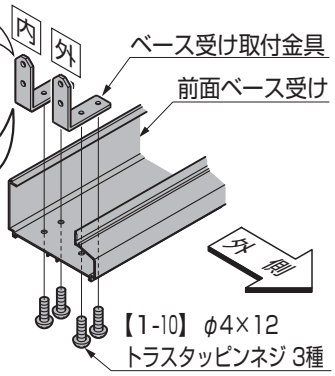


ポイント

【ベースプレートの場合】
●内側の「ベース受け取付金具」は使用しません。

【ベース受け取付金具 取付向き】

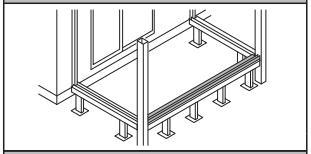




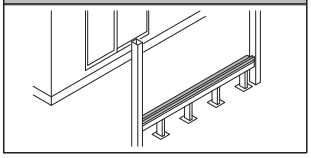
ポイント

●前面ベース受けは下図の位置に取付けてください。

ガーデンルームタイプ GR



サイドスルータイプ ST



①ベース受け取付金具を前面ベース受けに【1-10】で取付けてください。

1-2 前面ベース受けの取付け

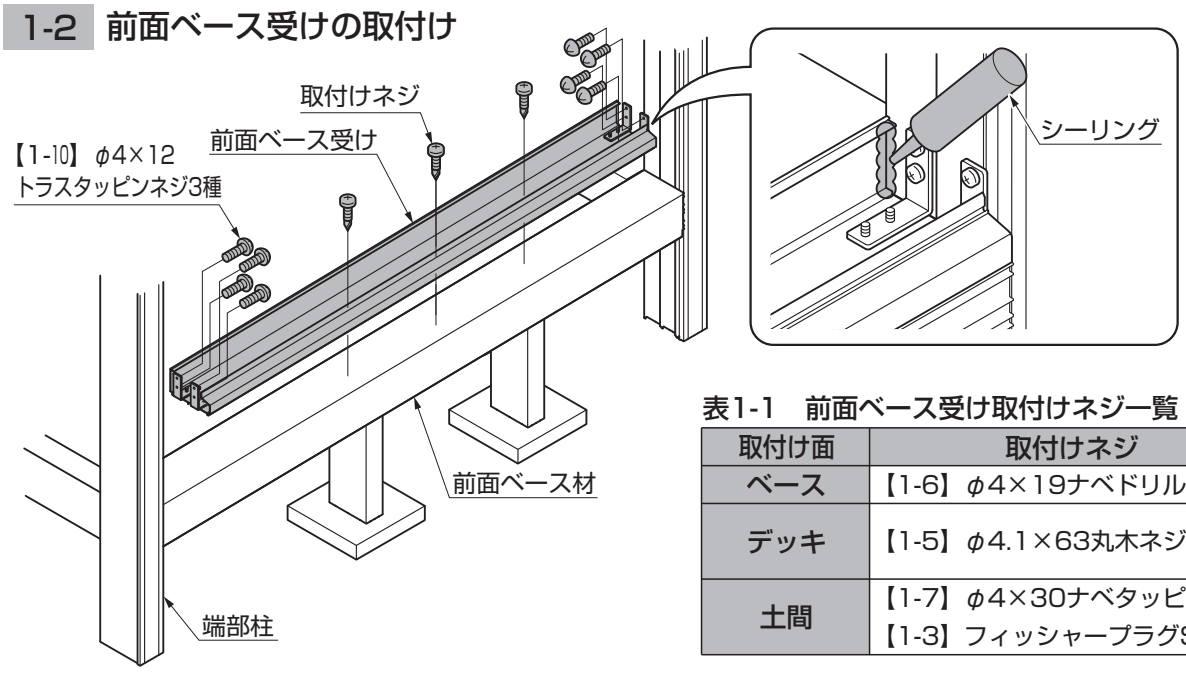


表1-1　前面ベース受け取付けネジ一覧

取付け面	取付けネジ
ベース	【1-6】φ4×19ナベドリルネジ
デッキ	【1-5】φ4.1×63丸木ネジ
土間	【1-7】φ4×30ナベタッピン1種 【1-3】フィッシャープラグS6

①前面ベース受けを端部柱に【1-10】で取付けてください。
②前面ベース受けを床に【1-6】、【1-5】、【1-7】で取付けてください。

ポイント

●前面ベース受けの背面を端部柱の背面に揃えて取付けてください。
●前面ベース受け取付けネジは取付面（床）に合ったネジを使用してください。

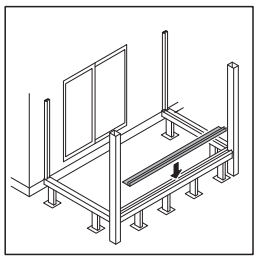
③端部柱と前面ベース受けにシーリングをしてください。

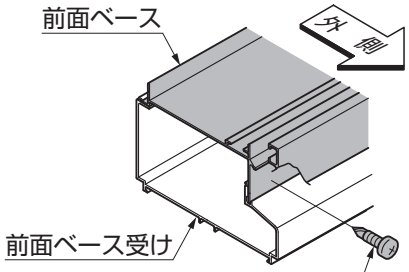
ポイント

●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

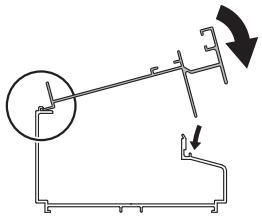
2. 前面ベースの取付け

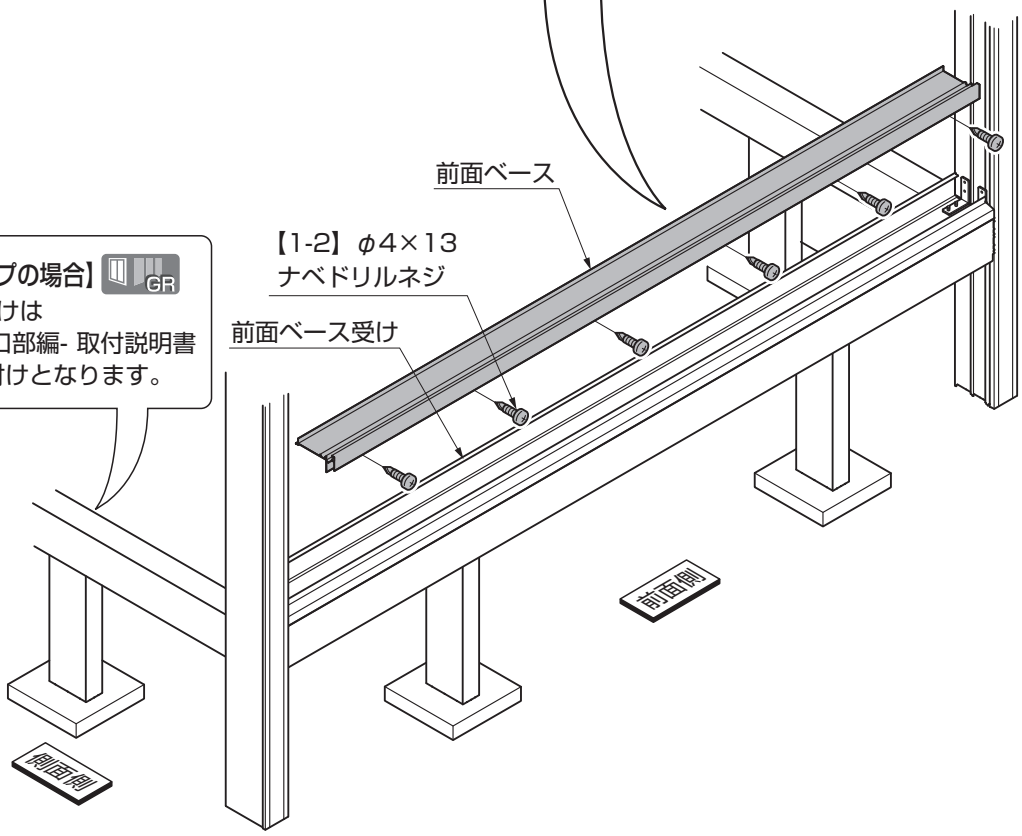




ポイント

●前面ベース受けに引っ掛けて回転させるようにはめ込んでください。





ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】GR

●側面ベースの取付けは「ココマⅡ -側面開口部編- 取付説明書(E418)」での取付けとなります。

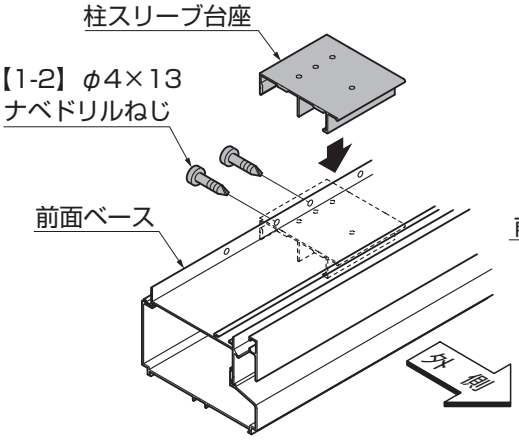
①前面ベースを前面ベース受けに【1-2】で取付けてください。

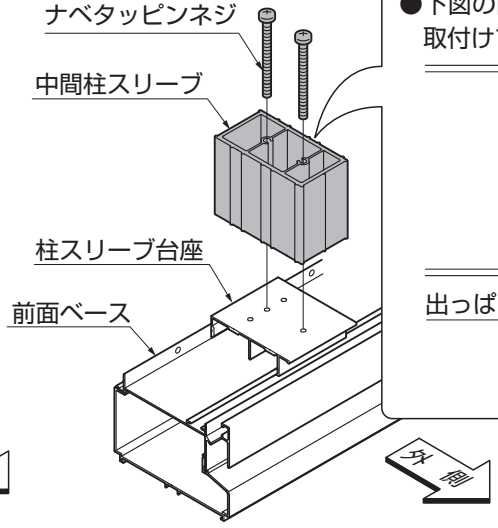
タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

3. スリーブの取付け

3-1 柱スリーブ台座の取付け（一般地域の場合）

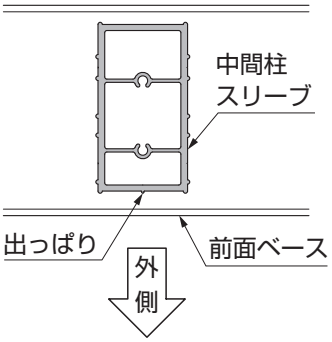
地域：一般地域





ポイント

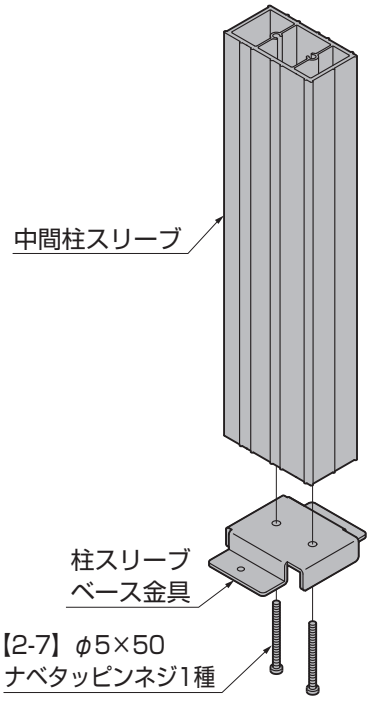
●下図の向きで中間柱スリーブを取付けてください。

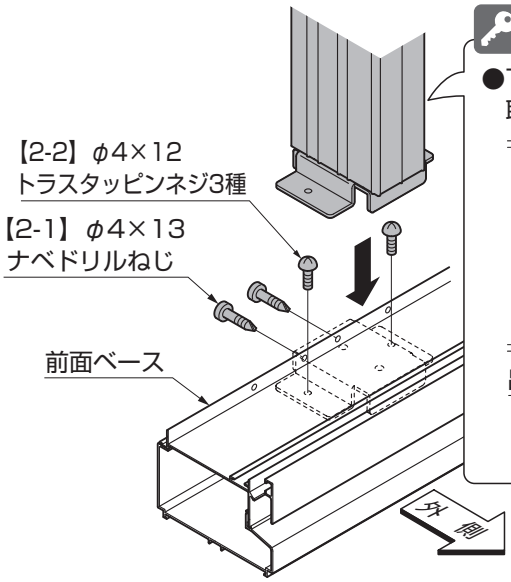


①柱スリーブ台座を前面ベースに【1-2】で取付けてください。
②中間柱スリーブを柱スリーブ台座に【1-12】で取付けてください。

3-2 柱スリーブ台座の取付け（積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合）

地域：積雪地域



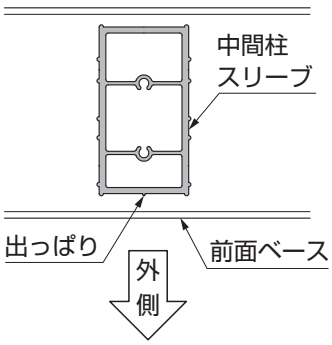


ポイント

●柱スリーブベース金具垂直方向から固定するネジが空回りしないよう注意してください。

ポイント

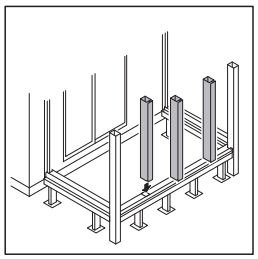
●下図の向きで中間柱スリーブを取付けてください。

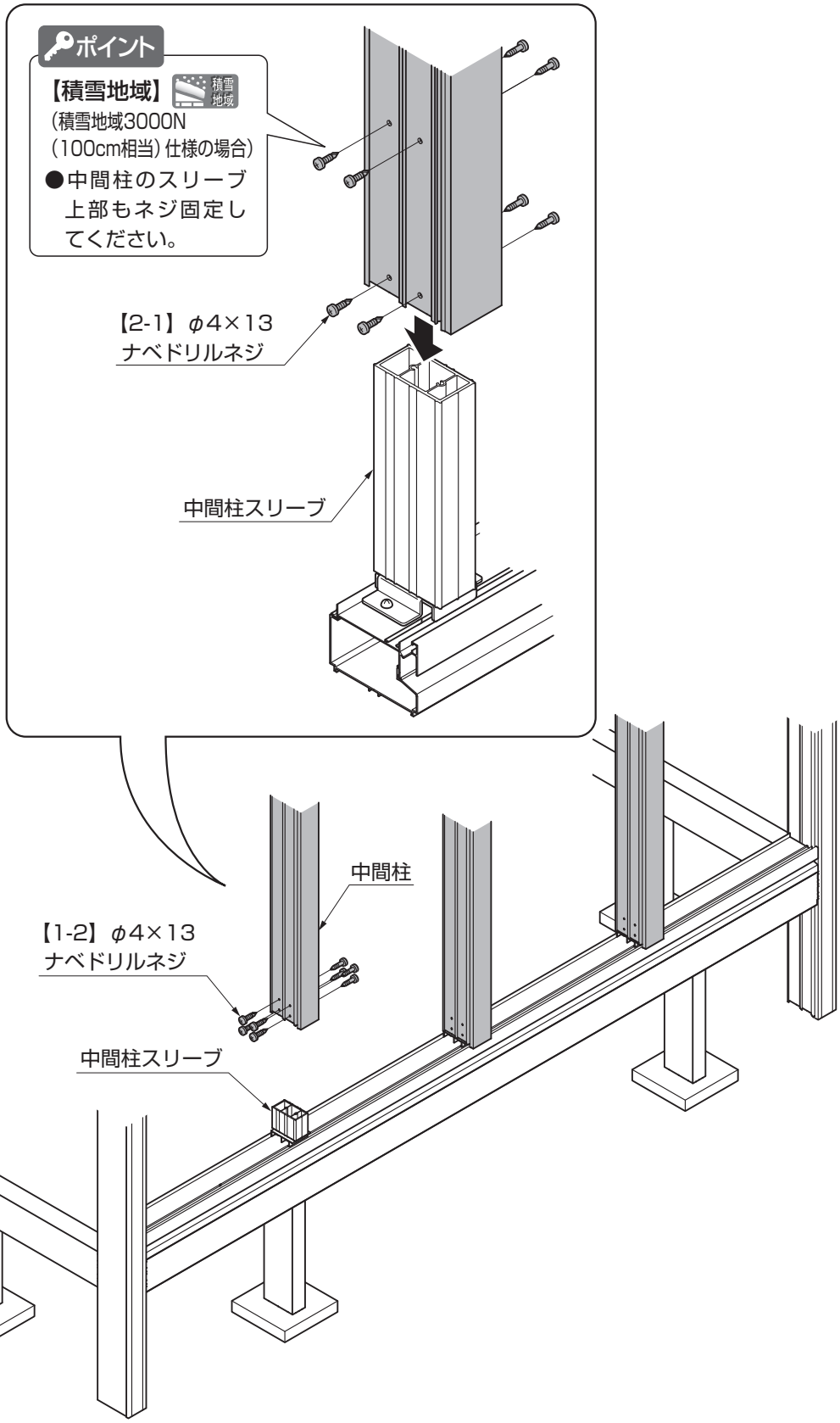


①中間柱スリーブを柱スリーブ台座に【2-7】で取付けてください。
②柱スリーブ台座を前面ベースに【2-1】【2-2】で取付けてください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

4. 中間柱の建込み





①中間柱を中間柱スリーブに【1-2】で取付けてください。

E412_201507A

5. 中桟の取付け

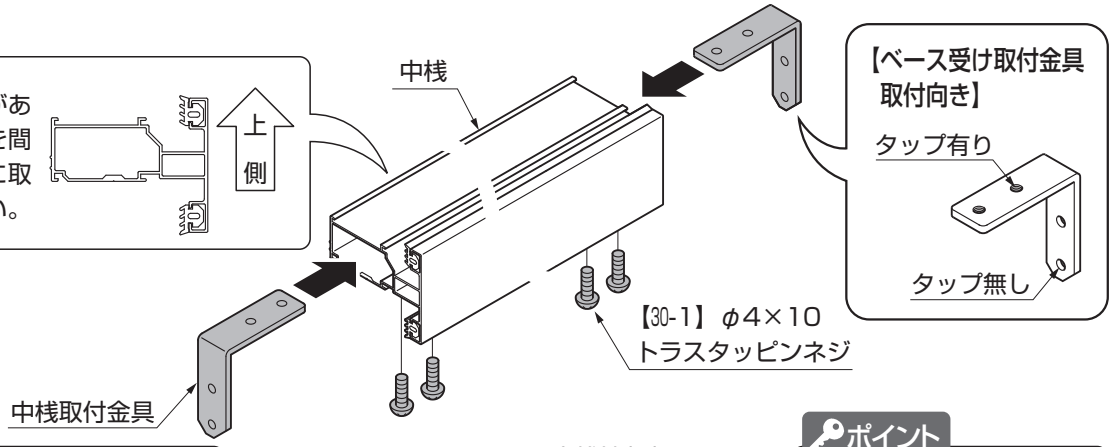
※中桟を取付ける場合の作業です。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

5-1 中桟の組立て

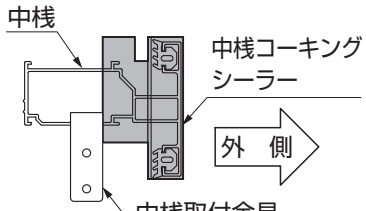
ポイント

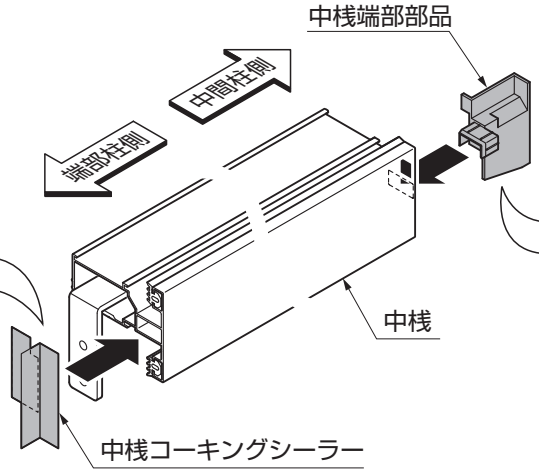
●中桟には向きがあります。上下を間違えないように取付けてください。



ポイント

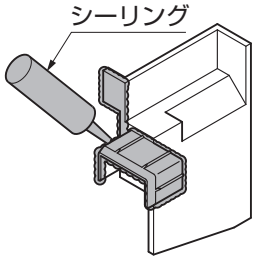
●端部柱側には中桟コーキングシーラーを張付けてください。
●中桟コーキングシーラーは中桟取付金具に接し、中桟外側面に沿わせて貼付けてください。





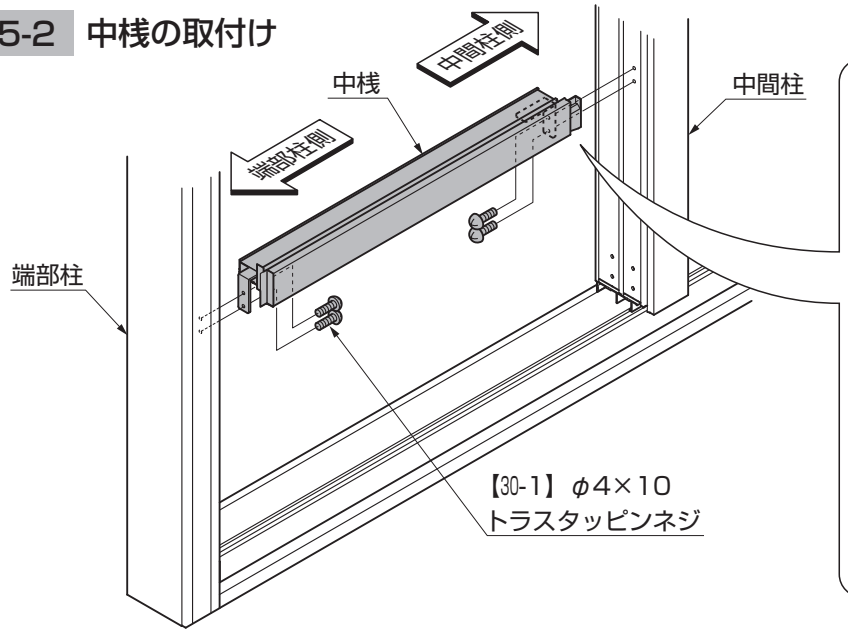
ポイント

●中間柱側には中桟端部部品にシーリングを塗布して取付けてください。
●中桟端部部品には左右があります。



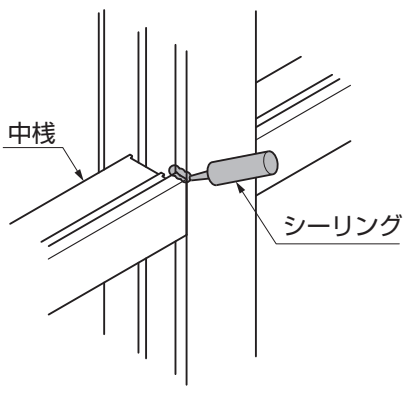
①中桟取付金具を中桟の両端に【30-1】で取付けてください。
②中桟コーキングシーラーと中桟端部部品を中桟に取付けてください。

5-2 中桟の取付け



ポイント

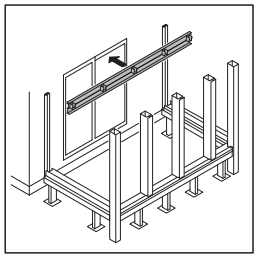
●中桟にシーリングをしてください。



①中桟を端部柱、中間柱に【30-1】で取付けてください。

6. 垂木掛けの取付け

6-1 垂木掛けの取付け



補 足

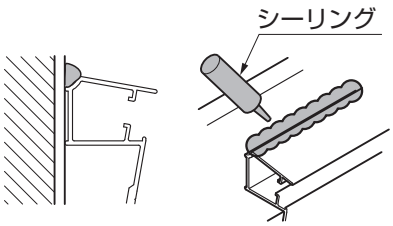
●躯体方立を取付けている場合は垂木掛けを躯体方立に乗せて取付けてください。
●垂木掛けの取付け位置は「5 基本寸法」を参照してください。

ポイント

●垂木掛けの躯体取付け面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付け面の止水性を確保してください。
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

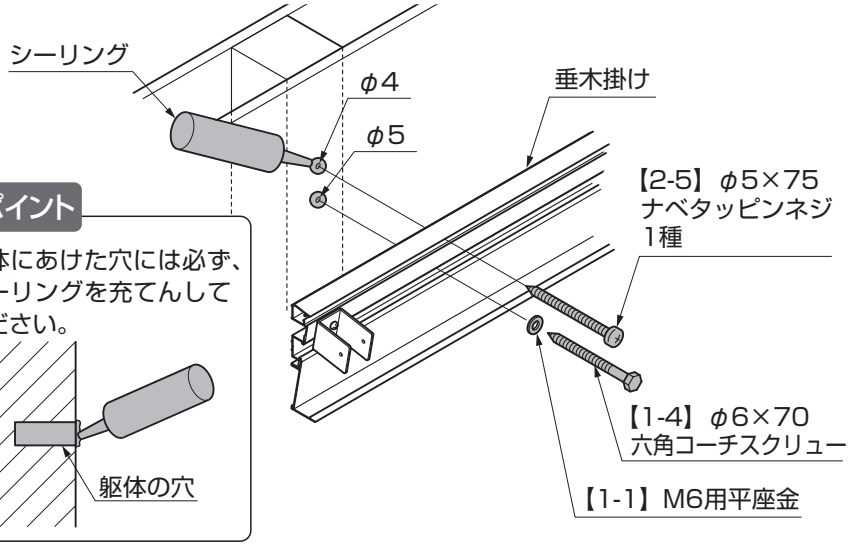
ポイント

●指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。



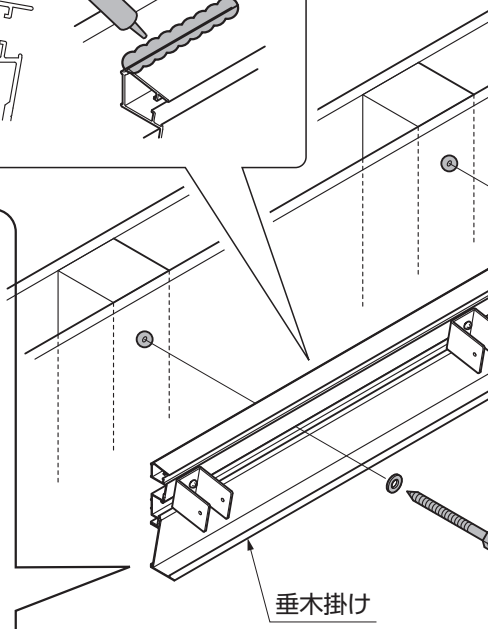
【積雪地域】 積雪地域

（積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合）



ポイント

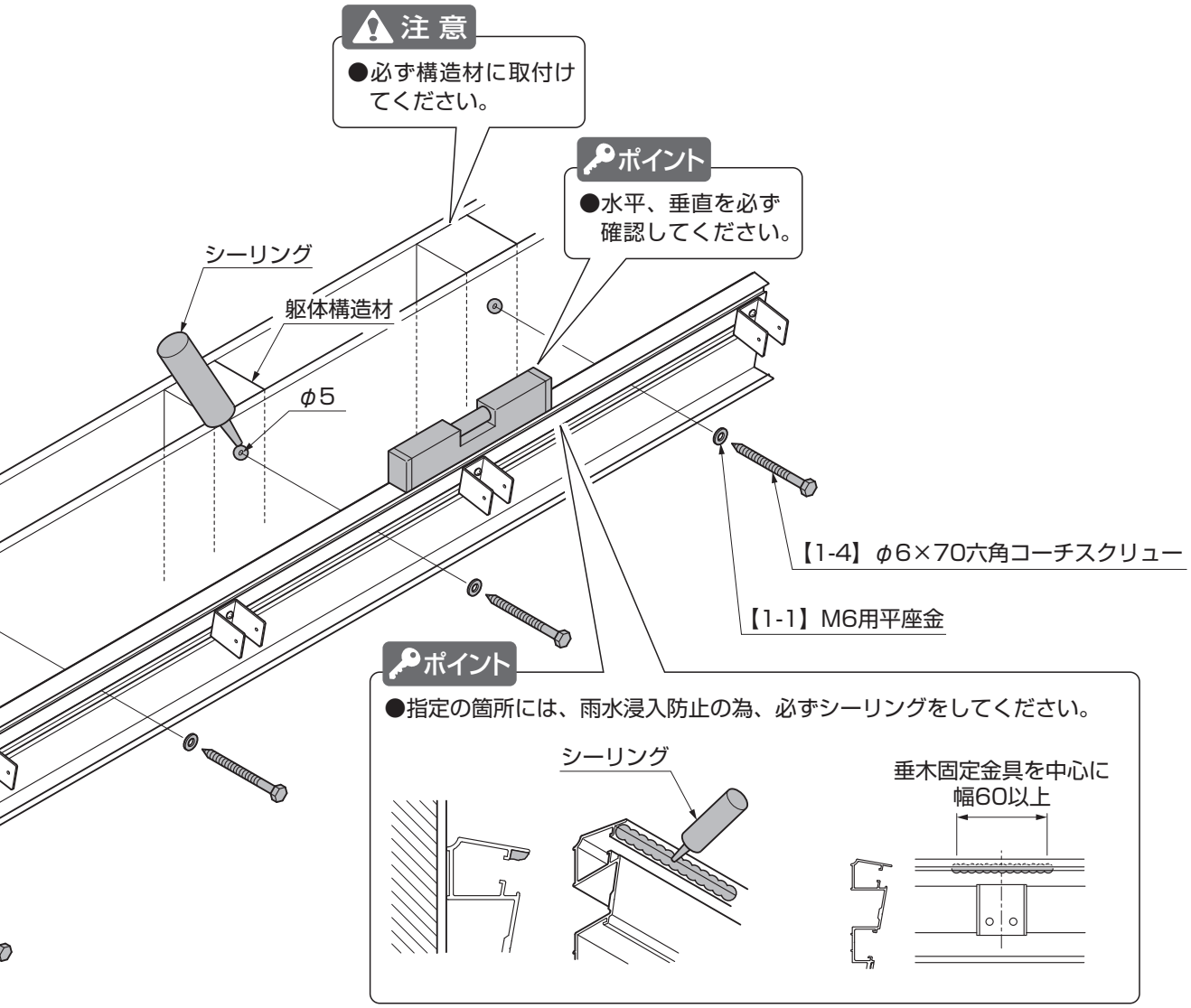
●躯体にあけた穴には必ず、シーリングを充てんしてください。



【一般地域】 一般地域

①躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
②躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
③垂木掛けを躯体の構造材に【1-1】、【1-4】で取付けてください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				



【積雪地域】 積雪地域 （積雪地域1500N（ 50cm相当）仕様の場合）

①躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
②躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
③垂木掛けを躯体の構造材に【1-1】、【1-4】で取付けてください。

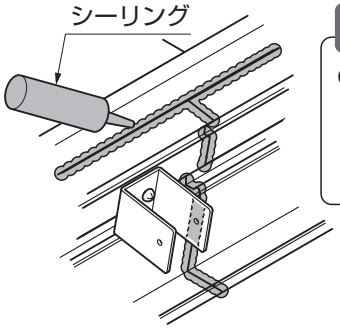
【積雪地域】 積雪地域 （積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合）

①躯体に垂木取付け用の穴をけがいてφ4とφ5の穴をあけてください。
②躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
③垂木掛けを躯体の構造材に【1-1】、【1-4】と【2-5】で取付けてください。

6.（つづき）

6-2　連棟、垂木LED照明 オプション 、入隅仕様の場合

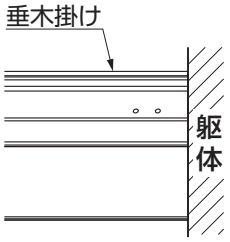
（1）連棟の場合



ポイント

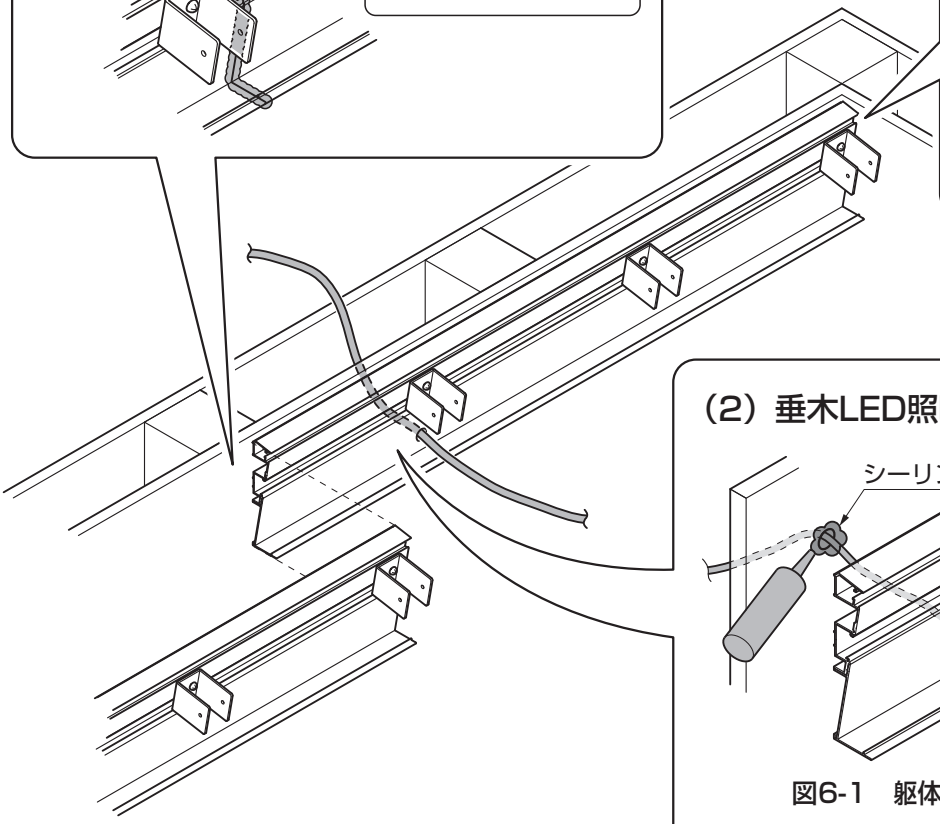
●指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。

（3）入隅仕様の場合

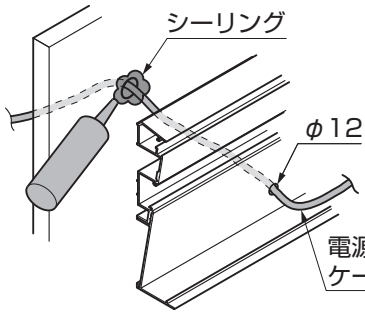


ポイント

●垂木掛け側面を躯体に突き当てて取付けてください。



（2）垂木LED照明 オプション



ポイント

●躯体にあけた穴にシーリングを充てんしてください。

図6-1　躯体に穴をあけて配線する場合

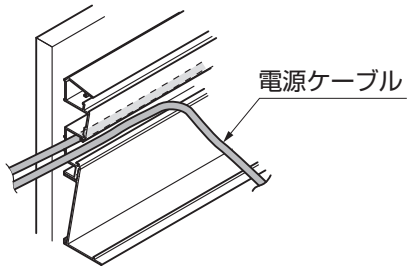


図6-2　垂木掛けの溝を利用する場合

（1）連棟の場合

①垂木掛けの連結箇所にシーリングをしてください。

（2）垂木LED照明 オプション

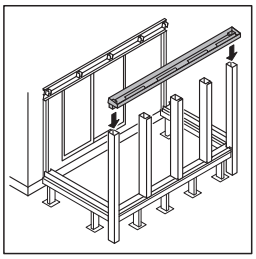
①躯体に穴をあけて配線する場合は、「9 施工前の準備　2.配線工事」を参照して電源ケーブルを通す位置の垂木掛けにφ12の穴をあけ、躯体から配線してください。

（3）入隅仕様の場合

①垂木掛けを躯体にあてがい取付けてください。

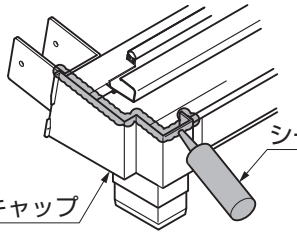
タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

7. 桁の取付け



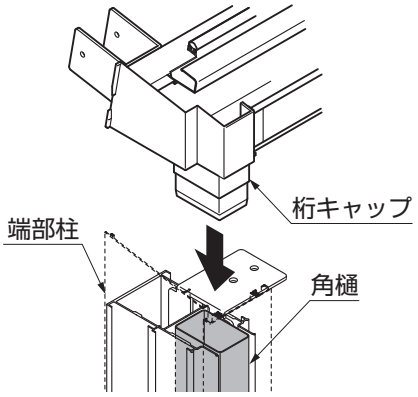
ポイント

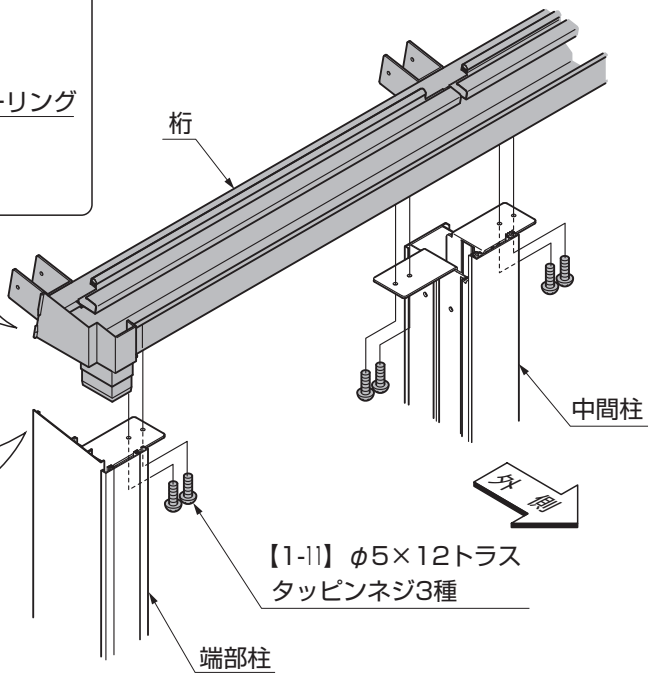
●指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。

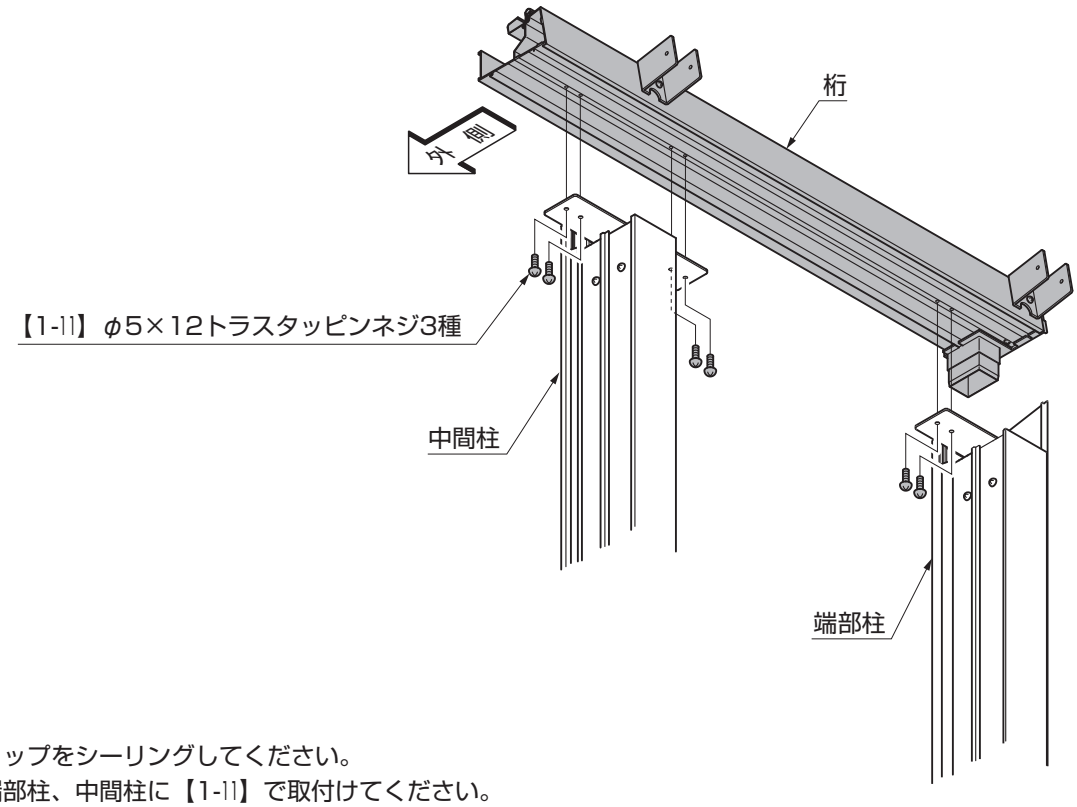


ポイント

●桁キャップを角樋に挿入してください。





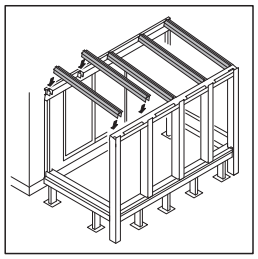


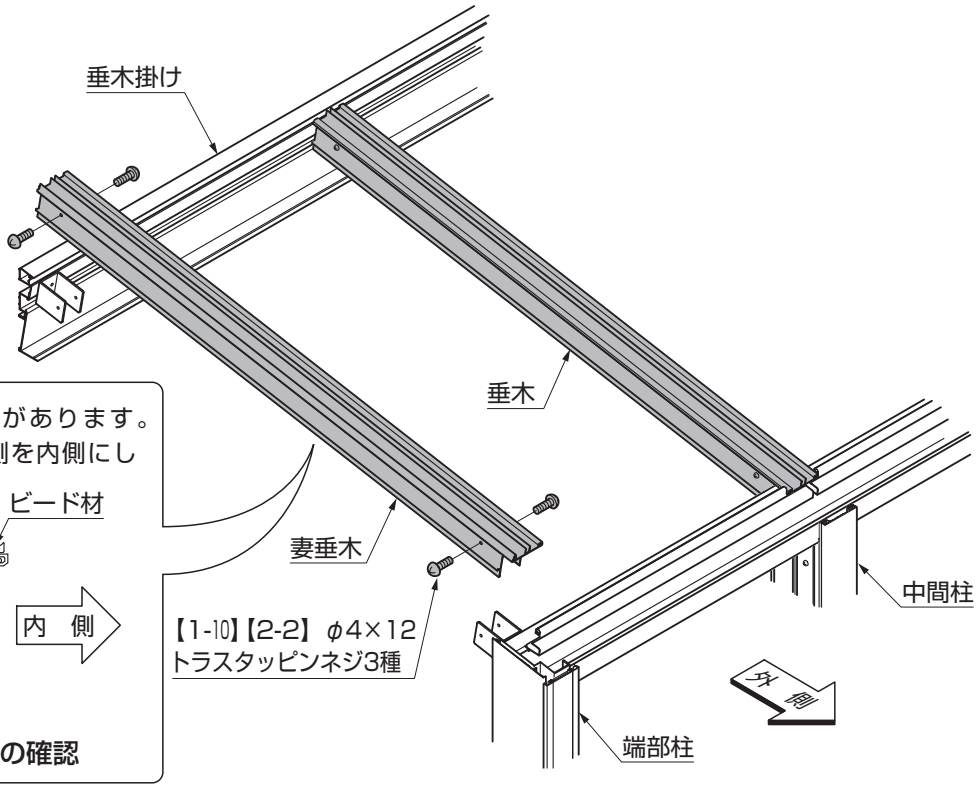
①桁キャップをシーリングしてください。
②桁を端部柱、中間柱に【1-11】で取付けてください。

E412_201507A

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

8. 妻垂木・垂木の取付け





ポイント

●妻垂木には左右の向きがあります。
ビード材が付いている側を内側にして取付けてください。

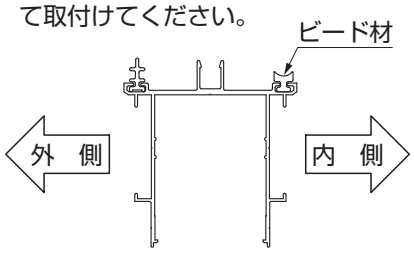
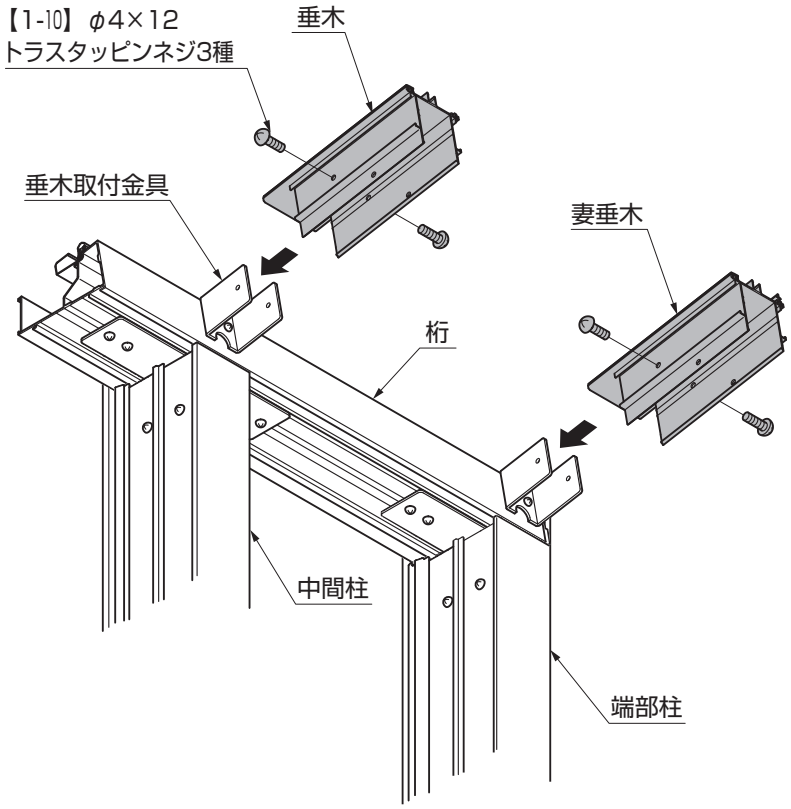


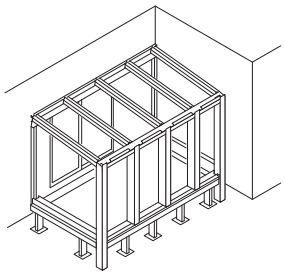
図8-1　妻垂木左右の確認

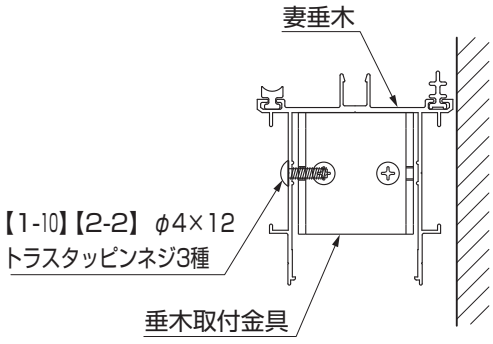


ポイント

【入隅仕様の場合】

●【1-10】を片側だけ取付けてください。

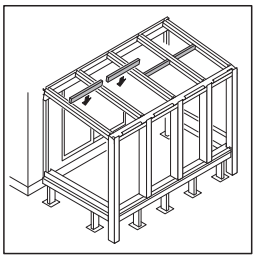


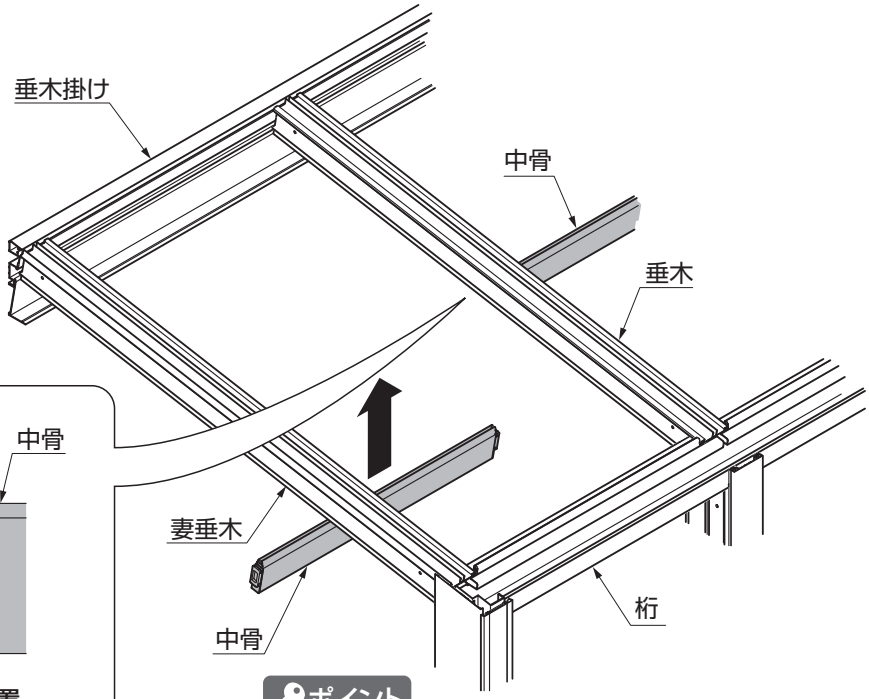


①妻垂木、垂木を垂木取付金具に【1-10】、【2-2】で取付けてください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

9. 中骨の取付け





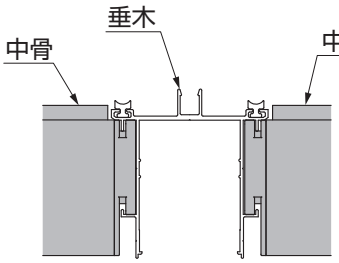


図9-1　中骨取付け位置

ポイント

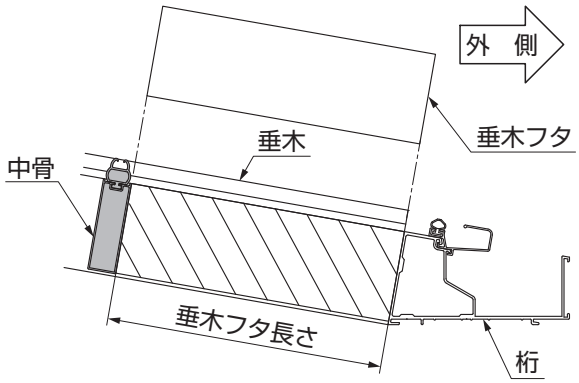
●仕様によって中骨の本数が異なります。

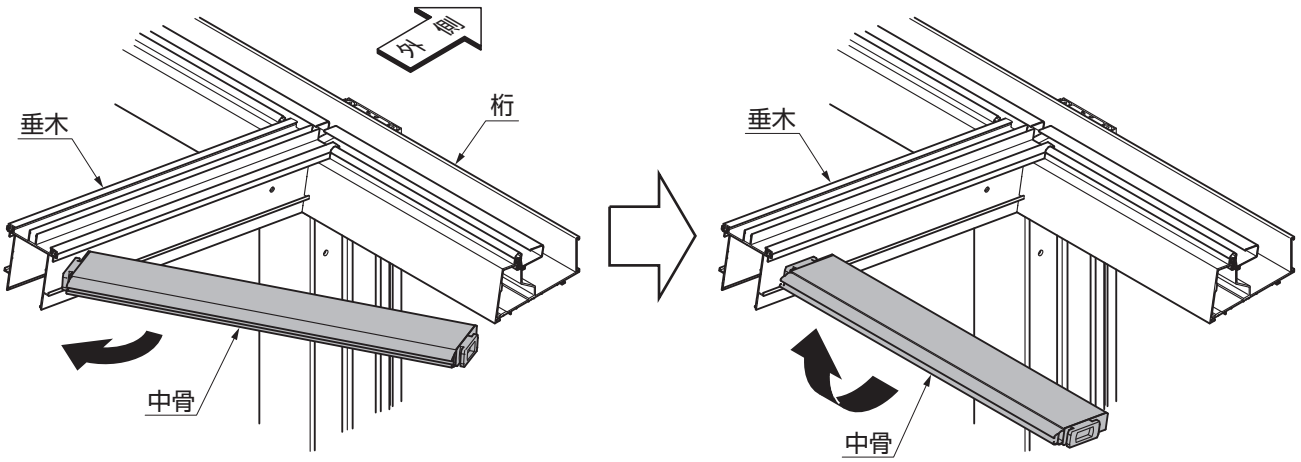
表9-1　1スパン当りの中骨本数

	4尺	6尺	8尺	10尺
600N	−	1	1	2
1500N･3000N	1	2	3	

ポイント

●垂木フタの長さを目安に中骨のおおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。

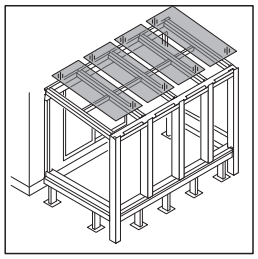




①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

10. 屋根材の取付け

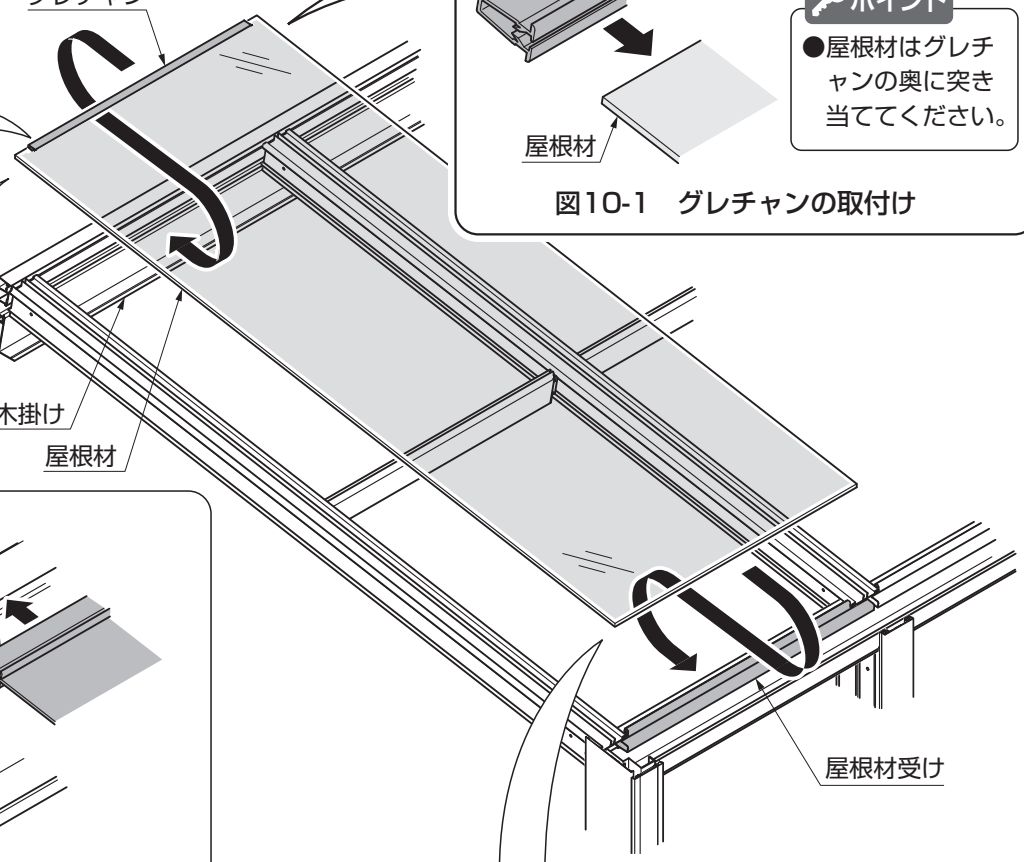


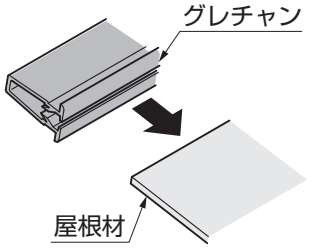
ポイント

●左右どちらかの妻垂木より、1スパンごとに取付けてください。
●垂木掛けにしっかり差し込んでください。
●屋根材には耐候面（裏表）があります。ラベルの貼付け面を確認の上、取付け間違いのないように注意してください。

ポイント

●グレチャンからの屋根材のはみ出し幅が左右均等になるようにしてください。





ポイント

●屋根材はグレチャンの奥に突き当ててください。

図10-1　グレチャンの取付け

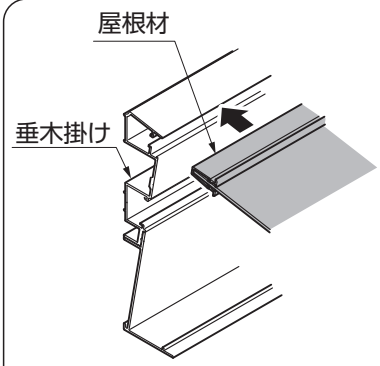
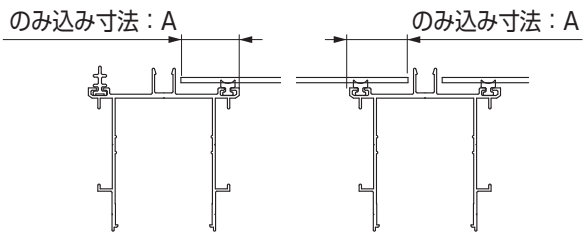
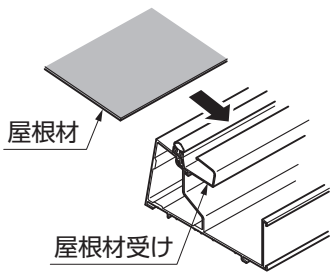


図10-2　屋根材の取付け

ポイント

●屋根材ののみ込みが左右均等になるようにしてください。





ポイント

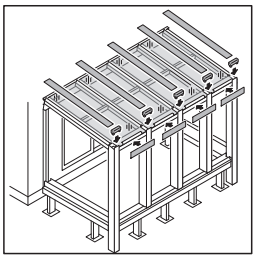
●屋根材のはみ出しが左右均等になるように屋根材受けをスライドしてください。

図10-3　屋根材の取付け

①グレチャンを屋根材に取付けてください。（図10-1参照）
②屋根材を垂木掛けに差込んでください。（図10-2参照）
③屋根材を屋根材受けに、差込んでください。（図10-3参照）

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

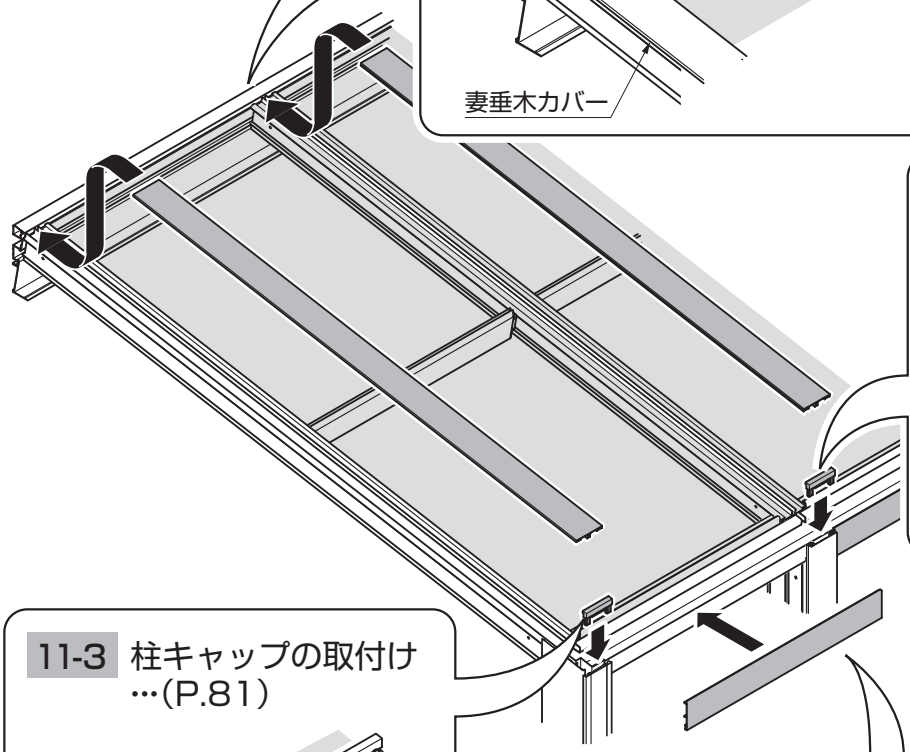
11. 垂木カバーの取付け



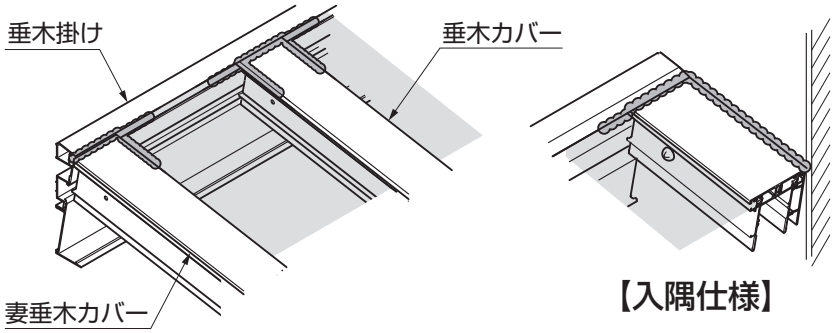
ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

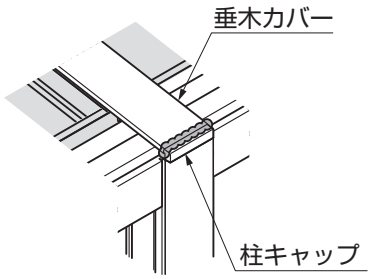
11-1 シーリング箇所一覧



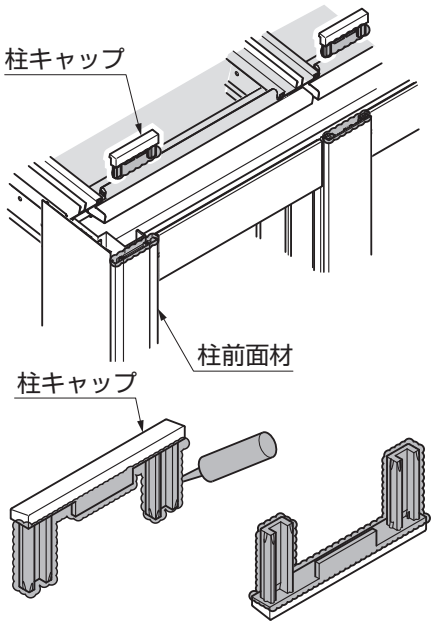
11-5 垂木カバーの取付け…(P.83)



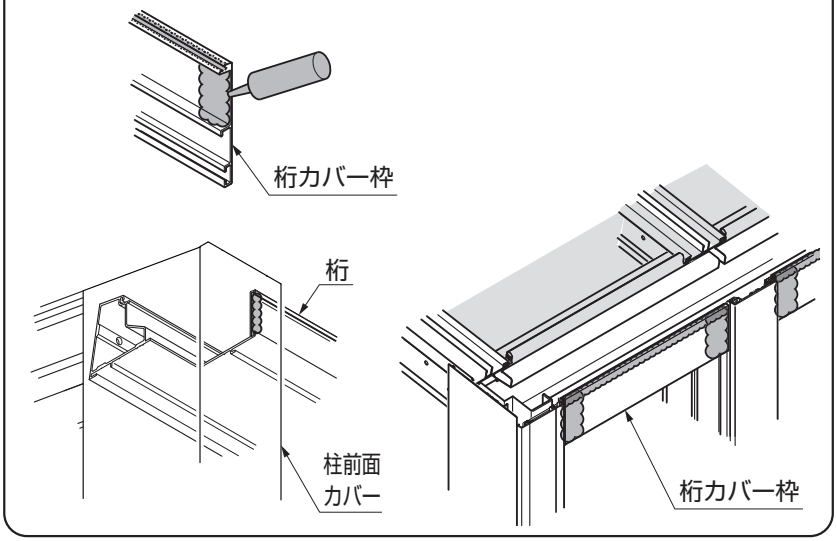
11-5 垂木カバーの取付け…(P.83)



11-3 柱キャップの取付け…(P.81)



11-2 桁カバー枠の取付け…(P.80)

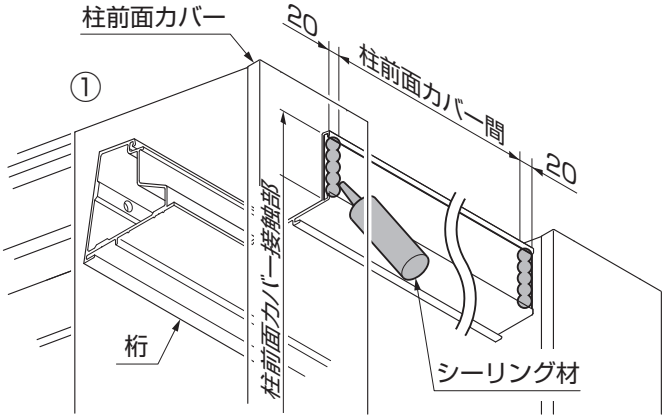


11.（つづき）

11-2 桁カバー枠の取付け

ポイント

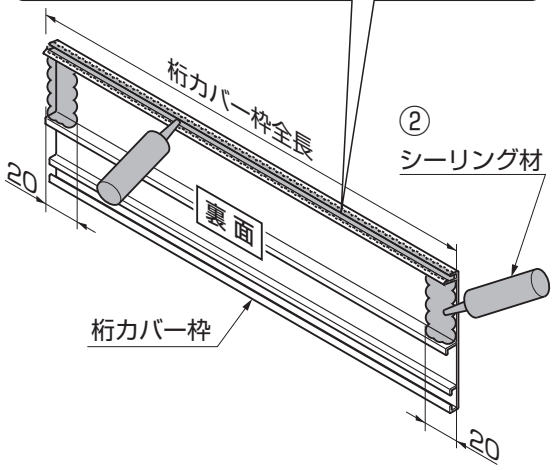
●指定の箇所に必ずシーリングをしてください。

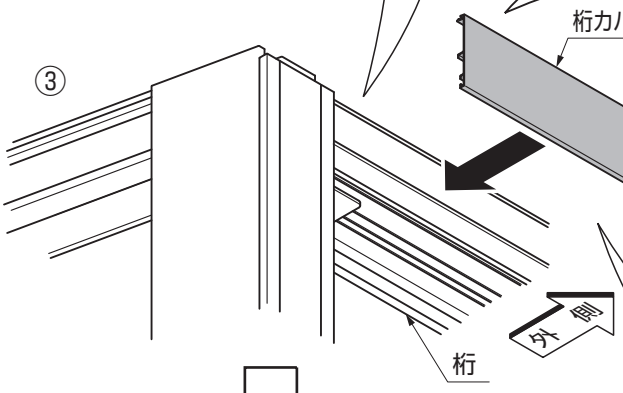


【桁カバー枠裏側シーリング箇所】

ポイント

●上図の箇所については桁カバー枠全長にシーリングを行ってください。



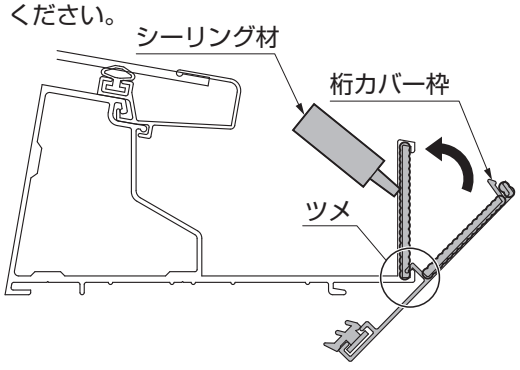


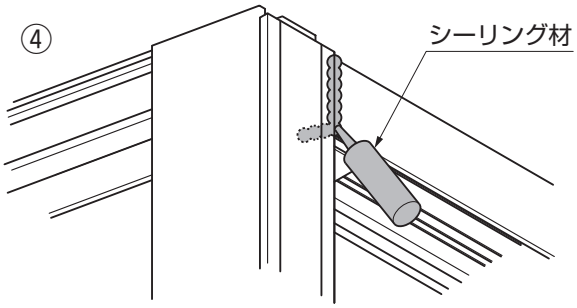
ポイント

●ガーデンルームプラスタイプのオープンテラス部分には、オープンテラス用桁カバー枠（先付ビード材無し）を取付けてください。

ポイント

●桁カバー枠を桁のツメに引っ掛けてはめ込んでください。





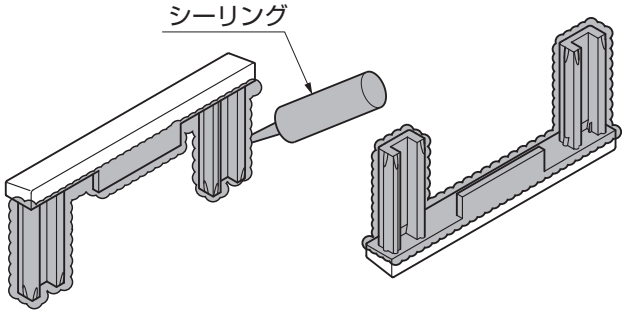
①桁の柱前面カバー接触部に幅20mm程度の幅でシーリングをしてください。
②桁カバー枠の裏側にシーリングをしてください。(参照【桁カバー枠裏側シーリング箇所】)
③桁カバー枠を桁にはめこんでください。
④桁カバー枠の両端部にシーリング材をしてください。

ポイント

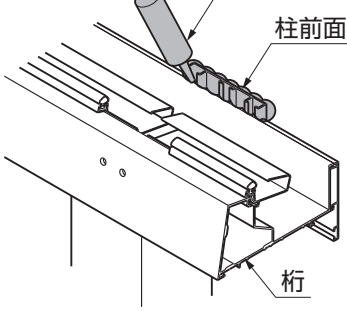
●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

11-3 柱キャップの取付け

ポイント

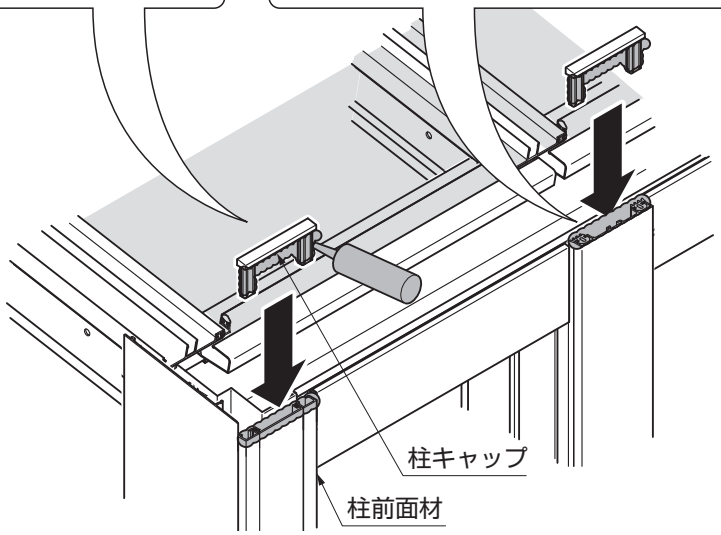


ポイント



ポイント

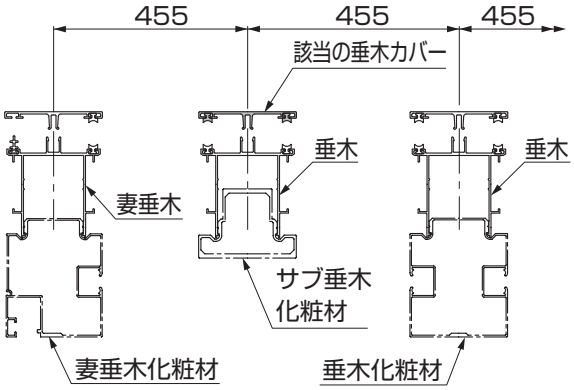
- ●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- ●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。



①柱前面材と桁の間のすき間をふさぐように、シーリングをしてください。
②柱キャップにシーリングをしてください。
③柱キャップを端部柱前面材、柱キャップを前面材にはめ込んでください。

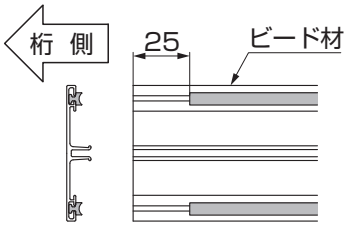
11-4 垂木カバー端部キャップの取付け　※積雪地域3000N仕様の場合の作業です。

地域 積雪地域



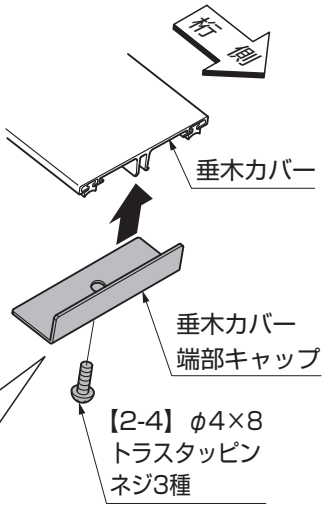
ポイント

- ●垂木カバーのビード材が25mm短い方を桁側にしてください。



ポイント

- ●垂木カバー端部キャップは垂木カバーを垂木に取付ける前に行ってください。



①サブ垂木に取付ける垂木カバーの桁側に垂木カバー端部キャップを【2-4】で取付けてください。

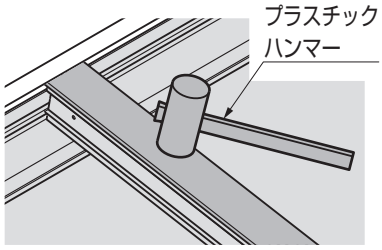
11.（つづき）

11-5 垂木カバーの取付け

（1）垂木カバーのはめ込み

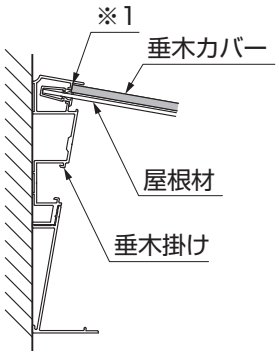
ポイント

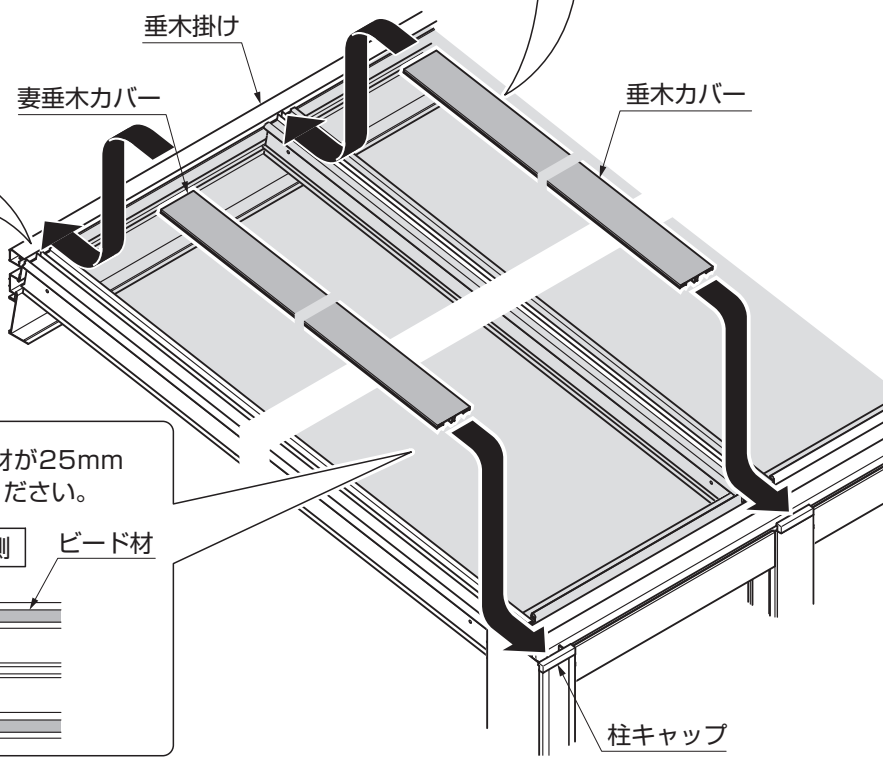
●部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。



ポイント

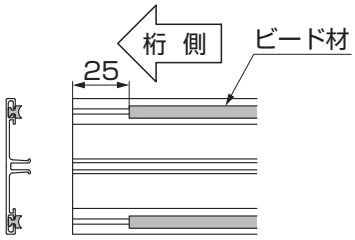
●垂木カバー、妻垂木カバーは、垂木掛けに突当てて、（※1）取付けてください。





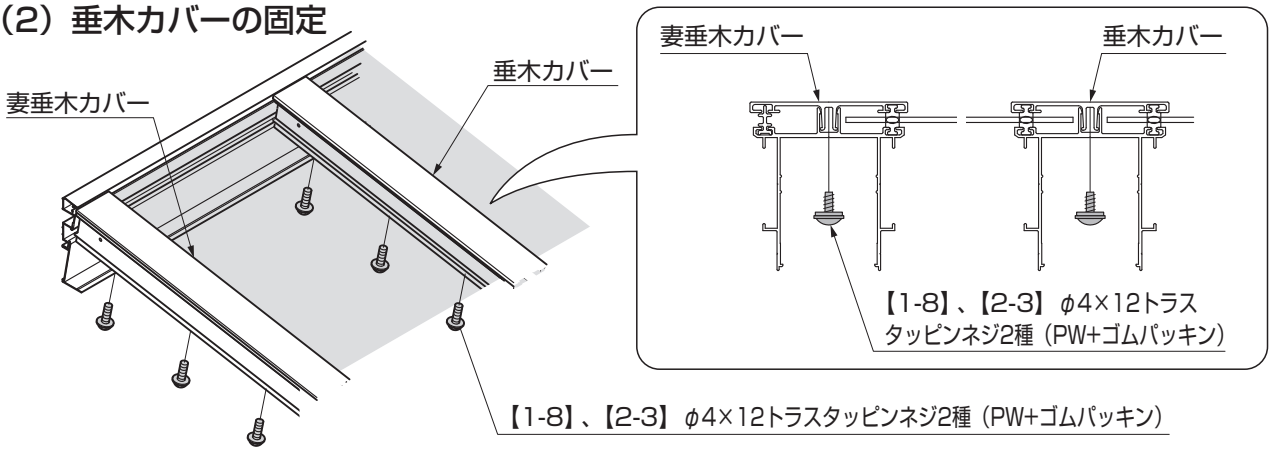
ポイント

●垂木カバーのビード材が25mm短い方を桁側にしてください。



①垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込んでください。妻垂木カバーは両端の垂木に、垂木カバーは中間の垂木に取付けてください。

（2）垂木カバーの固定



①妻垂木カバーを妻垂木に、【1-8】、【2-3】で固定してください。
②垂木カバーを垂木に、【1-8】、【2-3】で固定してください。

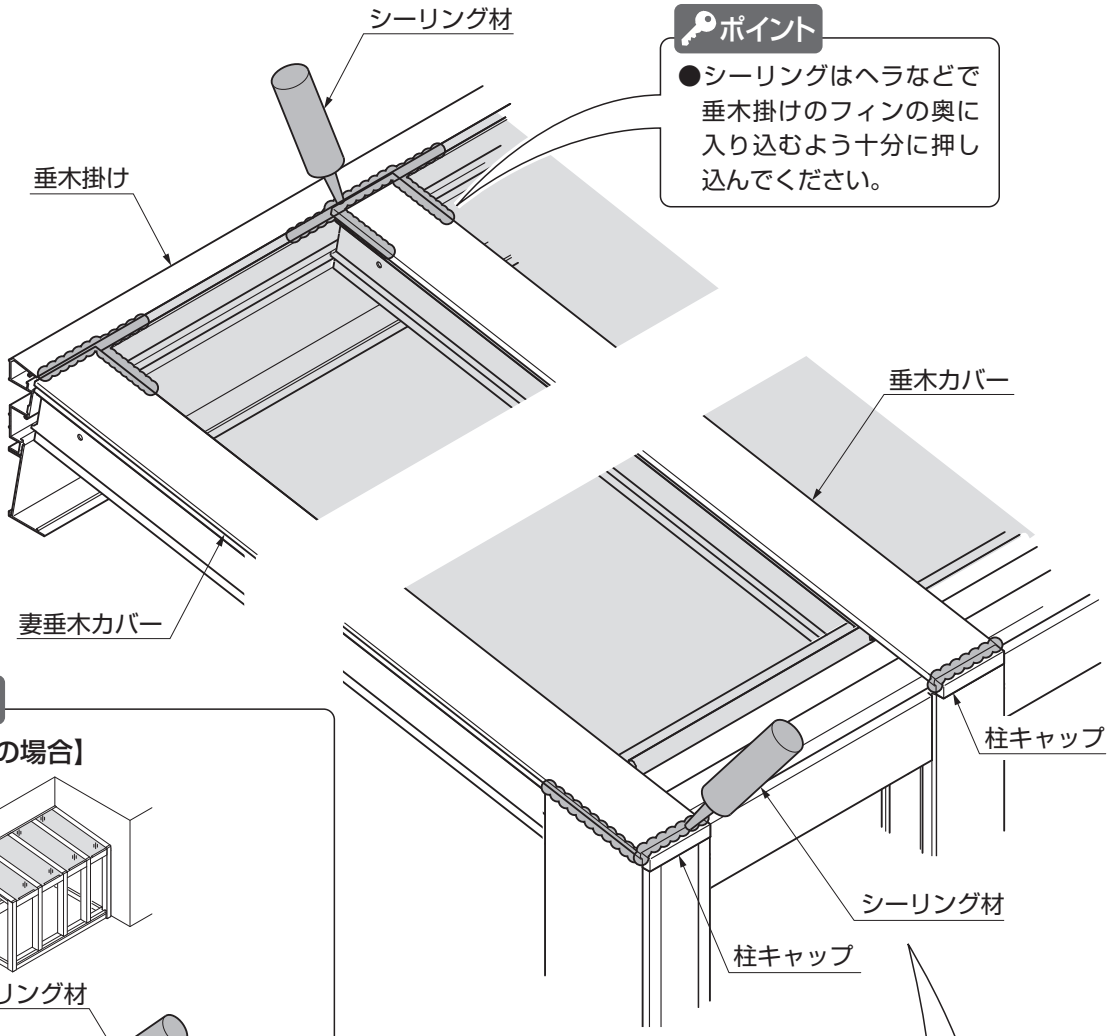
(3) 垂木カバーのシーリング

ポイント

- ●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- ●ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。それ以外のシーリング材では、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

表11-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

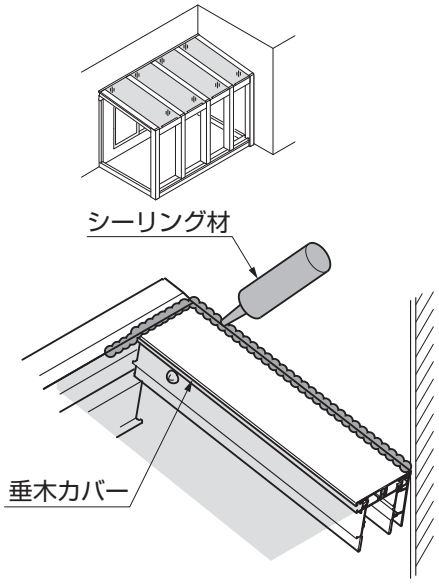


ポイント

●シーリングはヘラなどで垂木掛けのフィンの奥に入り込むよう十分に押し込んでください。

ポイント

【入隅仕様の場合】



ポイント

- ●指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- ●指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

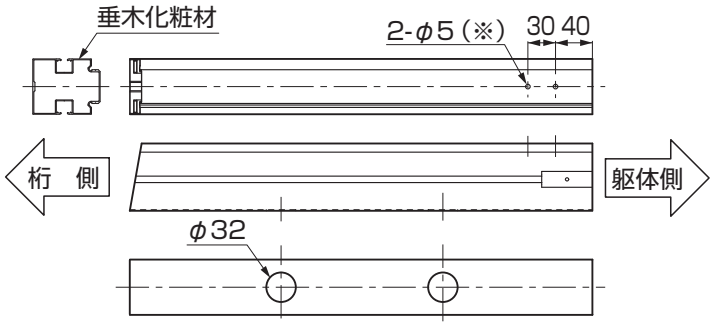
①妻垂木カバー・垂木カバーに、シーリングをしてください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

12. 垂木化粧材の取付け

12-1 垂木LED照明の取付け

※垂木LED照明を取付ける場合の作業です。
※以下の（※）印は、トランス電源ユニット35W 屋外用での配線の場合は不要です。



図はLED照明2個使いの場合を示します。

⚠ 警 告

- ●電線の接続には電気工事士の資格が必要です。（コネクタ配線を除く）
- ●取付けの際は安全のため、電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因になります。
- ●電源線と口出し線はスリーブなどで確実に接続し、自己融着テープ、絶縁テープで確実に絶縁・防水処理を施してください。（内線規定1335-7～9に準ずる）不備があると火災・感電の原因になります。

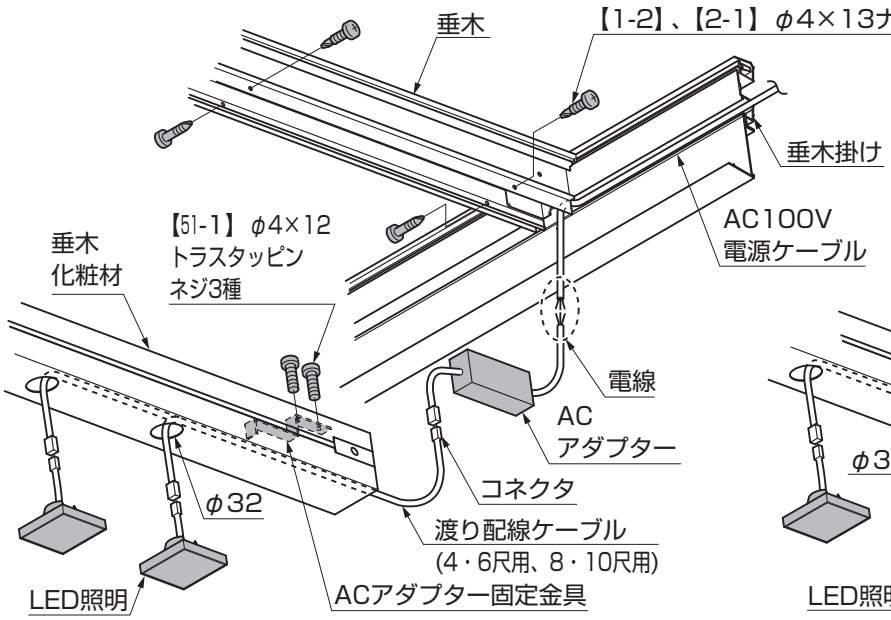


図12-1　ACアダプターで配線する場合

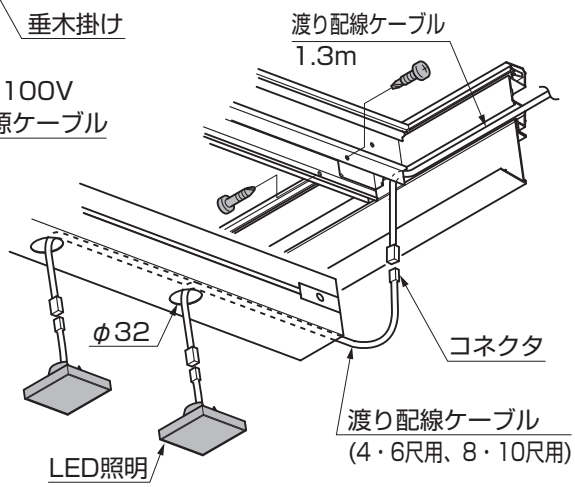
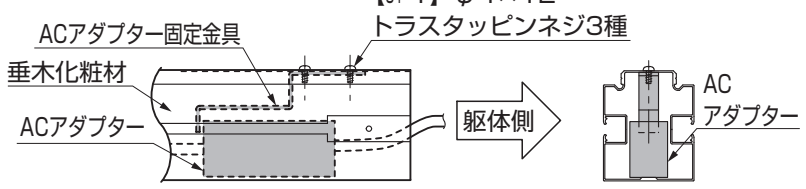


図12-2　トランス電源ユニットで配線する場合

ポイント

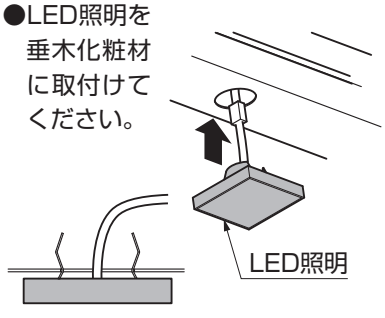
【ACアダプターで配線する場合】

- ●ACアダプターを下図の位置に収納してください。
- ●ACアダプター固定金具はACアダプターのズレ防止のため必ず取付けてください。

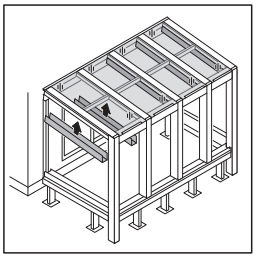


ポイント

- ●LED照明を垂木化粧材に取付けてください。



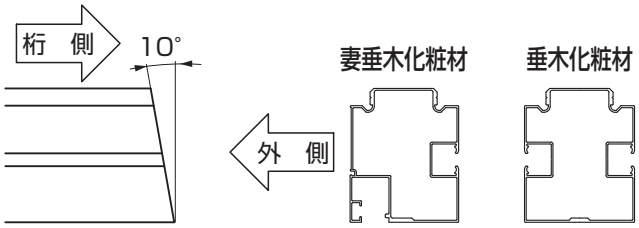
①垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。（※）
②ACアダプター固定金具を垂木化粧材に【51-1】で取付けてください。（※）
③渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）を垂木化粧材に配置してください。
④ACアダプターと渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）をコネクタ接続しながら、垂木化粧材を垂木に【1-2】、【2-1】で取付けてください。（※）
⑤渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）と渡り配線ケーブル1.3mを接続してください。
⑥渡り配線とLED照明をコネクタ接続してください。
⑦LED照明を垂木化粧材に取付けてください。



ポイント

【垂木化粧材の向き】

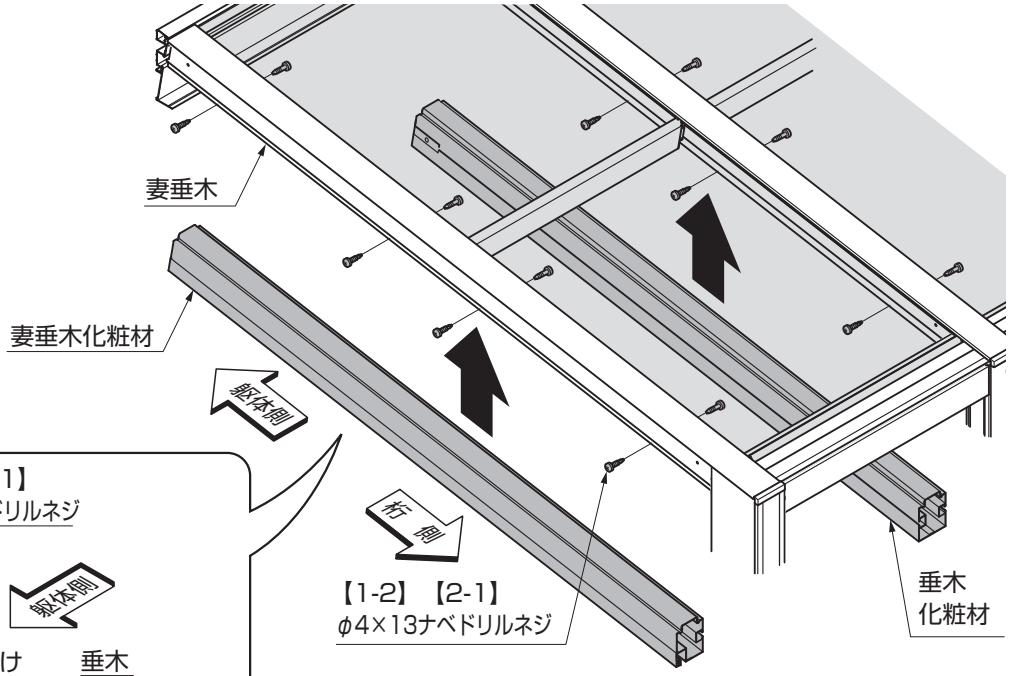
●垂木化粧材の端が10°切欠いている側を桁側にしてください。

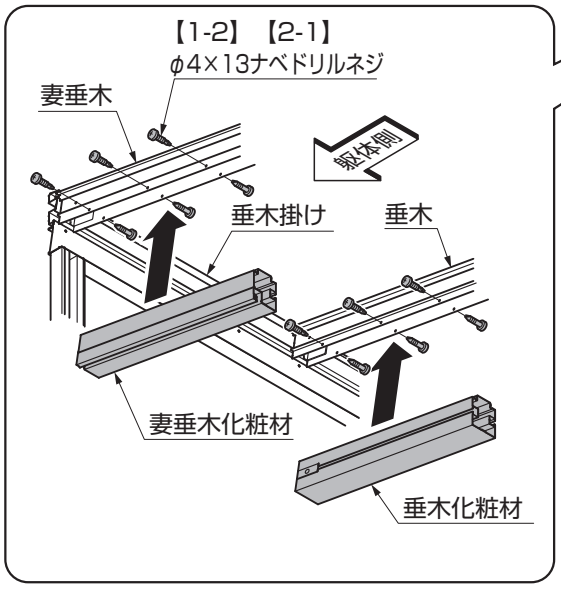


【積雪地域】 積雪地域 （積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合）

●「12-3 サブ垂木化粧材の取付け」もあわせてご確認ください。

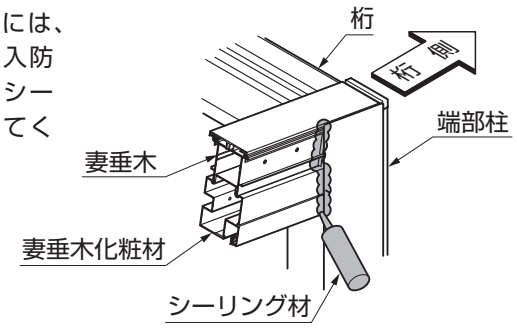
12-2 垂木化粧材の取付け





ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



①垂木化粧材キャップを垂木化粧材から取外してください。
②垂木化粧材を垂木、妻垂木に【1-2】、【2-1】で取付けてください。
③妻垂木、妻垂木化粧材と端部柱の接合部を、シーリングしてください。

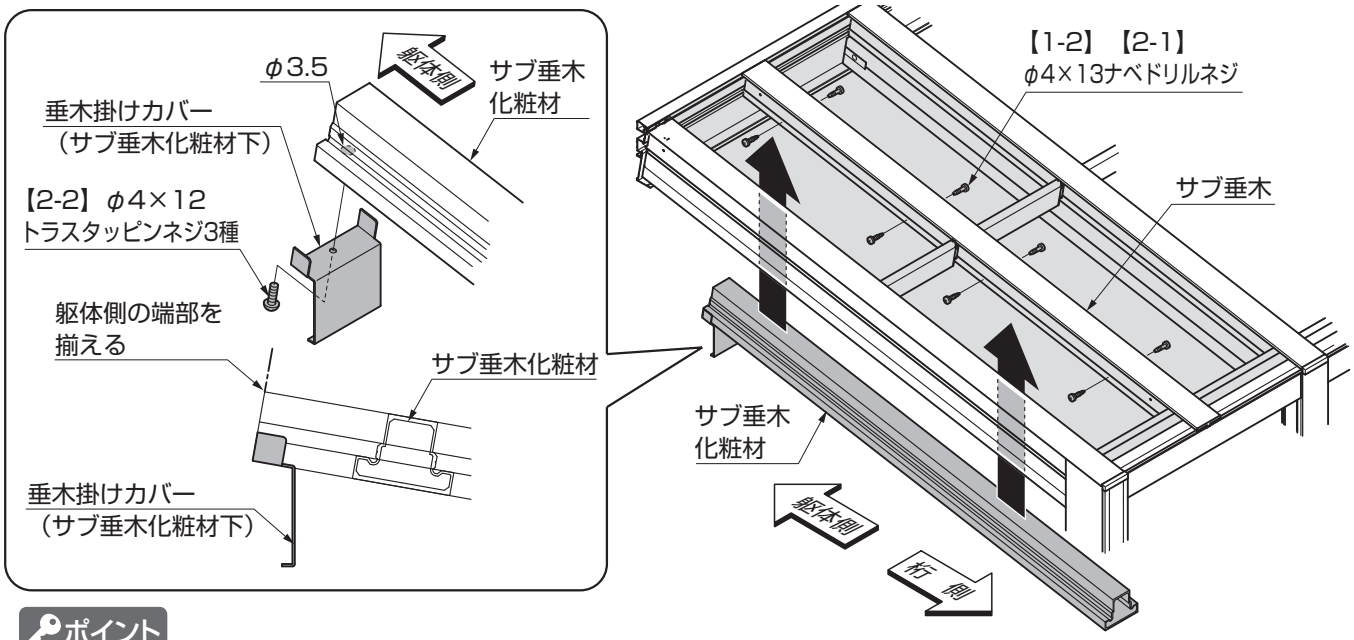
12.（つづき）

12-3 サブ垂木化粧材の取付け ※積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合の作業です。

地域 積雪地域

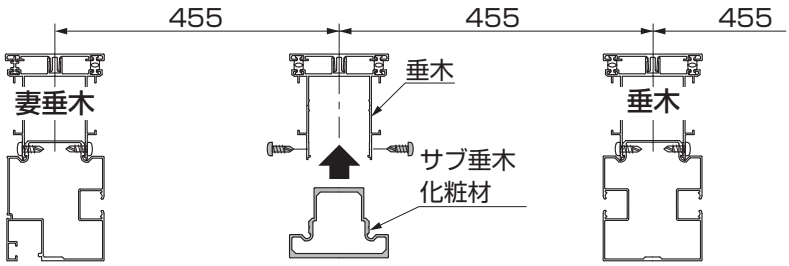
ポイント

●前面に上げ下げ窓を取付ける場合は、サブ垂木化粧材の取付けは本取説「P.110」を参照し、上げ下げ窓の取付け後に行なってください。



ポイント

●サブ垂木化粧材は妻垂木化粧材および垂木化粧材の間になるように取付けてください。

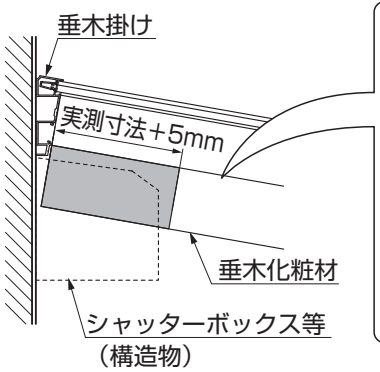


①サブ垂木化粧材の躯体側に垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）を合わせてφ3.5の穴をあけてください。
②垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）をサブ垂木化粧材に【2-2】で取付けてください。
③サブ垂木化粧材をサブ垂木に【1-2】、【2-1】で取付けてください。

12-4 垂木化粧材が躯体側の障害物に干渉する場合

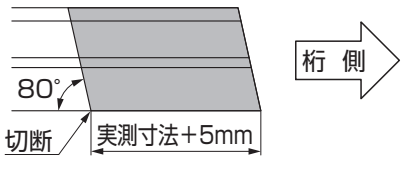
※躯体側の障害物を避けるため、垂木掛け下部を使用しない場合の内容を示します。

（1）部材の加工



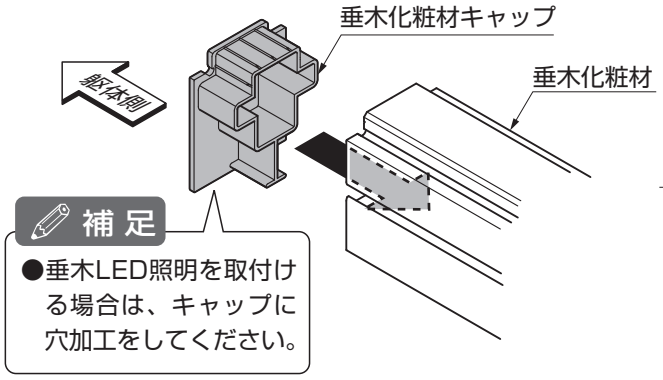
ポイント

●垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の構造物がある場合は、構造物を避けるように垂木化粧材の加工を行なってください。



①垂木化粧材が干渉する寸法を採寸し、加工してください。

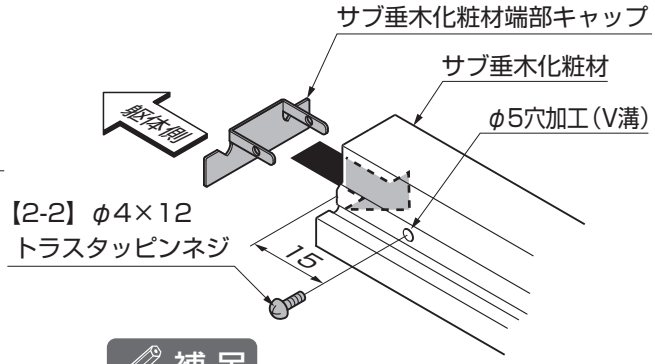
(2) キャップの取付け



補 足

●垂木LED照明を取付ける場合は、キャップに穴加工をしてください。

図12-3　垂木化粧材への取付け



補 足

●垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）の取付けは不要です。

図12-4　サブ垂木化粧材への取付け

【垂木の場合】

①垂木化粧材キャップを垂木化粧材に取付けてください。

【サブ垂木の場合】

①サブ垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。

②サブ垂木化粧材端部キャップをサブ垂木化粧材に【2-2】で取付けてください。

12-5　ガーデンルームプラスタイプの場合

表12-1　ガーデンルームプラスLタイプの場合

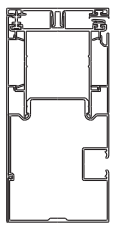
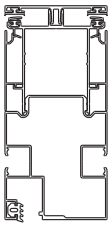
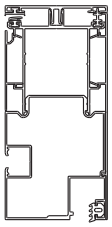
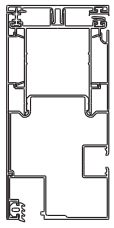
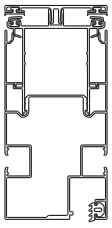
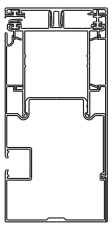
使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	サイドスルータイプ・オープンテラスタイプ	ガーデンルームタイプ	
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L テラス用（※1）	仕切り部垂木化粧材 L ガーデンルーム用（※1）	垂木化粧材 R ガーデンルーム用（※1）
納まり図			

表12-2　ガーデンルームプラスRタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	ガーデンルームタイプ		サイドスルータイプ・オープンテラスタイプ
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L ガーデンルーム用（※1）	仕切り部垂木化粧材 R ガーデンルーム用（※1）	垂木化粧材 R テラス用（※1）
納まり図			

①表12-1、表12-2参照して、垂木化粧材を取付けてください。

ポイント

●各タイプの垂木化粧材（※1）は、「【26】、【27】妻垂木化粧材セット（右入または左入）」に梱包しています。

12.（つづき）

12-6　入隅の場合

（1）妻垂木の加工

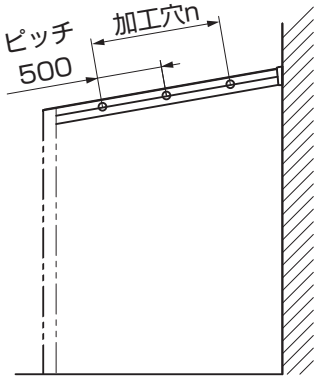
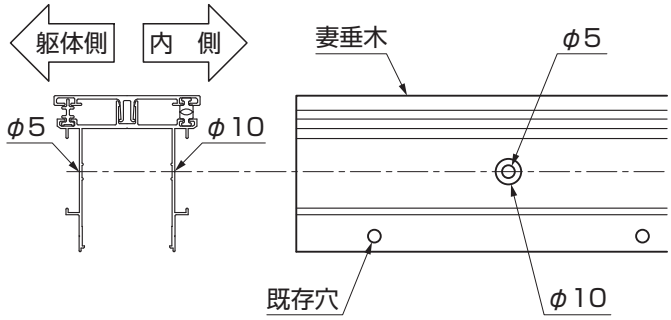


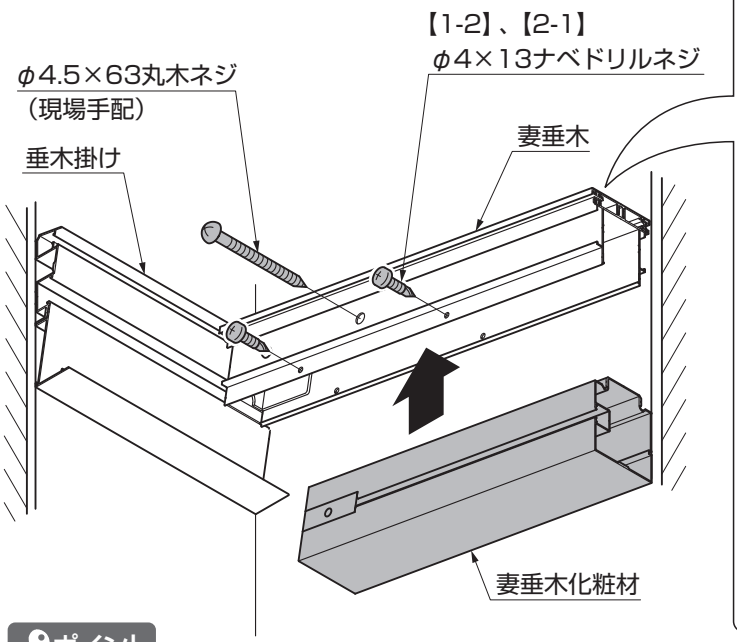
表12-2

	加工穴n
4尺	2
6尺	3
8尺	4
10尺	5



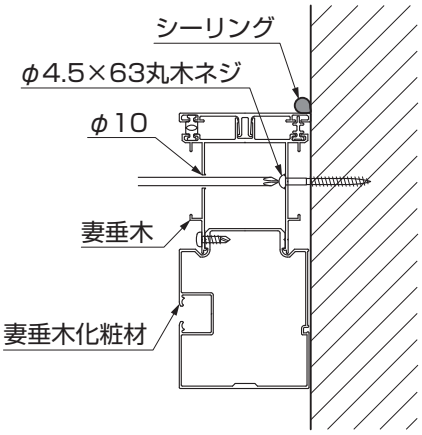
①妻垂木にφ10、φ5の穴をあけてください。

（2）妻垂木化粧材の取付け



ポイント

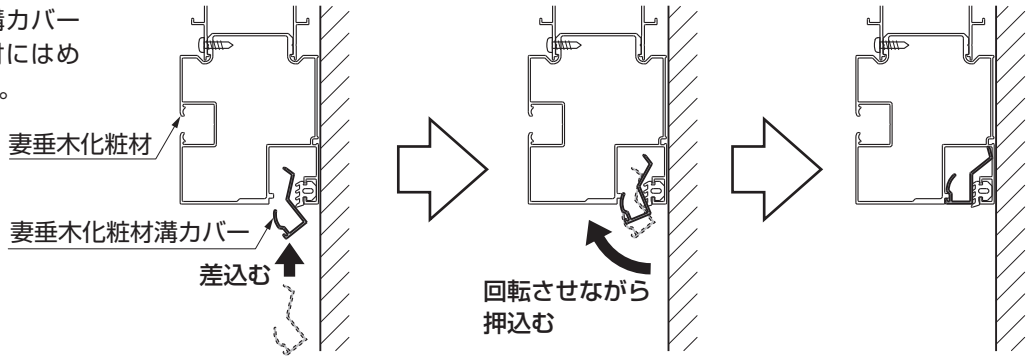
- 「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。
- 妻垂木を躯体に固定する際は、φ10の穴から「φ4.5×63丸木ネジ」を差し込み、φ5の穴から躯体に取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】、【サイドスルータイプで妻梁上部フィックスがある場合】

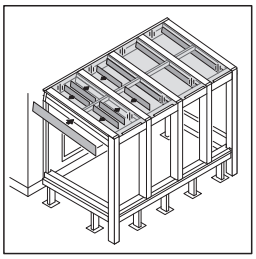
- 妻垂木化粧材溝カバーを妻垂木化粧材にはめ込んでください。

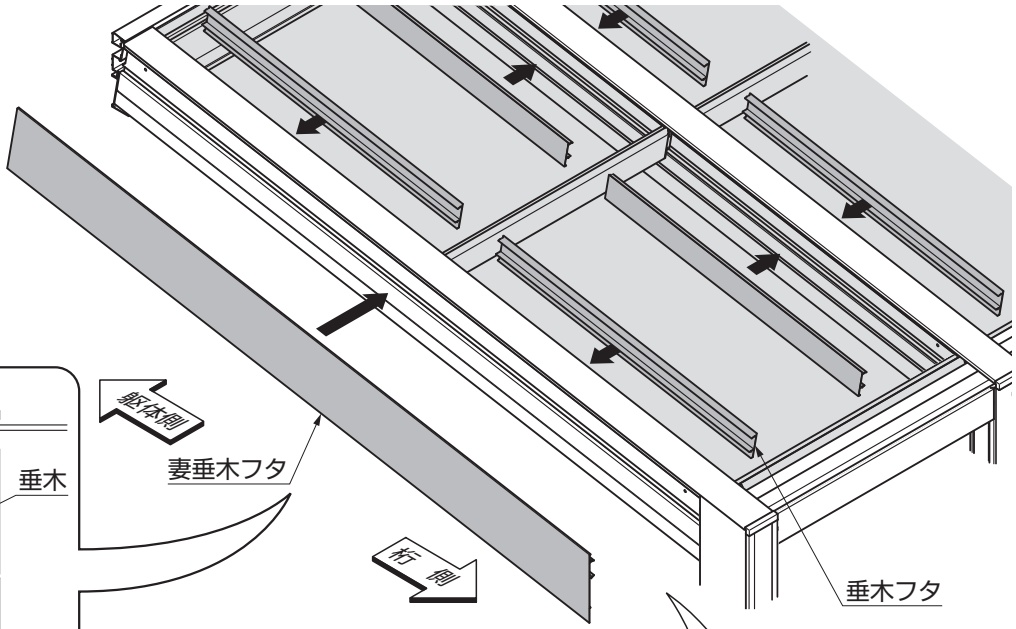


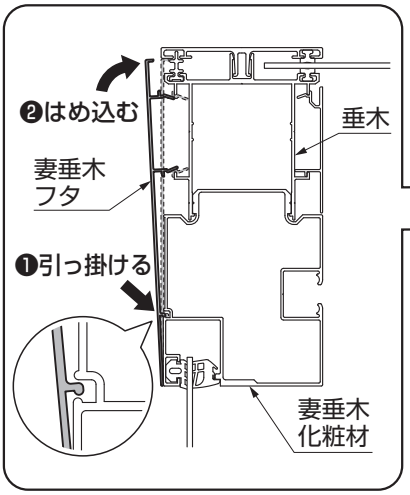
①妻垂木化粧材を妻垂木の既存穴に、【1-2】、【2-1】で取付けてください。
②妻垂木を躯体に「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

13. 垂木フタの取付け



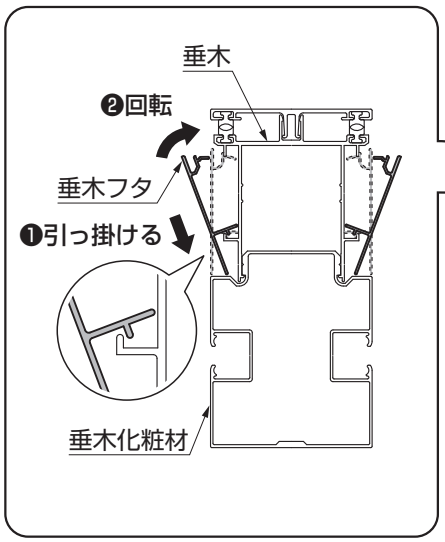


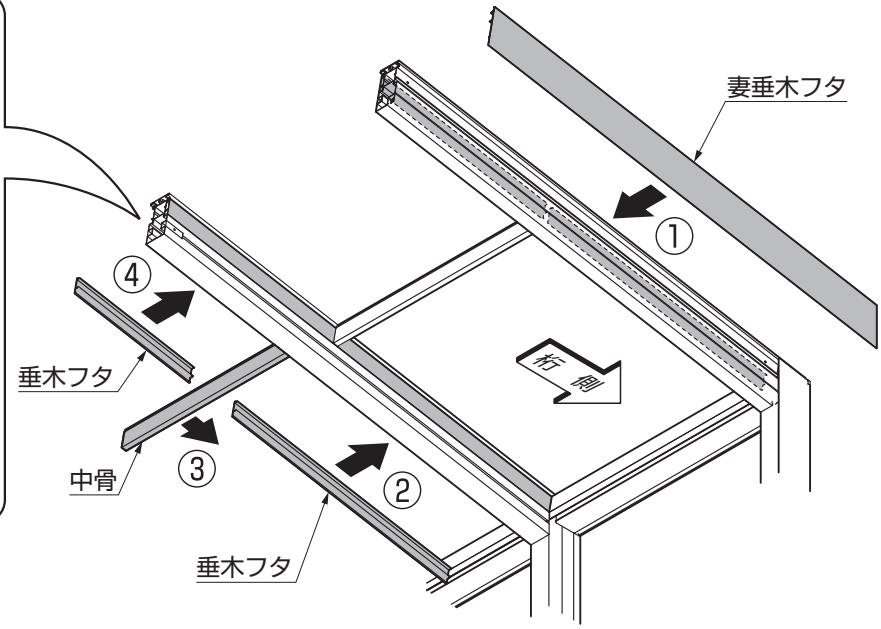


ポイント

●妻垂木フタは端部柱端部カバーに突きあててはめ込んでください。
●はめ込みは端部から行なってください。

【ロールスクリーン、ローマンシェードを取付ける場合】
「E377 ロールスクリーン取付説明書」「E376 ローマンシェード取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。

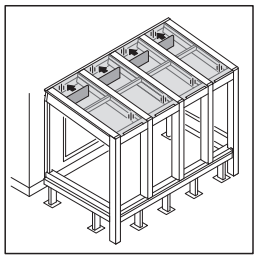


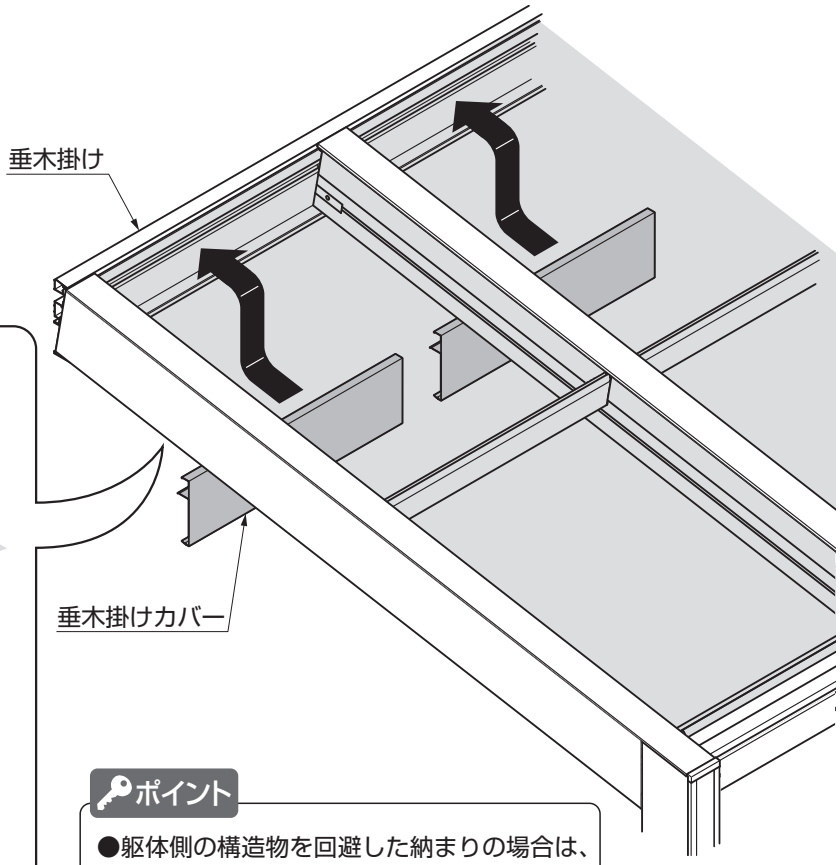


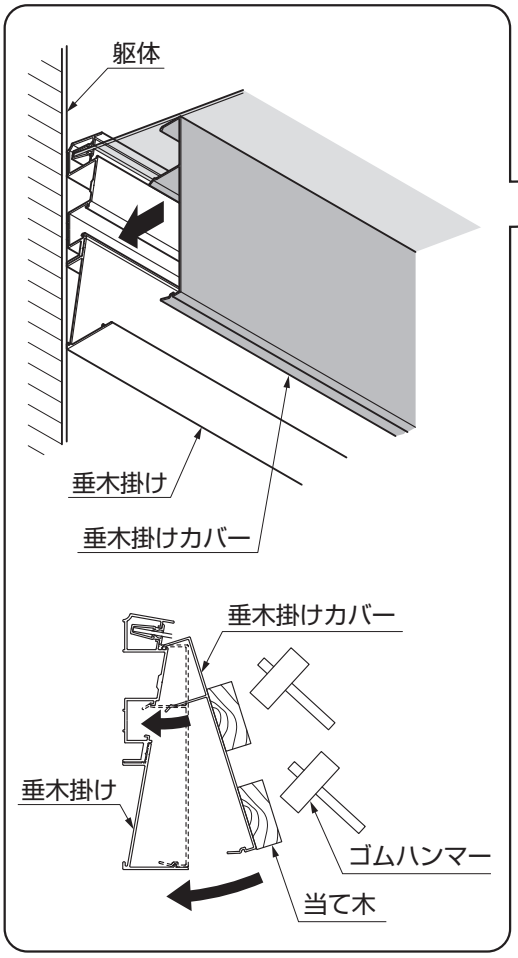
①妻垂木フタを、妻垂木にはめ込んでください。
②桁側の垂木フタを、桁に突きあてて垂木にはめ込んでください。
③中骨を、取付けた垂木フタ側に寄せてください。
④垂木掛け側の垂木フタを、中骨に突きあてて、垂木にはめ込んでください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

14. 垂木掛けカバーの取付け

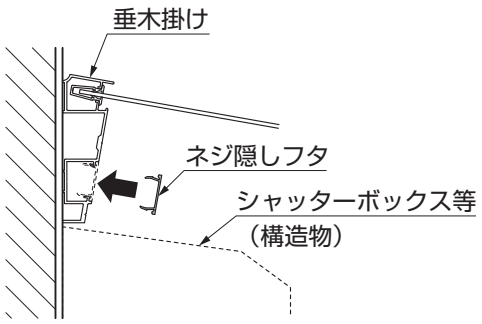






ポイント

●躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、
ネジ隠しフタを使用してください。



ポイント

【内部日除けを取付ける場合】
●内部日除けを先に取付けてください。

E269 ・内部日除けの取付け
（E269　内部日除け取付説明書　参照）
E412 14.垂木掛けカバーの取付け（本手順）

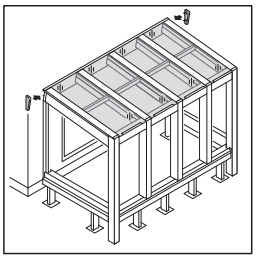
①垂木掛けカバーを、垂木掛けにはめ込んでください。

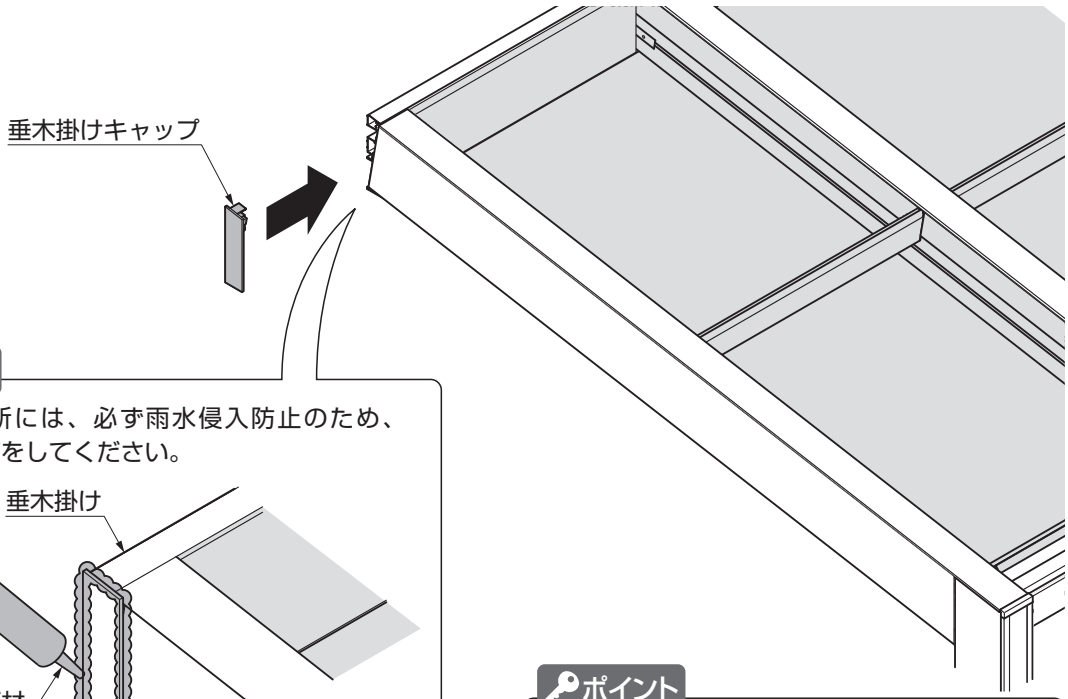
ポイント

●確実にはめ込むように、当て木とゴムハンマーなどで叩いてはめ込んでください。
●垂木掛けカバーを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

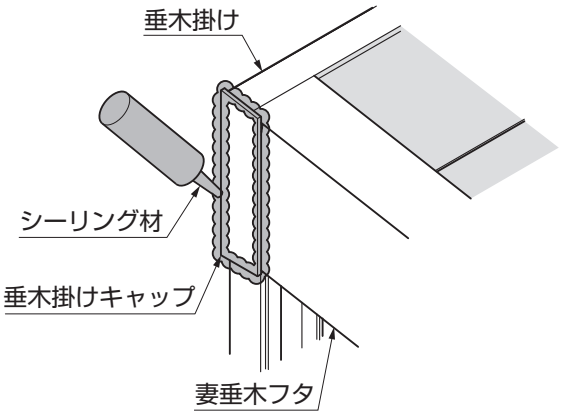
15. 垂木掛けキャップの取付け





ポイント

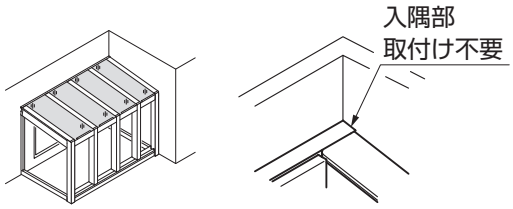
●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

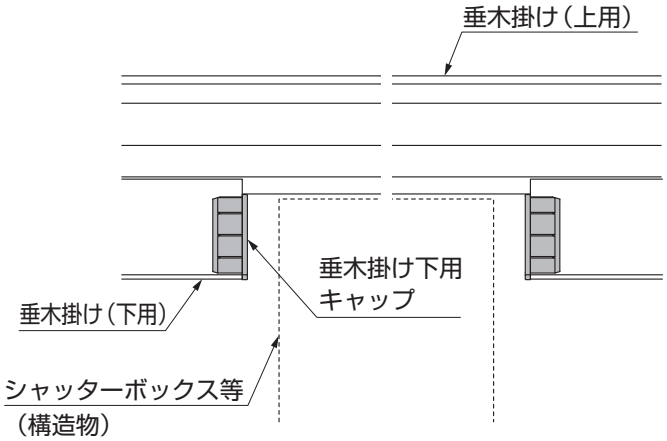
【入隅仕様の場合】

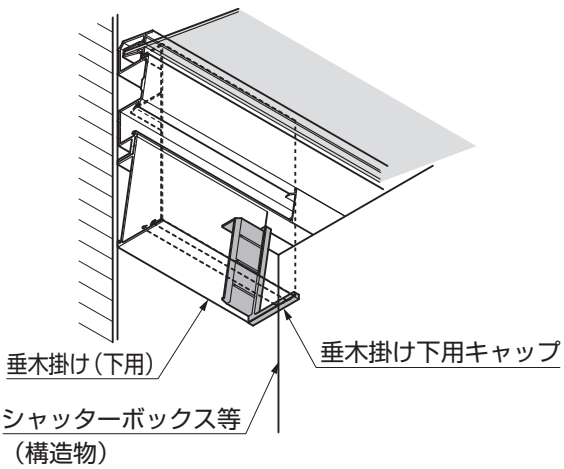
●入隅側の垂木掛けキャップは取付けません。



ポイント

●躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、垂木掛け（下用）に垂木掛け下用キャップを取付けてください。





①垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。

②垂木掛けキャップのまわりに、シーリングをしてください。

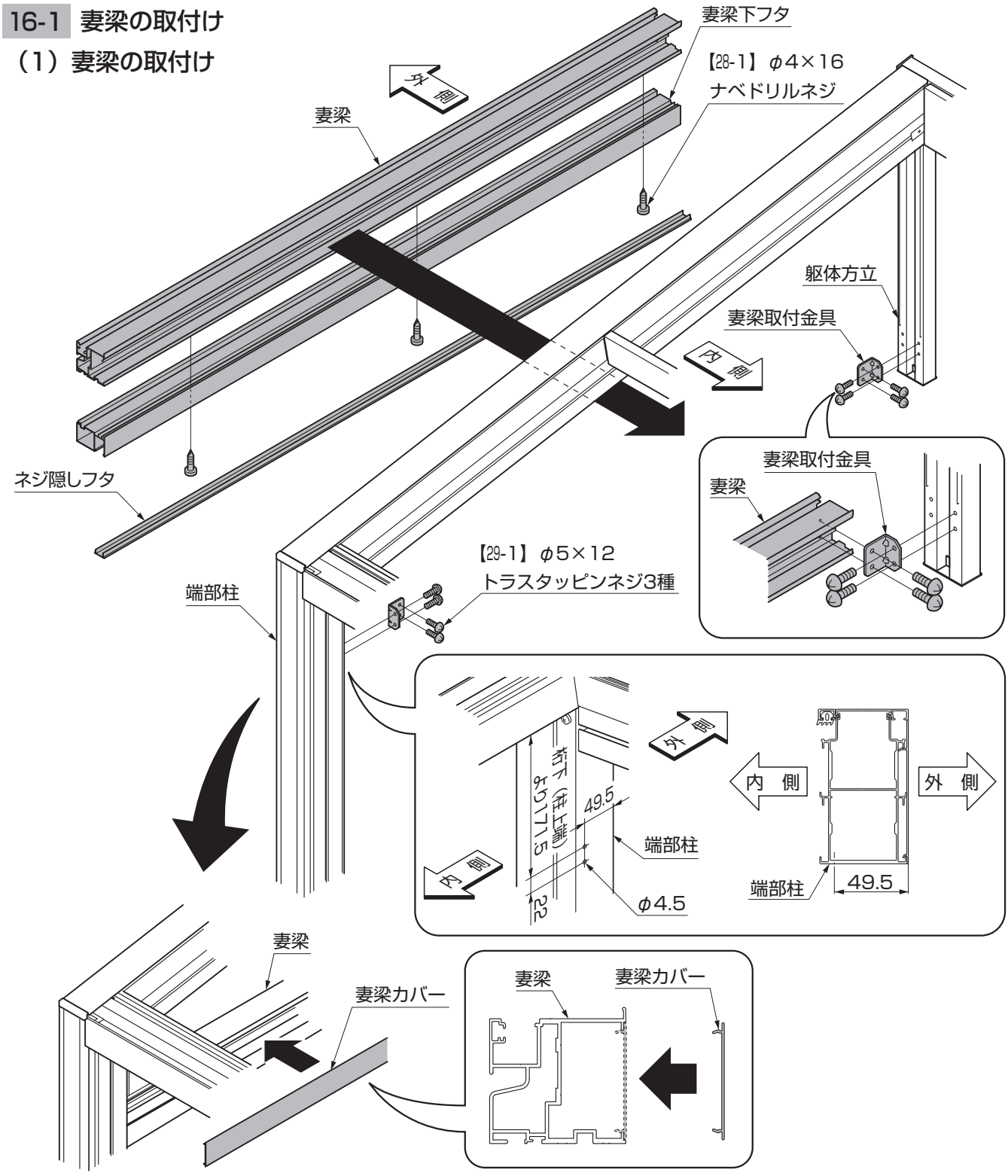
16. 妻梁上部FIXの取付け

タイプ	床	土間	柱固定	地域
ST				

※サイドスルータイプで妻梁上部FIXを取付ける場合の作業です。

16-1 妻梁の取付け

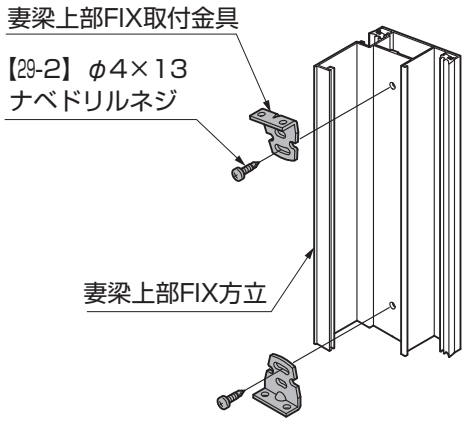
（1）妻梁の取付け



①端部柱にφ4.5の穴加工を行なってください。
②妻梁取付金具を端部柱、躯体方立に【29-1】で取付けてください。
③妻梁を妻梁取付金具に【29-1】で取付けてください。
④妻梁下フタを妻梁に【28-1】で取付けてください。
⑤ネジ隠しフタを妻梁下フタに取付けてください。
⑥妻梁カバーを妻梁に取付けてください。

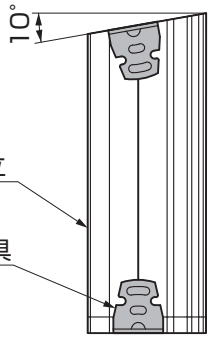
（2）妻梁上部FIX方立の取付け

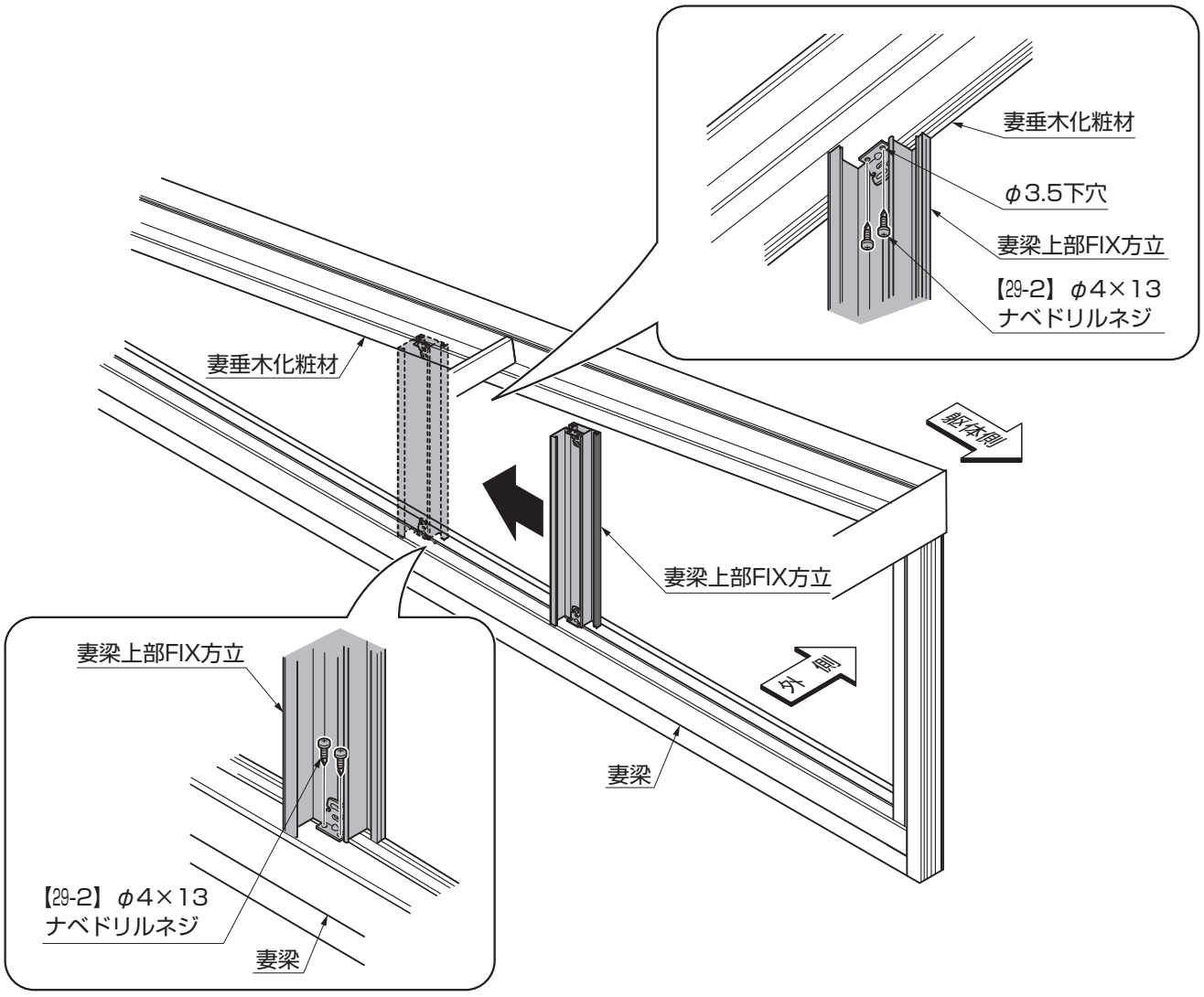
※出幅10尺の場合の作業になります。



ポイント

●妻梁上部FIX取付金具は妻梁上部FIX方立の切断角度と合わせて取付けてください。





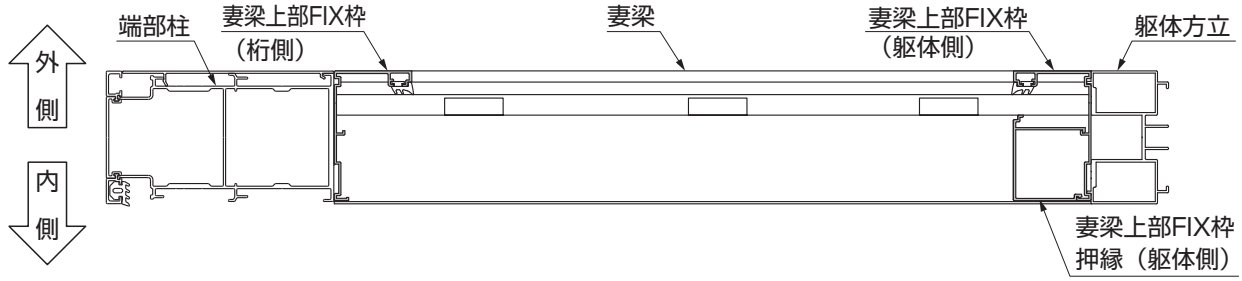
①妻梁上部FIX取付金具を妻梁上部FIX方立上下に【29-2】で取付けてください。
②躯体側から妻梁上部FIX方立を挿入し、下部の妻梁上部FIX取付金具を妻梁に【29-2】で取付けてください。
③上部の妻梁上部FIX取付金具を妻垂木化粧材にφ3.5の穴加工を行って【29-2】で取付けてください。

16.（つづき）

16-2 妻梁上部FIX枠の取付け

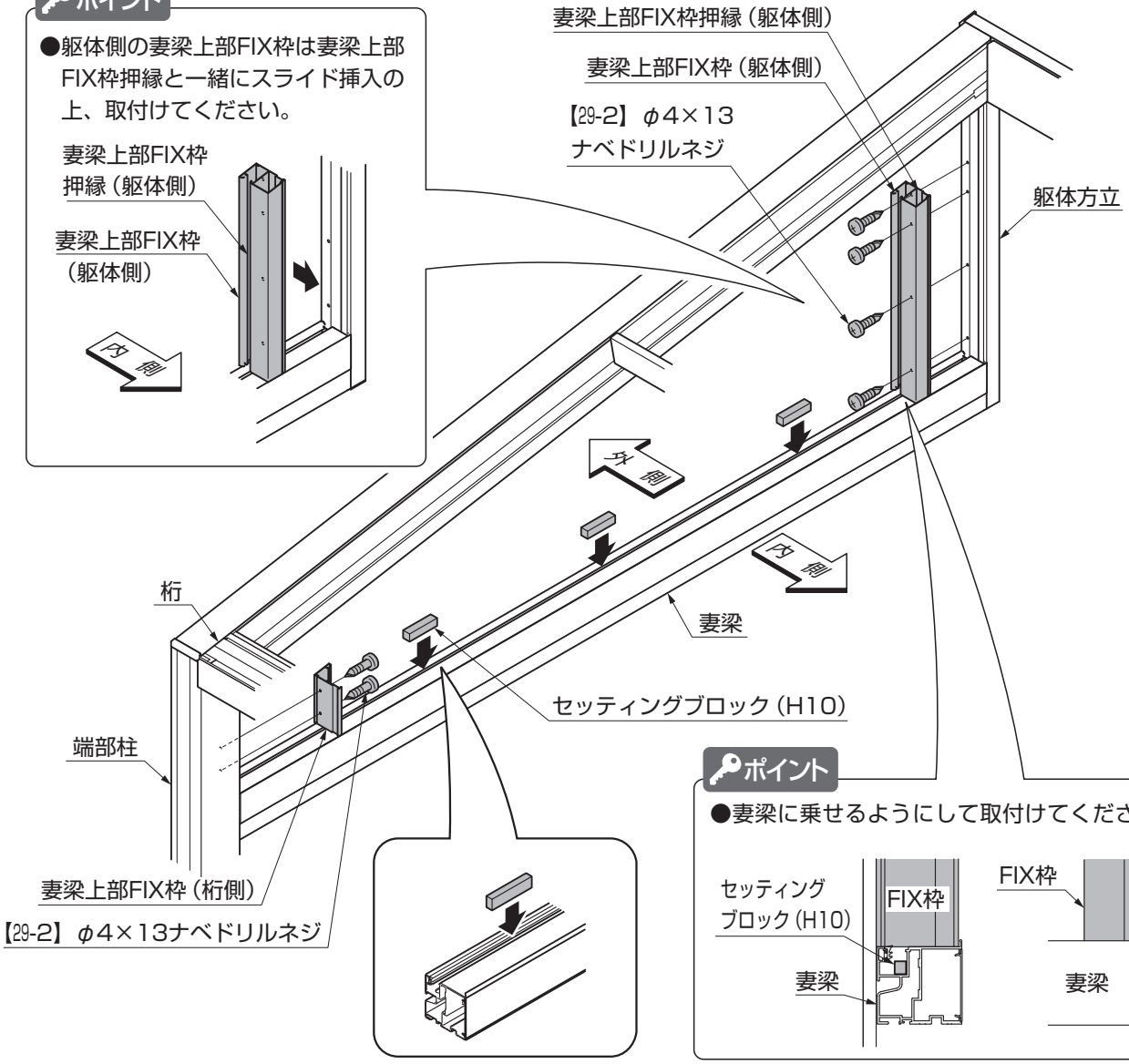
ポイント

●妻梁上部FIX枠の向きには注意してください。



ポイント

●躯体側の妻梁上部FIX枠は妻梁上部FIX枠押縁と一緒にスライド挿入の上、取付けてください。



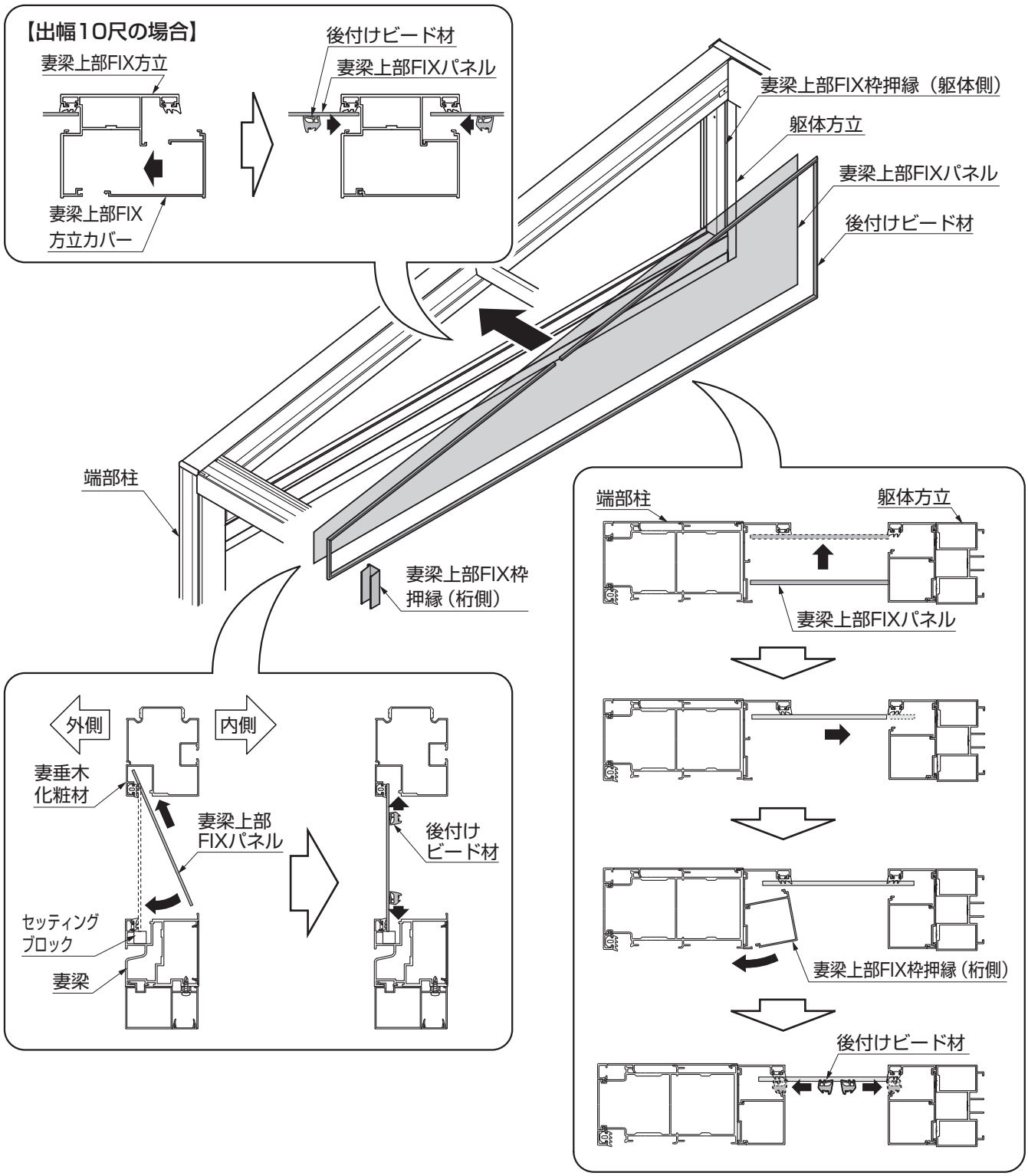
ポイント

●妻梁に乗せるようにして取付けてください。

①妻梁上部FIX枠（桁側、躯体側ともに）、妻梁上部FIX枠押縁（躯体側）を端部柱、躯体方立に【29-2】で取付けてください。

②妻梁にセッティングブロック（H10）を取付けてください。

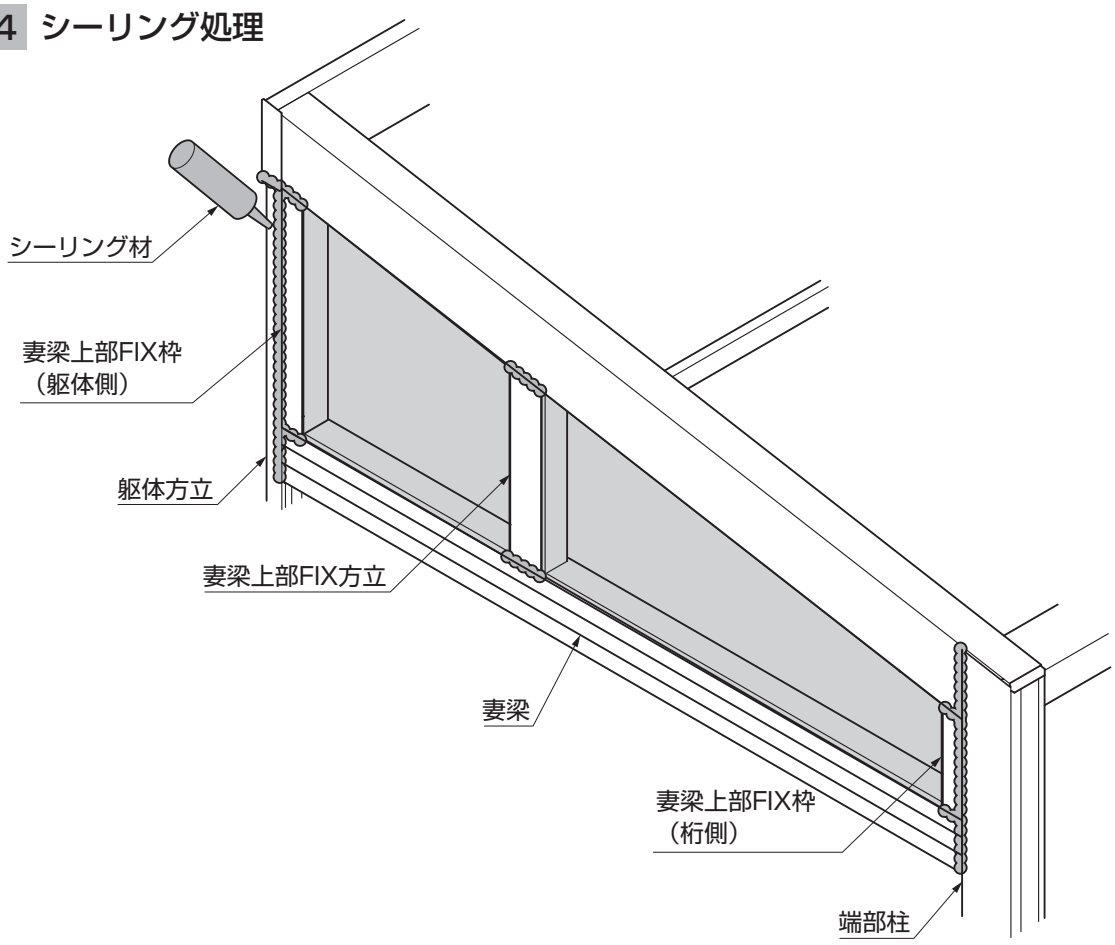
16-3 妻梁上部FIXパネルの取付け



①妻梁上部FIXパネルをけんどんし妻垂木化粧材と妻梁の溝部に入れ、桁側、躯体側の妻梁上部FIX枠に均等に掛かるようパネル位置を調整してください。
②妻梁上部FIX枠押縁を妻梁上部FIX枠に取付けてください。
③後付けビード材をはめ込んでください。

16.（つづき）

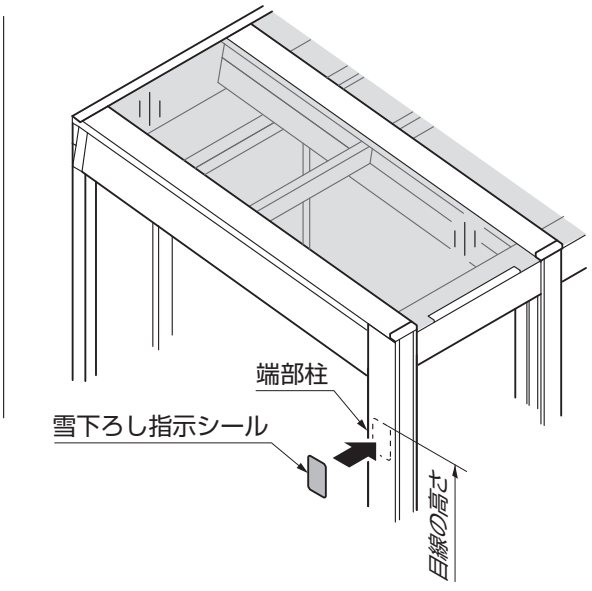
16-4 シーリング処理



①指定の箇所にシーリングをしてください。

17. 雪下ろし指示シールの貼付け

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				



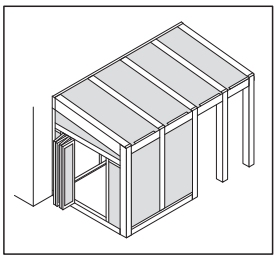
①雪下ろし指示シールを端部柱の側面（目線高さ位置）に貼付けてください。

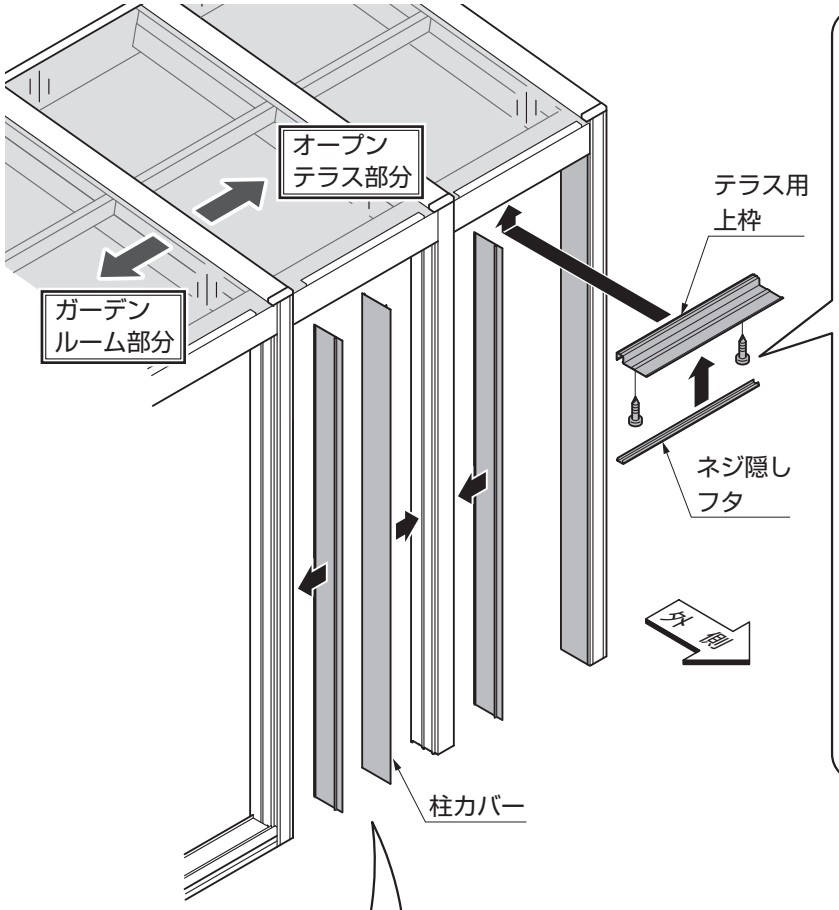
E412_201507A

18. テラス用上枠、柱カバーの取付け

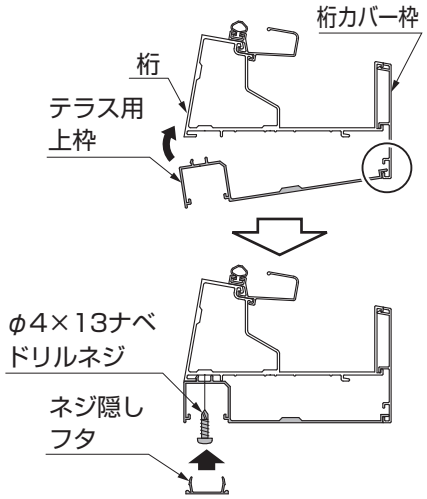
※ガーデンルームプラスタイプでオープンテラスを接続する場合、
オープンテラス部分のスパンを施工する手順です。

タイプ	腰壁	床	土間	地域
GR				



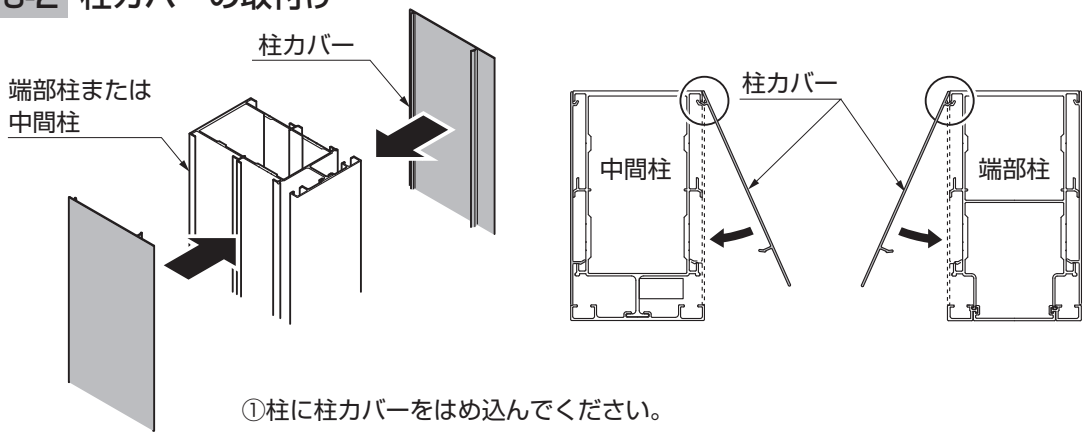


18-1 テラス用上枠の取付け



①テラス用上枠を桁に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
②ネジ隠しフタをテラス用上枠にはめ込んでください。

18-2 柱カバーの取付け

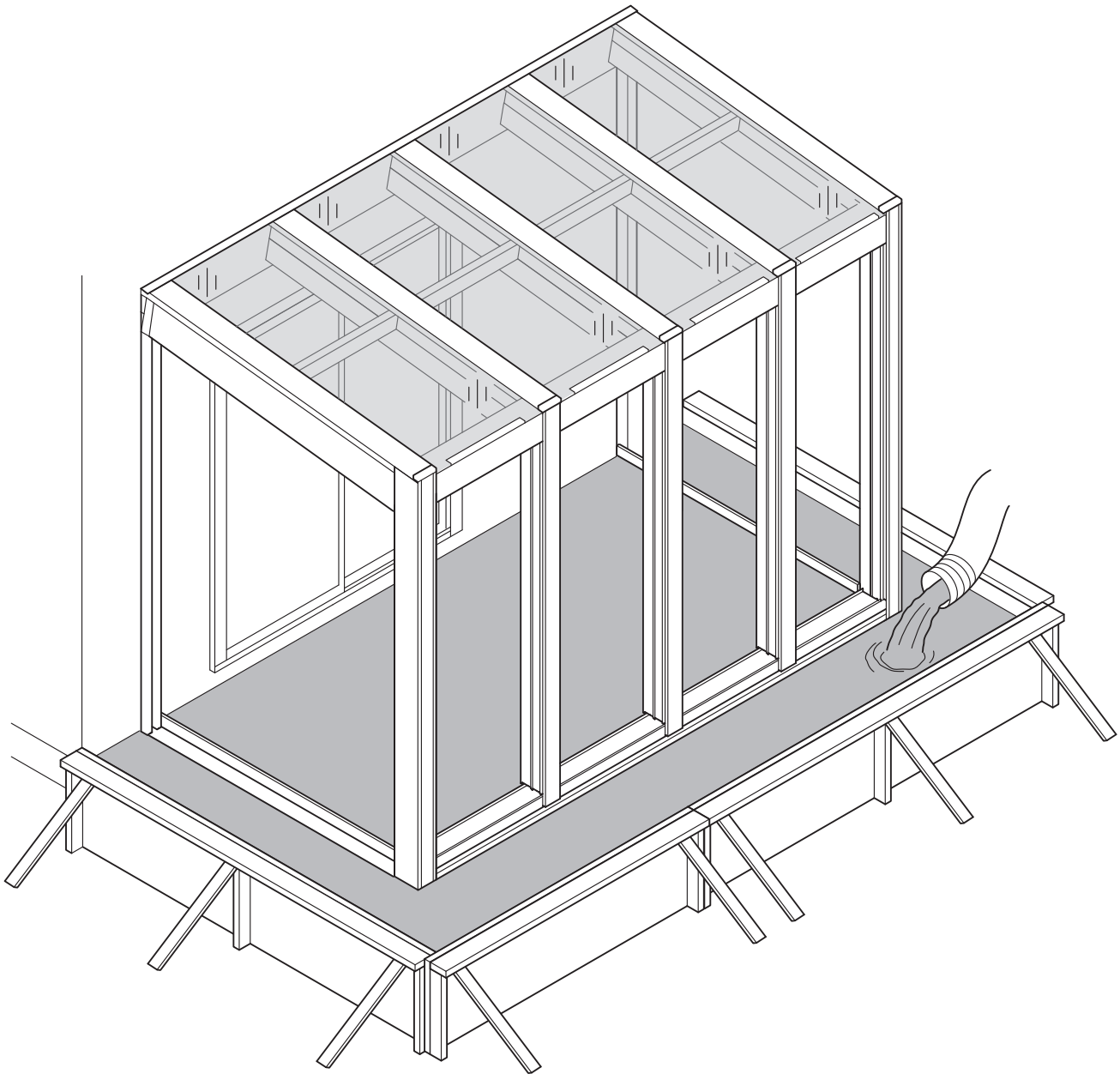


①柱に柱カバーをはめ込んでください。

19. コンクリートの流し込み

※土間仕様でベース材仕様の場合の作業です。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
	土間	ベース		



①土間を打設してください。

タイプ	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。				

20. 雨樋の取付け

ポイント

●雨樋位置を変更しない場合は前排水用を取付けてください。
●排水位置を変更した場合は下排水用を取付けてください。

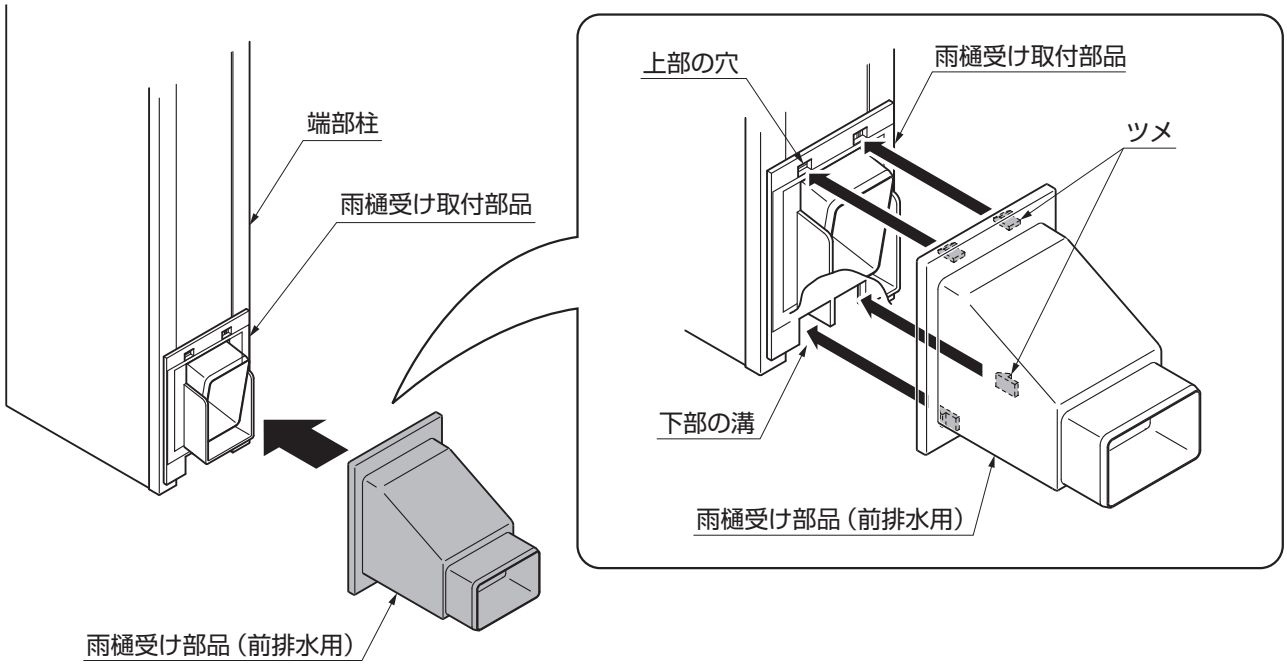


図20-1　前排水の場合

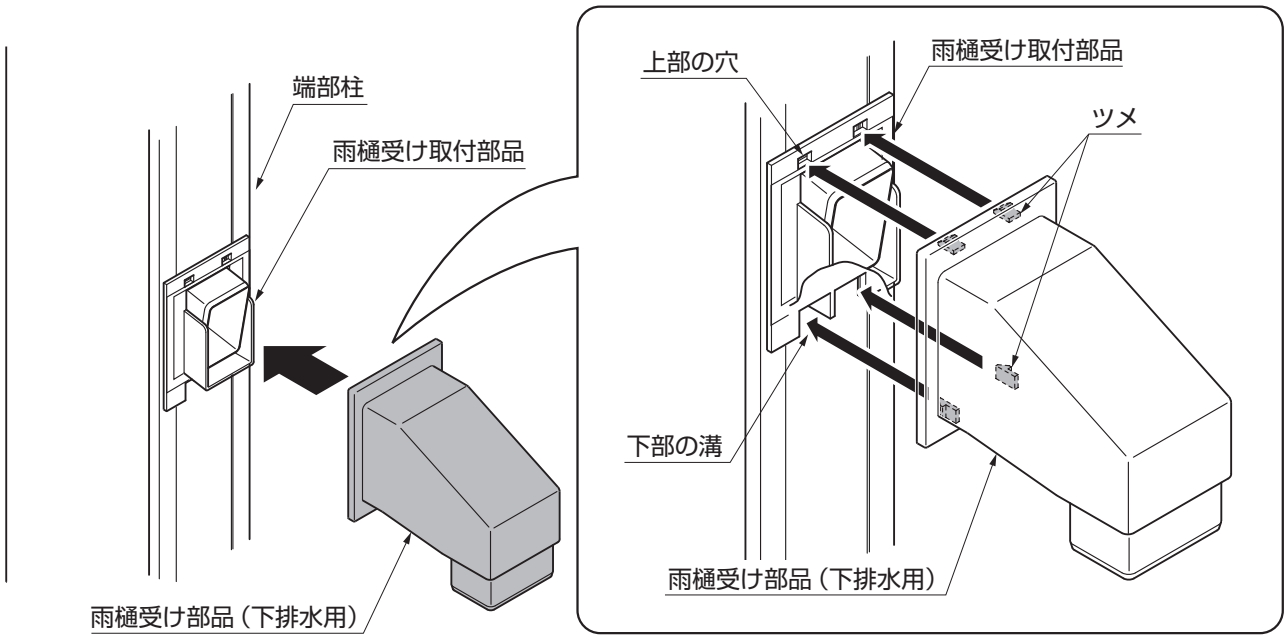
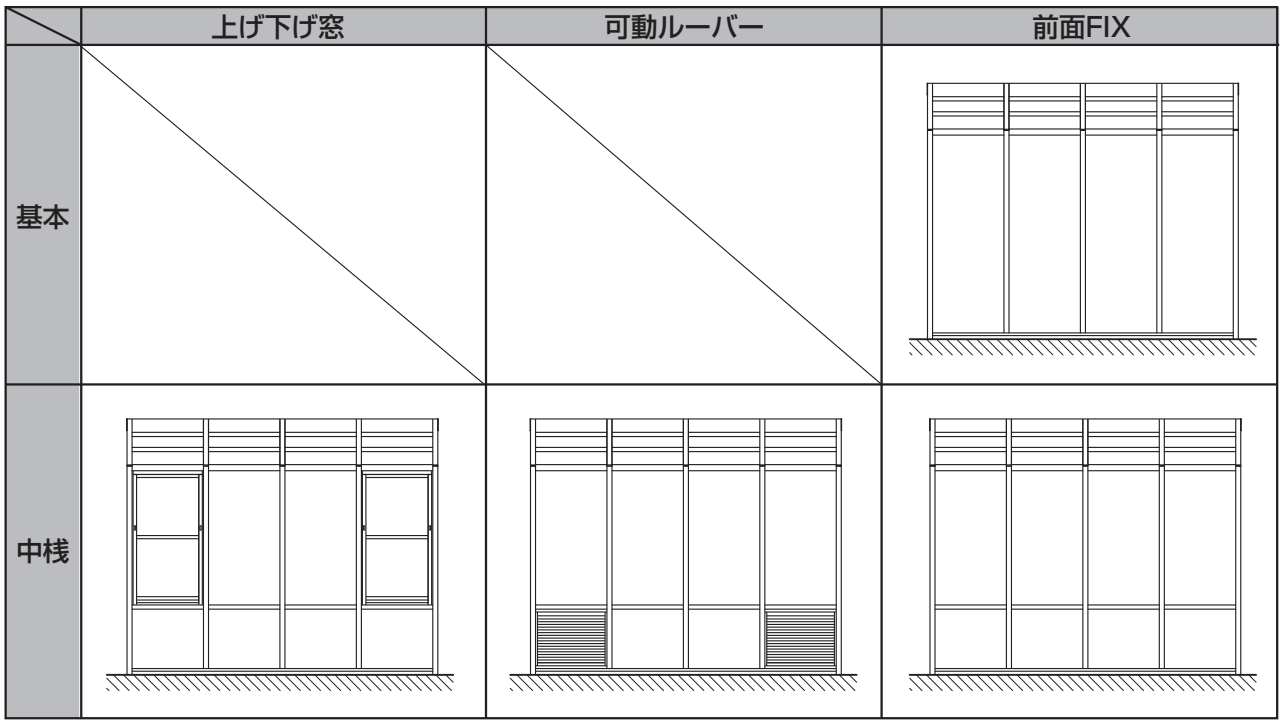


図20-2　下排水の場合

①雨樋受け部品のツメを雨樋受け取付部品の上部の穴、下部の溝に入れて取付けてください。

14 前面開口組合せ一覧

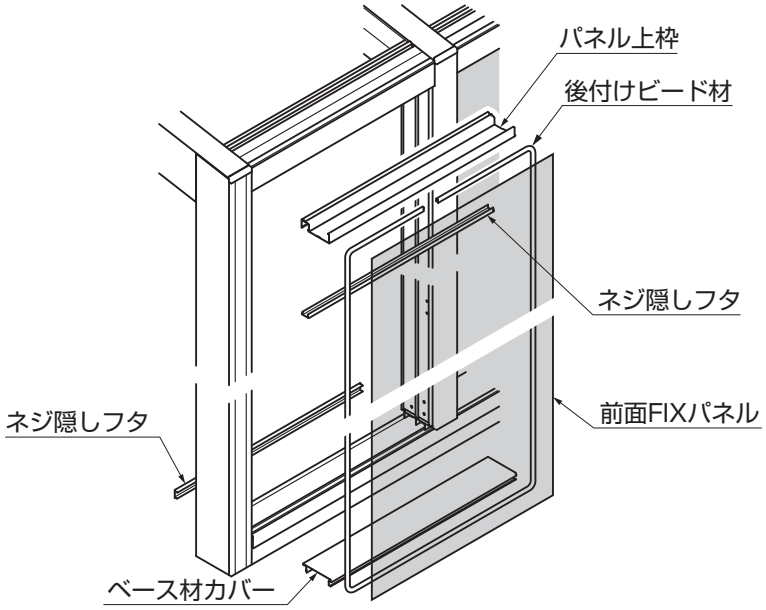


メモ

15 前面開口の施工

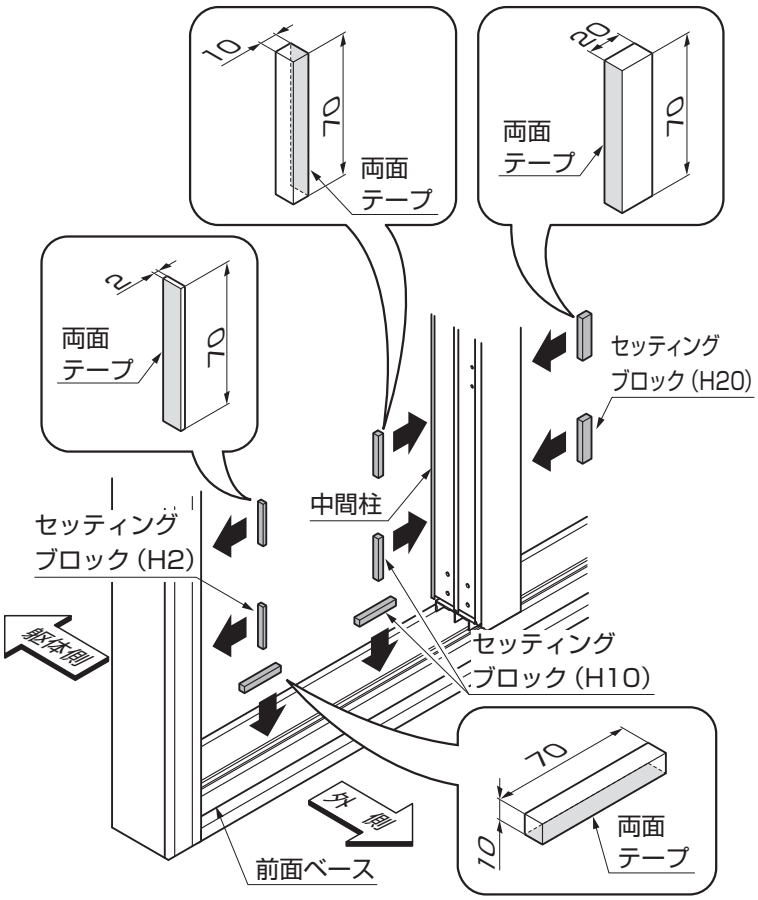
1.前面FIXパネルの取付け

1-1 各部の名称



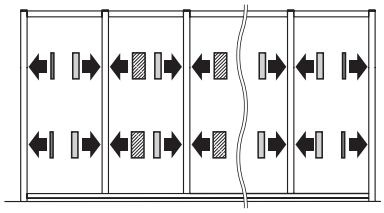
1-2 セッティングブロックの取付け

①セッティングブロック（H10）を前面ベース及び中間柱に取付けてください。
②セッティングブロック（H20）を中間柱に取付けてください。
③セッティングブロック（H2）を端部柱に取付けてください。



ポイント

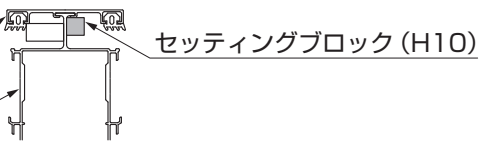
●柱に取付けるセッティングブロックは、下図のようにしてください。



：セッティングブロック（H2）
：セッティングブロック（H10）
：セッティングブロック（H20）

ポイント

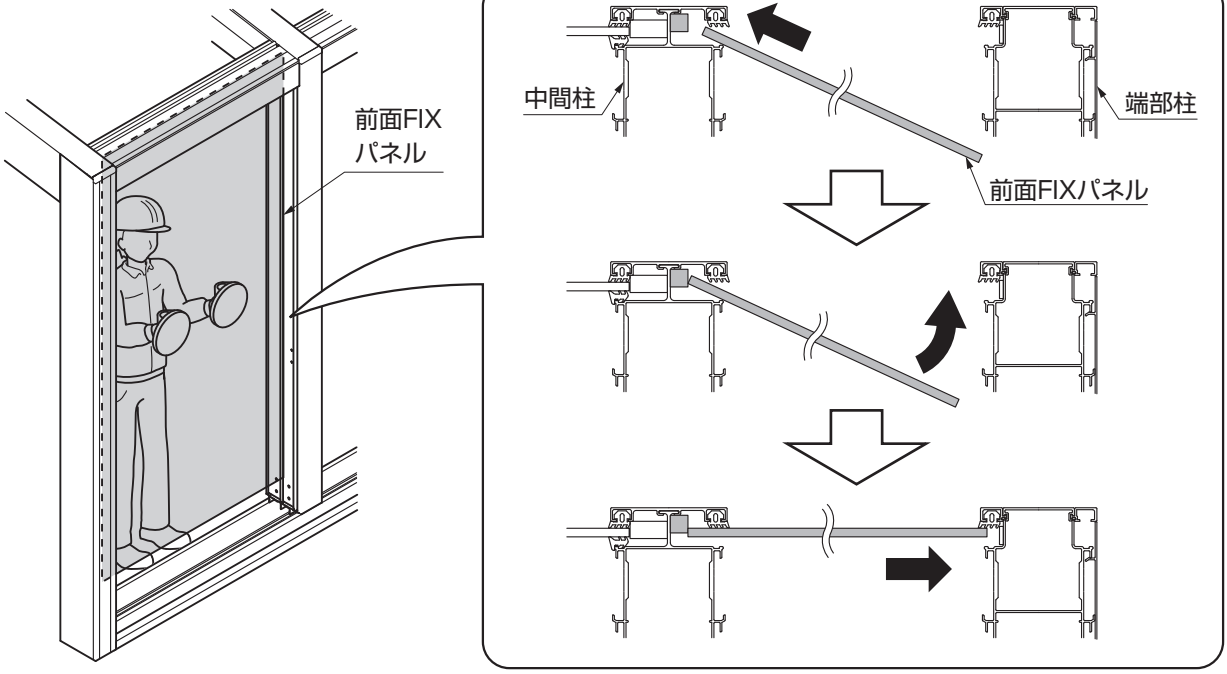
●セッティングブロック（H10）は中間柱前面材側に取り付けて下さい。
中間柱前面材側に取り付けていない場合は前面FIXパネルが取り付け出来ない恐れがあります。



E412_201906C

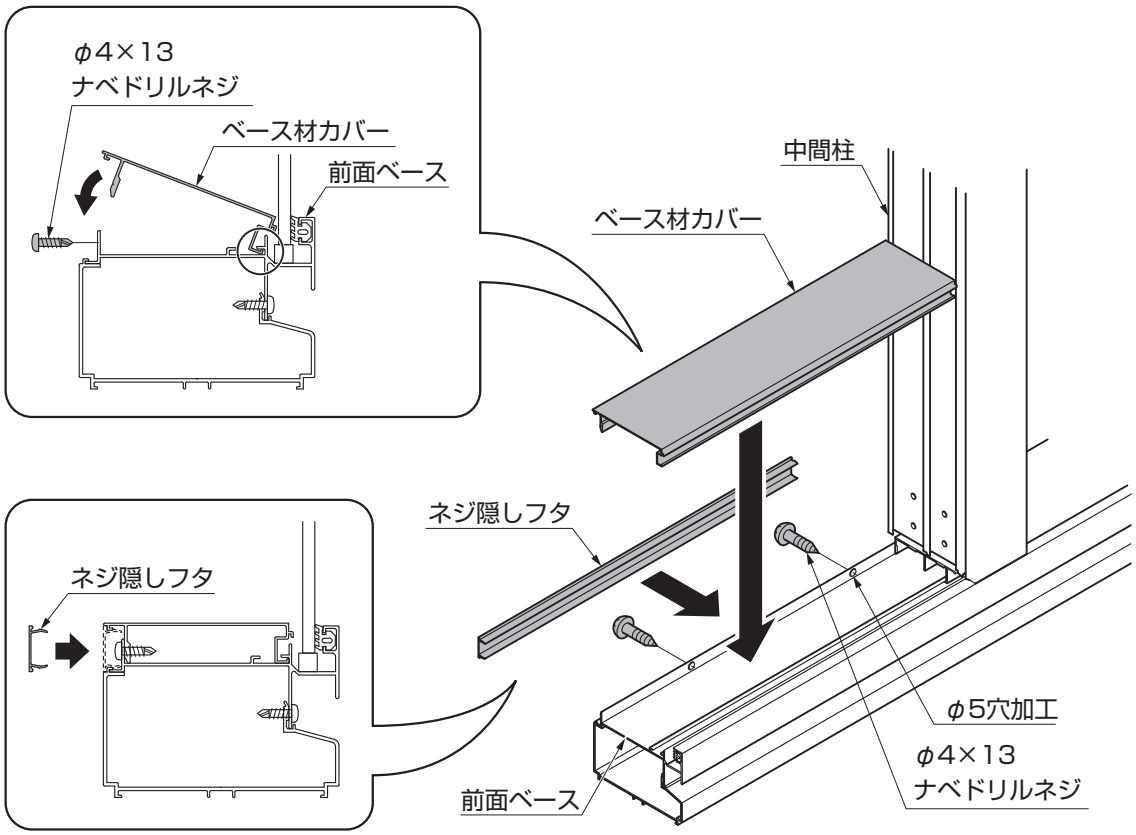
1.（つづき）

1-3 前面FIXパネルの取付け



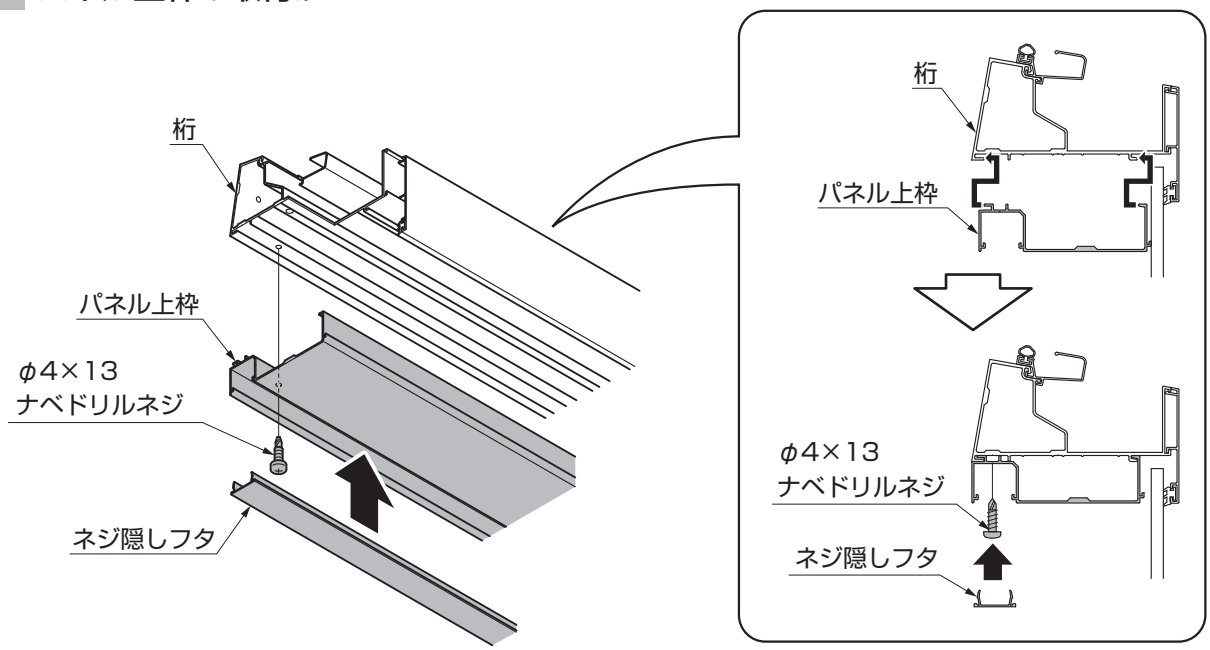
①前面FIXパネルをはめ込んでください。

1-4 ベース材カバーの取付け



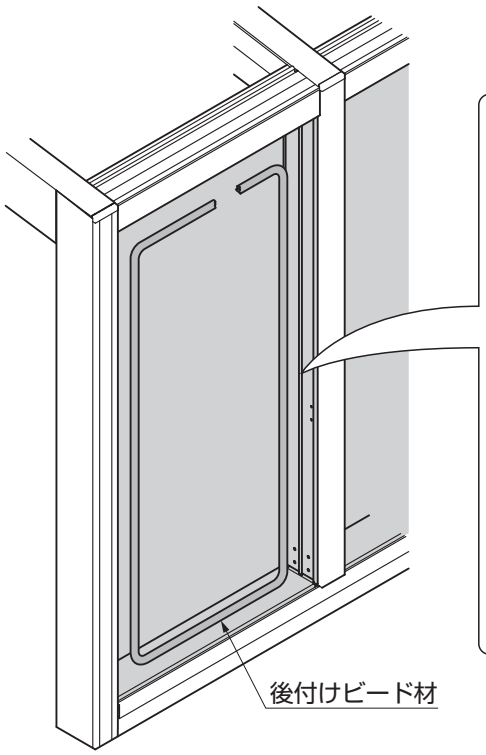
①ベース材カバーを前面ベースに「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
②ネジ隠しフタをはめ込んでください。

1-5 パネル上枠の取付け



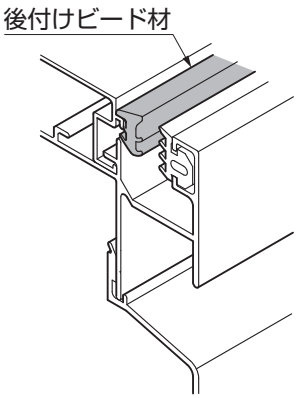
①パネル上枠を桁に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
②ネジ隠しフタをパネル上枠にはめ込んでください。

1-6 後付けビード材の取付け

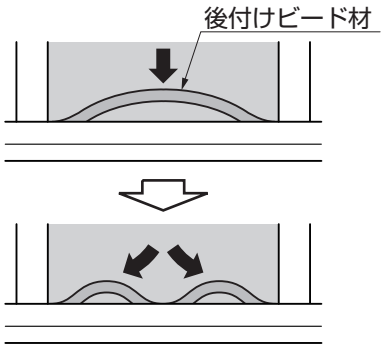


ポイント

●後付けビード材には、取付ける向きがあります。



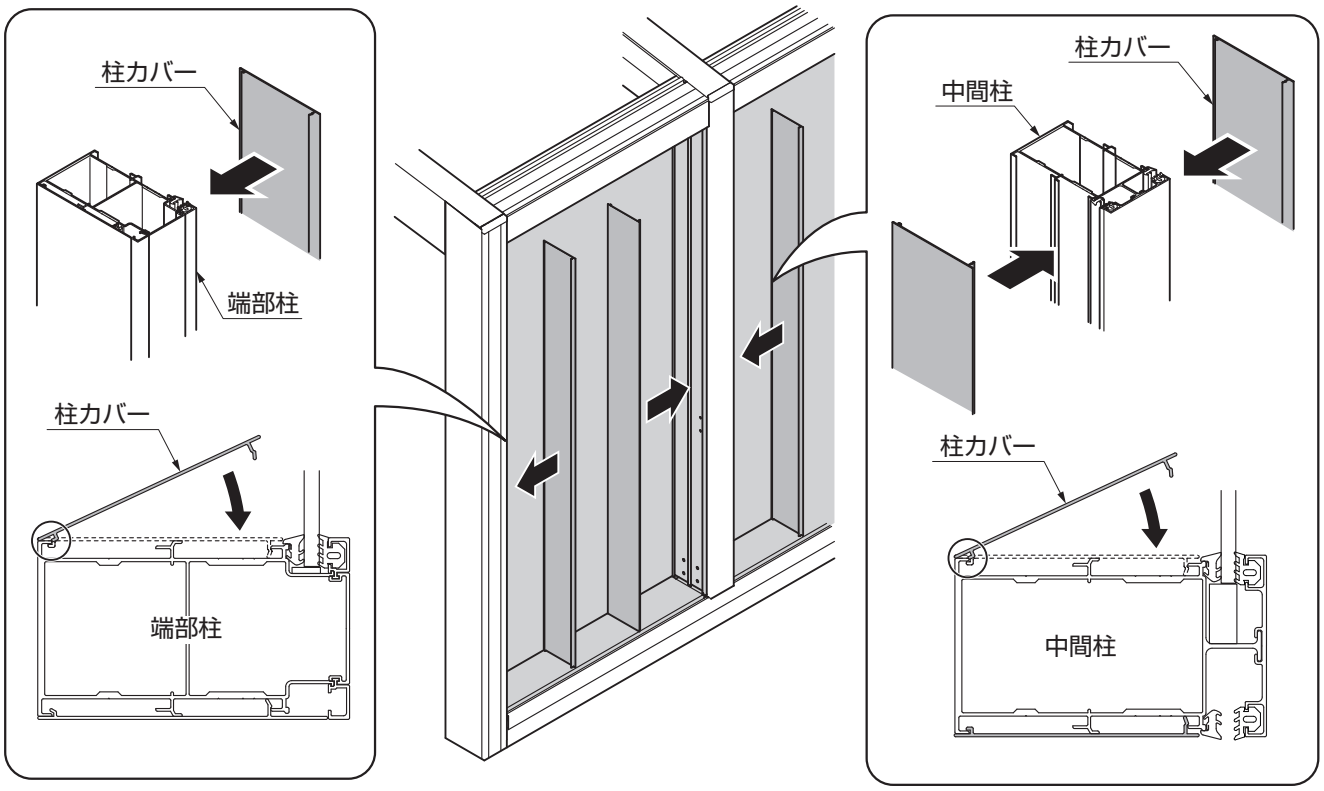
●中心部分をたるませた状態で両端部分および中間の1～2箇所を先に押込み、たるみ部分の中心から広げるように押込んでください。



①後付けビード材を押込んでください。

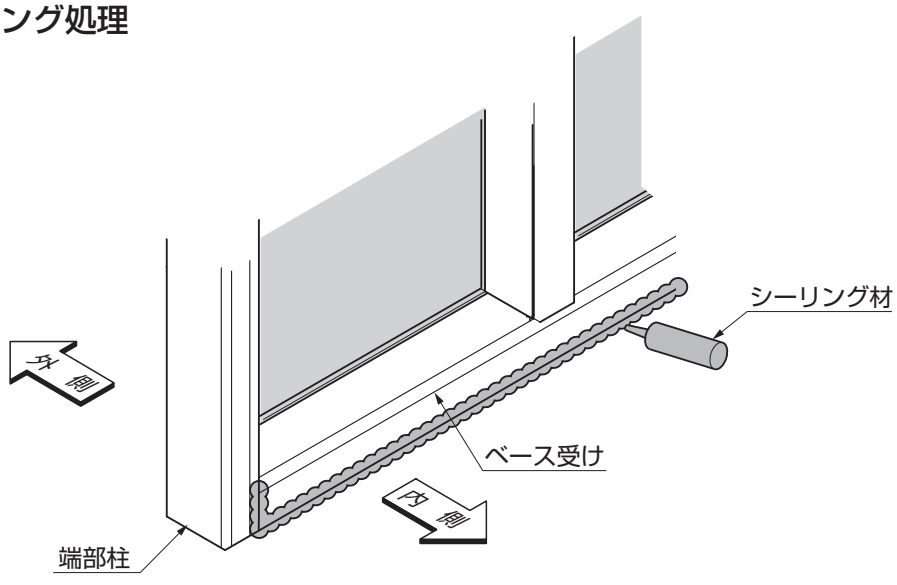
1.（つづき）

1-7 柱カバーの取付け



①柱に柱カバーをはめ込んでください。

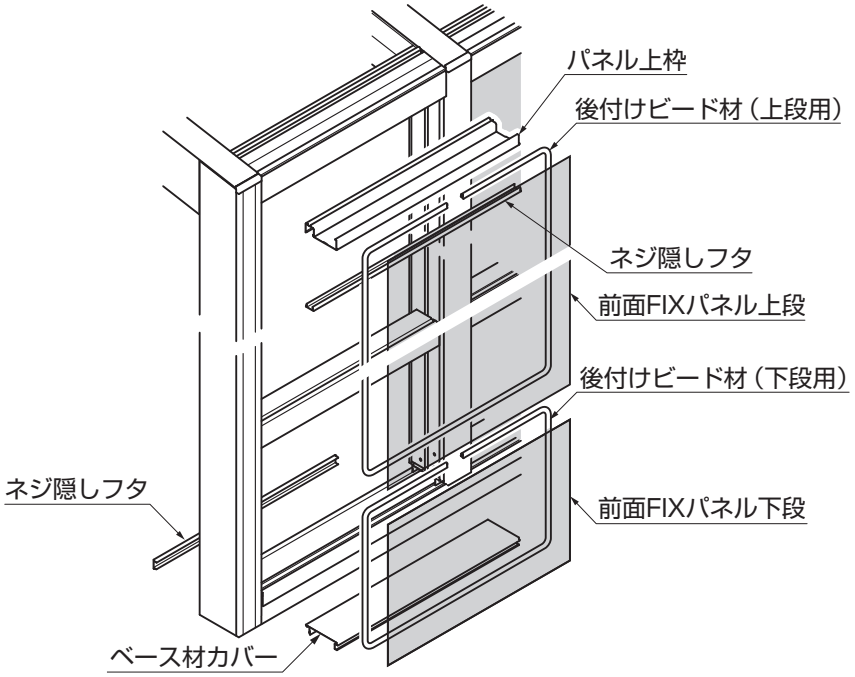
1-8 シーリング処理



①ベース受けと端部柱にシーリングをしてください。

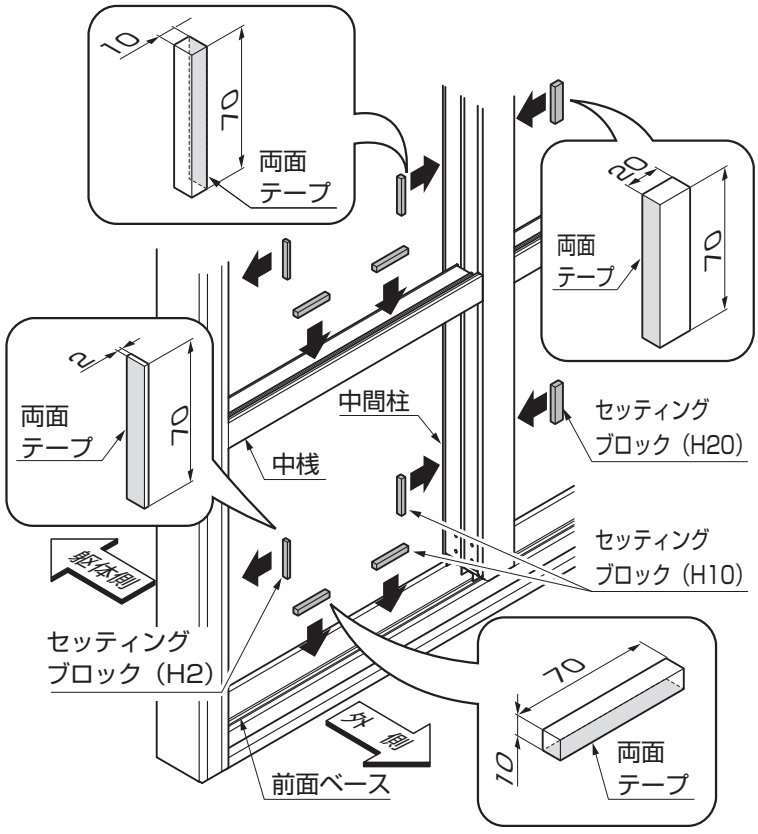
2. 上下FIXパネルの取付け

2-1 各部の名称



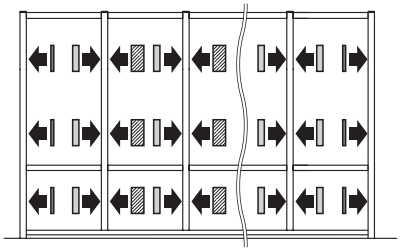
2-2 セッティングブロックの取付け

①セッティングブロック（H10）を前面ベース、中桟、及び中間柱に取付けてください。
②セッティングブロック（H20）を中間柱に取付けてください。
③セッティングブロック（H2）を端部柱に取付けてください。



ポイント

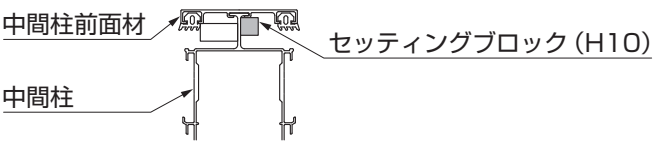
●柱に取付けるセッティングブロックは、下図のようにしてください。



▌：セッティングブロック（H2）
▌：セッティングブロック（H10）
▌：セッティングブロック（H20）

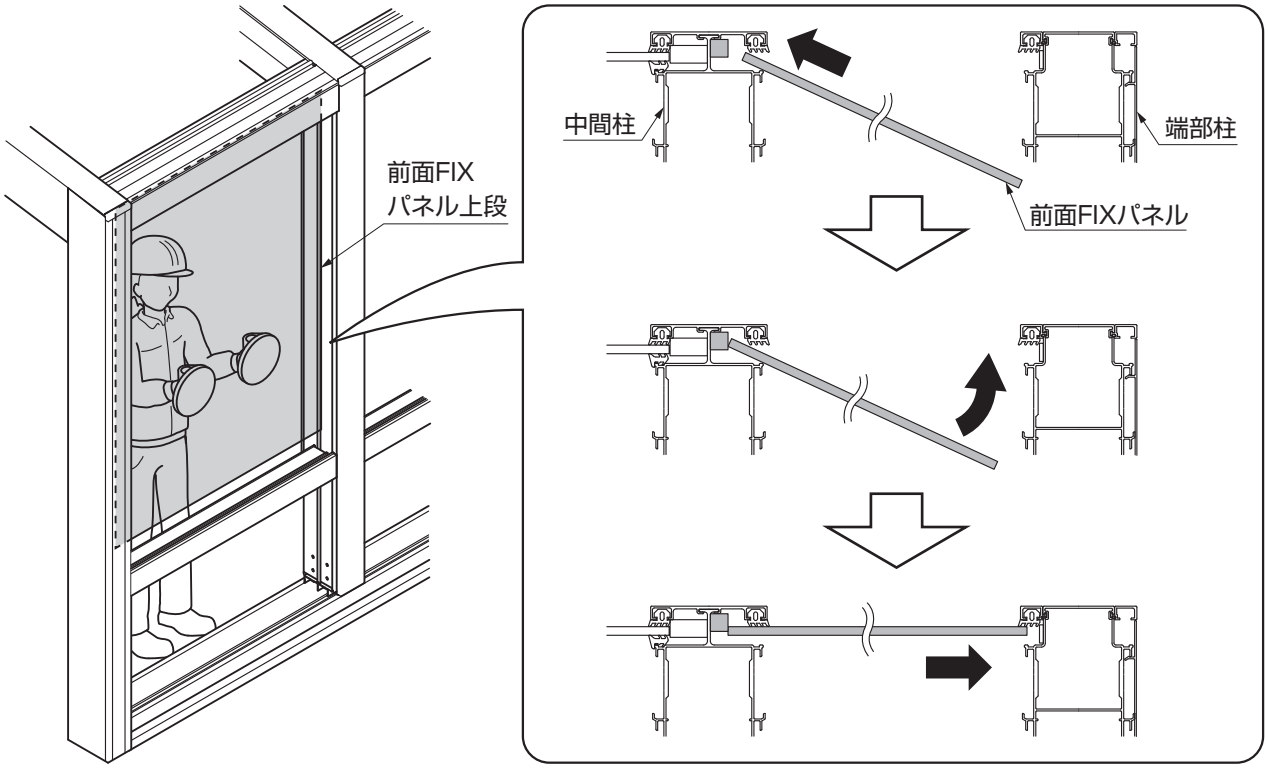
ポイント

●セッティングブロック（H10）は中間柱前面材側に取り付けて下さい。
中間柱前面材側に取り付けていない場合は前面FIXパネルが取り付け出来ない恐れがあります。



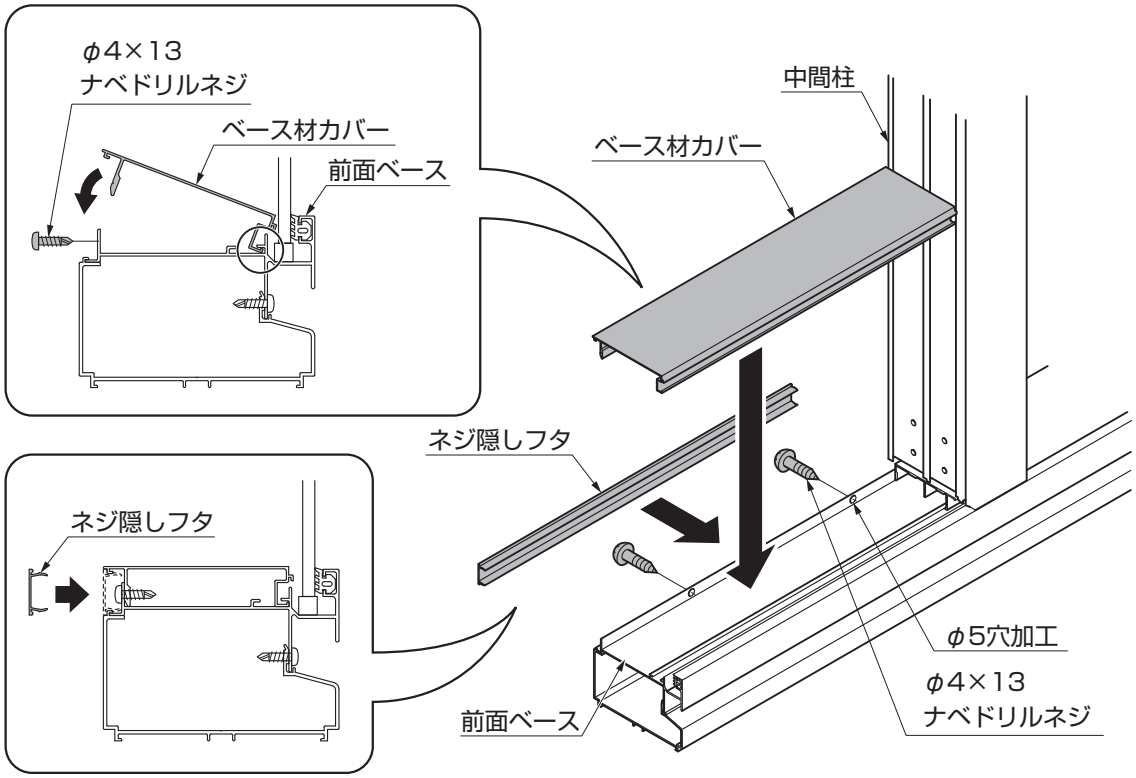
2. （つづき）

2-3 前面FIXパネルの取付け



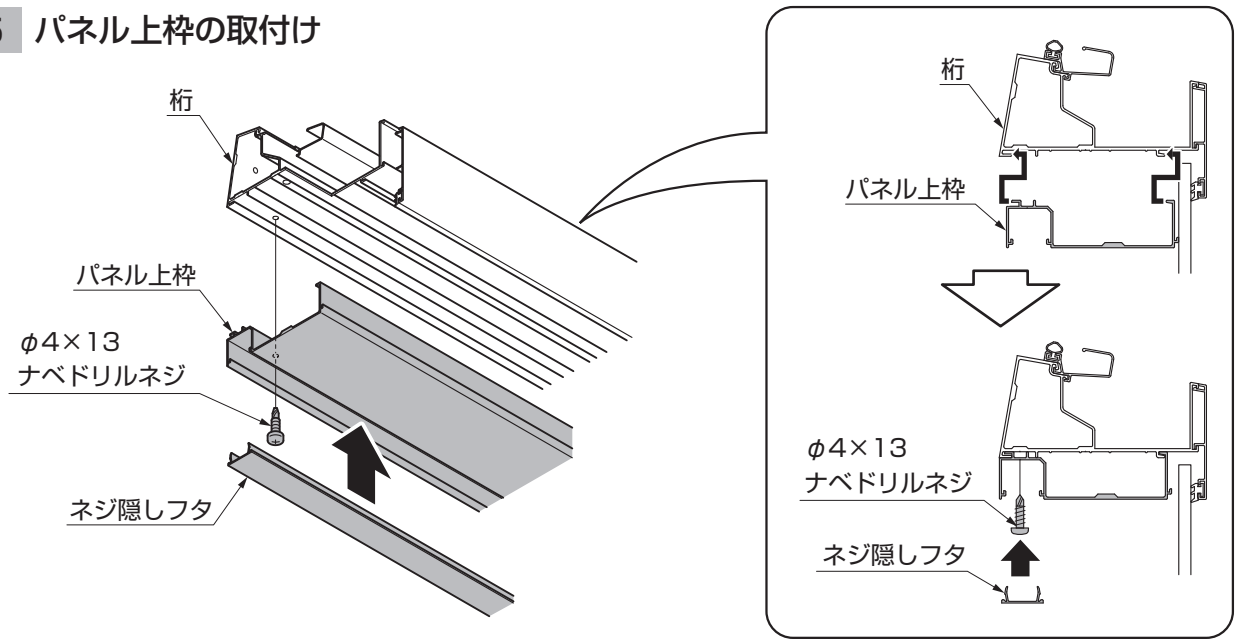
①前面FIXパネルをはめ込んでください。

2-4 ベース材カバーの取付け



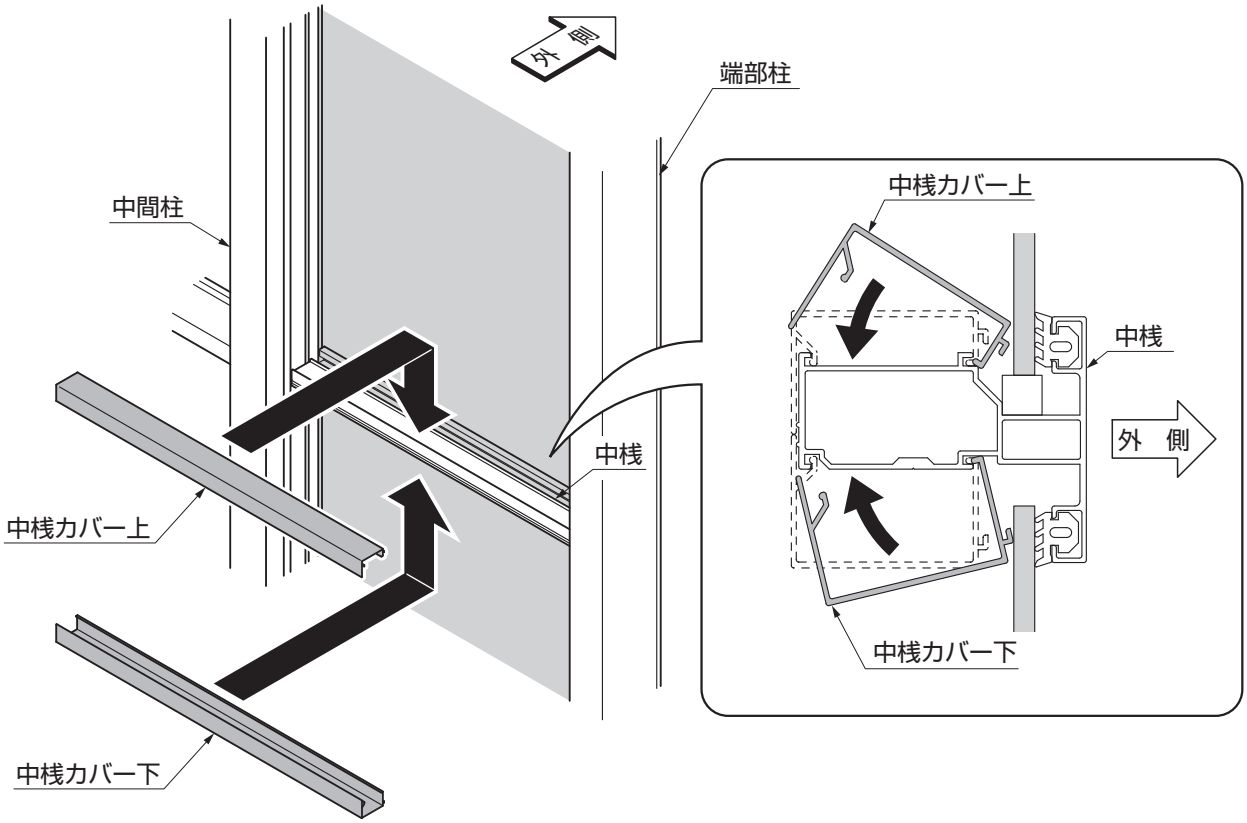
①ベース材カバーを前面ベースに「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
②ネジ隠しフタをはめ込んでください。

2-5 パネル上枠の取付け



①パネル上枠を桁に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
②ネジ隠しフタをパネル上枠にはめ込んでください。

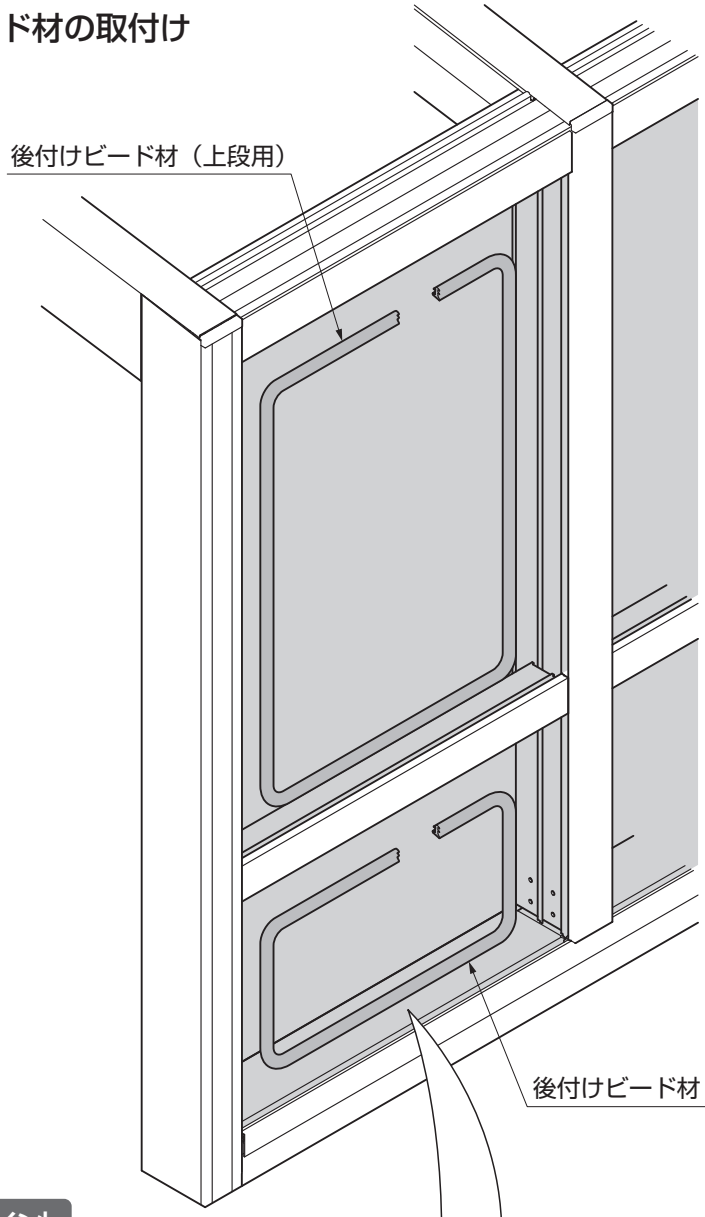
2-6 中桟カバーの取付け



①中桟カバーを中桟にはめ込んでください。

2. （つづき）

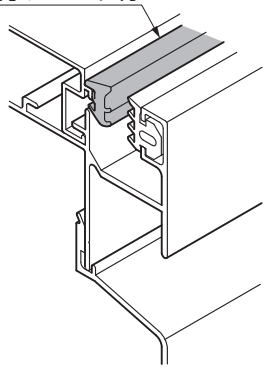
2-7 後付けビード材の取付け



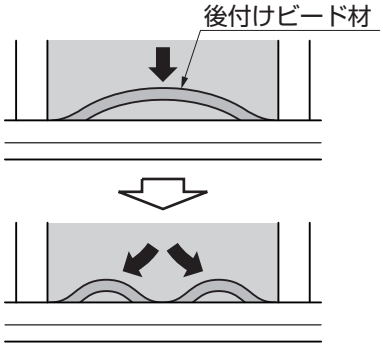
ポイント

●後付けビード材には、取付ける向きがあります。

後付けビード材

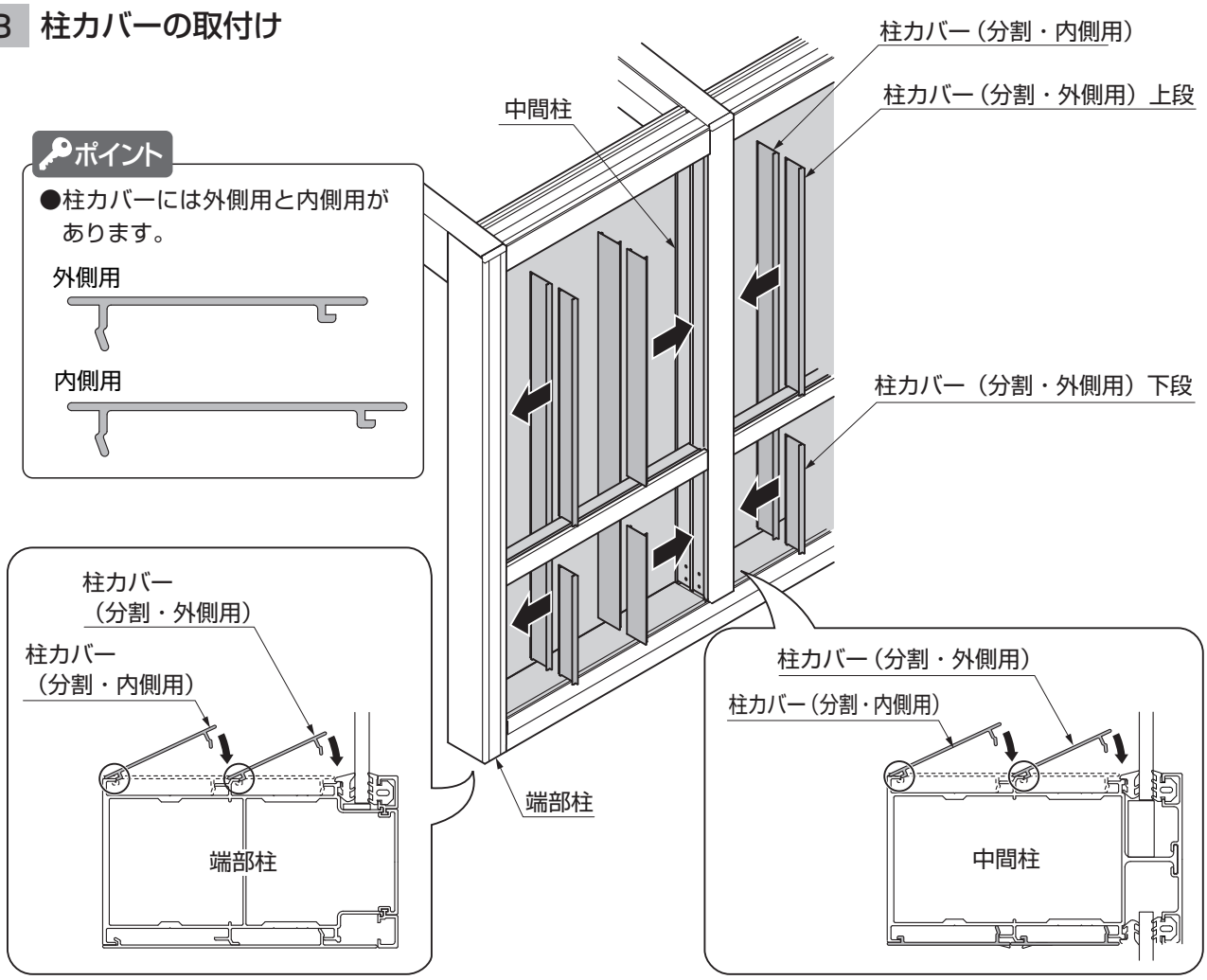


●中心部分をたるませた状態で両端部分および中間の1～2箇所を先に押込み、たるみ部分の中心から広げるように押込んでください。



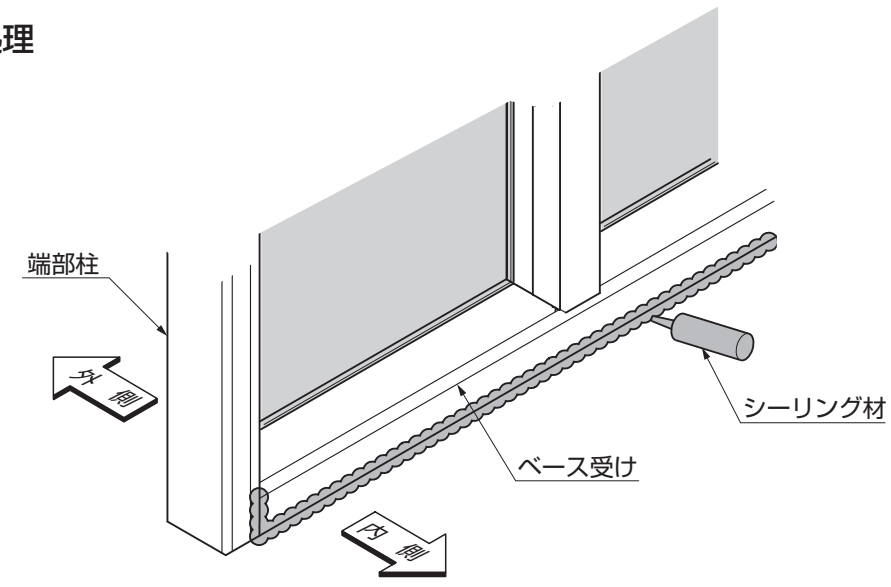
①後付けビード材を押込んでください。

2-8 柱カバーの取付け



①柱に柱カバー（分割・外側用）をはめ込んでください。
②柱に柱カバー（分割・内側用）をはめ込んでください。

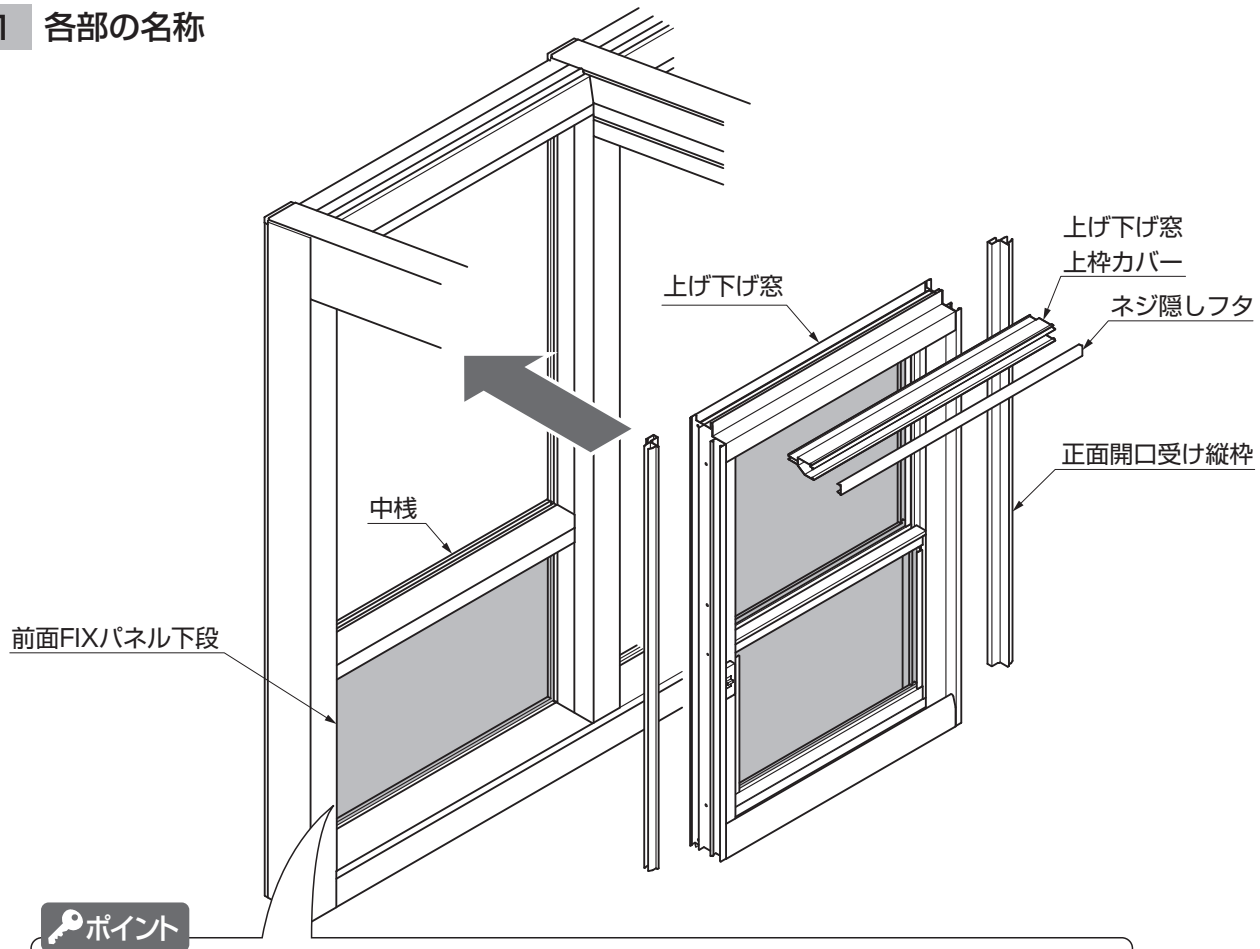
2-9 シーリング処理



①ベース受けと端部柱にシーリングをしてください。

3. 上げ下げ窓の取付け

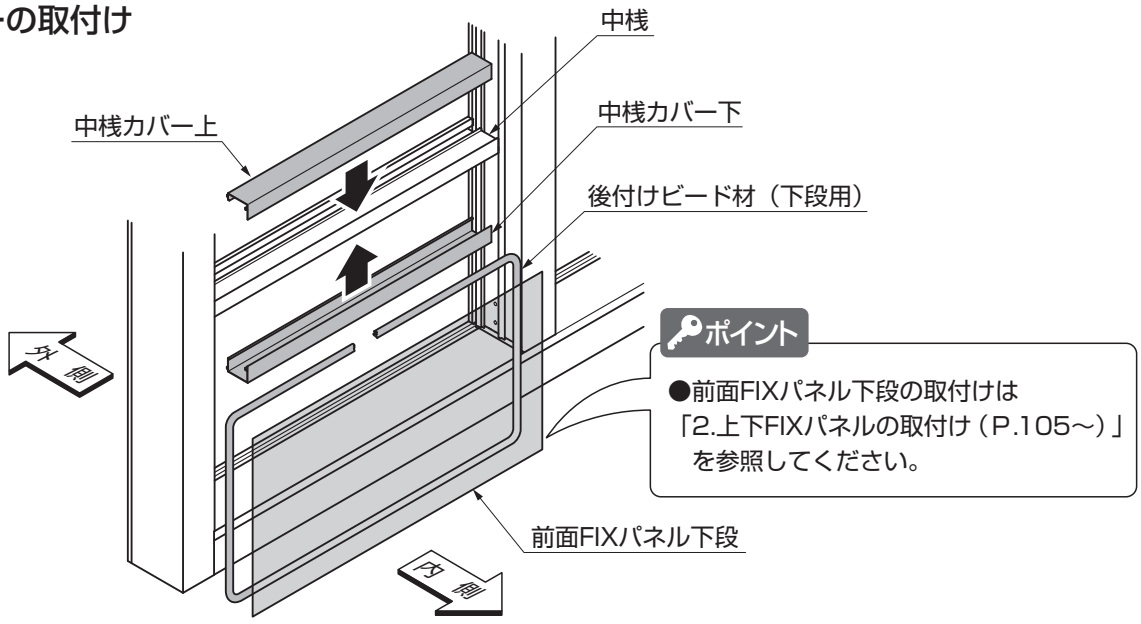
3-1 各部の名称



ポイント

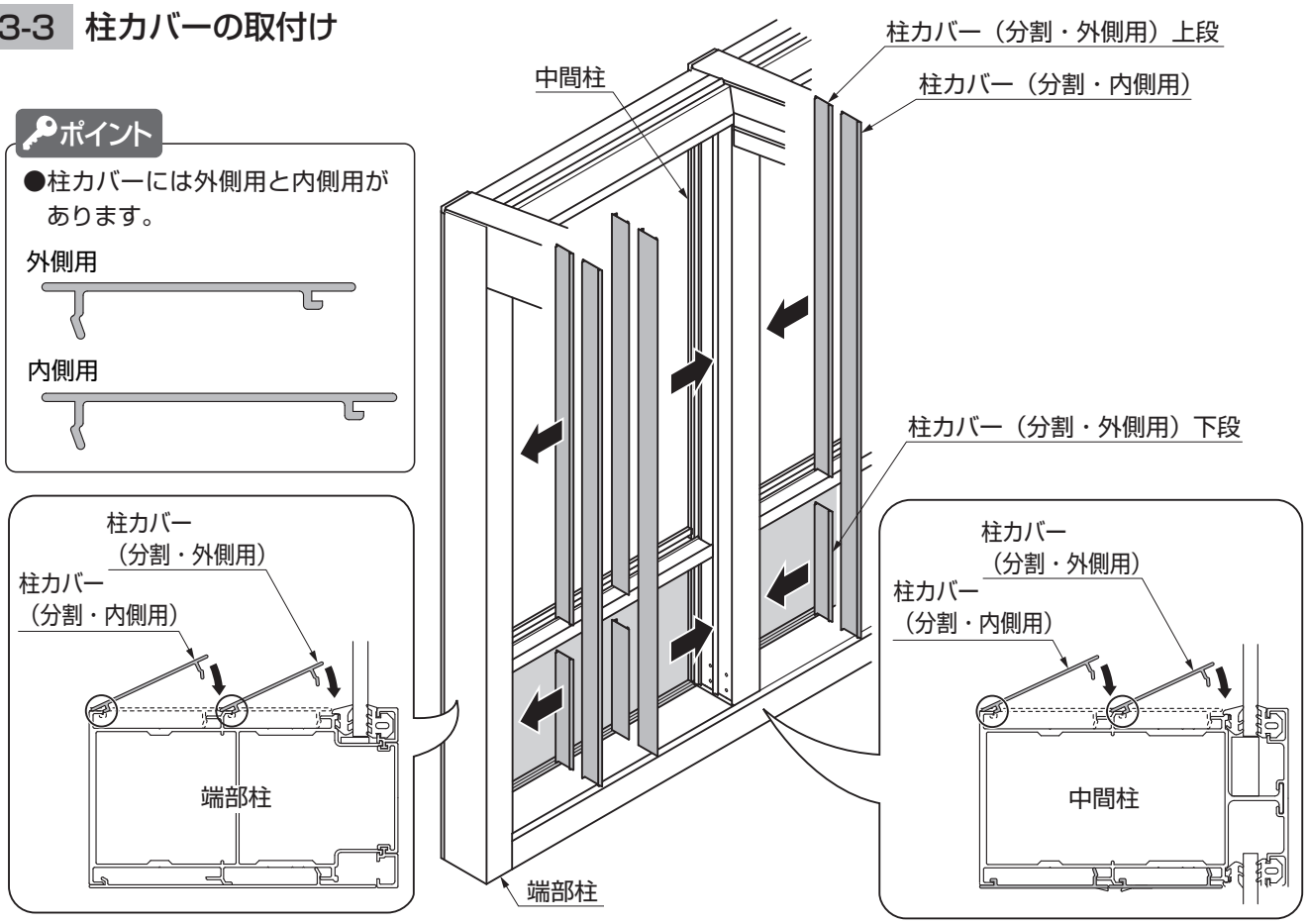
●前面FIXパネル下段の取付けは「2.上下FIXパネルの取付け（P.105～）」を参照してください。

3-2 カバーの取付け



①中桟カバーを中桟にはめ込んでください。

3-3 柱カバーの取付け



ポイント

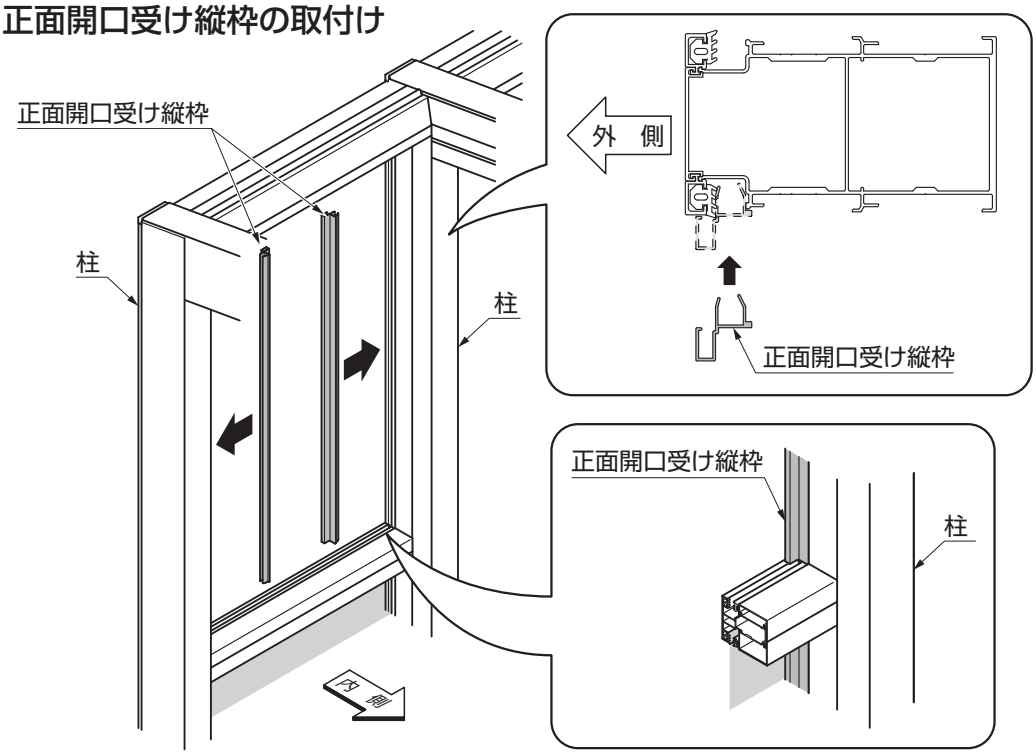
●柱カバーには外側用と内側用があります。

外側用

内側用

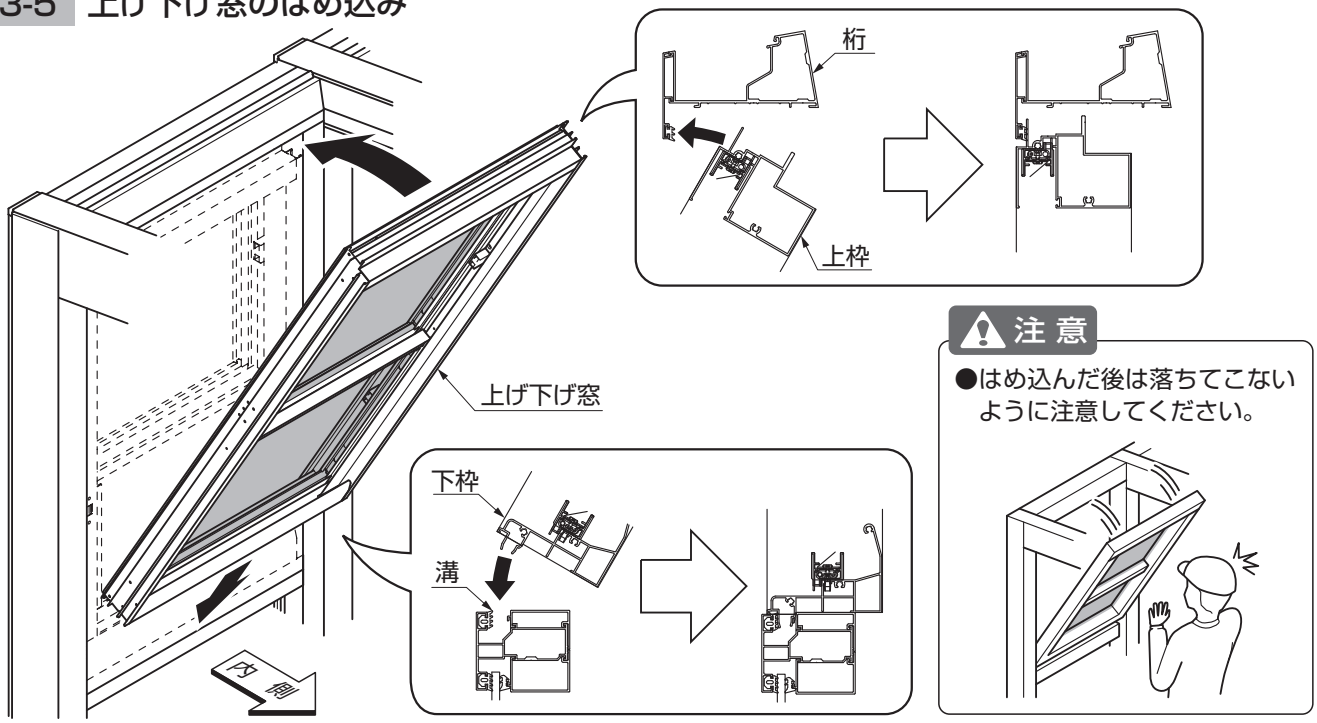
①柱に柱カバー（分割・外側用）をはめ込んでください。
②柱に柱カバー（分割・内側用）をはめ込んでください。

3-4 正面開口受け縦枠の取付け



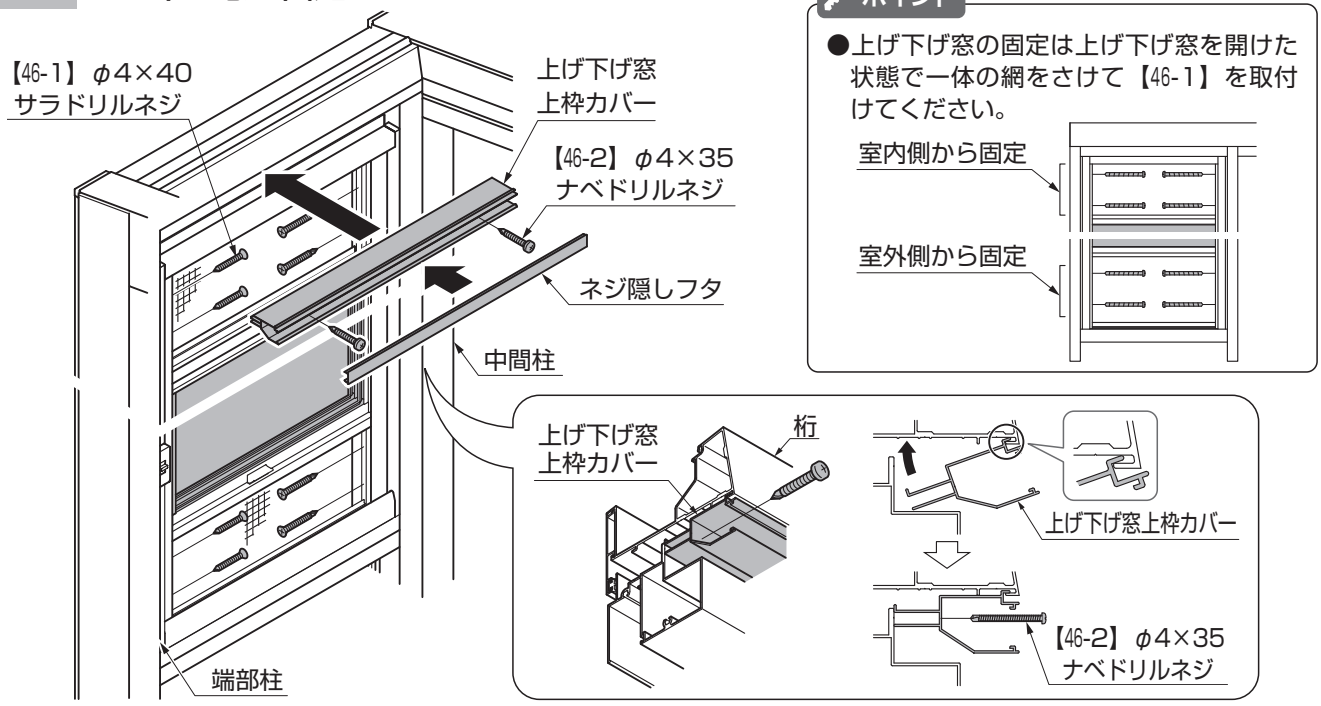
3.（つづき）

3-5 上げ下げ窓のはめ込み



①上げ下げ窓の下枠をベース溝に差込みながらはめ込んでください。

3-6 上げ下げ窓の固定

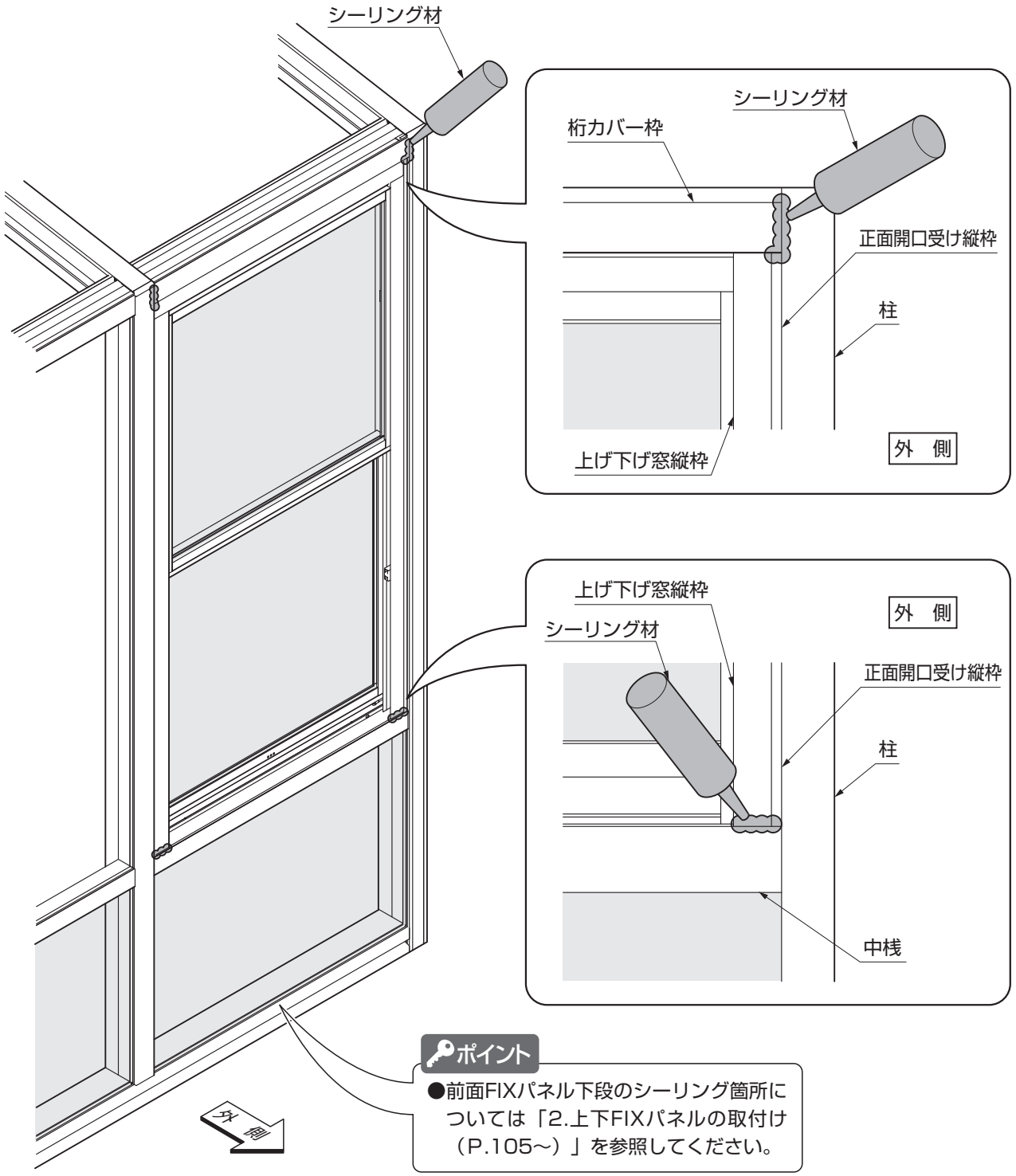


①上げ下げ窓を【46-1】で柱に取付けてください。
②上げ下げ窓上枠カバーを桁に引っ掛けて、上げ下げ窓に【46-2】で取付けてください。
③ネジ隠しフタを上げ下げ窓上枠カバーに取付けてください。

ポイント

●積雪地3000N（100cm相当）仕様の場合、手順③の後にサブ垂木を取付けてください。（詳細は本取説 13 フレーム施工　12-3 サブ垂木化粧材の取付けを参照してください。）

3-7 シーリング処理



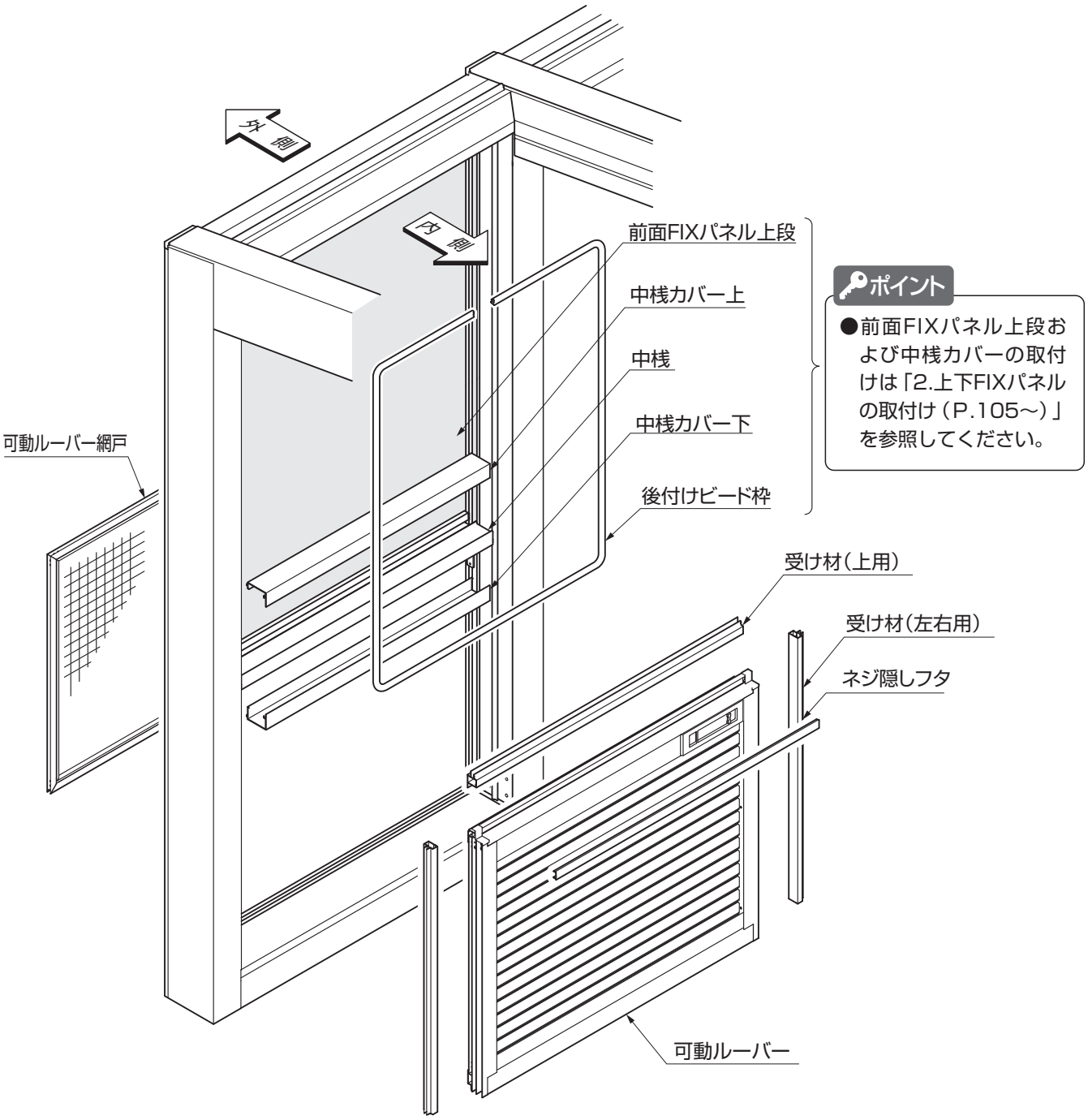
ポイント

●前面FIXパネル下段のシーリング箇所については「2.上下FIXパネルの取付け（P.105～）」を参照してください。

①シーリング処理をしてください。

4. 可動ルーバーの取付け

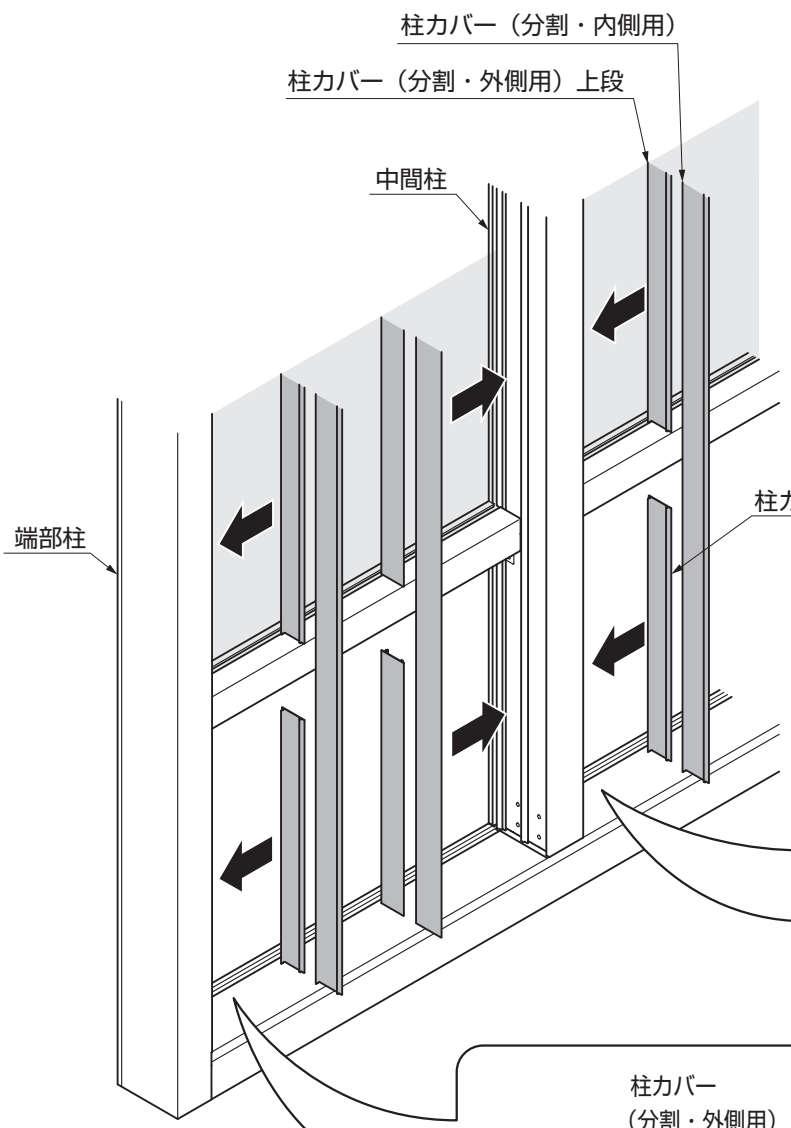
4-1 各部の名称



ポイント

●前面FIXパネル上段および中桟カバーの取付けは「2.上下FIXパネルの取付け（P.105～）」を参照してください。

4-2 柱カバーの取付け

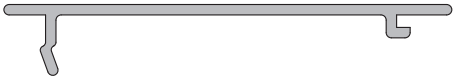


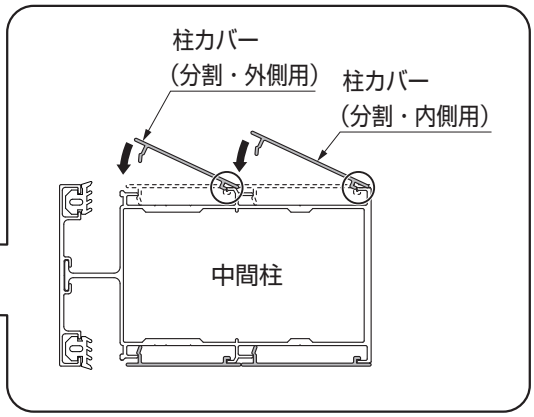
ポイント

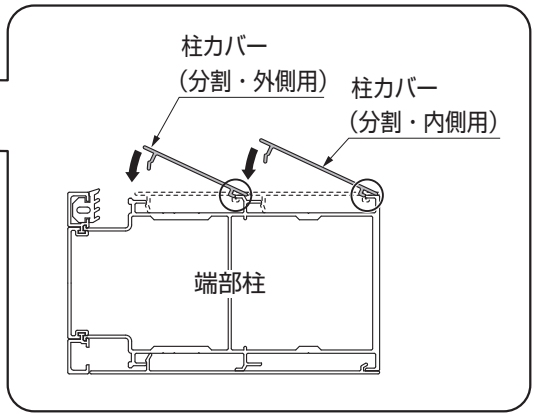
●柱カバーには外側用と内側用があります。

外側用

内側用



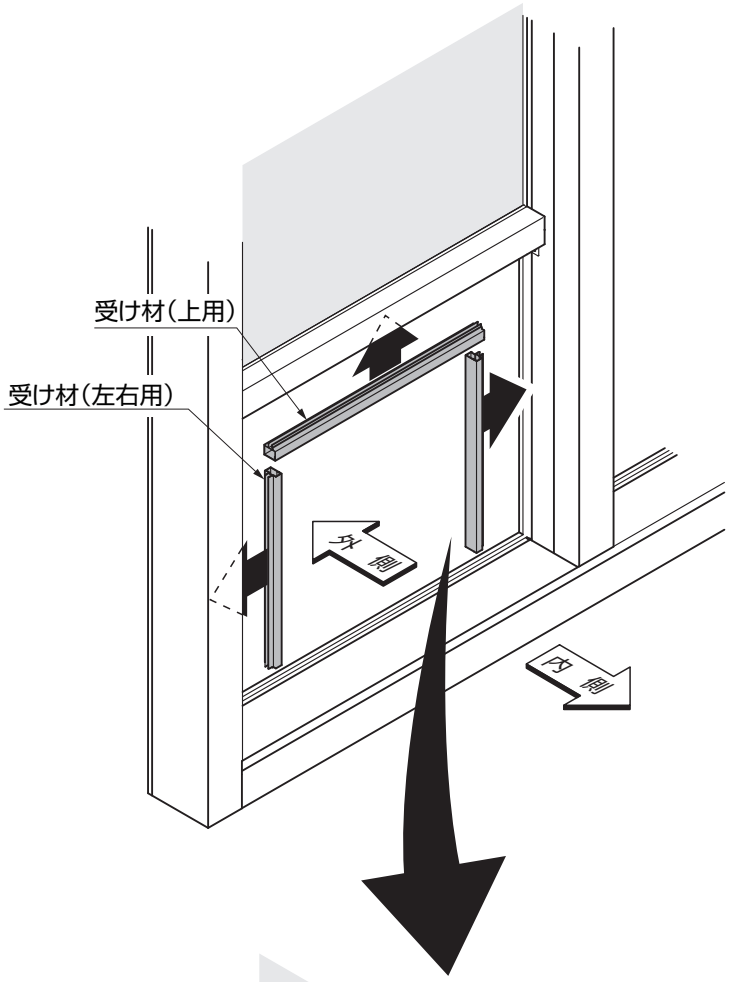




①柱に柱カバー（分割・外側用）をはめ込んでください。
②柱に柱カバー（分割・内側用）をはめ込んでください。

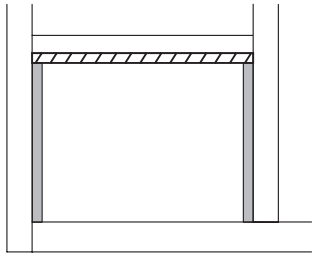
4.（つづき）

4-3 受け材の取付け

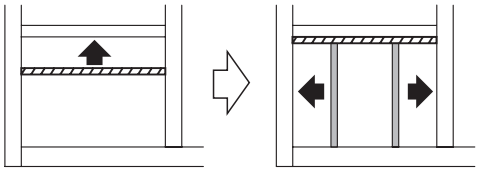


ポイント

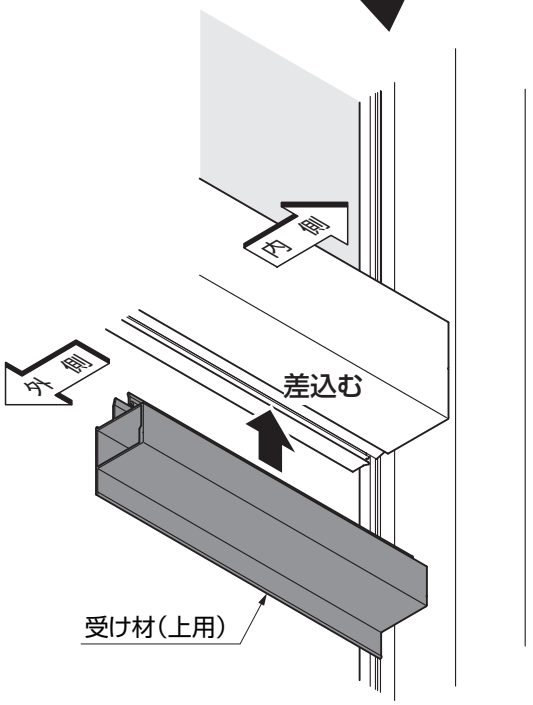
●受け材の納まりは下記のようになります。
取付ける順番に注意してください。

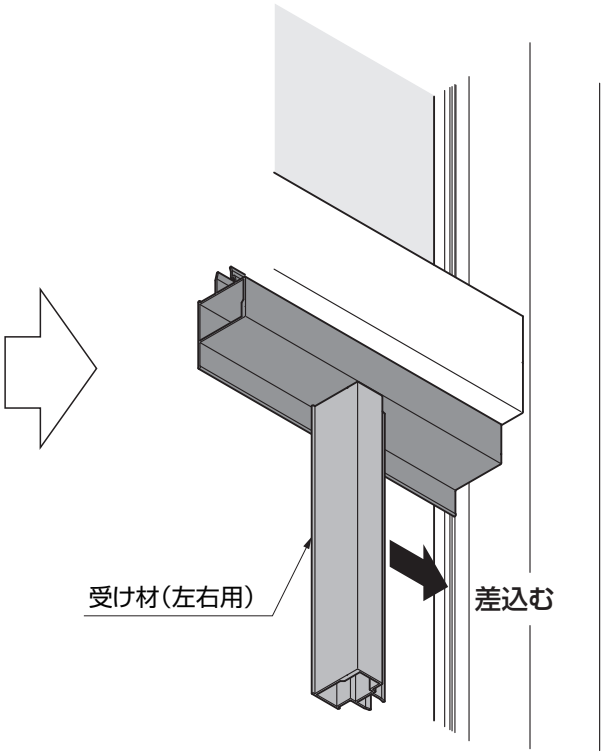


受け材(上用)
受け材(左右用)



【手順1】　【手順2】

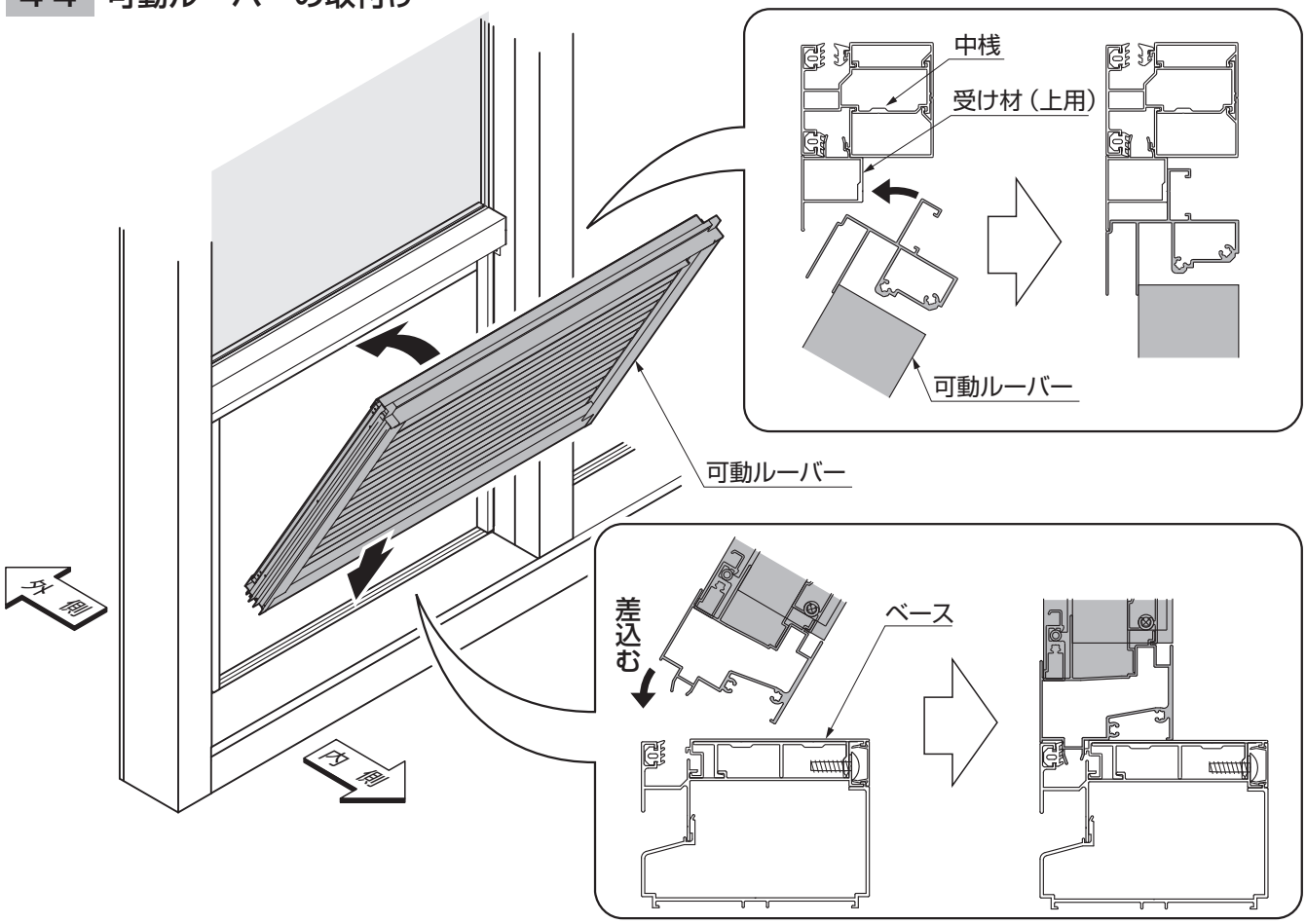


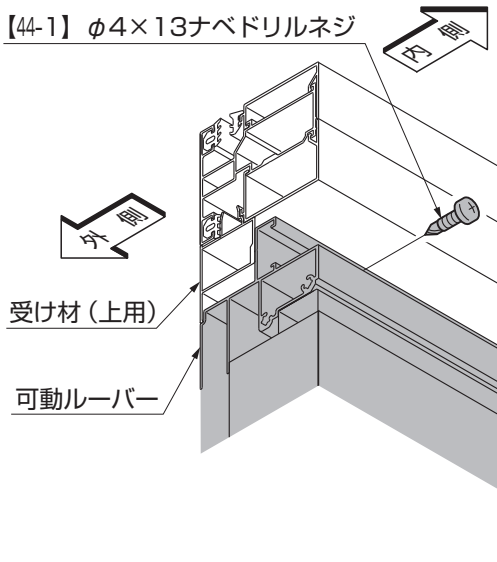


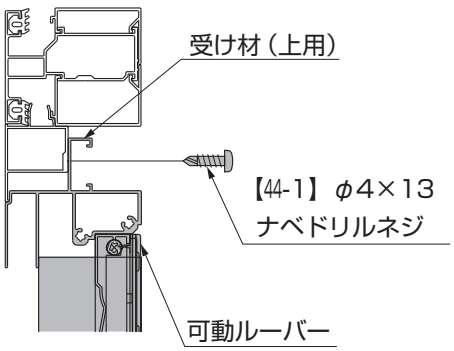
①受け材（上用）を中桟に差込んでください。
②受け材（左右用）を柱に差込んでください。

E412_201507A

4-4 可動ルーバーの取付け



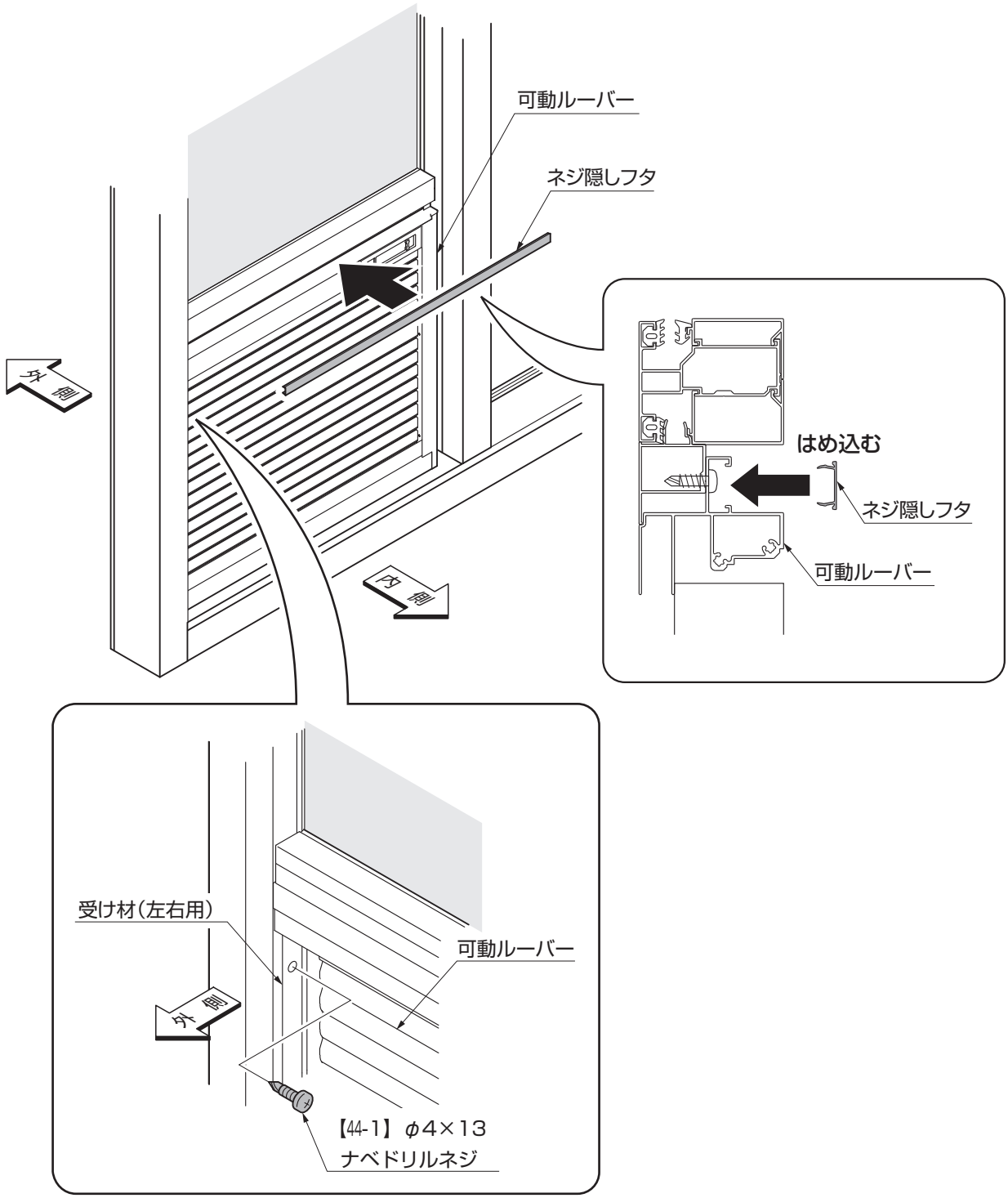




①可動ルーバーをベースにはめ込んでください。
②可動ルーバーを受け材（上用）に【44-1】で取付けてください。

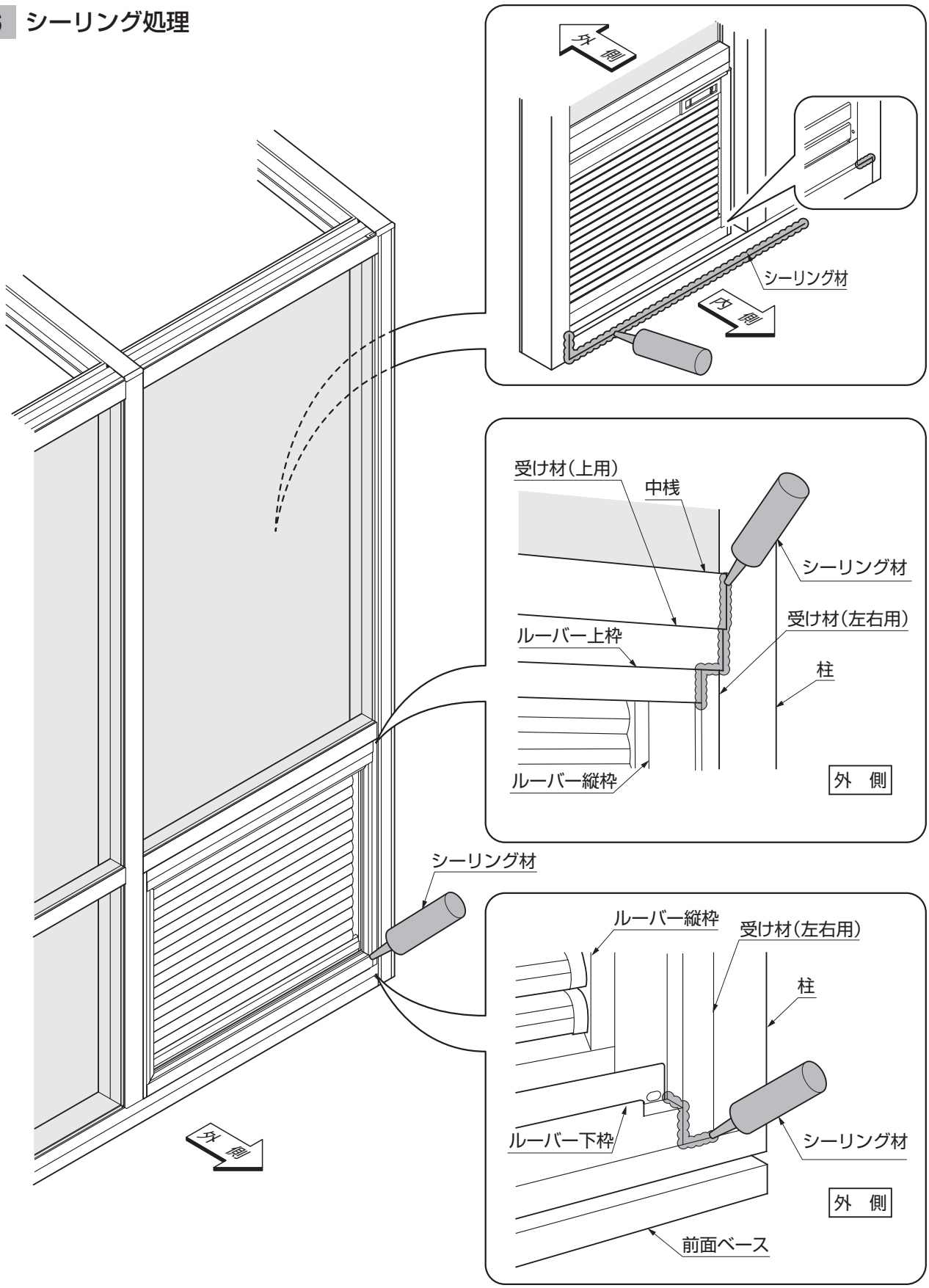
4.（つづき）

4-5 可動ルーバーの固定



③可動ルーバーを受け材（左右用）に【44-1】で取付けてください。
④ネジ隠しフタを可動ルーバーにはめ込んでください。

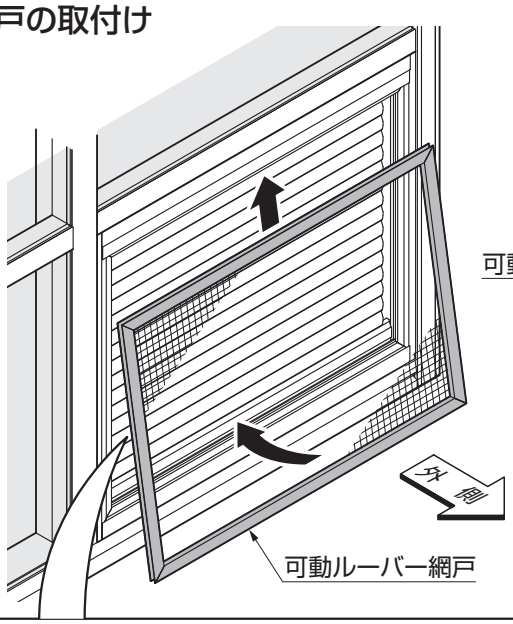
4-6 シーリング処理

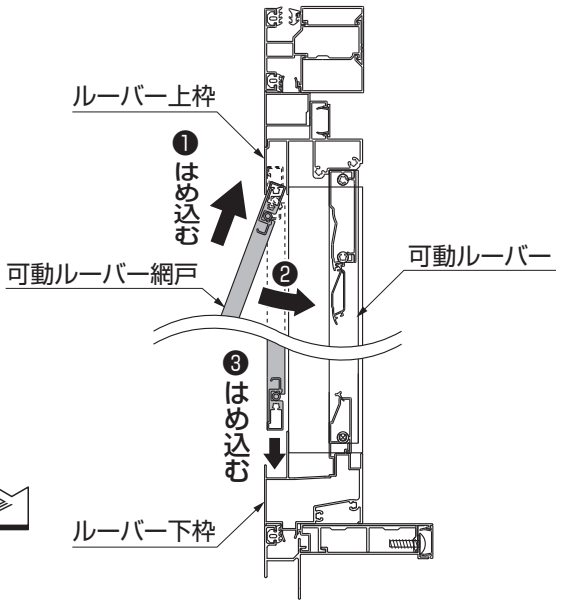


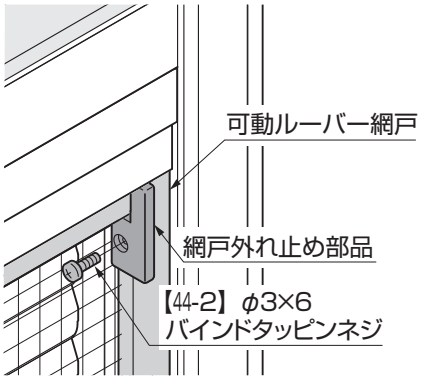
①シーリング処理をしてください。

4.（つづき）

4-7 網戸の取付け

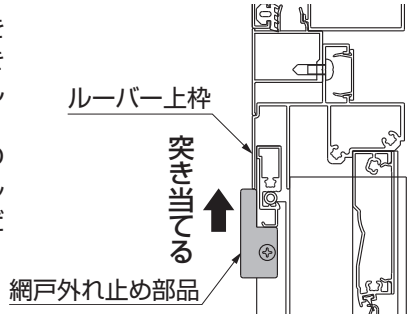






ポイント

- ●網戸外れ止め部品をルーバー上枠に突き当てた状態で固定してください。
- ●網戸外れ止め部品の固定は、締め付けトルク0.8N·mとしてください。

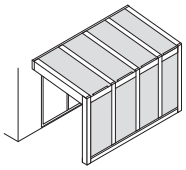
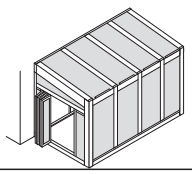


①網戸をけんどんし、はめ込んでください。
②網戸外れ止め部品を【44-2】で固定してください。

5. 施工が完了したら

ポイント

- ●本取付説明書での施工が完了したら、次の工程を確認して、参照する取付説明書の施工を行なってください。

タイプ	略 図	参照取付説明書
サイドスルータイプ ST		【施工終了】 本ページにて施工は終了になります。
ガーデンルームタイプ GR		ココマⅡ 側面 開口部 取付説明書（E418） ●引き続き「側面　開口部」の施工を行なってください。 【施工終了】

取説コード
E412
JZZ630746E
201507A_1039
202306F_1049